

令和4年度
糸満市市民意識調査
報告書

令和5年3月

目次

I. 調査概要.....	1
II. 調査結果.....	2
◆1. あなた(回答者)のことについてお伺いします。.....	2
◆2. 結婚や子育て、仕事についてお伺いします。.....	7
◆3. 住みやすさや今後も住み続けたいかについてお伺いします。.....	32
◆4. 日ごろの暮らしについてお伺いします。.....	45
●文化・スポーツ・健康について.....	45
●災害への備えについて.....	53
●男女共同参画について.....	61
●公共交通について.....	64
●公園について.....	70
●自治会について.....	80
◆5. 市政についてお伺いします。.....	90
◆6. これまでの設問にかかわらず、ご意見などがありましたらご記入ください。.....	101
III. 調査票.....	114

I. 調査概要

1. 調査目的

本調査は、令和3年度からの「第5次糸満市総合計画」、「第2期糸満市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく取り組みについて、市民の皆さまが感じていることや関心のあることを把握し、今後の計画推進に役立てるために実施するものです。併せて、同計画等の進捗管理のため、設定された指標についても調査を実施しました。

2. 調査の内容

- (1)あなた(回答者)ご自身のことについて
- (2)結婚や子育て、仕事について
- (3)住みやすさや今後も住み続けたいかについて
- (4)日頃の暮らし(文化・スポーツ・健康、災害への備え、男女共同参画、公共交通、公園、自治会)について
- (5)市政について
- (6)市への意見等について

3. 調査方法

- (1)調査期間:令和5年2月8日(水)～24日(金)
- (2)調査対象:令和4年11月末日時点における18歳以上の市民
- (3)対象者数:2,000名
- (4)抽出方法:住民基本台帳から調査対象を無作為抽出
- (5)調査方法:郵送による配布、郵送又はインターネットによる回収

4. 回収結果

- (1)回答数:586件(郵送 422件、WEB 164件)
- (2)回答率:29.3%

5. 留意点

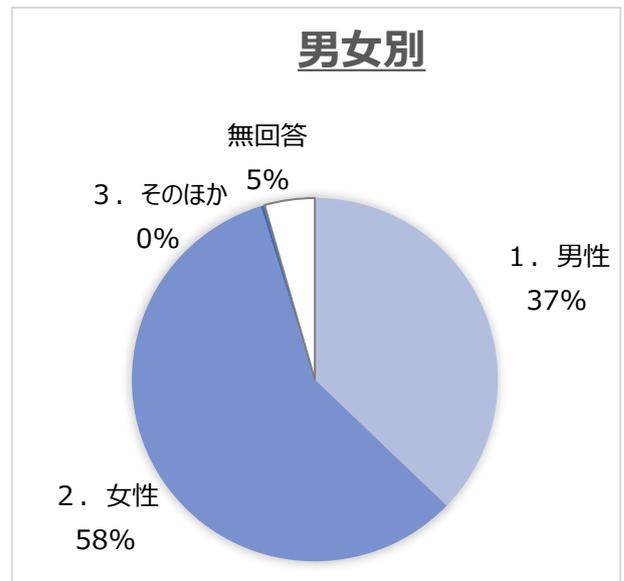
- (1)図中の「n」は、各設問の回答数を示します。
- (2)調査結果の数値は、原則として百分率(%)で表記し、小数点以下第二位を四捨五入しています。そのため、合計値は必ずしも100%になるとは限りません。また、複数回答については、回答項目ごとに算定しているため合計数値は100%にならない場合があります。
- (3)文章にある数値(%)は、集計後に小数点以下第二位を四捨五入しているため、合計数値(%)が一致しない場合があります。
- (4)経年変化に係る分析は、過去の調査等のデータを用いています。
- (5)不適切な回答については、回答者の意思の表明が読み取れるもの(訂正、取り消し等)は、できる限り反映させて処理しました。

Ⅱ. 調査結果

◆1. あなた(回答者)のについてお伺いします。

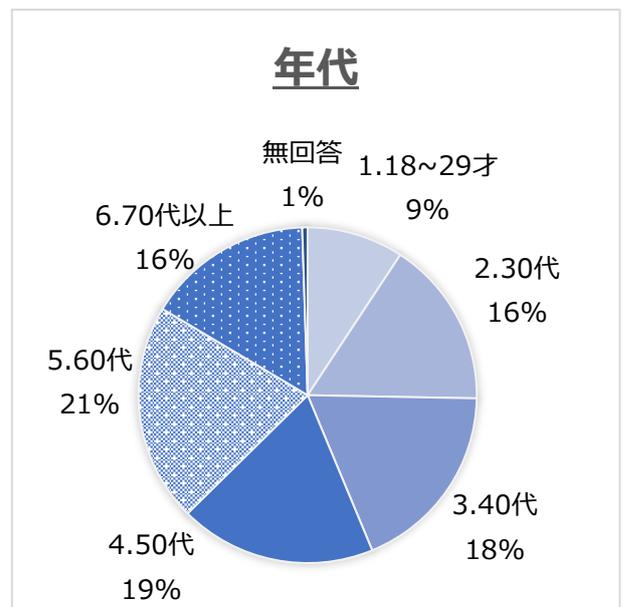
[問1]男女別

選択項目	回答数	比率
1. 男性	217	37.1%
2. 女性	341	58.2%
3. そのほか	2	0.3%
無回答	26	4.4%
	586	100%



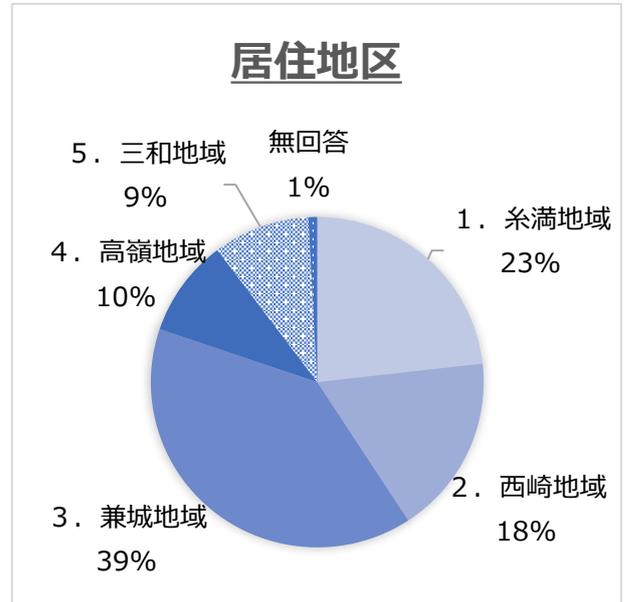
[問2]年代

選択項目	回答数	比率
1.18~29才	54	9.2%
2.30代	95	16.2%
3.40代	108	18.5%
4.50代	110	18.8%
5.60代	123	21.0%
6.70代以上	93	15.9%
無回答	3	0.5%
	586	100%



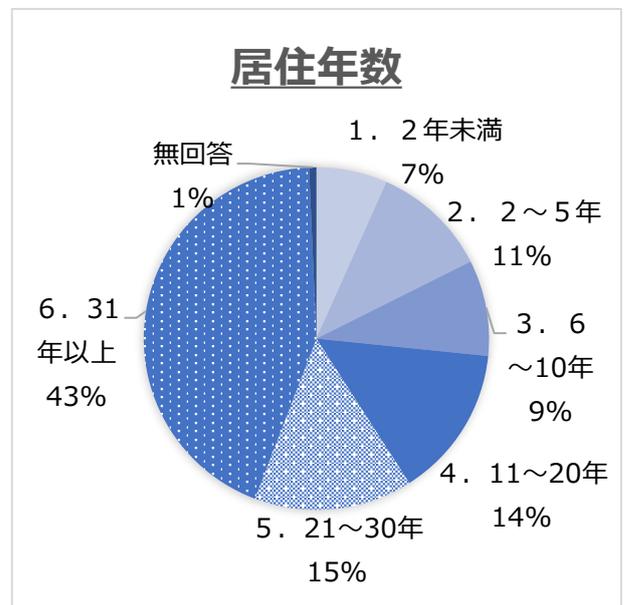
[問3]お住まいの地域

選択項目	回答数	比率
1. 糸満地域	135	23.0%
2. 西崎地域	104	17.7%
3. 兼城地域	231	39.4%
4. 高嶺地域	56	9.6%
5. 三和地域	55	9.4%
無回答	5	0.9%
	586	100%



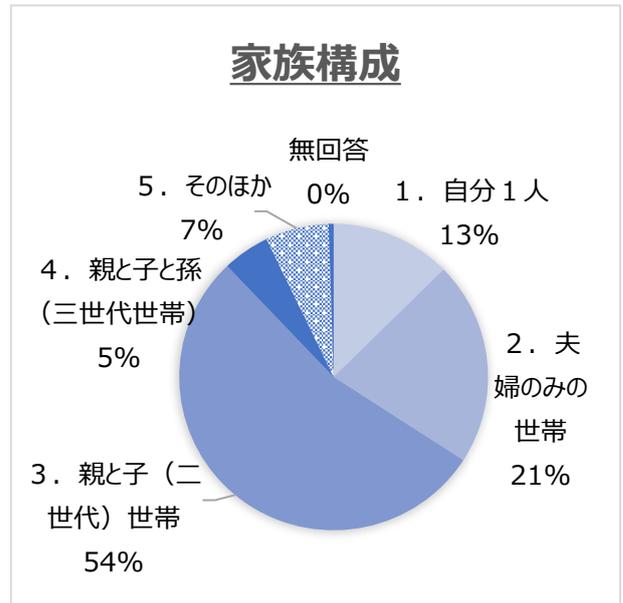
[問4]糸満市での居住年数

選択項目	回答数	比率
1. 2年未満	38	6.5%
2. 2～5年	64	10.9%
3. 6～10年	54	9.2%
4. 11～20年	84	14.3%
5. 21～30年	87	14.8%
6. 31年以上	255	43.5%
無回答	4	0.7%
	586	100%



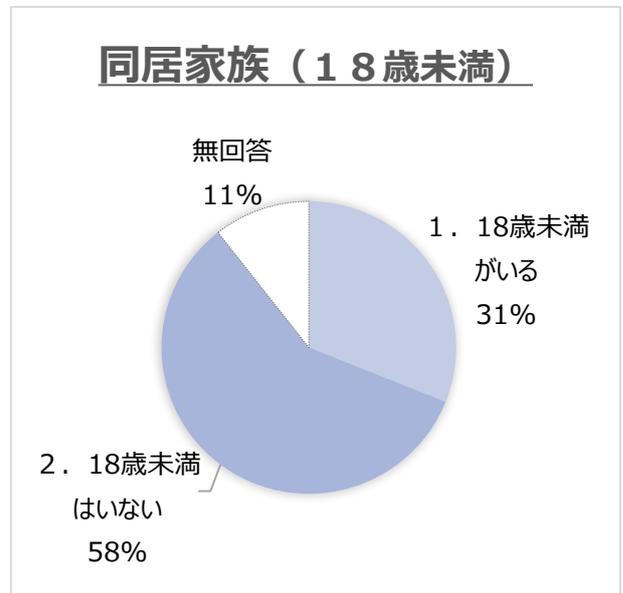
[問5]家族構成

選択項目	回答数	比率
1. 自分1人	73	12.5%
2. 夫婦のみの世帯	126	21.5%
3. 親と子(二世帯)世帯	316	53.9%
4. 親と子と孫 (三世帯世帯)	29	4.9%
5. そのほか	39	6.7%
無回答	3	0.5%
	586	100%



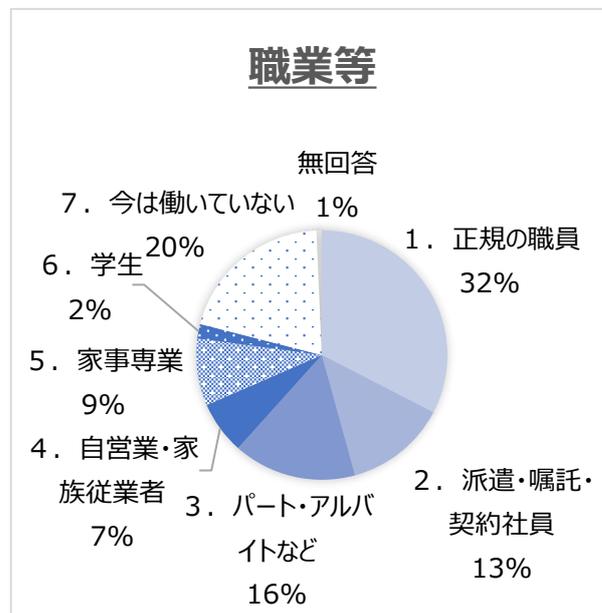
[問6]同居家族

選択項目	回答数	比率
1. 18歳未満がいる	183	31.2%
2. 18歳未満はいない	341	58.2%
無回答	62	10.6%
	586	100%



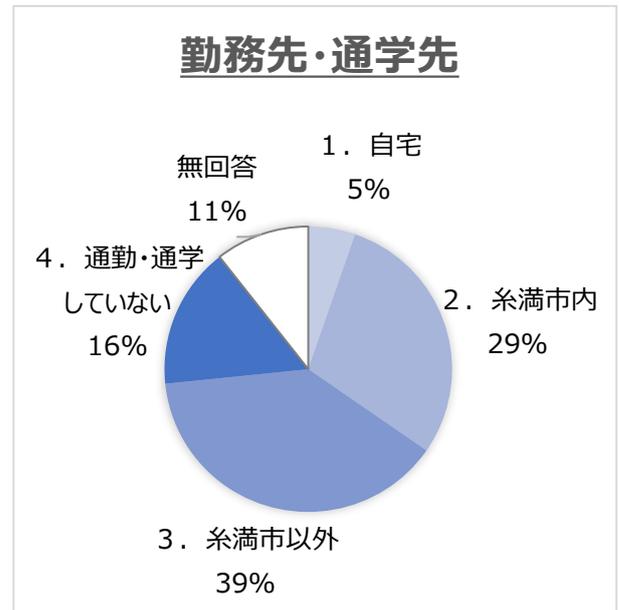
[問7]職業など

選択項目	回答数	比率
1. 正規の職員	191	32.6%
2. 派遣・嘱託・契約社員	77	13.1%
3. パート・アルバイトなど	93	15.9%
4. 自営業・家族従業者	40	6.8%
5. 家事専業	51	8.7%
6. 学生	11	1.9%
7. 今は働いていない	119	20.3%
無回答	4	0.7%
	586	100%



[問8]勤務先・通学先

選択項目	回答数	比率
1. 自宅	32	5.5%
2. 糸満市内	171	29.2%
3. 糸満市以外	227	38.7%
4. 通勤・通学していない	94	16.0%
無回答	62	10.6%
	586	100%



【「3. 糸満市以外」回答者内訳】

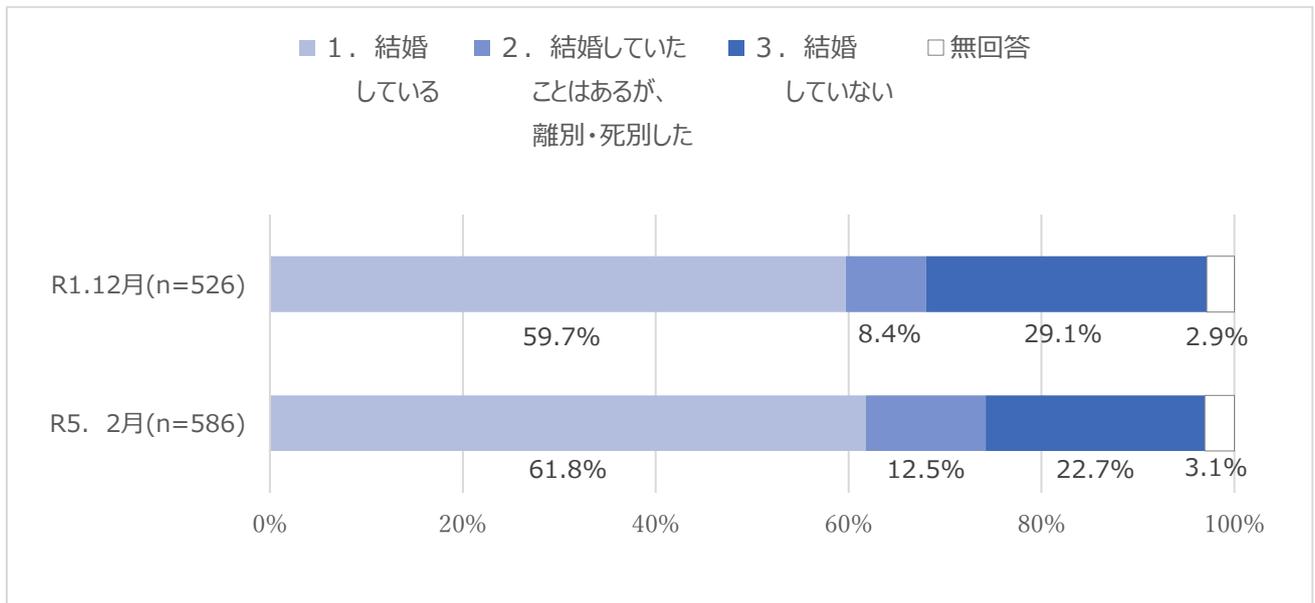
通勤・通学先 市町村名	回答数	比率	比率 (無回答除外)
那覇市	51	22%	48%
豊見城市	21	9%	20%
八重瀬町	8	4%	7%
南城市	7	3%	7%
浦添市	4	2%	4%
西原町	4	2%	4%
沖縄市	3	1%	3%
南風原町	3	1%	3%
宜野湾市	2	1%	2%
北谷町	2	1%	2%
嘉手納町	1	0%	1%
中城村	1	0%	1%
無回答	120	53%	-
	227	100%	100%

◆2. 結婚や子育て、仕事についてお伺いします。

問9. あなたは、結婚(事実婚を含む)していますか。(一つに○)

「1.結婚している」と答えた割合が61.8%と最も高く、次いで「3.結婚していない」22.7%、「2.結婚していたことはあるが、離別・死別した」12.5%となっている。

令和元年度(R1年12月)の調査と比較すると、「3.結婚していない」と答えた割合が29.1%から22.7%と6.4%減少している。

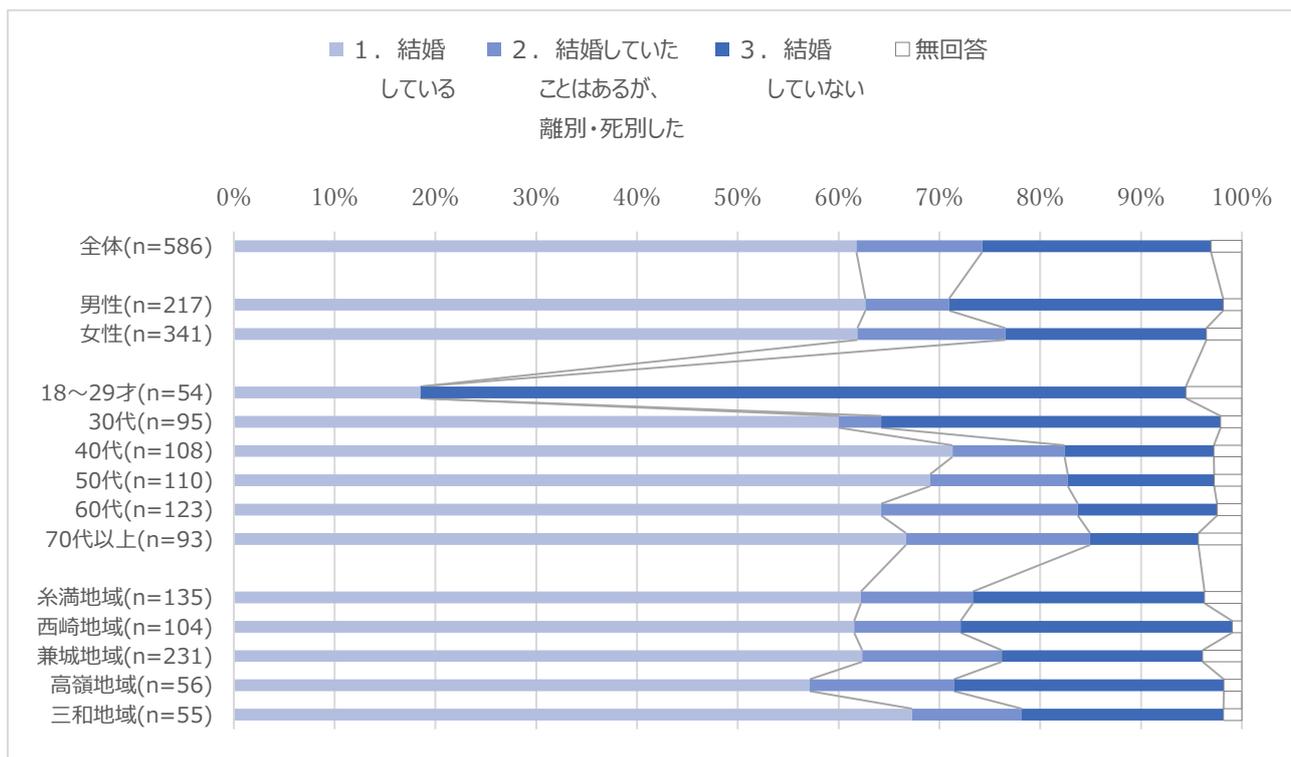


	R1.12月 (n=526)	R5. 2月 (n=586)
1. 結婚している	59.7%	61.8%
2. 結婚していたことはあるが、離別・死別した	8.4%	12.5%
3. 結婚していない	29.1%	22.7%
無回答	2.9%	3.1%

男女別では、「2.結婚していたことはあるが、離別・死別した」と答えた割合が男性8.3%に対して女性14.7%と女性が高く、逆に「3.結婚していない」と答えた割合が女性19.9%に対して男性27.2%と男性が高くなっている。

年代別では、「3.結婚していない」と答えた割合が、18～29才75.9%、30代33.7%(全体22.7%)と、他の年代よりも高くなっている。

地域別では、三和地域で「1.結婚している」と答えた割合が67.3%と最も高く、高嶺地域で57.1%と最も低くなっている。

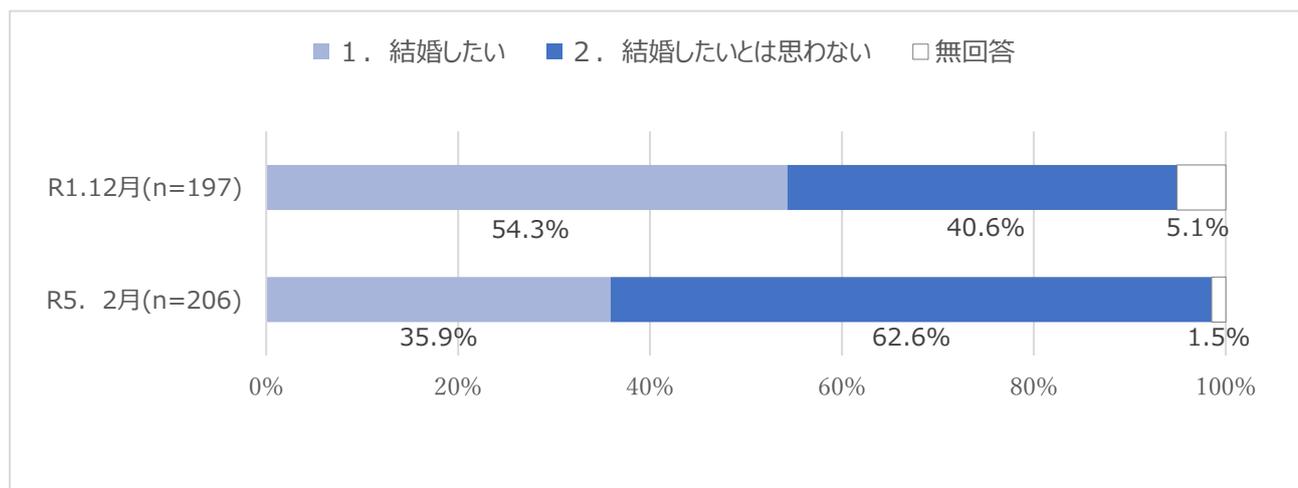


	1. 結婚している	2. 結婚していたことはあるが、離別・死別した	3. 結婚していない	無回答
全体(n=586)	61.8%	12.5%	22.7%	3.1%
男性(n=217)	62.7%	8.3%	27.2%	1.8%
女性(n=341)	61.9%	14.7%	19.9%	3.5%
18～29才(n=54)	18.5%	0.0%	75.9%	5.6%
30代(n=95)	60.0%	4.2%	33.7%	2.1%
40代(n=108)	71.3%	11.1%	14.8%	2.8%
50代(n=110)	69.1%	13.6%	14.5%	2.7%
60代(n=123)	64.2%	19.5%	13.8%	2.4%
70代以上(n=93)	66.7%	18.3%	10.8%	4.3%
糸満地域(n=135)	62.2%	11.1%	23.0%	3.7%
西崎地域(n=104)	61.5%	10.6%	26.9%	1.0%
兼城地域(n=231)	62.3%	13.9%	19.9%	3.9%
高嶺地域(n=56)	57.1%	14.3%	26.8%	1.8%
三和地域(n=55)	67.3%	10.9%	20.0%	1.8%

問 10. (結婚していない方に伺います。) 今後、結婚したいと思いますか。(一つに〇)

「2.結婚したいとは思わない」と答えた割合が62.6%と、「1.結婚したい」と答えた割合35.9%を上回っている。

令和元年度(R1年12月)の調査と比較すると、「2.結婚したいとは思わない」と答えた割合が40.6%から62.6%と22%増加し、「1.結婚したい」と答えた割合が54.3%から35.9%と18.4%減少している。

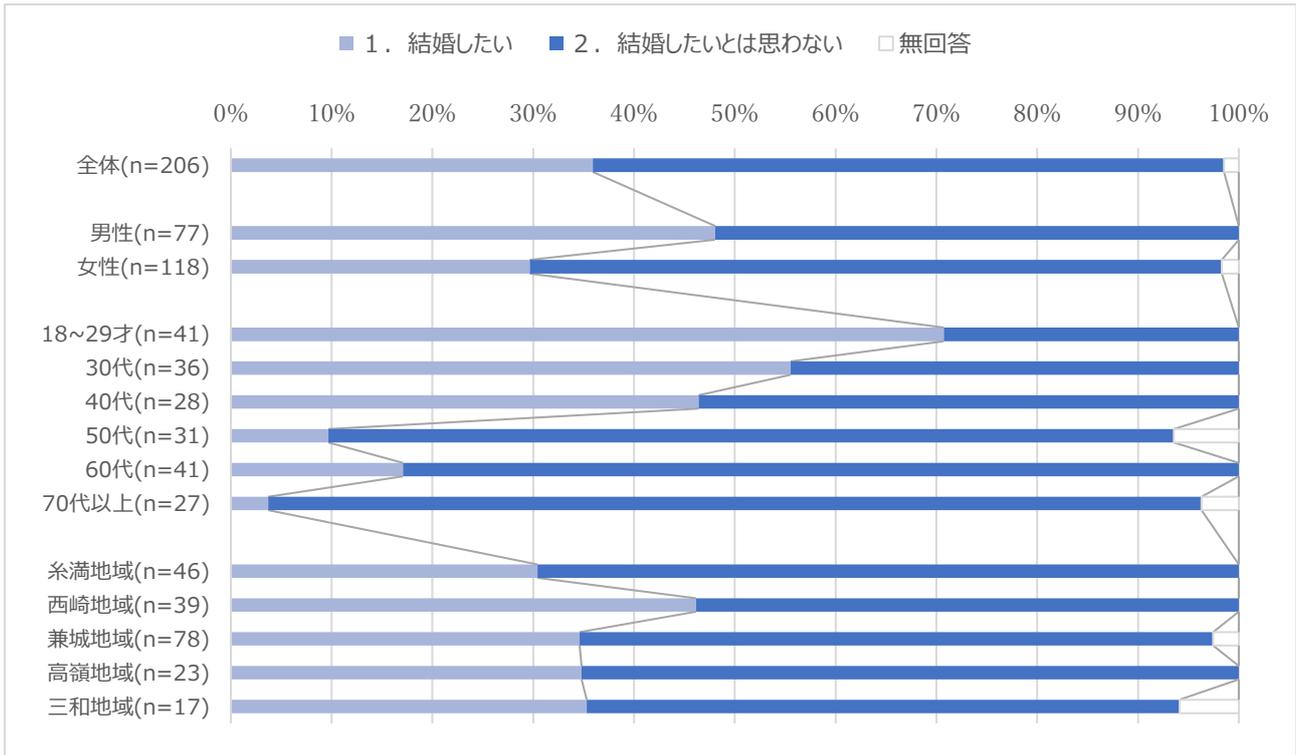


	R1.12月 (n=197)	R5.2月 (n=206)
1. 結婚したい	54.3%	35.9%
2. 結婚したいとは思わない	40.6%	62.6%
無回答	5.1%	1.5%

男女別では、「2.結婚したいとは思わない」と答えた割合が男性51.9%に対して女性68.6%と女性が高く、逆に「1.結婚したい」と答えた割合が女性29.7%に対して男性48.1%と男性が高くなっている。

年代別では、各年代のサンプル数が概ね40以下であることに留意する必要があるが、「1.結婚したい」と答えた割合が40代以下では概ね半数以上(40代46.4%、30代55.6%、18~29才70.7%)に対して、50代以上では20%以下(50代9.7%、60代17.1%、70代以上3.7%)となっている。

地域別では、「1.結婚したい」と答えた割合が西崎地域で46.2%と最も高く、糸満地域で30.4%と最も低くなっている。



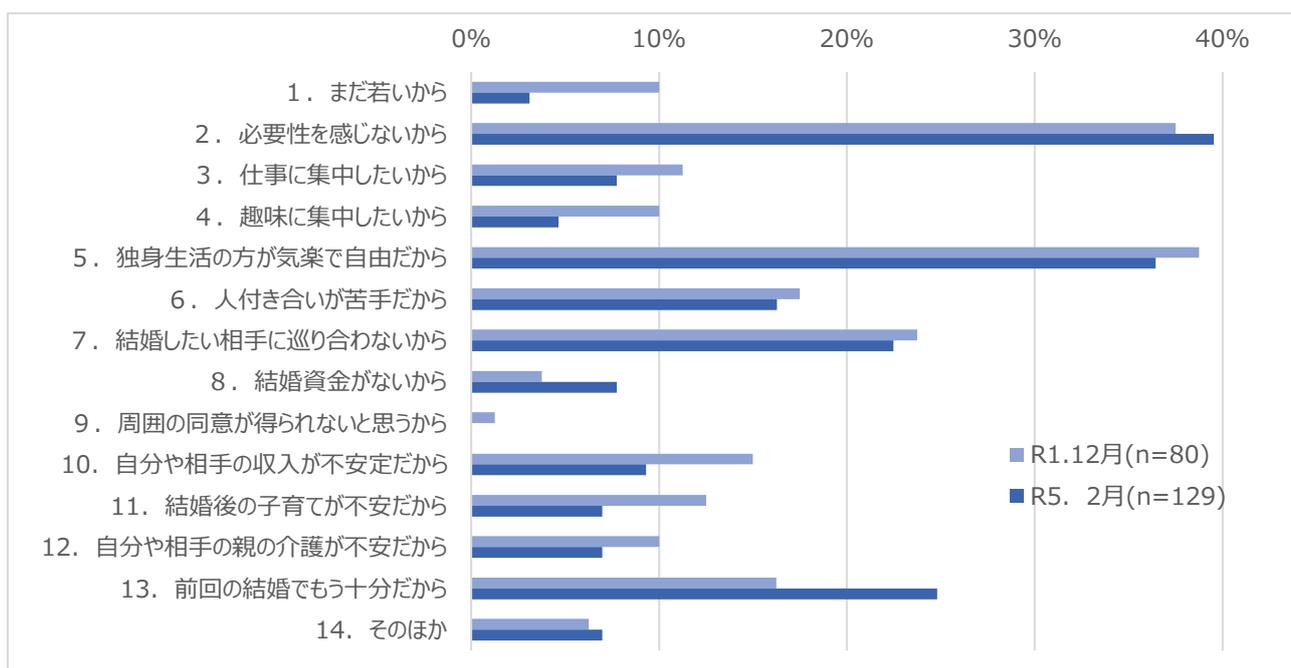
	1. 結婚したい	2. 結婚したいとは思わない	無回答
全体(n=206)	35.9%	62.6%	1.5%
男性(n=77)	48.1%	51.9%	0.0%
女性(n=118)	29.7%	68.6%	1.7%
18~29才(n=41)	70.7%	29.3%	0.0%
30代(n=36)	55.6%	44.4%	0.0%
40代(n=28)	46.4%	53.6%	0.0%
50代(n=31)	9.7%	83.9%	6.5%
60代(n=41)	17.1%	82.9%	0.0%
70代以上(n=27)	3.7%	92.6%	3.7%
糸満地域(n=46)	30.4%	69.6%	0.0%
西崎地域(n=39)	46.2%	53.8%	0.0%
兼城地域(n=78)	34.6%	62.8%	2.6%
高嶺地域(n=23)	34.8%	65.2%	0.0%
三和地域(n=17)	35.3%	58.8%	5.9%

問 11.「結婚したいとは思わない」を選択した方は、その理由を教えてください。

(当てはまるものすべてに○)

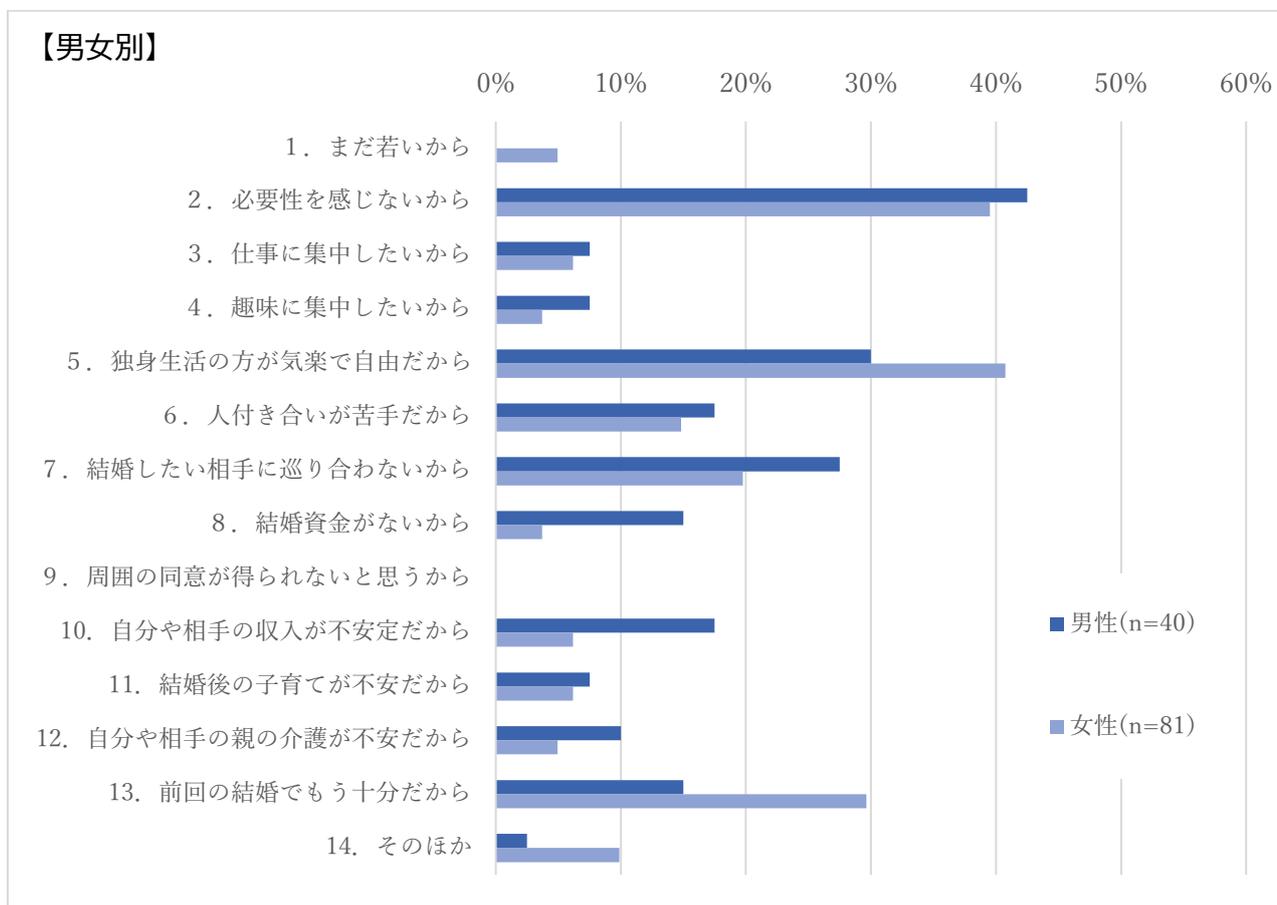
「2.必要性を感じない」と答えた割合が39.5%、次いで「5.独身生活の方が気楽で自由だから」36.4%、「13.前回の結婚でもう十分だから」24.8%、「7.結婚したい相手に巡り合わないから」22.5%となっている。

令和元年度(R1年12月)の調査と比較すると、「13.前回の結婚でもう十分だから」と答えた割合が16.3%から24.8%と8.6%増加している。また、「1.まだ若いから」と答えた割合が10.0%から3.1%と6.9%減少している他、「10.自分や相手の収入が不安定だから」と答えた割合も15.0%から9.3%と5.7%減少しており、「11.結婚後の子育てが不安だから」と答えた割合も12.5%から7.0%と5.5%減少している。



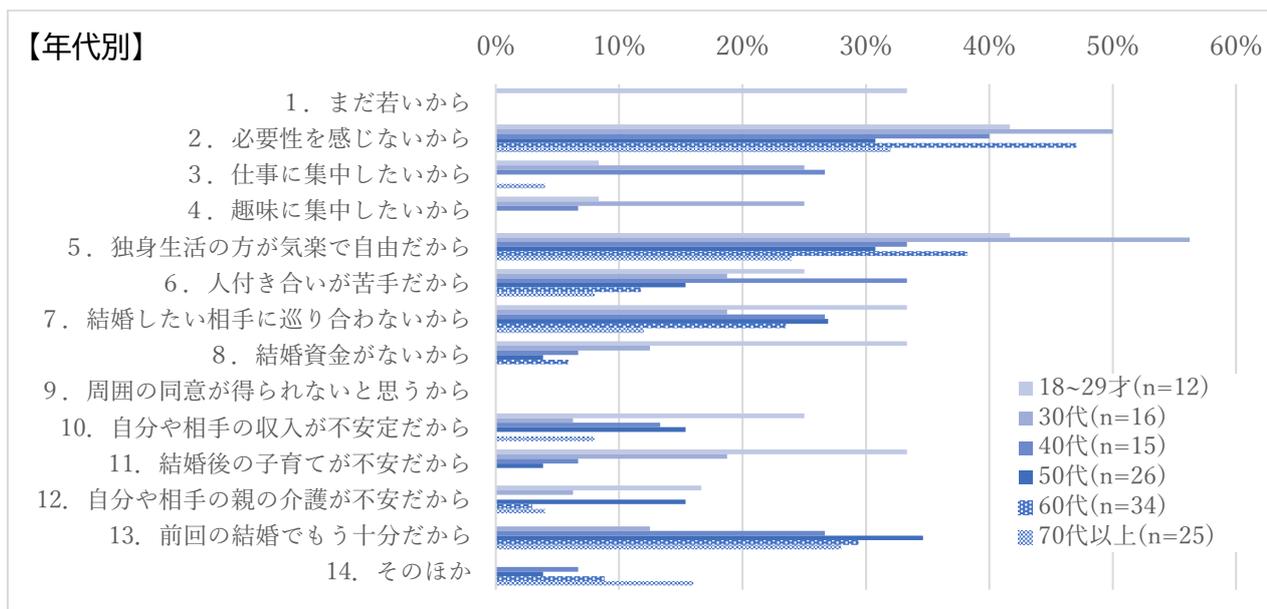
	R1.12月(n=80)	R5.2月(n=129)
1. まだ若いから	10.0%	3.1%
2. 必要性を感じないから	37.5%	39.5%
3. 仕事に集中したいから	11.3%	7.8%
4. 趣味に集中したいから	10.0%	4.7%
5. 独身生活の方が気楽で自由だから	38.8%	36.4%
6. 人付き合いが苦手だから	17.5%	16.3%
7. 結婚したい相手に巡り合わないから	23.8%	22.5%
8. 結婚資金がないから	3.8%	7.8%
9. 周囲の同意が得られないと思うから	1.3%	0.0%
10. 自分や相手の収入が不安定だから	15.0%	9.3%
11. 結婚後の子育てが不安だから	12.5%	7.0%
12. 自分や相手の親の介護が不安だから	10.0%	7.0%
13. 前回の結婚でもう十分だから	16.3%	24.8%
14. そのほか	6.3%	7.0%
無回答	5.0%	4.7%

男女別では、「13.前回の結婚でもう十分だから」と答えた割合が男性15.0%に対して女性29.6%と女性が高く、また、5.独身生活の方が気楽で自由だから」と答えた割合も男性30.0%に対して女性40.7%と女性が高くなっている。一方で、男性が高い項目としては「8.結婚資金がないから」男性15.0%、女性3.7%、「10.自分や相手の収入が不安定だから」男性17.5%、女性6.2%となっている。



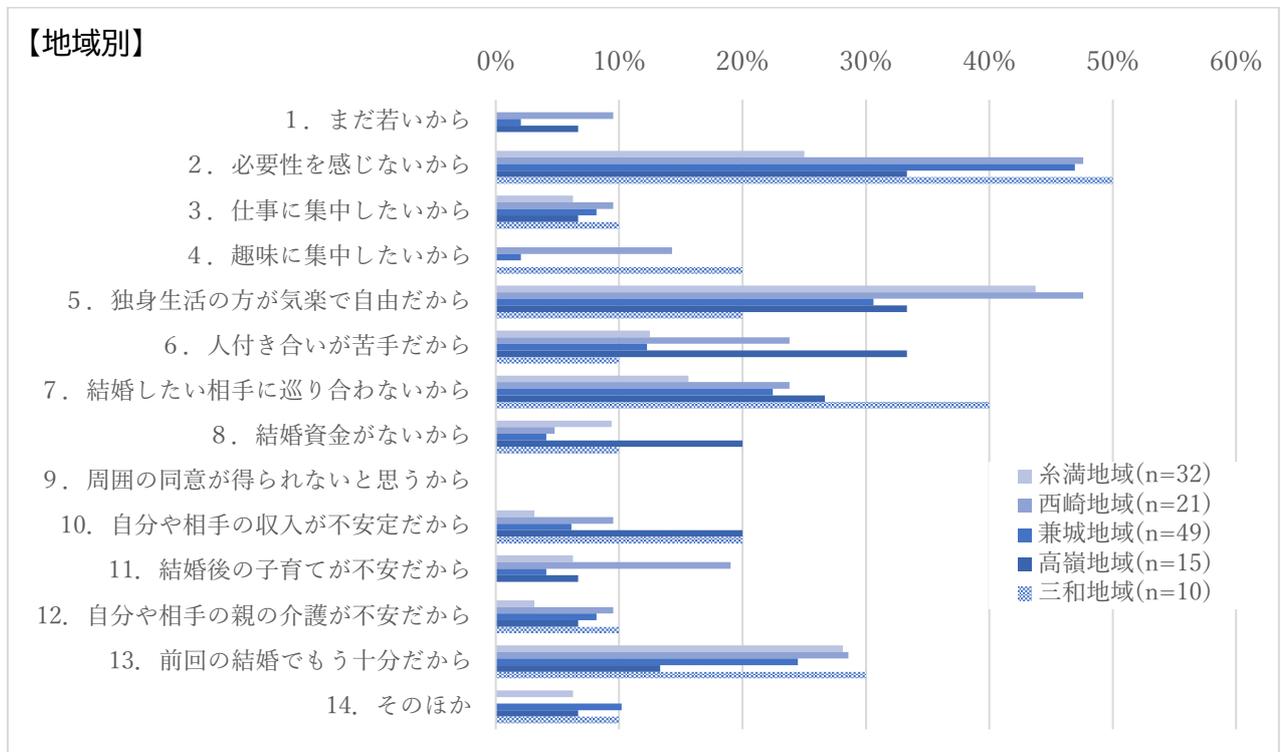
	男性 (n=40)	女性 (n=81)
1. まだ若いから	0.0%	4.9%
2. 必要性を感じないから	42.5%	39.5%
3. 仕事に集中したいから	7.5%	6.2%
4. 趣味に集中したいから	7.5%	3.7%
5. 独身生活の方が気楽で自由だから	30.0%	40.7%
6. 人付き合いが苦手だから	17.5%	14.8%
7. 結婚したい相手に巡り合わないから	27.5%	19.8%
8. 結婚資金がないから	15.0%	3.7%
9. 周囲の同意が得られないと思うから	0.0%	0.0%
10. 自分や相手の収入が不安定だから	17.5%	6.2%
11. 結婚後の子育てが不安だから	7.5%	6.2%
12. 自分や相手の親の介護が不安だから	10.0%	4.9%
13. 前回の結婚でもう十分だから	15.0%	29.6%
14. そのほか	2.5%	9.9%
無回答	0.0%	0.0%

年代別では、各年代のサンプル数が40以下であることに留意する必要があるが、18～29 才では「5.独身生活の方が気楽で自由だから」41.7%、「1.まだ若いから」33.3%、「7.結婚したい相手に巡り合わないから」33.3%、「8.結婚資金がないから」33.3%、「11.結婚後の子育てが不安だから」33.3%、「10.自分や相手の収入が不安定だから」25.0%といった項目が他の年代に比べて高くなっている。また、30代においては、「5.独身生活の方が気楽で自由だから」56.3%、「2.必要性を感じないから」50.0%、「3.仕事に集中したいから」25.0%、「4.趣味に集中したいから」25.0%といった項目が他の年代よりも高くなっている。



	18~29才(n=12)	30代(n=16)	40代(n=15)	50代(n=26)	60代(n=34)	70代以上(n=25)
1. まだ若いから	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2. 必要性を感じないから	41.7%	50.0%	40.0%	30.8%	47.1%	32.0%
3. 仕事に集中したいから	8.3%	25.0%	26.7%	0.0%	0.0%	4.0%
4. 趣味に集中したいから	8.3%	25.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%
5. 独身生活の方が気楽で自由だから	41.7%	56.3%	33.3%	30.8%	38.2%	24.0%
6. 人付き合いが苦手だから	25.0%	18.8%	33.3%	15.4%	11.8%	8.0%
7. 結婚したい相手に巡り合わないから	33.3%	18.8%	26.7%	26.9%	23.5%	12.0%
8. 結婚資金がないから	33.3%	12.5%	6.7%	3.8%	5.9%	0.0%
9. 周囲の同意が得られないと思うから	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10. 自分や相手の収入が不安定だから	25.0%	6.3%	13.3%	15.4%	0.0%	8.0%
11. 結婚後の子育てが不安だから	33.3%	18.8%	6.7%	3.8%	0.0%	0.0%
12. 自分や相手の親の介護が不安だから	16.7%	6.3%	0.0%	15.4%	2.9%	4.0%
13. 前回の結婚でもう十分だから	0.0%	12.5%	26.7%	34.6%	29.4%	28.0%
14. そのほか	0.0%	0.0%	6.7%	3.8%	8.8%	16.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

地域別では、兼城地域を除く地域ではサンプル数が概ね30以下であることに留意する必要があるが、「5. 独身生活の方が気楽で自由だから」と答えた割合が糸満地域で43.8%、西崎地域で47.6%と他の地域(20.0%~33.3%)より高くなっている。また、「7. 結婚したい相手に巡り合わないから」と答えた割合が三和地域で40.0%と他の地域(15.6%~26.7%)よりも高くなっている。



	糸満地域 (n=32)	西崎地域 (n=21)	兼城地域 (n=49)	高嶺地域 (n=15)	三和地域 (n=10)
1. まだ若いから	0.0%	9.5%	2.0%	6.7%	0.0%
2. 必要性を感じないから	25.0%	47.6%	46.9%	33.3%	50.0%
3. 仕事に集中したいから	6.3%	9.5%	8.2%	6.7%	10.0%
4. 趣味に集中したいから	0.0%	14.3%	2.0%	0.0%	20.0%
5. 独身生活の方が気楽で自由だから	43.8%	47.6%	30.6%	33.3%	20.0%
6. 人付き合いが苦手だから	12.5%	23.8%	12.2%	33.3%	10.0%
7. 結婚したい相手に巡り合わないから	15.6%	23.8%	22.4%	26.7%	40.0%
8. 結婚資金がないから	9.4%	4.8%	4.1%	20.0%	10.0%
9. 周囲の同意が得られないと思うから	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10. 自分や相手の収入が不安定だから	3.1%	9.5%	6.1%	20.0%	20.0%
11. 結婚後の子育てが不安だから	6.3%	19.0%	4.1%	6.7%	0.0%
12. 自分や相手の親の介護が不安だから	3.1%	9.5%	8.2%	6.7%	10.0%
13. 前回の結婚でもう十分だから	28.1%	28.6%	24.5%	13.3%	30.0%
14. そのほか	6.3%	0.0%	10.2%	6.7%	10.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

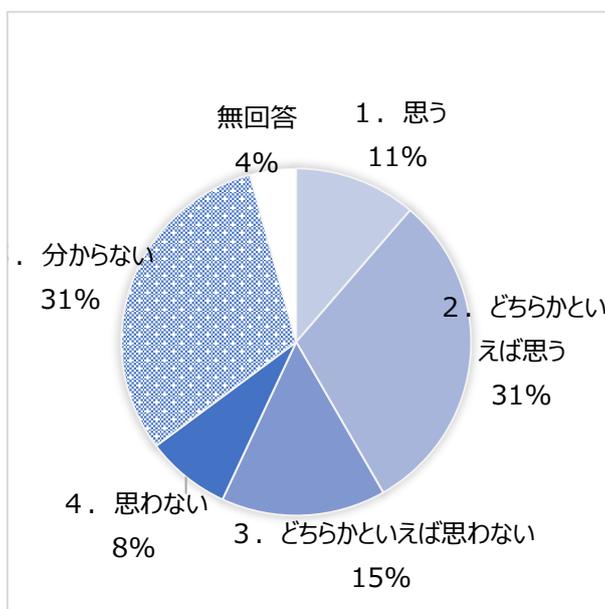
問 12. 糸満市は、子育てがしやすいまちだと思いますか。(一つに○)

「5.分からない」と答えた割合が31.1%と最も高く、次いで「2.どちらかといえば思う」と答えた割合30.4%となっている。

思うと答えた割合(「思う」「どちらかといえば思う」の合計)は41.6%と、思わないと答えた割合(「どちらかといえば思わない」「思わない」の合計)23.0%よりも高くなっている。

選択項目	回答数	比率
思う (1. 思う+ 2. どちらかといえば思う)	244	41.6%
思わない (3. どちらかといえば思わない +4. 思わない)	135	23.0%
5. 分からない	182	31.1%
無回答	25	4.3%
	586	100%

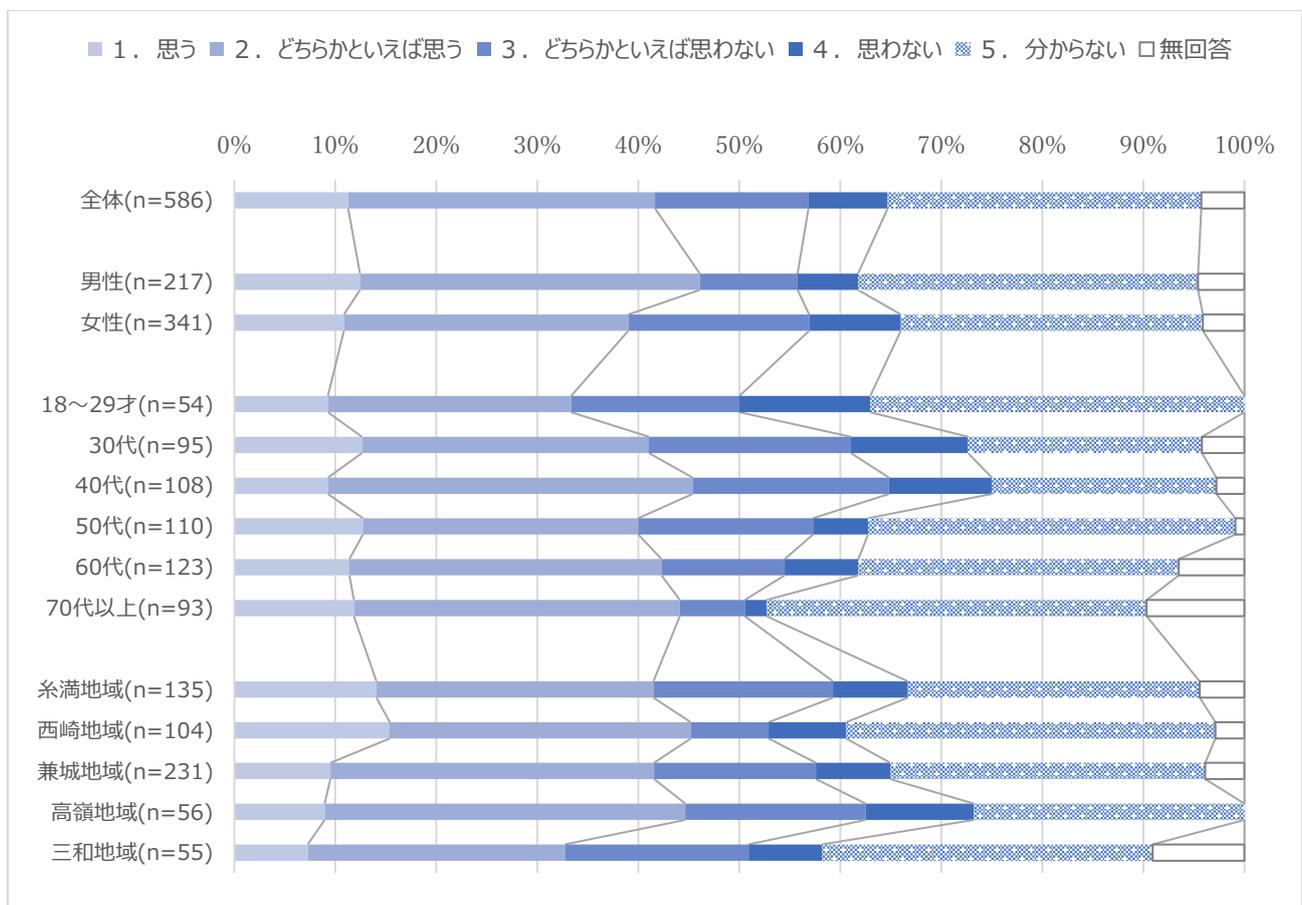
選択項目	回答数	比率
1. 思う	66	11.3%
2. どちらかといえば思う	178	30.4%
3. どちらかといえば思わない	89	15.2%
4. 思わない	46	7.8%
5. 分からない	182	31.1%
無回答	25	4.3%
	586	100%



男女別では、思わないと答えた割合(「どちらかといえば思わない」「思わない」の合計)が男性は15.7%に対し、女性は27.0%と女性が高くなっている。

年代別では、思うと答えた割合(「思う」「どちらかといえば思う」の合計)が、18~29才で33.3%と他の年代に比べて低くなっている。また、思わないと答えた割合(「どちらかといえば思わない」「思わない」の合計)が、40代未満では約3割(18~29才29.6%、30代31.6%、40代29.6%)と他の年代(70代以上8.6%~50代22.7%)に比べて高くなっている。

地域別では、思うと答えた割合(「思う」「どちらかといえば思う」の合計)が三和地域で32.7%と他の地域(41.6%~45.2%)に比べて低くなっている。また、思わないと答えた割合(「どちらかといえば思わない」「思わない」の合計)が西崎地域では15.4%と他の地域(23.4%~28.6%)よりも低くなっている。



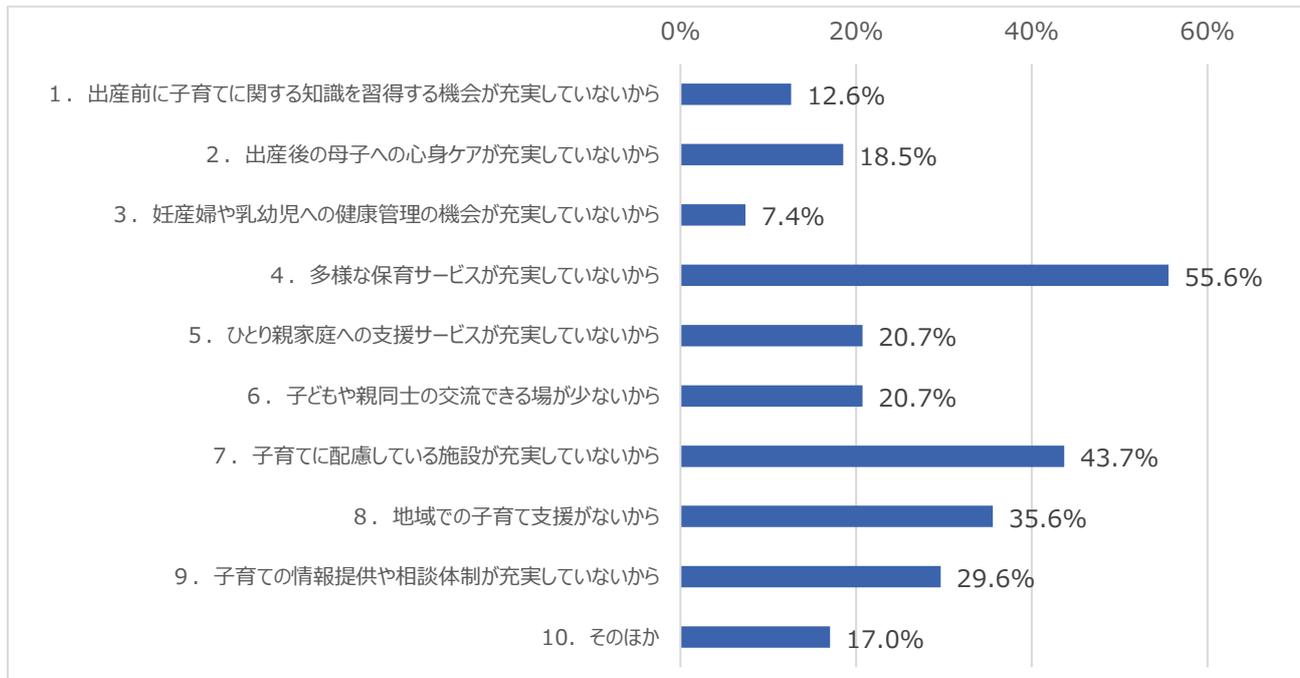
	思う 【「1. 思う」+「2. どちらかといえば思う」】	思わない 【「3. どちらかといえば思わない」+「4. 思わない」】	5. 分からない	無回答
全体(n=586)	41.6%	23.0%	31.1%	4.3%
男性(n=217)	46.1%	15.7%	33.6%	4.6%
女性(n=341)	39.0%	27.0%	29.9%	4.1%
18~29才(n=54)	33.3%	29.6%	37.0%	0.0%
30代(n=95)	41.1%	31.6%	23.2%	4.2%
40代(n=108)	45.4%	29.6%	22.2%	2.8%
50代(n=110)	40.0%	22.7%	36.4%	0.9%
60代(n=123)	42.3%	19.5%	31.7%	6.5%
70代以上(n=93)	44.1%	8.6%	37.6%	9.7%
糸満地域(n=135)	41.5%	25.2%	28.9%	4.4%
西崎地域(n=104)	45.2%	15.4%	36.5%	2.9%
兼城地域(n=231)	41.6%	23.4%	31.2%	3.9%
高嶺地域(n=56)	44.6%	28.6%	26.8%	0.0%
三和地域(n=55)	32.7%	25.5%	32.7%	9.1%

※上表の「1. 思う」「2. どちらかといえば思う」の合計等において、小数点第1位のみの数値の合計では計算結果が異なる項目があることから、下表は小数点第2位の数値を記載しています。

	1. 思う	2. どちらかといえば思う	3. どちらかといえば思わない	4. 思わない	5. 分からない	無回答
全体(n=586)	11.26%	30.38%	15.19%	7.85%	31.06%	4.27%
男性(n=217)	12.44%	33.64%	9.68%	5.99%	33.64%	4.61%
女性(n=341)	10.85%	28.15%	17.89%	9.09%	29.91%	4.11%
18~29才(n=54)	9.26%	24.07%	16.67%	12.96%	37.04%	0.00%
30代(n=95)	12.63%	28.42%	20.00%	11.58%	23.16%	4.21%
40代(n=108)	9.26%	36.11%	19.44%	10.19%	22.22%	2.78%
50代(n=110)	12.73%	27.27%	17.27%	5.45%	36.36%	0.91%
60代(n=123)	11.38%	30.89%	12.20%	7.32%	31.71%	6.50%
70代以上(n=93)	11.83%	32.26%	6.45%	2.15%	37.63%	9.68%
糸満地域(n=135)	14.07%	27.41%	17.78%	7.41%	28.89%	4.44%
西崎地域(n=104)	15.38%	29.81%	7.69%	7.69%	36.54%	2.88%
兼城地域(n=231)	9.52%	32.03%	16.02%	7.36%	31.17%	3.90%
高嶺地域(n=56)	8.93%	35.71%	17.86%	10.71%	26.79%	0.00%
三和地域(n=55)	7.27%	25.45%	18.18%	7.27%	32.73%	9.09%

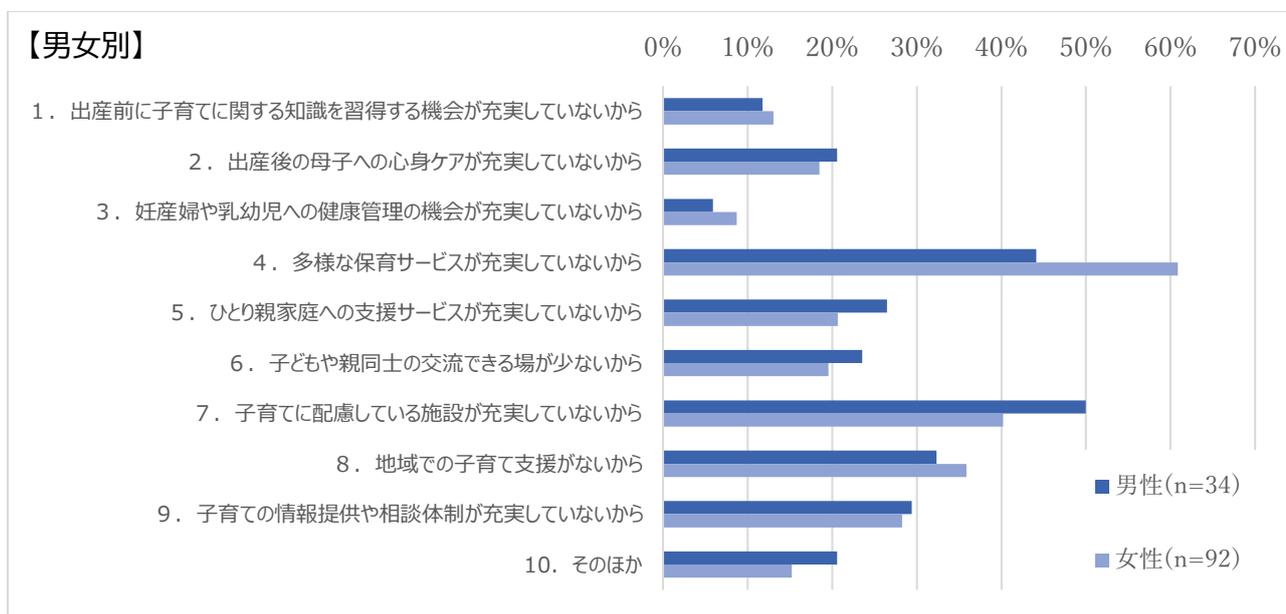
問 13.「どちらかといえば思わない」、「思わない」を選択した方は、その理由を教えてください。(当てはまるものすべてに○)

「4.多様な保育サービスが充実していないから」と答えた割合が55.6%と最も高く、次いで「7.子育てに配慮している施設が充実していないから」43.7%、「8.地域での子育て支援がないから」35.6%となっている。



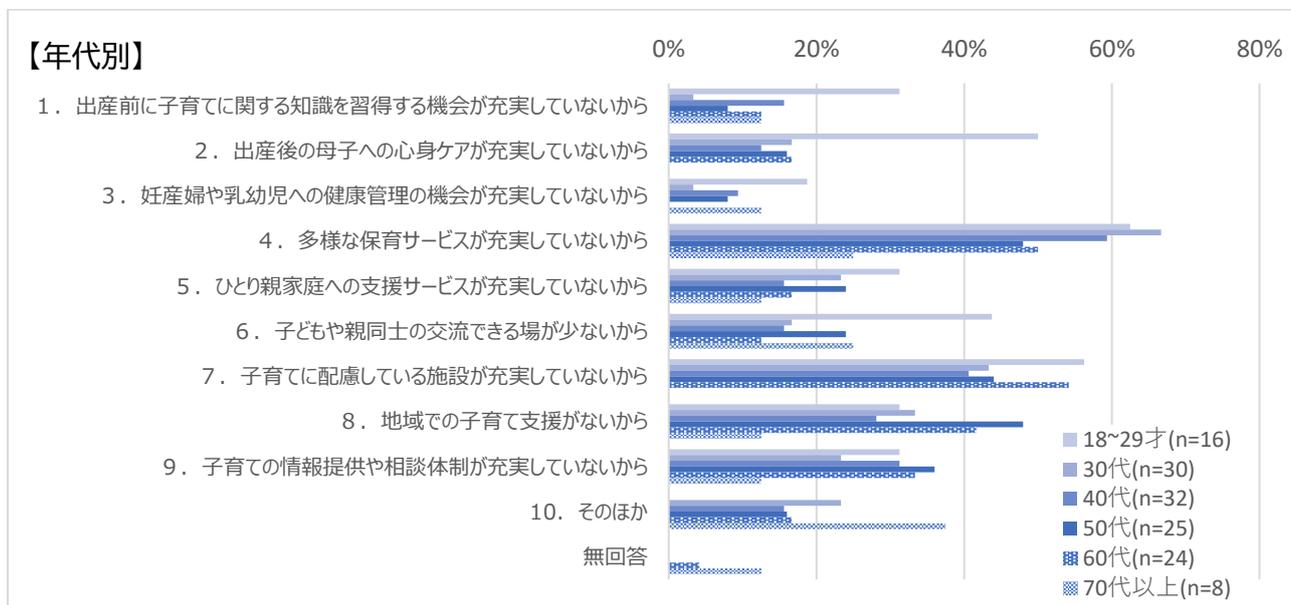
選択項目	回答数	比率 (n=135)
1. 出産前に子育てに関する知識を習得する機会が充実していないから	17	12.6%
2. 出産後の母子への心身ケアが充実していないから	25	18.5%
3. 妊産婦や乳幼児への健康管理の機会が充実していないから	10	7.4%
4. 多様な保育サービスが充実していないから	75	55.6%
5. ひとり親家庭への支援サービスが充実していないから	28	20.7%
6. 子どもや親同士の交流できる場が少ないから	28	20.7%
7. 子育てに配慮している施設が充実していないから	59	43.7%
8. 地域での子育て支援がないから	48	35.6%
9. 子育ての情報提供や相談体制が充実していないから	40	29.6%
10. そのほか	23	17.0%
無回答	2	1.5%

男女別では、「4. 多様な保育サービスが充実していないから」と答えた割合が、男性44.1%に対して女性60.9%と女性が高くなっている。一方で、「7. 子育てに配慮している施設が充実していないから」と答えた割合は、男性50.0%、女性40.2%と男性が高くなっている。



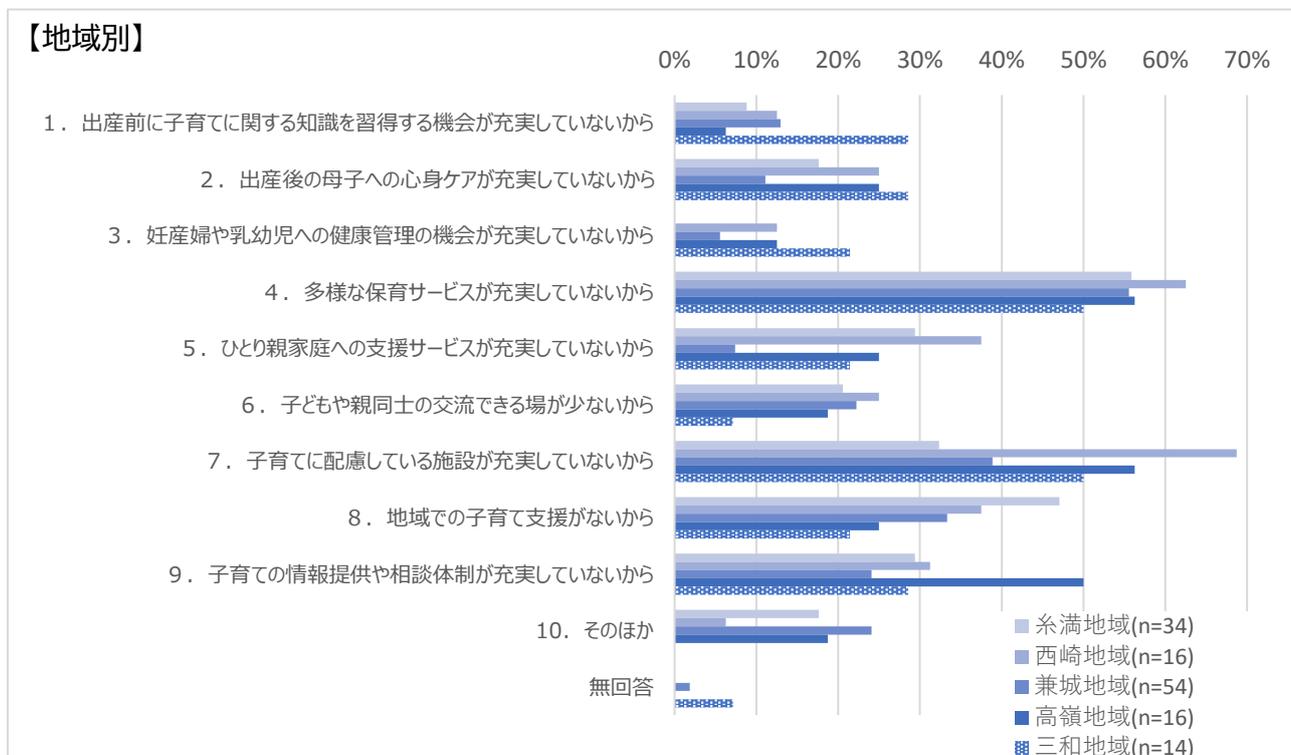
	男性 (n=34)	女性 (n=92)
1. 出産前に子育てに関する知識を習得する機会が充実していないから	11.8%	13.0%
2. 出産後の母子への心身ケアが充実していないから	20.6%	18.5%
3. 妊産婦や乳幼児への健康管理の機会が充実していないから	5.9%	8.7%
4. 多様な保育サービスが充実していないから	44.1%	60.9%
5. ひとり親家庭への支援サービスが充実していないから	26.5%	20.7%
6. 子どもや親同士の交流できる場が少ないから	23.5%	19.6%
7. 子育てに配慮している施設が充実していないから	50.0%	40.2%
8. 地域での子育て支援がないから	32.4%	35.9%
9. 子育ての情報提供や相談体制が充実していないから	29.4%	28.3%
10. そのほか	20.6%	15.2%
無回答	2.9%	0.0%

年代別では、各年代のサンプル数が約30以下であることに留意する必要があるが、18～29才では「1. 出産前に子育てに関する知識を習得する機会が充実していないから」31.3%(全体12.6%)、「2. 出産後の母子への心身ケアが充実していないから」50.0%(全体18.5%)、「6. 子どもや親同士の交流できる場が少ないから」43.8%(全体20.7%)等の項目が他の年代に比べて高くなっている。



	18~29才 (n=16)	30代 (n=30)	40代 (n=32)	50代 (n=25)	60代 (n=24)	70代以上 (n=8)
1. 出産前に子育てに関する知識を習得する機会が充実していないから	31.3%	3.3%	15.6%	8.0%	12.5%	12.5%
2. 出産後の母子への心身ケアが充実していないから	50.0%	16.7%	12.5%	16.0%	16.7%	0.0%
3. 妊産婦や乳幼児への健康管理の機会が充実していないから	18.8%	3.3%	9.4%	8.0%	0.0%	12.5%
4. 多様な保育サービスが充実していないから	62.5%	66.7%	59.4%	48.0%	50.0%	25.0%
5. ひとり親家庭への支援サービスが充実していないから	31.3%	23.3%	15.6%	24.0%	16.7%	12.5%
6. 子どもや親同士の交流できる場が少ないから	43.8%	16.7%	15.6%	24.0%	12.5%	25.0%
7. 子育てに配慮している施設が充実していないから	56.3%	43.3%	40.6%	44.0%	54.2%	0.0%
8. 地域での子育て支援がないから	31.3%	33.3%	28.1%	48.0%	41.7%	12.5%
9. 子育ての情報提供や相談体制が充実していないから	31.3%	23.3%	31.3%	36.0%	33.3%	12.5%
10. そのほか	0.0%	23.3%	15.6%	16.0%	16.7%	37.5%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	12.5%

地域別では、西崎・高嶺・三和地域ではサンプル数20以下である点に留意する必要があるが、「7. 子育てに配慮している施設が充実していないから」と答えた割合が西崎地域では68.8%(全体43.7%)と他の地域に比べて高くなっている。また、「9. 子育ての情報提供や相談体制が充実していないから」と答えた割合が高嶺地域で50.0%(全体29.6%)と他の地域に比べて高くなっている。



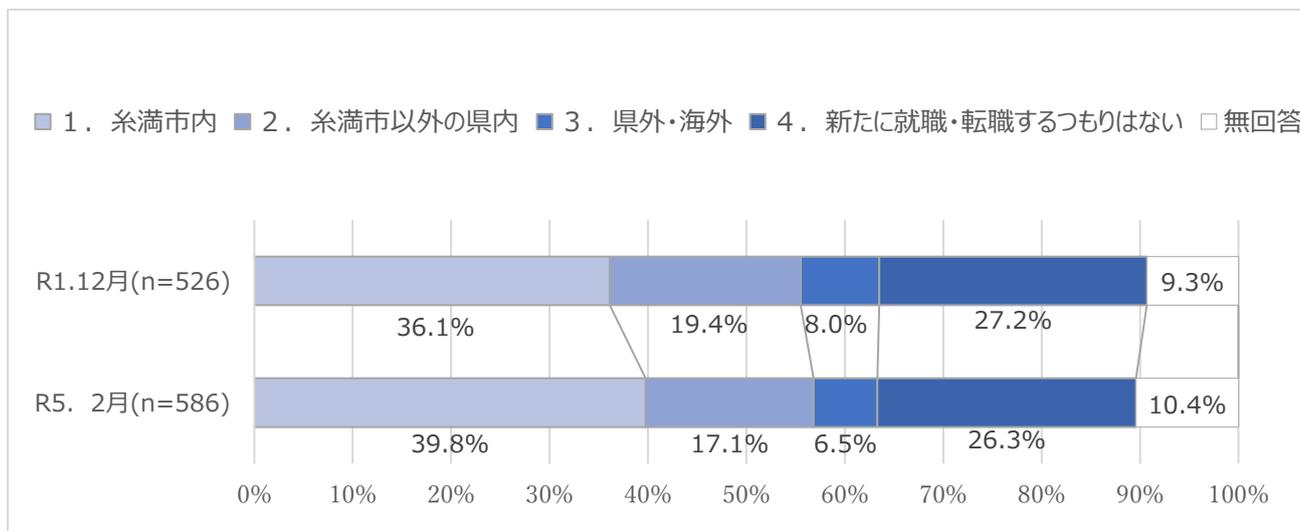
	糸満地域 (n=34)	西崎地域 (n=16)	兼城地域 (n=54)	高嶺地域 (n=16)	三和地域 (n=14)
1. 出産前に子育てに関する知識を習得する機会が充実していないから	8.8%	12.5%	13.0%	6.3%	28.6%
2. 出産後の母子への心身ケアが充実していないから	17.6%	25.0%	11.1%	25.0%	28.6%
3. 妊産婦や乳幼児への健康管理の機会が充実していないから	0.0%	12.5%	5.6%	12.5%	21.4%
4. 多様な保育サービスが充実していないから	55.9%	62.5%	55.6%	56.3%	50.0%
5. ひとり親家庭への支援サービスが充実していないから	29.4%	37.5%	7.4%	25.0%	21.4%
6. 子どもや親同士の交流できる場が少ないから	20.6%	25.0%	22.2%	18.8%	7.1%
7. 子育てに配慮している施設が充実していないから	32.4%	68.8%	38.9%	56.3%	50.0%
8. 地域での子育て支援がないから	47.1%	37.5%	33.3%	25.0%	21.4%
9. 子育ての情報提供や相談体制が充実していないから	29.4%	31.3%	24.1%	50.0%	28.6%
10. そのほか	17.6%	6.3%	24.1%	18.8%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	7.1%

問 14. 今後、就職または転職するとした場合、どこで就業したいと思いますか。(一つに〇)

「1. 糸満市内」と答えた割合が39.8%と最も高く、次いで「4. 新たに就職・転職するつもりはない」26.3%、「2. 糸満市以外の県内」17.1%となっている。

なお、「2. 糸満市以外の県内」と答えた 100 件のうち 22 件に具体的な自治体名の記載があるが、那覇市 10 件(45.5%)、豊見城市5件(22.7%)、浦添市3件(13.6%)と南部圏域の市が大半となっている。

令和元年度(R1年12月)の調査と比較すると、概ね同じような傾向となっている。



	R1.12月 (n=526)	R5. 2月 (n=585)
1. 糸満市内	36.1%	39.8%
2. 糸満市以外の県内	19.4%	17.1%
3. 県外・海外	8.0%	6.5%
4. 新たに就職・転職するつもりはない	27.2%	26.3%
無回答	9.3%	10.4%

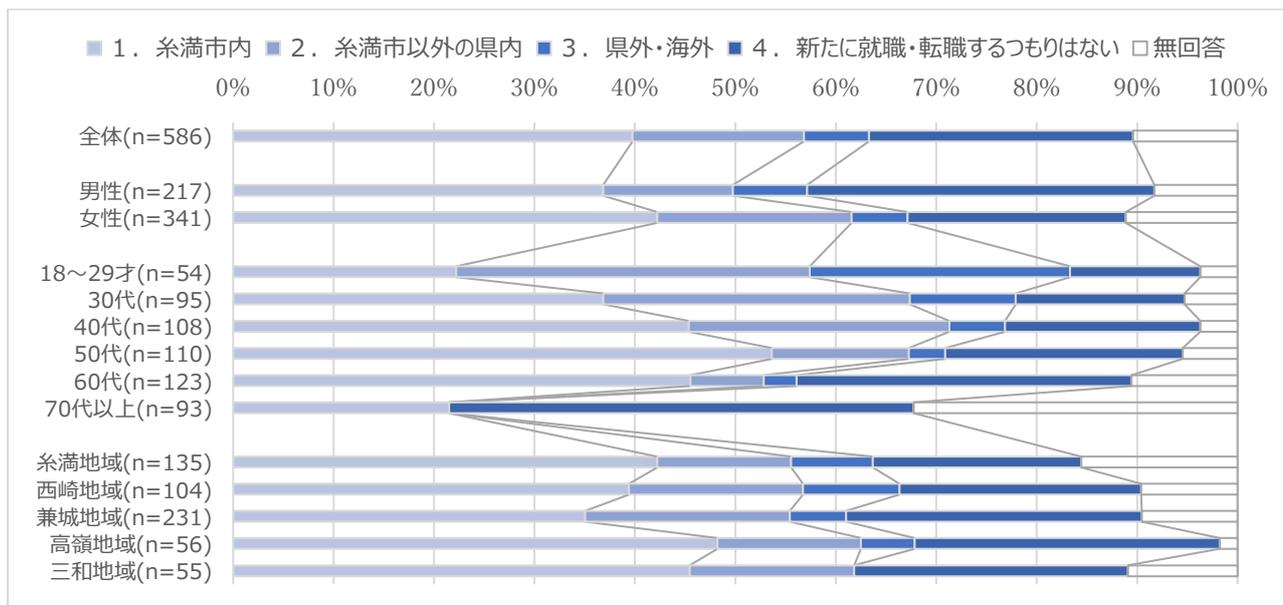
【2. 糸満市以外の県内自治体 記載内容】

	回答数	割合	割合 (無回答除く 22件)
那覇市	10	10.0%	45.5%
豊見城市	5	5.0%	22.7%
浦添市	3	3.0%	13.6%
南城市	1	1.0%	4.5%
沖縄市	1	1.0%	4.5%
北谷町	1	1.0%	4.5%
豊見城市、 八重瀬町	1	1.0%	4.5%
無回答	78	78.0%	—
	100		

男女別では、「4. 新たに就職・転職するつもりはない」と答えた割合が男性34.6%、女性21.7%と男性が高くなっているが、「2. 糸満市以外の県内」と答えた割合は男性12.9%、女性19.4%と女性が高くなっている。

年代別では、今後の就職・転職において糸満市以外で就業したいと思っている割合が、18～29才では61.1%、30代でも41.1%(全体23.5%)と、他の年代と比べて高くなっている。

地域別では、三和地域では「3. 県外・海外」と答えた割合が0%と最も低くなっている。また、「1. 糸満市内」と答えた割合が兼城地域で35.1%と最も低く、高嶺地域で48.2%と最も高くなっている。



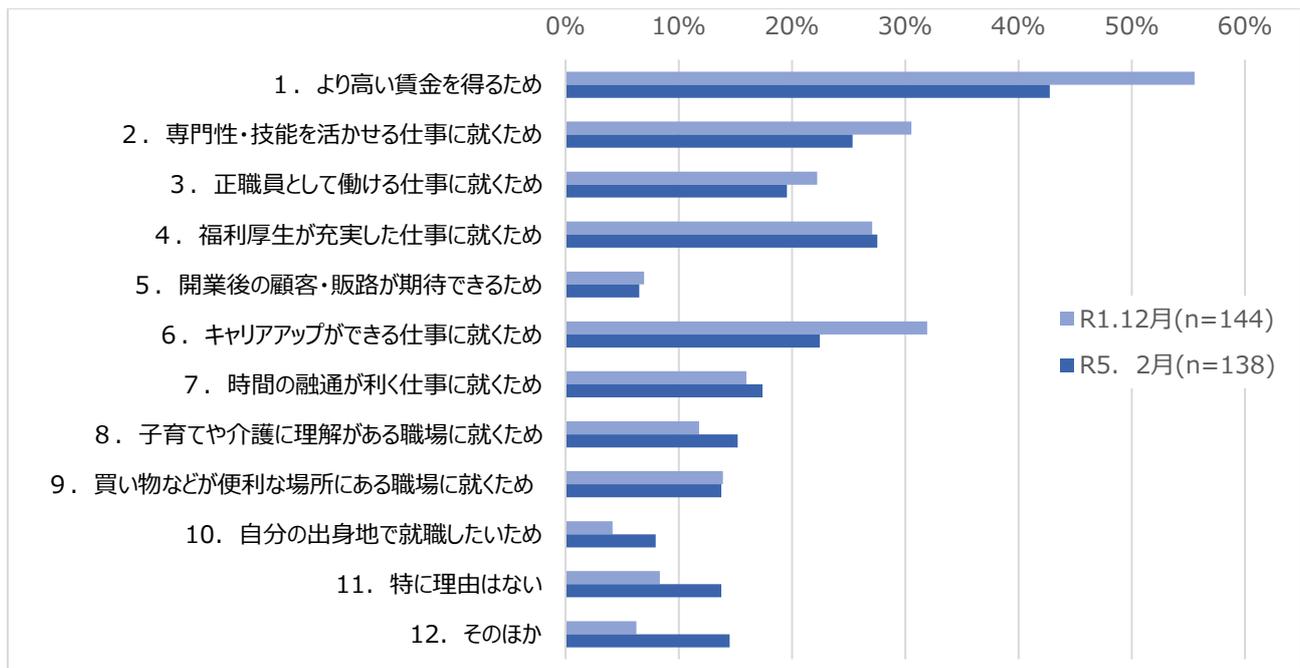
※「2. 糸満市以外の県内」「3. 県外・海外」の合計において、小数点第1位の数値の合計では計算結果が異なる項目があることから、「2. 糸満市以外の県内」「3. 県外・海外」の項目のみ小数点第2位の数値を記載しています。

	1. 糸満市内	2. 糸満市以外の県内	3. 県外・海外	市外 (2. 糸満市以外の県内 + 3. 県外・海外)	4. 新たに就職・転職するつもりはない	無回答
全体(n=586)	39.8%	17.06%	6.48%	23.5%	26.3%	10.4%
男性(n=217)	36.9%	12.90%	7.37%	20.3%	34.6%	8.3%
女性(n=341)	42.2%	19.35%	5.57%	24.9%	21.7%	11.1%
18～29才(n=54)	22.2%	35.19%	25.93%	61.1%	13.0%	3.7%
30代(n=95)	36.8%	30.53%	10.53%	41.1%	16.8%	5.3%
40代(n=108)	45.4%	25.93%	5.56%	31.5%	19.4%	3.7%
50代(n=110)	53.6%	13.64%	3.64%	17.3%	23.6%	5.5%
60代(n=123)	45.5%	7.32%	3.25%	10.6%	33.3%	10.6%
70代以上(n=93)	21.5%	0.00%	0.00%	0.0%	46.2%	32.3%
糸満地域(n=135)	42.2%	13.33%	8.15%	21.5%	20.7%	15.6%
西崎地域(n=104)	39.4%	17.31%	9.62%	26.9%	24.0%	9.6%
兼城地域(n=231)	35.1%	20.35%	5.63%	26.0%	29.4%	9.5%
高嶺地域(n=56)	48.2%	14.29%	5.36%	19.6%	30.4%	1.8%
三和地域(n=55)	45.5%	16.36%	0.00%	16.4%	27.3%	10.9%

問 15. 糸満市以外で働きたいと選択した方は、その理由を教えてください。
(当てはまるものすべてに○)

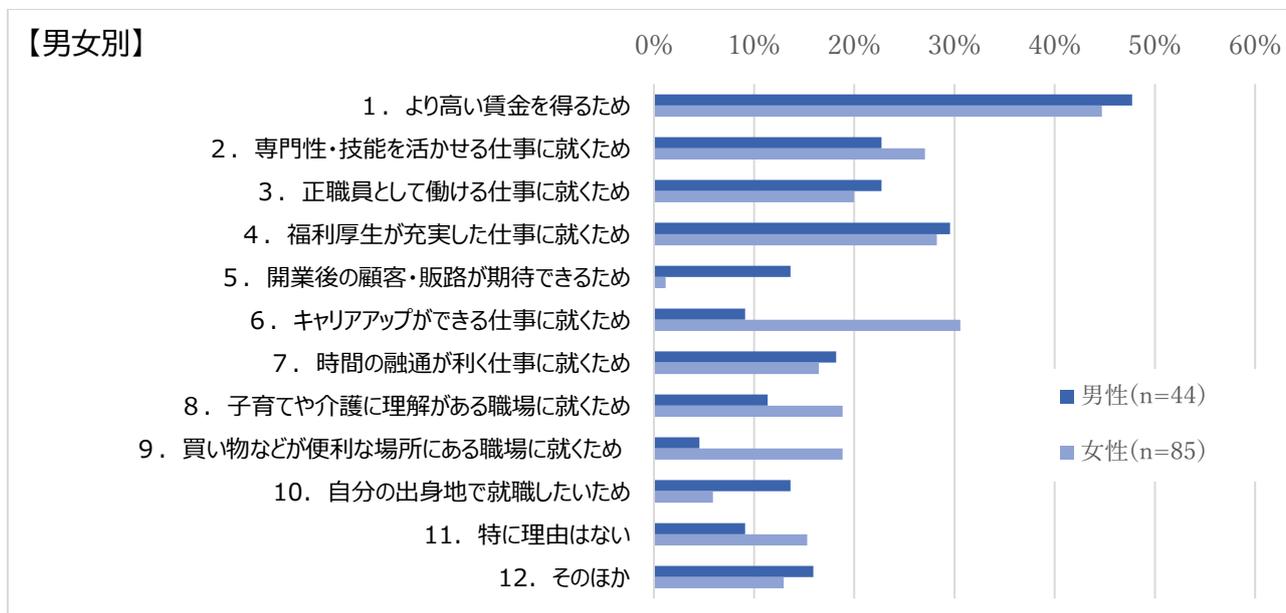
「1. より高い賃金を得るため」と答えた割合が 42.8%と最も高く、次いで「4. 福利厚生が充実した仕事に就くため」27.5%、「2. 専門性・技能を活かせる仕事に就くため」25.4%、「6. キャリアアップができる仕事に就くため」22.5%、「3. 正職員として働ける仕事に就くため」19.6%となっている。

令和元年度(R1年12月)の調査と比較すると、「1. より高い賃金を得るため」と答えた割合が55.6%から42.0%と12.8%減少しており、また、「6. キャリアアップができる仕事に就くため」と答えた割合が31.9%から22.5%と9.5%減少している。



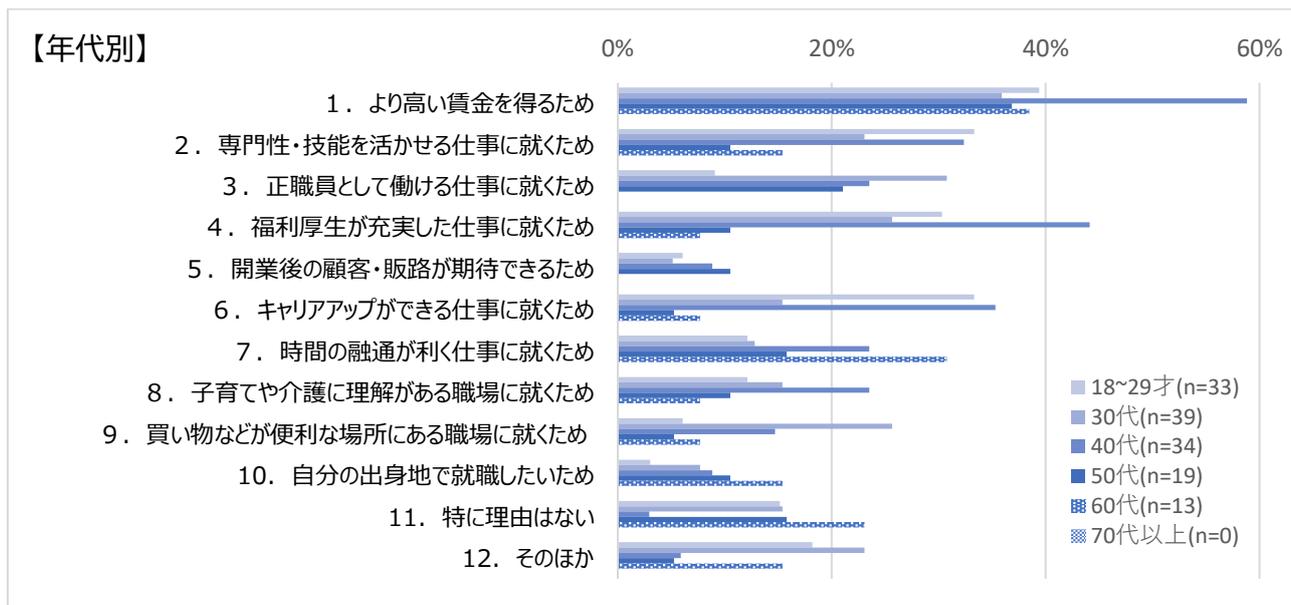
	R1.12月 (n=144)	R5.2月 (n=138)
1. より高い賃金を得るため	55.6%	42.8%
2. 専門性・技能を活かせる仕事に就くため	30.6%	25.4%
3. 正職員として働ける仕事に就くため	22.2%	19.6%
4. 福利厚生が充実した仕事に就くため	27.1%	27.5%
5. 開業後の顧客・販路が期待できるため	6.9%	6.5%
6. キャリアアップができる仕事に就くため	31.9%	22.5%
7. 時間の融通が利く仕事に就くため	16.0%	17.4%
8. 子育てや介護に理解がある職場に就くため	11.8%	15.2%
9. 買い物などが便利な場所にある職場に就くため	13.9%	13.8%
10. 自分の出身地で就職したいため	4.2%	8.0%
11. 特に理由はない	8.3%	13.8%
12. そのほか	6.3%	14.5%
無回答	2.1%	2.9%

男女別では、「6. キャリアアップができる仕事に就くため」と答えた割合が男性9.1%に対して女性30.6%と女性が高く、また、「9. 買い物などが便利な場所にある職場に就くため」と答えた割合も男性4.5%に対して女性18.8%と女性が高くなっている。一方で、「5. 開業後の顧客・販路が期待できるため」と応えた割合は男性13.6%、女性1.2%と男性が高くなっている。



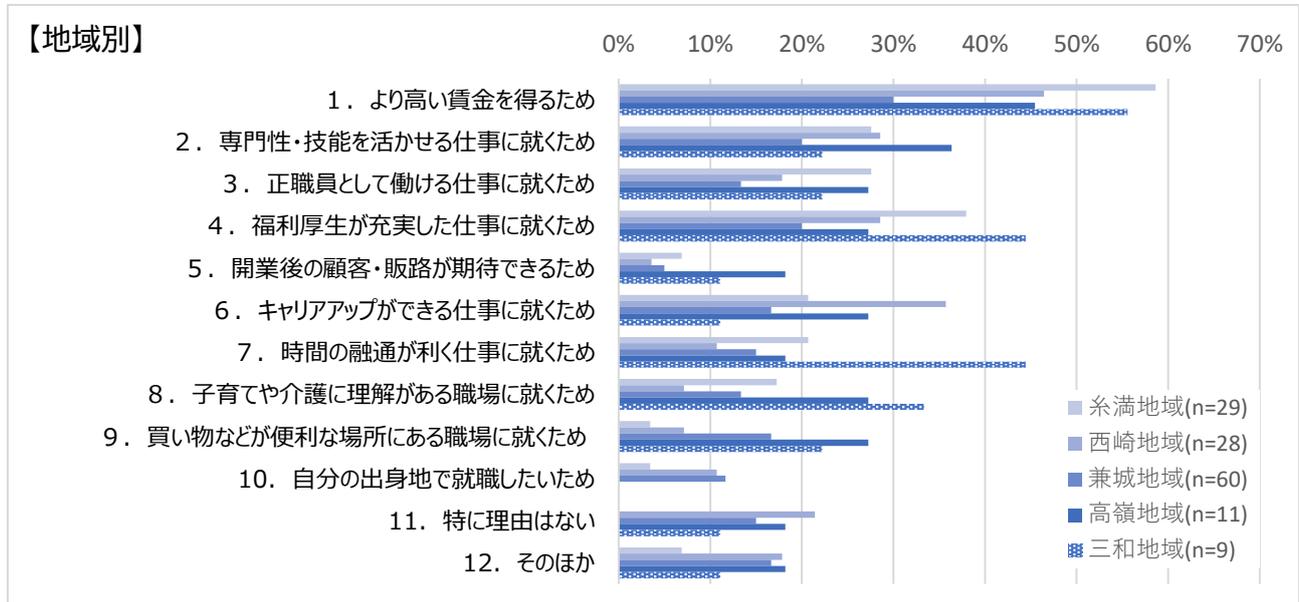
	男性 (n=44)	女性 (n=85)
1. より高い賃金を得るため	47.7%	44.7%
2. 専門性・技能を活かせる仕事に就くため	22.7%	27.1%
3. 正職員として働ける仕事に就くため	22.7%	20.0%
4. 福利厚生が充実した仕事に就くため	29.5%	28.2%
5. 開業後の顧客・販路が期待できるため	13.6%	1.2%
6. キャリアアップができる仕事に就くため	9.1%	30.6%
7. 時間の融通が利く仕事に就くため	18.2%	16.5%
8. 子育てや介護に理解がある職場に就くため	11.4%	18.8%
9. 買い物などが便利な場所にある職場に就くため	4.5%	18.8%
10. 自分の出身地で就職したいため	13.6%	5.9%
11. 特に理由はない	9.1%	15.3%
12. そのほか	15.9%	12.9%
無回答	4.5%	1.2%

年代別では、70代以上の回答がなく、また、各年代のサンプル数が40以下となっていることに留意する必要はあるが、40代において「1. より高い賃金を得るため」58.8%(全体42.8%)、「4. 福利厚生が充実した仕事に就くため」44.1%(全体27.5%)、「6. キャリアアップができる仕事に就くため」35.3%(全体22.5%)、「8. 子育てや介護に理解がある職場に就くため」23.5%(全体15.2%)等の項目が他の年代よりも高くなっている。また、30代においては「3. 正職員として働ける仕事に就くため」30.8%(全体19.6%)、「9. 買い物などが便利な場所にある職場に就くため」25.6%(全体13.8%)の項目が他の年代よりも高くなっている。また、18~29才においては「2. 専門性・技能を活かせる仕事に就くため」33.3%(全体25.4%)、「6. キャリアアップができる仕事に就くため」33.3%(全体22.5%)の項目が他の年代よりも高くなっている。



	18~29才 (n=33)	30代 (n=39)	40代 (n=34)	50代 (n=19)	60代 (n=13)	70代以上 (n=0)
1. より高い賃金を得るため	39.4%	35.9%	58.8%	36.8%	38.5%	0.0%
2. 専門性・技能を活かせる仕事に就くため	33.3%	23.1%	32.4%	10.5%	15.4%	0.0%
3. 正職員として働ける仕事に就くため	9.1%	30.8%	23.5%	21.1%	0.0%	0.0%
4. 福利厚生が充実した仕事に就くため	30.3%	25.6%	44.1%	10.5%	7.7%	0.0%
5. 開業後の顧客・販路が期待できるため	6.1%	5.1%	8.8%	10.5%	0.0%	0.0%
6. キャリアアップができる仕事に就くため	33.3%	15.4%	35.3%	5.3%	7.7%	0.0%
7. 時間の融通が利く仕事に就くため	12.1%	12.8%	23.5%	15.8%	30.8%	0.0%
8. 子育てや介護に理解がある職場に就くため	12.1%	15.4%	23.5%	10.5%	7.7%	0.0%
9. 買い物などが便利な場所にある職場に就くため	6.1%	25.6%	14.7%	5.3%	7.7%	0.0%
10. 自分の出身地で就職したいため	3.0%	7.7%	8.8%	10.5%	15.4%	0.0%
11. 特に理由はない	15.2%	15.4%	2.9%	15.8%	23.1%	0.0%
12. そのほか	18.2%	23.1%	5.9%	5.3%	15.4%	0.0%
無回答	3.0%	5.1%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%

地域別では、兼城地域を除く地域のサンプル数が30以下となっている点に留意する必要があるが、「7. 時間の融通が利く仕事に就くため」と答えた割合が三和地域では44.4%(全体17.4%)と他の地域に比べて高くなっている。

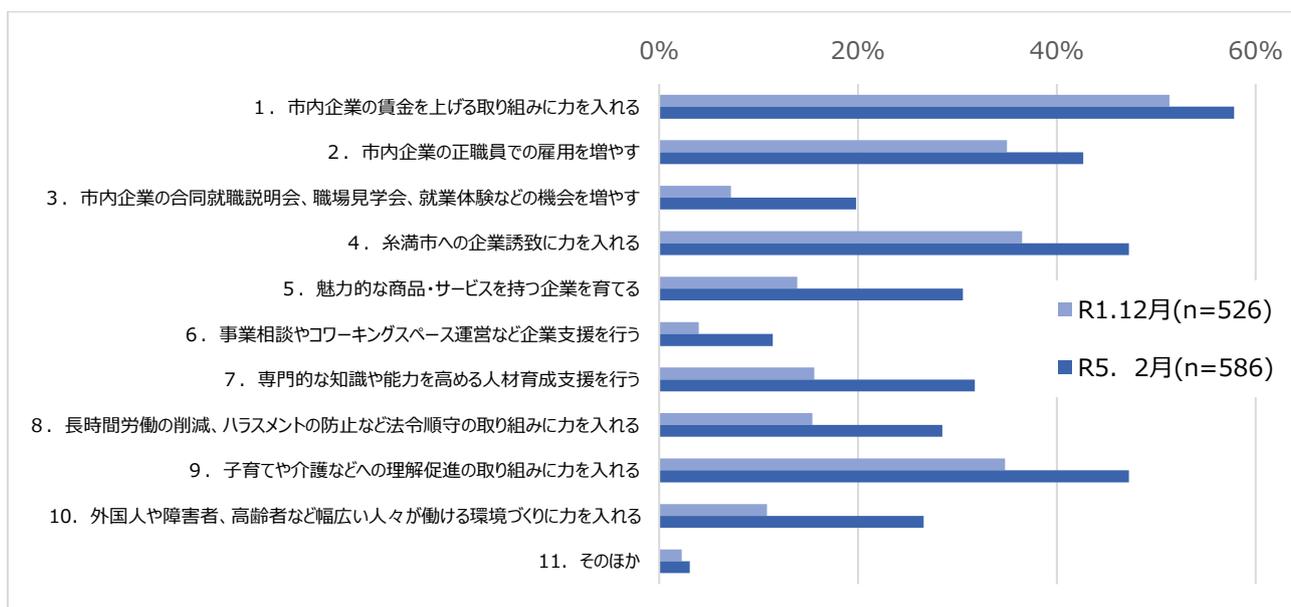


	糸満地域 (n=29)	西崎地域 (n=28)	兼城地域 (n=60)	高嶺地域 (n=11)	三和地域 (n=9)
1. より高い賃金を得るため	58.6%	46.4%	30.0%	45.5%	55.6%
2. 専門性・技能を活かせる仕事に就くため	27.6%	28.6%	20.0%	36.4%	22.2%
3. 正職員として働ける仕事に就くため	27.6%	17.9%	13.3%	27.3%	22.2%
4. 福利厚生が充実した仕事に就くため	37.9%	28.6%	20.0%	27.3%	44.4%
5. 開業後の顧客・販路が期待できるため	6.9%	3.6%	5.0%	18.2%	11.1%
6. キャリアアップができる仕事に就くため	20.7%	35.7%	16.7%	27.3%	11.1%
7. 時間の融通が利く仕事に就くため	20.7%	10.7%	15.0%	18.2%	44.4%
8. 子育てや介護に理解がある職場に就くため	17.2%	7.1%	13.3%	27.3%	33.3%
9. 買い物などが便利な場所にある職場に就くため	3.4%	7.1%	16.7%	27.3%	22.2%
10. 自分の出身地で就職したいため	3.4%	10.7%	11.7%	0.0%	0.0%
11. 特に理由はない	0.0%	21.4%	15.0%	18.2%	11.1%
12. そのほか	6.9%	17.9%	16.7%	18.2%	11.1%
無回答	3.4%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%

問 16. 糸満市で働く人が増えるためには、どのような取り組みが効果的だと思いますか。
(当てはまるものすべてに○)

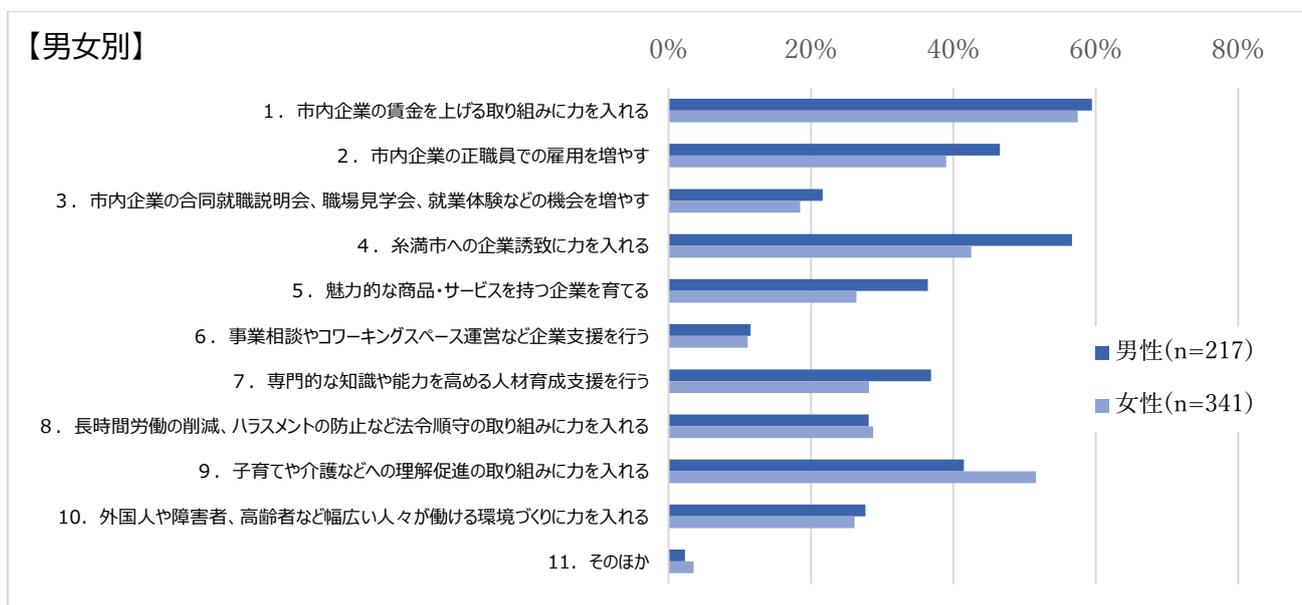
「1. 市内企業の賃金を上げる取り組みに力を入れる」と答えた割合が57.8%と最も高く、次いで「4. 糸満市への企業誘致に力を入れる」47.3%、「9. 子育てや介護などへの理解促進の取り組みに力を入れる」47.3%、「2. 市内企業の正職員での雇用を増やす」42.7%となっている。

令和元年度(R1年12月)の調査と比較すると、全ての項目の回答が6%以上増加しており、特に「5. 魅力的な商品・サービスを持つ企業を育てる」と答えた割合が13.9%から30.5%と16.7%増加している。また、「7. 専門的な知識や能力を高める人材育成支援を行う」と答えた割合は15.6%から31.7%と16.2%増加しており、「10. 外国人や障害者、高齢者など幅広い人々が働ける環境づくりに力を入れる」と答えた割合も10.8%から26.6%と15.8%増加している。



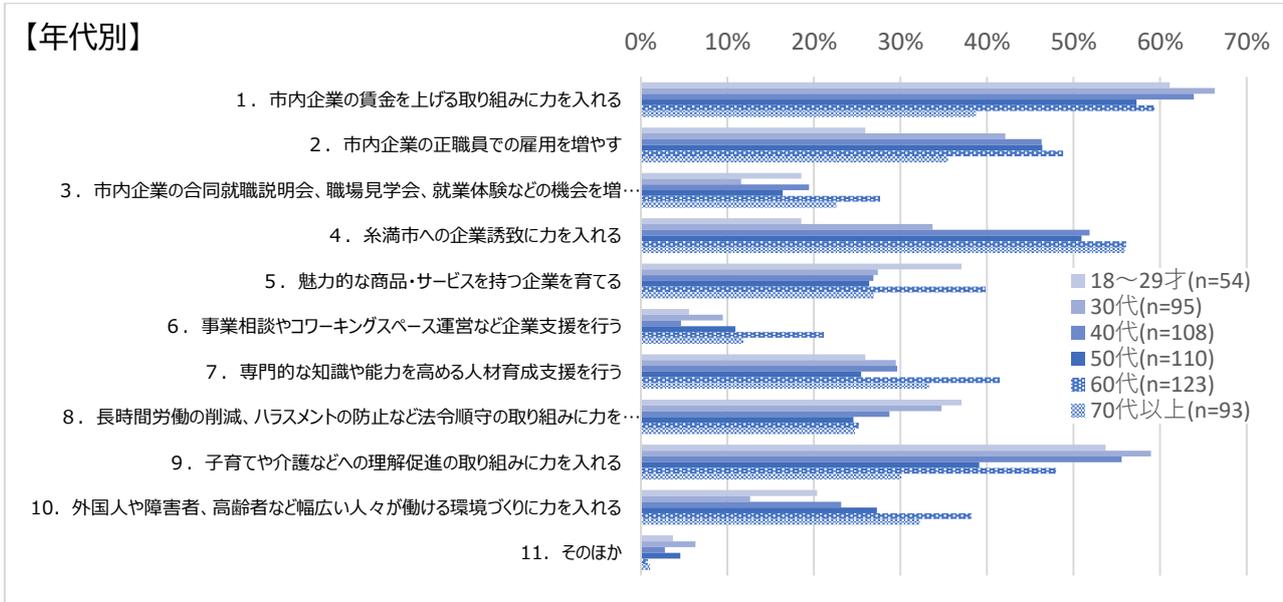
	R1.12月 (n=526)	R5. 2月 (n=586)
1. 市内企業の賃金を上げる取り組みに力を入れる	51.3%	57.8%
2. 市内企業の正職員での雇用を増やす	35.0%	42.7%
3. 市内企業の合同就職説明会、職場見学会、就業体験などの機会を増やす	7.2%	19.8%
4. 糸満市への企業誘致に力を入れる	36.5%	47.3%
5. 魅力的な商品・サービスを持つ企業を育てる	13.9%	30.5%
6. 事業相談やコワーキングスペース運営など企業支援を行う	4.0%	11.4%
7. 専門的な知識や能力を高める人材育成支援を行う	15.6%	31.7%
8. 長時間労働の削減、ハラスメントの防止など法令順守の取り組みに力を入れる	15.4%	28.5%
9. 子育てや介護などへの理解促進の取り組みに力を入れる	34.8%	47.3%
10. 外国人や障害者、高齢者など幅広い人々が働ける環境づくりに力を入れる	10.8%	26.6%
11. そのほか	2.3%	3.1%
無回答	14.3%	7.8%

男女別では、「9. 子育てや介護などへの理解促進の取り組みに力を入れる」と答えた割合が男性41.5%に対して女性51.6%と女性が高くなっている。一方で、「4. 糸満市への企業誘致に力を入れる」と答えた割合は男性56.7%、女性42.5%と男性が高く、また、「5. 魅力的な商品・サービスを持つ企業を育てる」と答えた割合も男性36.4%、女性26.4%と男性が高くなっている。



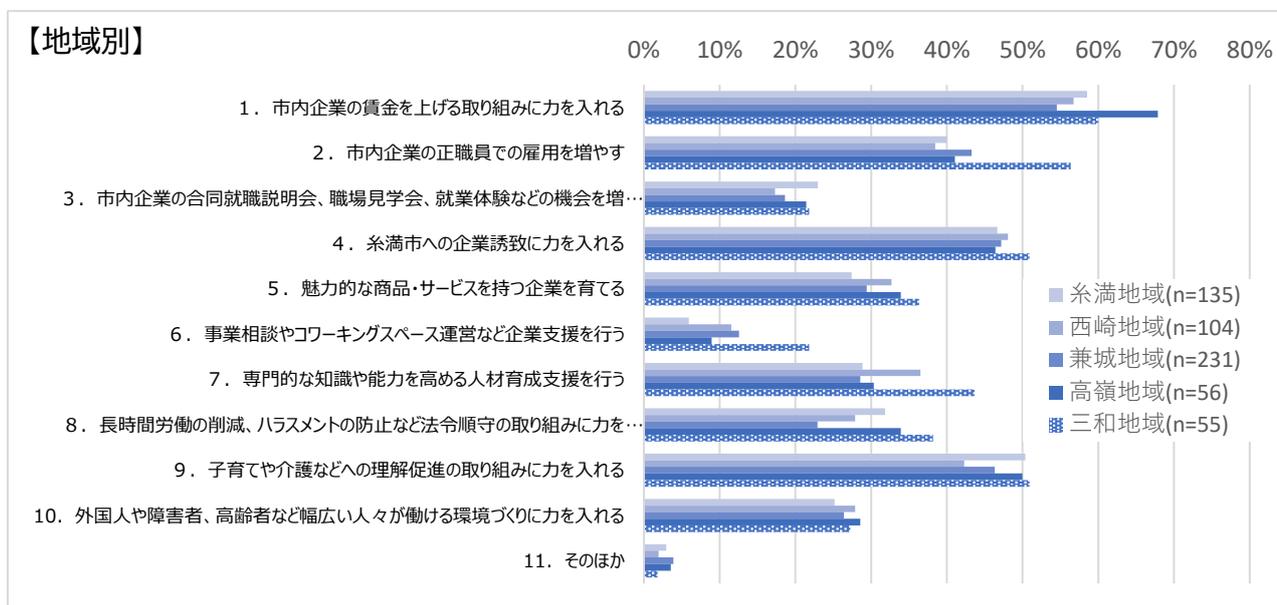
	男性 (n=217)	女性 (n=341)
1. 市内企業の賃金を上げる取り組みに力を入れる	59.4%	57.5%
2. 市内企業の正職員での雇用を増やす	46.5%	39.0%
3. 市内企業の合同就職説明会、職場見学会、就業体験などの機会を増やす	21.7%	18.5%
4. 糸満市への企業誘致に力を入れる	56.7%	42.5%
5. 魅力的な商品・サービスを持つ企業を育てる	36.4%	26.4%
6. 事業相談やコワーキングスペース運営など企業支援を行う	11.5%	11.1%
7. 専門的な知識や能力を高める人材育成支援を行う	36.9%	28.2%
8. 長時間労働の削減、ハラスメントの防止など法令順守の取り組みに力を入れる	28.1%	28.7%
9. 子育てや介護などへの理解促進の取り組みに力を入れる	41.5%	51.6%
10. 外国人や障害者、高齢者など幅広い人々が働ける環境づくりに力を入れる	27.6%	26.1%
11. そのほか	2.3%	3.5%
無回答	7.4%	7.9%

年代別では、「4. 糸満市への企業誘致に力を入れる」と答えた割合が40代以上では50%を超えている(50.9%~56.1%)のに対して、18~29才では18.5%、30代では33.7%と低くなっている。また、18~29才では「2. 市内企業の正職員での雇用を増やす」と答えた割合が25.9%(全体42.7%)と他の年代よりも低くなっている。一方で、30代以下の年代においては、「8. 長時間労働の削減、ハラスメントの防止など法令順守の取り組みに力を入れる」と答えた割合が18~29才37.0%、30代34.7%(全体28.5%)、「9. 子育てや介護などへの理解促進の取り組みに力を入れる」と答えた割合が18~29才53.7%、30代58.9%(全体47.3%)と他の年代に比べて高くなっている。



	18~29才 (n=54)	30代 (n=95)	40代 (n=108)	50代 (n=110)	60代 (n=123)	70代以上 (n=93)
1. 市内企業の賃金を上げる取り組みに力を入れる	61.1%	66.3%	63.9%	57.3%	59.3%	38.7%
2. 市内企業の正職員での雇用を増やす	25.9%	42.1%	46.3%	46.4%	48.8%	35.5%
3. 市内企業の合同就職説明会、職場見学会、就業体験などの機会を増やす	18.5%	11.6%	19.4%	16.4%	27.6%	22.6%
4. 糸満市への企業誘致に力を入れる	18.5%	33.7%	51.9%	50.9%	56.1%	55.9%
5. 魅力的な商品・サービスを持つ企業を育てる	37.0%	27.4%	26.9%	26.4%	39.8%	26.9%
6. 事業相談やコワーキングスペース運営など企業支援を行う	5.6%	9.5%	4.6%	10.9%	21.1%	11.8%
7. 専門的な知識や能力を高める人材育成支援を行う	25.9%	29.5%	29.6%	25.5%	41.5%	33.3%
8. 長時間労働の削減、ハラスメントの防止など法令順守の取り組みに力を入れる	37.0%	34.7%	28.7%	24.5%	25.2%	24.7%
9. 子育てや介護などへの理解促進の取り組みに力を入れる	53.7%	58.9%	55.6%	39.1%	48.0%	30.1%
10. 外国人や障害者、高齢者など幅広い人々が働ける環境づくりに力を入れる	20.4%	12.6%	23.1%	27.3%	38.2%	32.3%
11. そのほか	3.7%	6.3%	2.8%	4.5%	0.8%	1.1%
無回答	9.3%	2.1%	3.7%	6.4%	5.7%	21.5%

地域別では、三和地域で「2. 市内企業の正職員での雇用を増やす」と答えた割合が56.4%(全体42.7%)と他の地域よりも高くなっている他、「6. 事業相談やコワーキングスペース運営など企業支援を行う」21.8%(全体11.4%)、「7. 専門的な知識や能力を高める人材育成支援を行う」43.6%(全体31.7%)と他の地域よりも高くなっている。



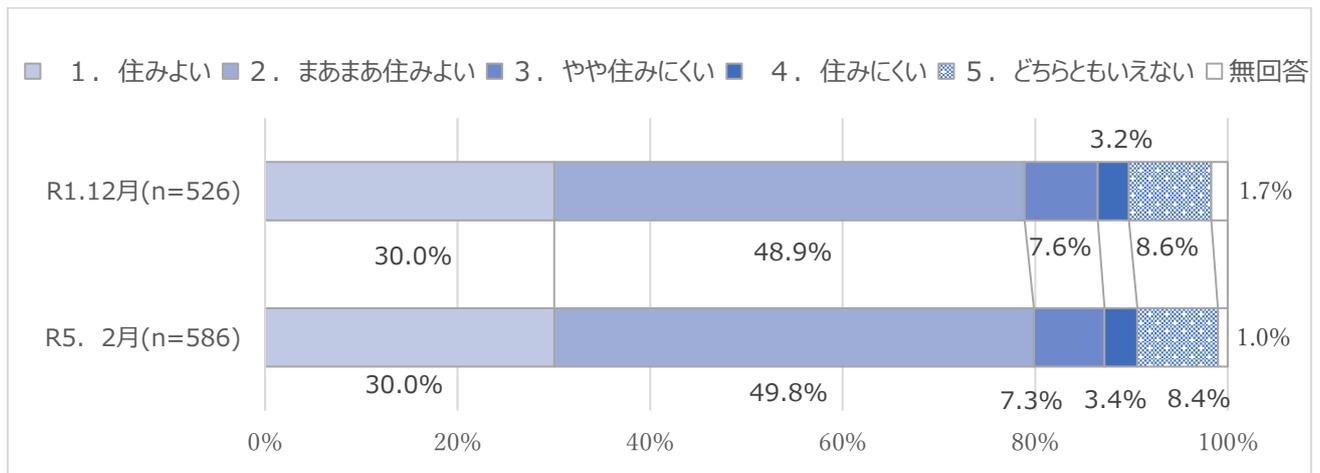
	糸満地域 (n=135)	西崎地域 (n=104)	兼城地域 (n=231)	高嶺地域 (n=56)	三和地域 (n=55)
1. 市内企業の賃金を上げる取り組みに力を入れる	58.5%	56.7%	54.5%	67.9%	60.0%
2. 市内企業の正職員での雇用を増やす	40.0%	38.5%	43.3%	41.1%	56.4%
3. 市内企業の合同就職説明会、職場見学会、就業体験などの機会を増やす	23.0%	17.3%	18.6%	21.4%	21.8%
4. 糸満市への企業誘致に力を入れる	46.7%	48.1%	47.2%	46.4%	50.9%
5. 魅力的な商品・サービスを持つ企業を育てる	27.4%	32.7%	29.4%	33.9%	36.4%
6. 事業相談やコワーキングスペース運営など企業支援を行う	5.9%	11.5%	12.6%	8.9%	21.8%
7. 専門的な知識や能力を高める人材育成支援を行う	28.9%	36.5%	28.6%	30.4%	43.6%
8. 長時間労働の削減、ハラスメントの防止など法令順守の取り組みに力を入れる	31.9%	27.9%	22.9%	33.9%	38.2%
9. 子育てや介護などへの理解促進の取り組みに力を入れる	50.4%	42.3%	46.3%	50.0%	50.9%
10. 外国人や障害者、高齢者など幅広い人々が働ける環境づくりに力を入れる	25.2%	27.9%	26.4%	28.6%	27.3%
11. そのほか	3.0%	1.9%	3.9%	3.6%	1.8%
無回答	8.1%	13.5%	7.8%	1.8%	1.8%

◆3. 住みやすさや今後も住み続けたいかについてお伺いします。

問 17. あなたにとって糸満市は住みよいですか。(一つに○)

住みよいと答えた割合(「1. 住みよい」と「2. まあまあ住みよい」と答えた割合の合計)が79.9%で、住みにくいと答えた割合(「3. やや住みにくい」「4. 住みにくい」と答えた割合の合計)10.8%を大きく上回っている。

令和元年度(R1年12月)の調査と比較すると、ほぼ同じ割合となっている。



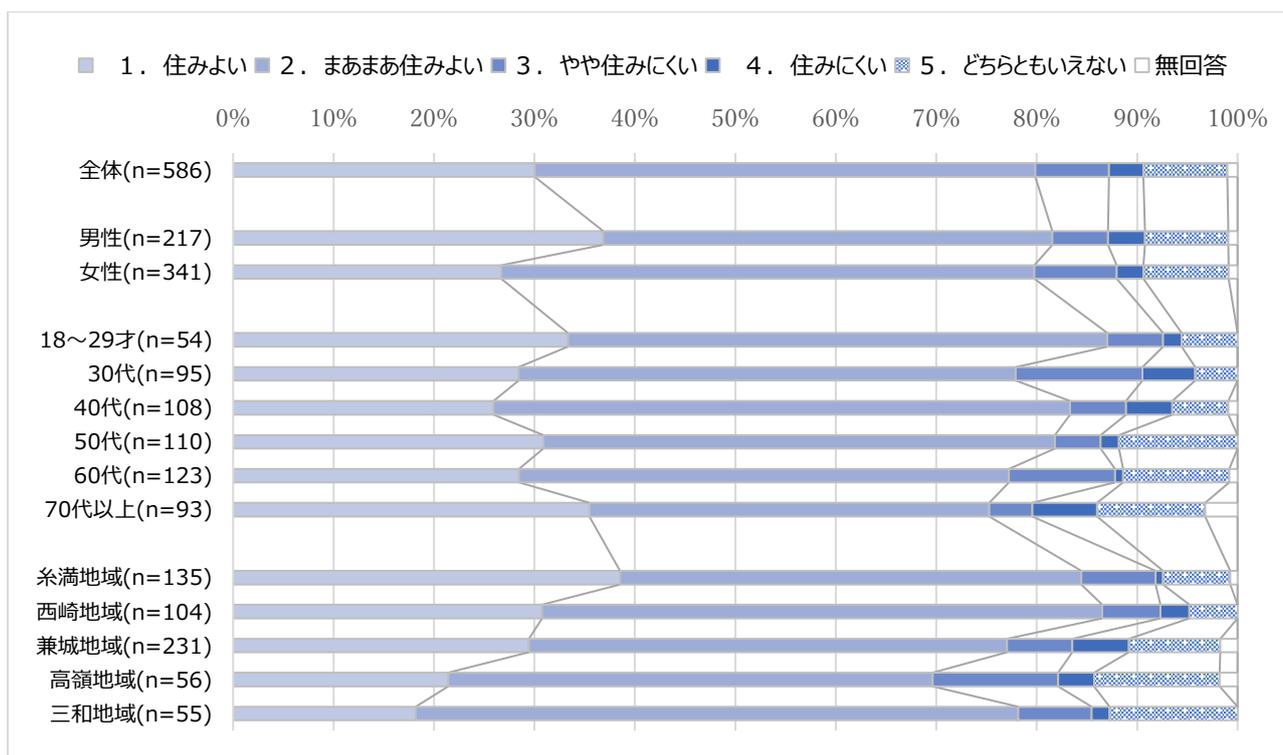
	回答数 (n=586)	比率
1. 住みよい	468	79.9%
2. まあまあ住みよい		
3. やや住みにくい	63	10.8%
4. 住みにくい		
5. どちらともいえない	49	8.4%
無回答	6	1.0%

	R1.12月 (n=526)	R5. 2月 (n=586)
1. 住みよい	30.0%	30.0%
2. まあまあ住みよい	48.9%	49.8%
3. やや住みにくい	7.6%	7.3%
4. 住みにくい	3.2%	3.4%
5. どちらともいえない	8.6%	8.4%
無回答	1.7%	1.0%

男女別では、住みよいと答えた割合(「1. 住みよい」と「2. まあまあ住みよい」と答えた割合の合計)ではほぼ変わりはないが、「1. 住みよい」と答えた割合は男性36.9%、女性26.7%と男性が高くなっている。

年代別では、18～29才は住みよいと答えた割合(「1. 住みよい」と「2. まあまあ住みよい」と答えた割合の合計)が87.0%と最も高いが、30代では住みにくいと答えた割合(「3. やや住みにくい」「4. 住みにくい」と答えた割合の合計)が17.9%と最も高くなっている。

地域別では、住みにくいと答えた割合(「3. やや住みにくい」「4. 住みにくい」と答えた割合の合計)が高嶺地域で16.1%と最も高く、糸満地域で8.1%と最も低い。



	住みよい 「1. 住みよい」+「2. まあまあ住みよい」	住みにくい 「3. やや住みにくい」 +「4. 住みにくい」	5. どちらとも いえない	無回答
全体(n=586)	79.9%	10.8%	8.4%	1.0%
男性(n=217)	81.6%	9.2%	8.3%	0.9%
女性(n=341)	79.8%	10.9%	8.5%	0.9%
18~29才(n=54)	87.0%	7.4%	5.6%	0.0%
30代(n=95)	77.9%	17.9%	4.2%	0.0%
40代(n=108)	83.3%	10.2%	5.6%	0.9%
50代(n=110)	81.8%	6.4%	11.8%	0.0%
60代(n=123)	77.2%	11.4%	10.6%	0.8%
70代以上(n=93)	75.3%	10.8%	10.8%	3.2%
糸満地域(n=135)	84.4%	8.1%	6.7%	0.7%
西崎地域(n=104)	86.5%	8.7%	4.8%	0.0%
兼城地域(n=231)	77.1%	12.1%	9.1%	1.7%
高嶺地域(n=56)	69.6%	16.1%	12.5%	1.8%
三和地域(n=55)	78.2%	9.1%	12.7%	0.0%

※上表の「1. 住みよい」「2. まあまあ住みよい」の合計等において、小数点第1位の数値の合計では計算結果が異なる項目があることから、下表は小数点第2位の数値を記載しています。

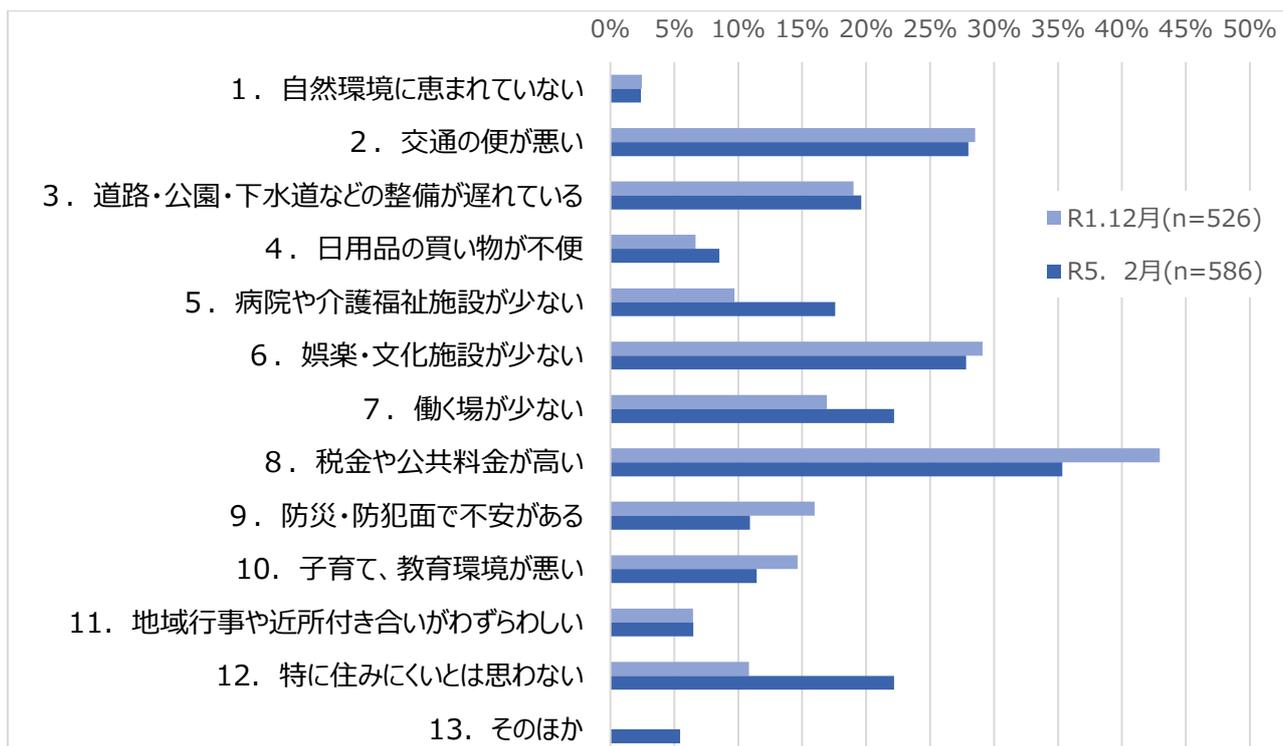
	1. 住みよ い	2. まあま あ住みよ い	3. やや住 みにくい	4. 住み にくい	5. どちら ともいえ ない	無回答
全体(n=586)	30.03%	49.83%	7.34%	3.41%	8.36%	1.02%
男性(n=217)	36.87%	44.70%	5.53%	3.69%	8.29%	0.92%
女性(n=341)	26.69%	53.08%	8.21%	2.64%	8.50%	0.88%
18~29才(n=54)	33.33%	53.70%	5.56%	1.85%	5.56%	0.00%
30代(n=95)	28.42%	49.47%	12.63%	5.26%	4.21%	0.00%
40代(n=108)	25.93%	57.41%	5.56%	4.63%	5.56%	0.93%
50代(n=110)	30.91%	50.91%	4.55%	1.82%	11.82%	0.00%
60代(n=123)	28.46%	48.78%	10.57%	0.81%	10.57%	0.81%
70代以上(n=93)	35.48%	39.78%	4.30%	6.45%	10.75%	3.23%
糸満地域(n=135)	38.52%	45.93%	7.41%	0.74%	6.67%	0.74%
西崎地域(n=104)	30.77%	55.77%	5.77%	2.88%	4.81%	0.00%
兼城地域(n=231)	29.44%	47.62%	6.49%	5.63%	9.09%	1.73%
高嶺地域(n=56)	21.43%	48.21%	12.50%	3.57%	12.50%	1.79%
三和地域(n=55)	18.18%	60.00%	7.27%	1.82%	12.73%	0.00%

問 18. あなたが「糸満市は住みにくい」と思うところがあれば教えてください。

(当てはまるものすべてに○)

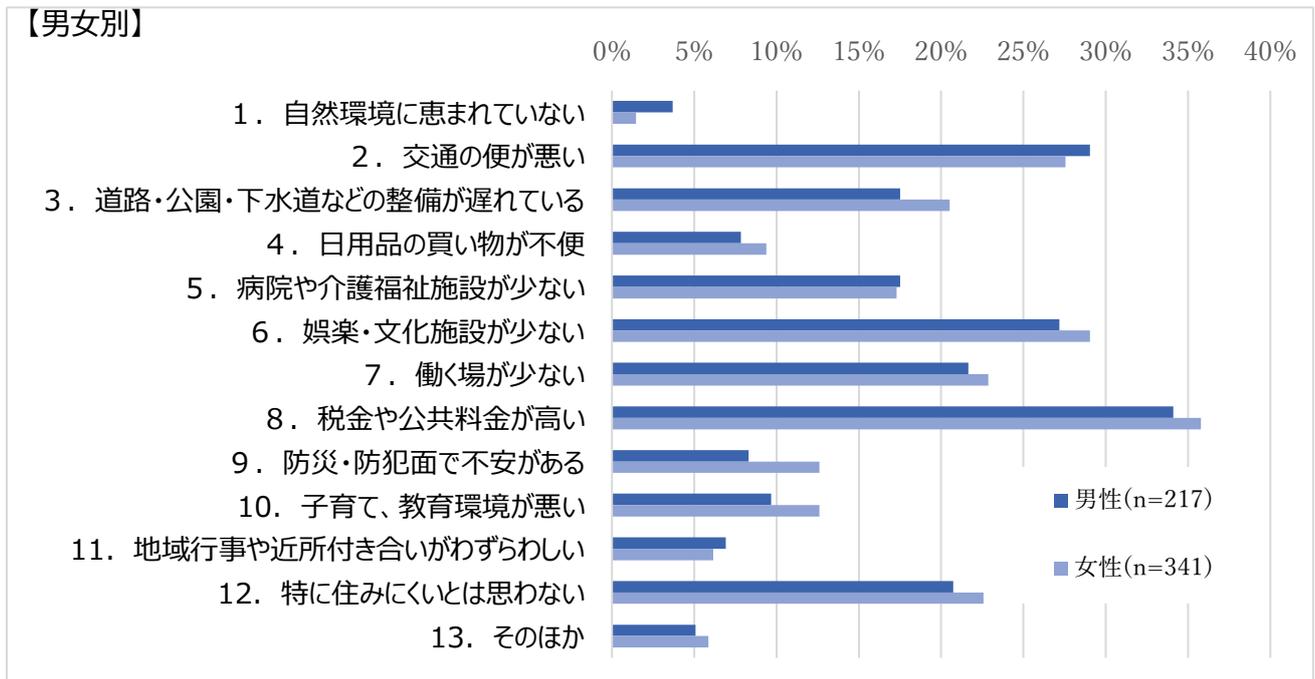
「8. 税金や公共料金が高い」と答えた割合が35.3%と最も高く、次いで「2. 交通の便が悪い」28.0%、「6. 娯楽・文化施設が少ない」27.8%、「7. 働く場が少ない」22.2%、「12. 特に住みにくいとは思わない」22.2%となっている。

令和元年度(R1年12月)の調査と比較すると、「12. 特に住みにくいとは思わない」と答えた割合が10.8%から22.2%と11.3%増加している。また、「5. 病院や介護福祉施設が少ない」と答えた割合が9.7%から17.6%と7.9%増加している。一方で、「8. 税金や公共料金が高い」と答えた割合は43.0%から35.3%と7.6%減少している。



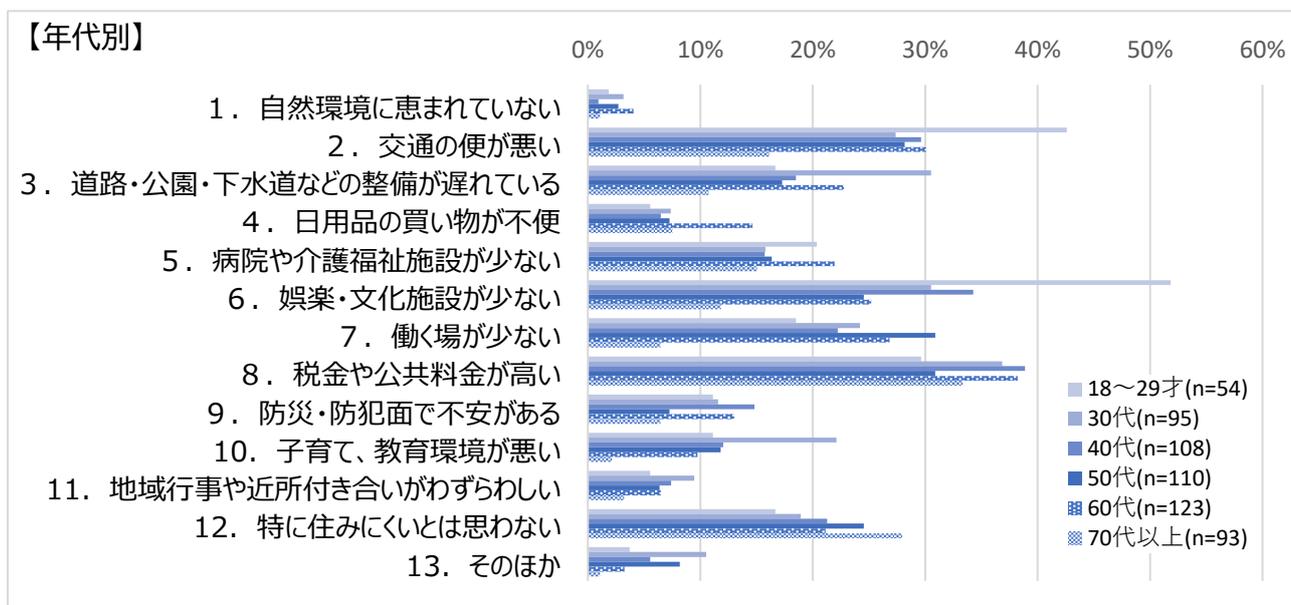
	R1.12月 (n=526)	R5. 2月 (n=586)
1. 自然環境に恵まれていない	2.5%	2.4%
2. 交通の便が悪い	28.5%	28.0%
3. 道路・公園・下水道などの整備が遅れている	19.0%	19.6%
4. 日用品の買い物が不便	6.7%	8.5%
5. 病院や介護福祉施設が少ない	9.7%	17.6%
6. 娯楽・文化施設が少ない	29.1%	27.8%
7. 働く場が少ない	16.9%	22.2%
8. 税金や公共料金が高い	43.0%	35.3%
9. 防災・防犯面で不安がある	16.0%	10.9%
10. 子育て、教育環境が悪い	14.6%	11.4%
11. 地域行事や近所付き合いがわずらわしい	6.5%	6.5%
12. 特に住みにくいとは思わない	10.8%	22.2%
13. そのほか	5.3%	5.5%
無回答	11.2%	13.8%

男女別では、それほど大きな差は見られない。



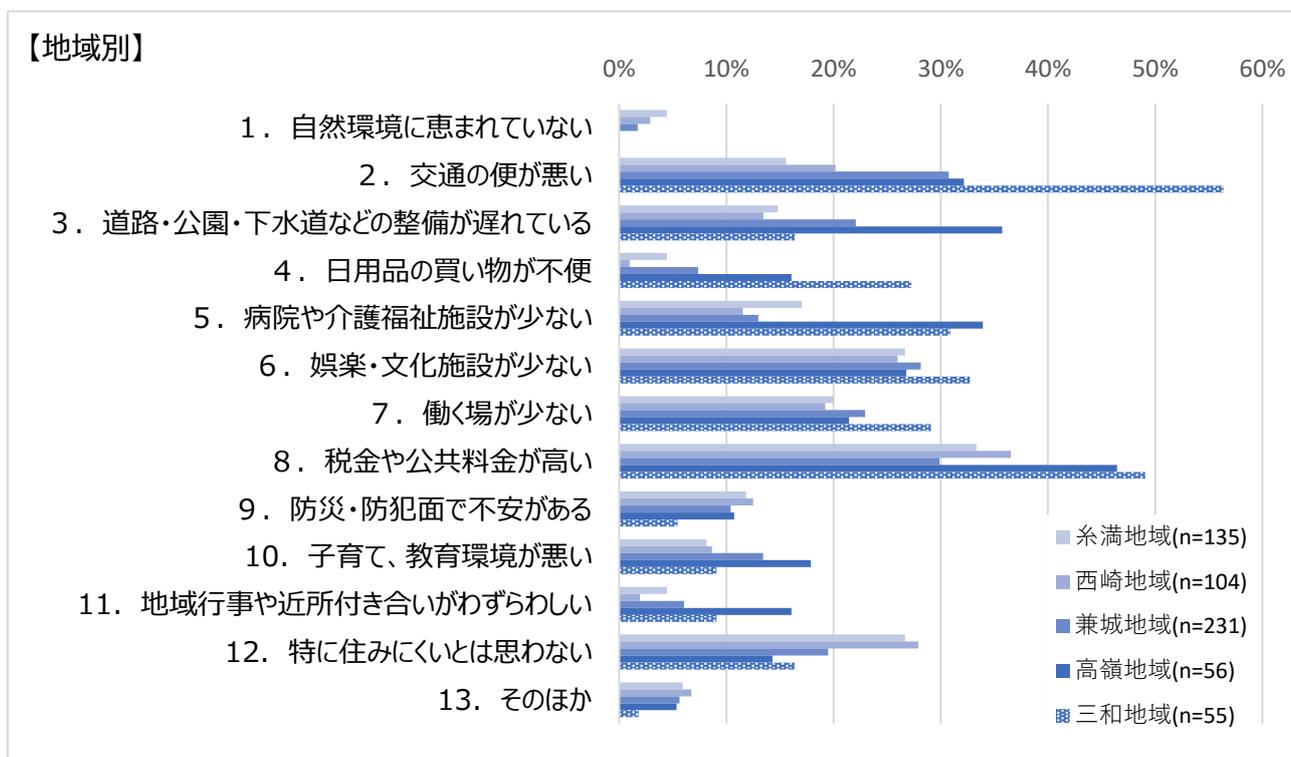
	男性 (n=217)	女性 (n=341)
1. 自然環境に恵まれていない	3.7%	1.5%
2. 交通の便が悪い	29.0%	27.6%
3. 道路・公園・下水道などの整備が遅れている	17.5%	20.5%
4. 日用品の買い物が不便	7.8%	9.4%
5. 病院や介護福祉施設が少ない	17.5%	17.3%
6. 娯楽・文化施設が少ない	27.2%	29.0%
7. 働く場が少ない	21.7%	22.9%
8. 税金や公共料金が高い	34.1%	35.8%
9. 防災・防犯面で不安がある	8.3%	12.6%
10. 子育て、教育環境が悪い	9.7%	12.6%
11. 地域行事や近所付き合いがわずらわしい	6.9%	6.2%
12. 特に住みにくいとは思わない	20.7%	22.6%
13. そのほか	5.1%	5.9%
無回答	16.6%	11.4%

年代別では、18～29才では「2. 交通の便が悪い」と答えた割合が42.6%(全体28.0%)、「6. 娯楽・文化施設が少ない」と答えた割合が51.9%(全体27.8%)と他の年代よりも高くなっている。また、30代では「3. 道路・公園・下水道などの整備が遅れている」と答えた割合が30.5%(全体19.6%)、「10. 子育て、教育環境が悪い」と答えた割合が22.1%(全体11.4%)と他の年代よりも高くなっている。また、60代においては「4. 日用品の買い物が不便」と答えた割合が14.6%(全体8.5%)と他の年代よりも高くなっている。



	18～29才 (n=54)	30代 (n=95)	40代 (n=108)	50代 (n=110)	60代 (n=123)	70代以上 (n=93)
1. 自然環境に恵まれていない	1.9%	3.2%	0.9%	2.7%	4.1%	1.1%
2. 交通の便が悪い	42.6%	27.4%	29.6%	28.2%	30.1%	16.1%
3. 道路・公園・下水道などの整備が遅れている	16.7%	30.5%	18.5%	17.3%	22.8%	10.8%
4. 日用品の買い物が不便	5.6%	7.4%	6.5%	7.3%	14.6%	7.5%
5. 病院や介護福祉施設が少ない	20.4%	15.8%	15.7%	16.4%	22.0%	15.1%
6. 娯楽・文化施設が少ない	51.9%	30.5%	34.3%	24.5%	25.2%	11.8%
7. 働く場が少ない	18.5%	24.2%	22.2%	30.9%	26.8%	6.5%
8. 税金や公共料金が高い	29.6%	36.8%	38.9%	30.9%	38.2%	33.3%
9. 防災・防犯面で不安がある	11.1%	11.6%	14.8%	7.3%	13.0%	6.5%
10. 子育て、教育環境が悪い	11.1%	22.1%	12.0%	11.8%	9.8%	2.2%
11. 地域行事や近所付き合いがわずらわしい	5.6%	9.5%	7.4%	6.4%	6.5%	3.2%
12. 特に住みにくいとは思わない	16.7%	18.9%	21.3%	24.5%	21.1%	28.0%
13. そのほか	3.7%	10.5%	5.6%	8.2%	3.3%	1.1%
無回答	1.9%	4.2%	7.4%	13.6%	16.3%	34.4%

地域別では、三和地域において「2. 交通の便が悪い」と答えた割合が56.4%(全体28.0%)と他の地域よりも高くなっている。また、高嶺地域では「3. 道路・公園・下水道などの整備が遅れている」と答えた割合が35.7%(全体19.6%)と他の地域よりも高くなっている。また、高嶺・三和地域においては、「5. 病院や介護福祉施設が少ない」高嶺地域33.9%、三和地域30.9%(全体17.6%)、「8. 税金や公共料金が高い」高嶺地域46.4%、三和地域49.1%(全体35.3%)と他の地域に比べて高くなっている。

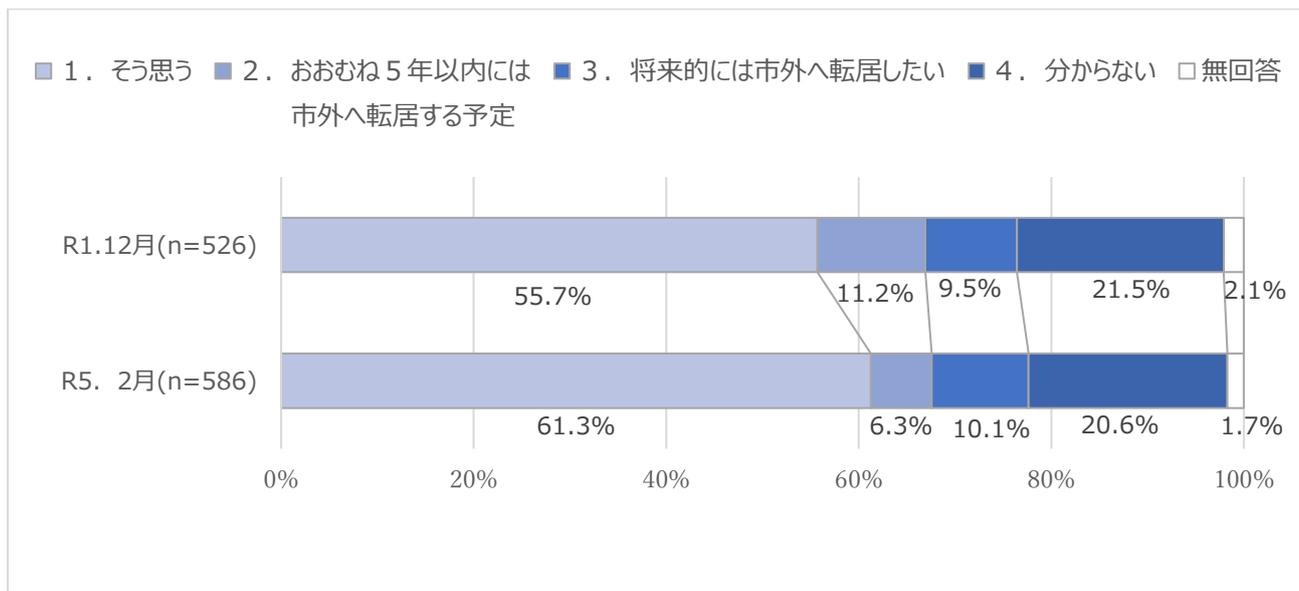


	糸満地域 (n=135)	西崎地域 (n=104)	兼城地域 (n=231)	高嶺地域 (n=56)	三和地域 (n=55)
1. 自然環境に恵まれていない	4.4%	2.9%	1.7%	0.0%	0.0%
2. 交通の便が悪い	15.6%	20.2%	30.7%	32.1%	56.4%
3. 道路・公園・下水道などの整備が遅れている	14.8%	13.5%	22.1%	35.7%	16.4%
4. 日用品の買い物が不便	4.4%	1.0%	7.4%	16.1%	27.3%
5. 病院や介護福祉施設が少ない	17.0%	11.5%	13.0%	33.9%	30.9%
6. 娯楽・文化施設が少ない	26.7%	26.0%	28.1%	26.8%	32.7%
7. 働く場が少ない	20.0%	19.2%	22.9%	21.4%	29.1%
8. 税金や公共料金が高い	33.3%	36.5%	29.9%	46.4%	49.1%
9. 防災・防犯面で不安がある	11.9%	12.5%	10.4%	10.7%	5.5%
10. 子育て、教育環境が悪い	8.1%	8.7%	13.4%	17.9%	9.1%
11. 地域行事や近所付き合いがわずらわしい	4.4%	1.9%	6.1%	16.1%	9.1%
12. 特に住みにくいとは思わない	26.7%	27.9%	19.5%	14.3%	16.4%
13. そのほか	5.9%	6.7%	5.6%	5.4%	1.8%
無回答	14.8%	12.5%	16.9%	7.1%	9.1%

問 19. あなたは、今後も糸満市に住み続けたいと思いますか。(一つに○)

「1. そう思う」と答えた割合が61.3%と最も高く、次いで「4. 分からない」20.6%、「3. 将来的には市外へ転出したい」10.1%、「2. おおむね5年以内には市外へ転居する予定」6.3%となっている。

令和元年度(R1年12月)の調査と比較すると、「1. そう思う」と答えた割合が55.7%から61.3%と5.6%増加し、「2. おおむね5年以内には市外へ転居する予定」と答えた割合が11.2%から6.3%と4.9%減少している。

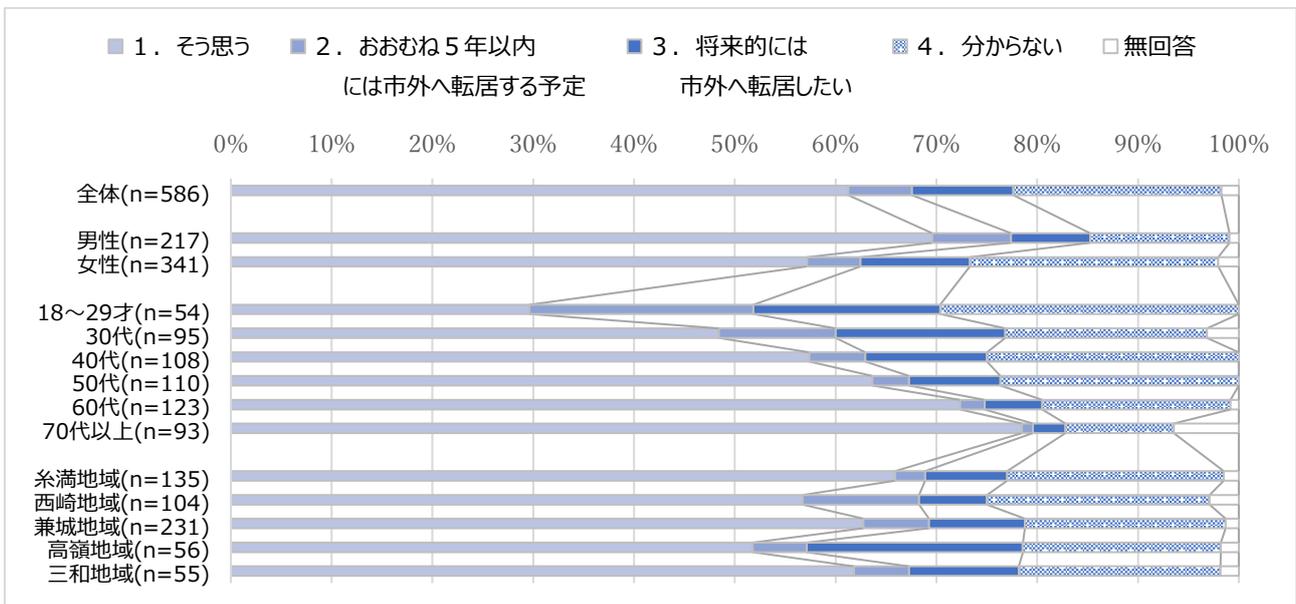


	R1.12月 (n=526)	R5. 2月 (n=586)
1. そう思う	55.7%	61.3%
2. おおむね5年以内には市外へ転居する予定	11.2%	6.3%
3. 将来的には市外へ転居したい	9.5%	10.1%
4. 分からない	21.5%	20.6%
無回答	2.1%	1.7%

男女別では、「1. そう思う」と答えた割合が男性69.6%、女性57.2%と男性が高く、一方で「4. 分からない」と答えた割合が男性13.8%、女性24.6%と女性が高くなっている。

年代別では、18～29才では「1. そう思う」と答えた割合が29.6%(全体61.3%)と他の年代よりも低くなっており、一方で「2. おおむね5年以内には市外へ転居する予定」22.2%(全体6.3%)、「3. 将来的には市外へ転居したい」18.5%(全体10.1%)と他の年代よりも高くなっている。同様に30代においても、「2. おおむね5年以内には市外へ転居する予定」11.6%(全体6.3%)、「3. 将来的には市外へ転居したい」16.8%(全体10.1%)と他の年代よりも高くなっている。

地域別では、高嶺地域において「3. 将来的には市外へ転居したい」と答えた割合が21.4%(全体10.1%)と他の地域よりも高くなっている。また、西崎地域においては、「2. おおむね5年以内には市外へ転居する予定」と答えた割合が11.5%(全体6.3%)と他の地域よりも高くなっている。

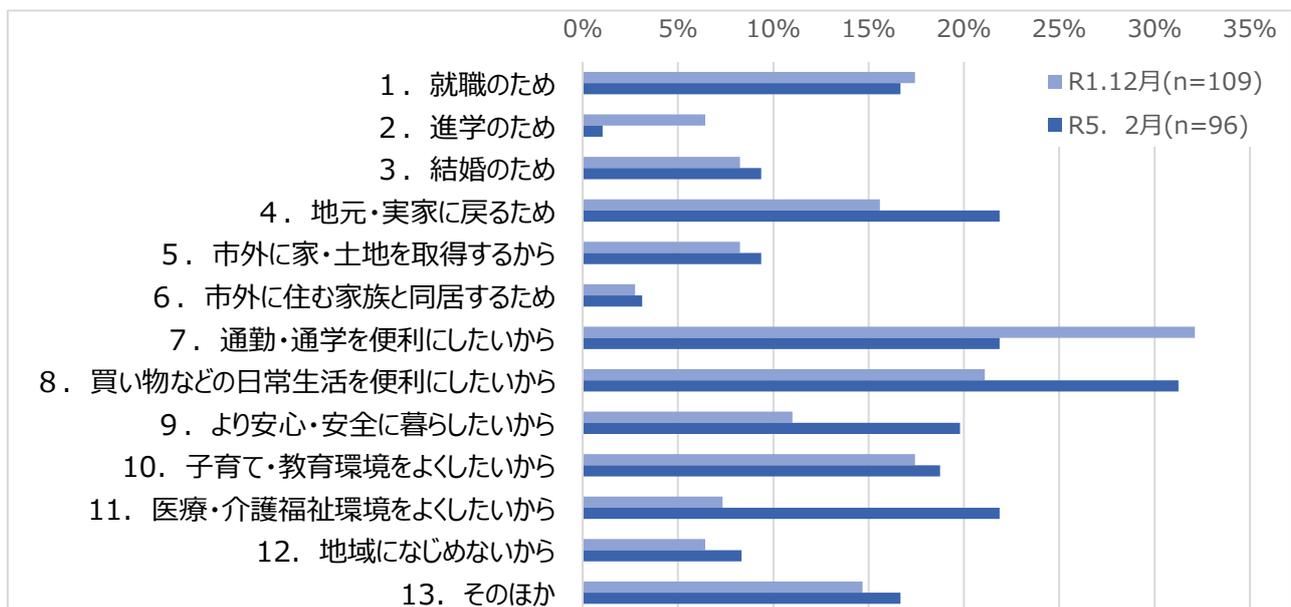


	1. そう思う	2. おおむね5年以内には市外へ転居する予定	3. 将来的には市外へ転居したい	4. 分からない	無回答
全体(n=586)	61.3%	6.3%	10.1%	20.6%	1.7%
男性(n=217)	69.6%	7.8%	7.8%	13.8%	0.9%
女性(n=341)	57.2%	5.3%	10.9%	24.6%	2.1%
18～29才(n=54)	29.6%	22.2%	18.5%	29.6%	0.0%
30代(n=95)	48.4%	11.6%	16.8%	20.0%	3.2%
40代(n=108)	57.4%	5.6%	12.0%	25.0%	0.0%
50代(n=110)	63.6%	3.6%	9.1%	23.6%	0.0%
60代(n=123)	72.4%	2.4%	5.7%	18.7%	0.8%
70代以上(n=93)	78.5%	1.1%	3.2%	10.8%	6.5%
糸満地域(n=135)	65.9%	3.0%	8.1%	21.5%	1.5%
西崎地域(n=104)	56.7%	11.5%	6.7%	22.1%	2.9%
兼城地域(n=231)	62.8%	6.5%	9.5%	19.9%	1.3%
高嶺地域(n=56)	51.8%	5.4%	21.4%	19.6%	1.8%
三和地域(n=55)	61.8%	5.5%	10.9%	20.0%	1.8%

問 20. 「おおむね5年以内には市外へ転居する予定」、「将来的には市外へ転居したい」を選択した方は、その理由を教えてください。(当てはまるものすべてに○)

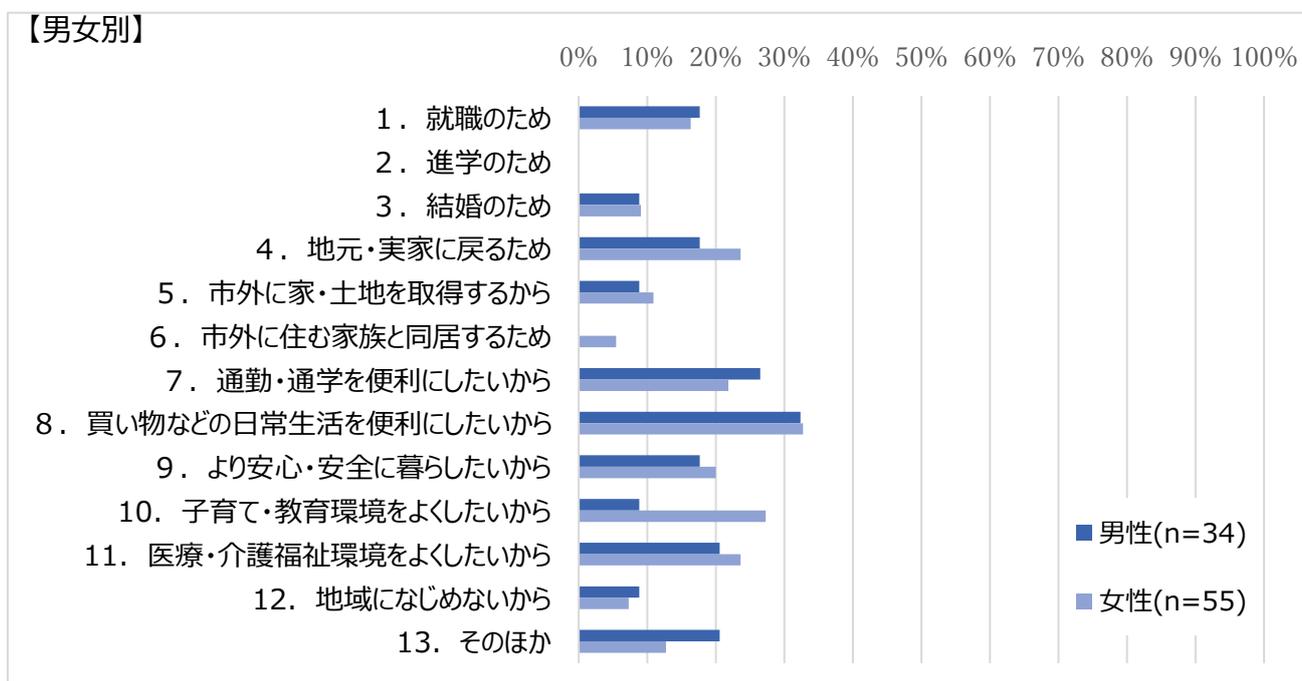
「8. 買い物などの日常生活を便利にしたいから」と答えた割合が 31.3%と最も高く、次いで「4. 地元・実家に戻るため」21.9%、「7. 通勤・通学を便利にしたいから」21.9%、「11. 医療・介護福祉環境をよくしたいから」21.9%となっている。

令和元年度(R1年12月)の調査と比較すると、「11. 医療・介護福祉環境をよくしたいから」と答えた割合が7.3%から21.9%と14.5%増加している。また、「8. 買い物などの日常生活を便利にしたいから」と答えた割合も21.1%から31.3%と10.1%増加、「9. より安心・安全に暮らしたいから」と答えた割合も11.0%から19.8%と8.8%増加している。一方で、「7. 通勤・通学を便利にしたいから」と答えた割合は32.1%から21.9%と10.2%低下している。



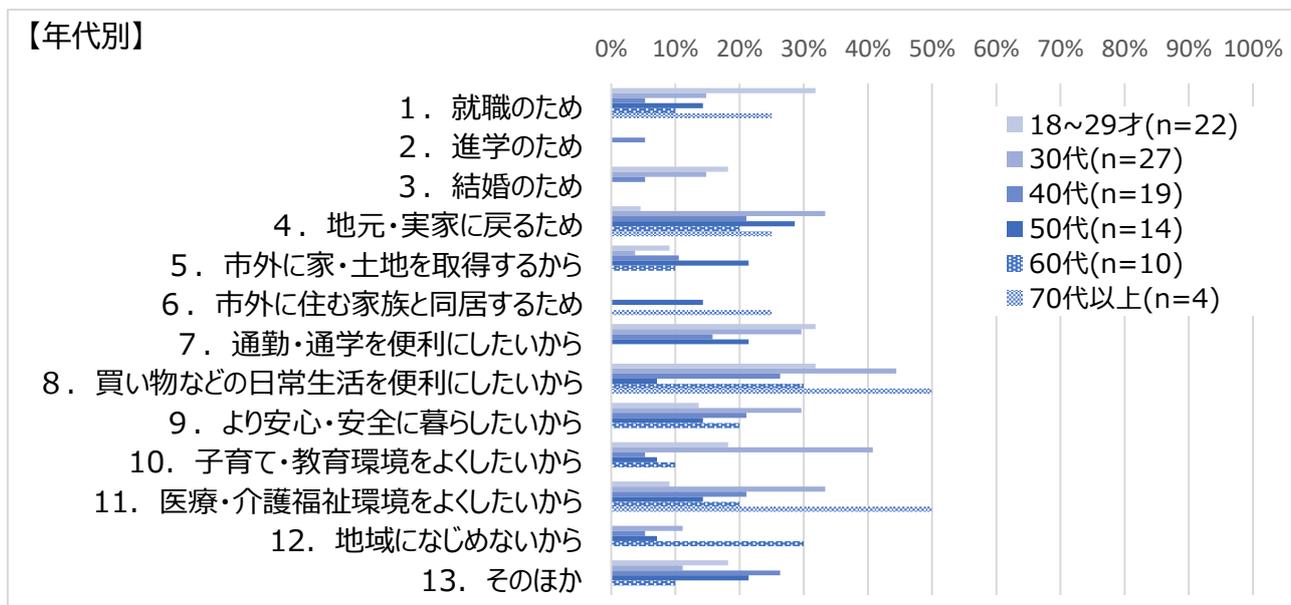
	R1.12月 (n=109)	R5.2月 (n=96)
1. 就職のため	17.4%	16.7%
2. 進学のため	6.4%	1.0%
3. 結婚のため	8.3%	9.4%
4. 地元・実家に戻るため	15.6%	21.9%
5. 市外に家・土地を取得するから	8.3%	9.4%
6. 市外に住む家族と同居するため	2.8%	3.1%
7. 通勤・通学を便利にしたいから	32.1%	21.9%
8. 買い物などの日常生活を便利にしたいから	21.1%	31.3%
9. より安心・安全に暮らしたいから	11.0%	19.8%
10. 子育て・教育環境をよくしたいから	17.4%	18.8%
11. 医療・介護福祉環境をよくしたいから	7.3%	21.9%
12. 地域になじめないから	6.4%	8.3%
13. そのほか	14.7%	16.7%
無回答	0.0%	1.0%

男女別では、「10. 子育て・教育環境をよくしたいから」と答えた割合が男性8.8%に対し女性27.3%と女性が高くなっている。



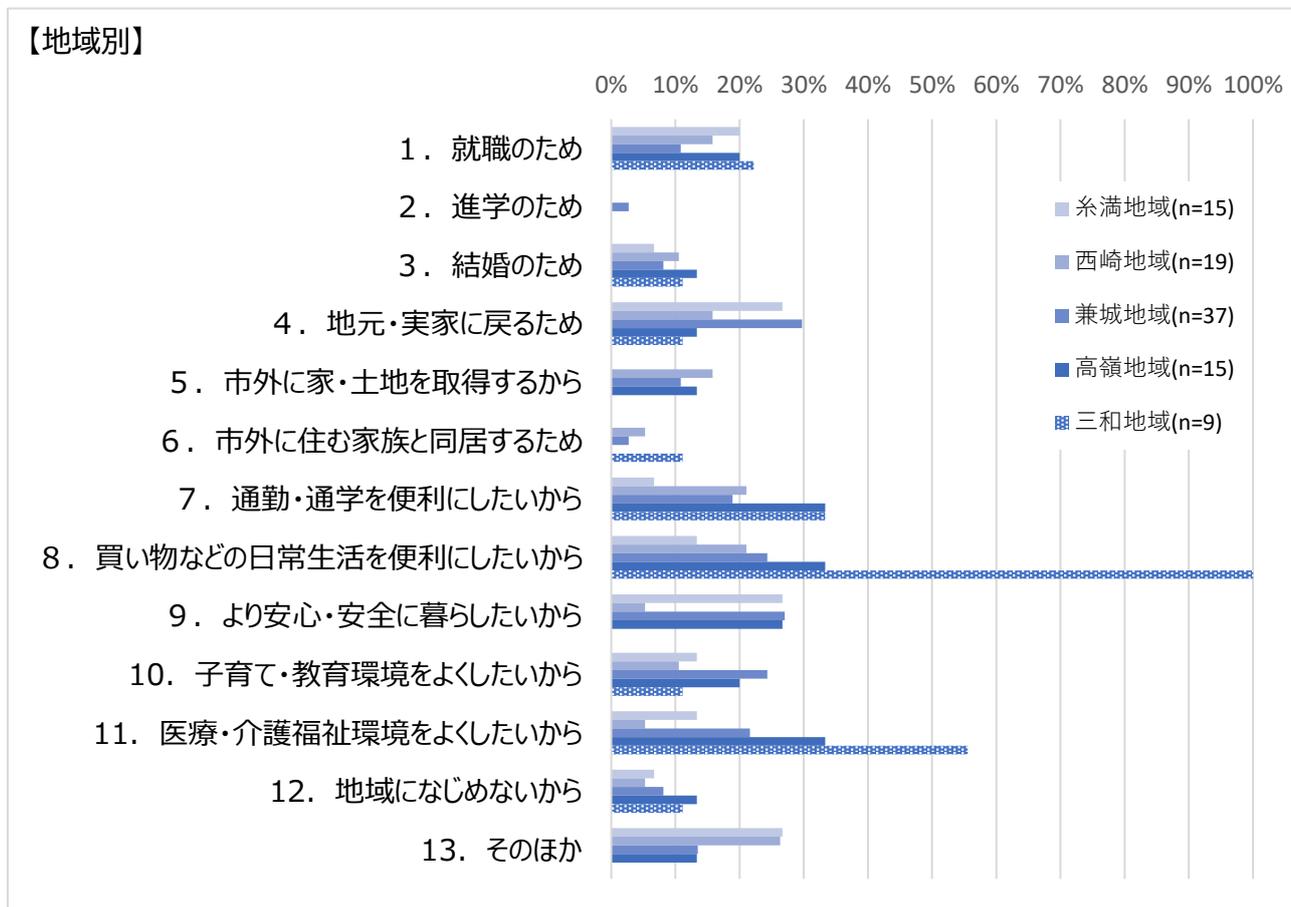
	男性 (n=34)	女性 (n=55)
1. 就職のため	17.6%	16.4%
2. 進学のため	0.0%	0.0%
3. 結婚のため	8.8%	9.1%
4. 地元・実家に戻るため	17.6%	23.6%
5. 市外に家・土地を取得するから	8.8%	10.9%
6. 市外に住む家族と同居するため	0.0%	5.5%
7. 通勤・通学を便利にしたいから	26.5%	21.8%
8. 買い物などの日常生活を便利にしたいから	32.4%	32.7%
9. より安心・安全に暮らしたいから	17.6%	20.0%
10. 子育て・教育環境をよくしたいから	8.8%	27.3%
11. 医療・介護福祉環境をよくしたいから	20.6%	23.6%
12. 地域になじめないから	8.8%	7.3%
13. そのほか	20.6%	12.7%
無回答	0.0%	0.0%

年代別では、各年代のサンプル数が30未満となっている点に留意する必要があるが、18～29才では「1. 就職のため」31.8%(全体16.7%)、「3. 結婚のため」18.2%(全体9.4%)、「7. 通勤・通学を便利にしたいから」31.8%(全体21.9%)の項目が他の年代よりも高くなっている。また、30代では「4. 地元・実家に戻るため」33.3%(全体21.9%)、「8. 買い物などの日常生活を便利にしたいから」44.4%(全体31.3%)、「10. 子育て・教育環境をよくしたいから」40.7%(全体18.8%)、「11. 医療・介護福祉環境をよくしたいから」33.3%(全体21.9%)の項目が他の年代よりも高くなっている。



	18~29才 (n=22)	30代 (n=27)	40代 (n=19)	50代 (n=14)	60代 (n=10)	70代以上 (n=4)
1. 就職のため	31.8%	14.8%	5.3%	14.3%	10.0%	25.0%
2. 進学のため	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%
3. 結婚のため	18.2%	14.8%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%
4. 地元・実家に戻るため	4.5%	33.3%	21.1%	28.6%	20.0%	25.0%
5. 市外に家・土地を取得するから	9.1%	3.7%	10.5%	21.4%	10.0%	0.0%
6. 市外に住む家族と同居するため	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	25.0%
7. 通勤・通学を便利にしたいから	31.8%	29.6%	15.8%	21.4%	0.0%	0.0%
8. 買い物などの日常生活を便利にしたいから	31.8%	44.4%	26.3%	7.1%	30.0%	50.0%
9. より安心・安全に暮らしたいから	13.6%	29.6%	21.1%	14.3%	20.0%	0.0%
10. 子育て・教育環境をよくしたいから	18.2%	40.7%	5.3%	7.1%	10.0%	0.0%
11. 医療・介護福祉環境をよくしたいから	9.1%	33.3%	21.1%	14.3%	20.0%	50.0%
12. 地域になじめないから	0.0%	11.1%	5.3%	7.1%	30.0%	0.0%
13. そのほか	18.2%	11.1%	26.3%	21.4%	10.0%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%

地域別では、兼城地域のサンプル数が37で、他の地域が20未満であることに留意する必要があるが、三和地域(サンプル数9)においては「8. 買い物などの日常生活を便利にしたいから」と答えた割合が100%(全体31.3%)、「11. 医療・介護福祉環境をよくしたいから」55.6%(全体21.9%)と他の地域よりも高くなっている。



	糸満地域 (n=15)	西崎地域 (n=19)	兼城地域 (n=37)	高嶺地域 (n=15)	三和地域 (n=9)
1. 就職のため	20.0%	15.8%	10.8%	20.0%	22.2%
2. 進学のため	0.0%	0.0%	2.7%	0.0%	0.0%
3. 結婚のため	6.7%	10.5%	8.1%	13.3%	11.1%
4. 地元・実家に戻るため	26.7%	15.8%	29.7%	13.3%	11.1%
5. 市外に家・土地を取得するから	0.0%	15.8%	10.8%	13.3%	0.0%
6. 市外に住む家族と同居するため	0.0%	5.3%	2.7%	0.0%	11.1%
7. 通勤・通学を便利にしたいから	6.7%	21.1%	18.9%	33.3%	33.3%
8. 買い物などの日常生活を便利にしたいから	13.3%	21.1%	24.3%	33.3%	100.0%
9. より安心・安全に暮らしたいから	26.7%	5.3%	27.0%	26.7%	0.0%
10. 子育て・教育環境をよくしたいから	13.3%	10.5%	24.3%	20.0%	11.1%
11. 医療・介護福祉環境をよくしたいから	13.3%	5.3%	21.6%	33.3%	55.6%
12. 地域になじめないから	6.7%	5.3%	8.1%	13.3%	11.1%
13. そのほか	26.7%	26.3%	13.5%	13.3%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%

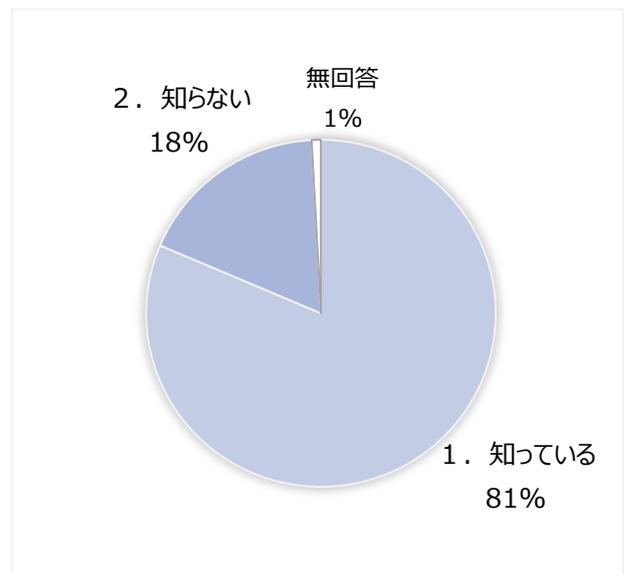
◆4. 日ごろの暮らしについてお伺いします。

●文化・スポーツ・健康について

問21 観光客の誘客や地域文化の発展を目的として、糸満市観光文化交流拠点施設「シャボン玉石けん くくる糸満」が2022年4月にオープンしました。「シャボン玉石けん くくる糸満」のことを知っていますか。(1つに○)

「1. 知っている」と答えた割合が81.4%、「2. 知らない」と答えた割合は17.7%となっている。

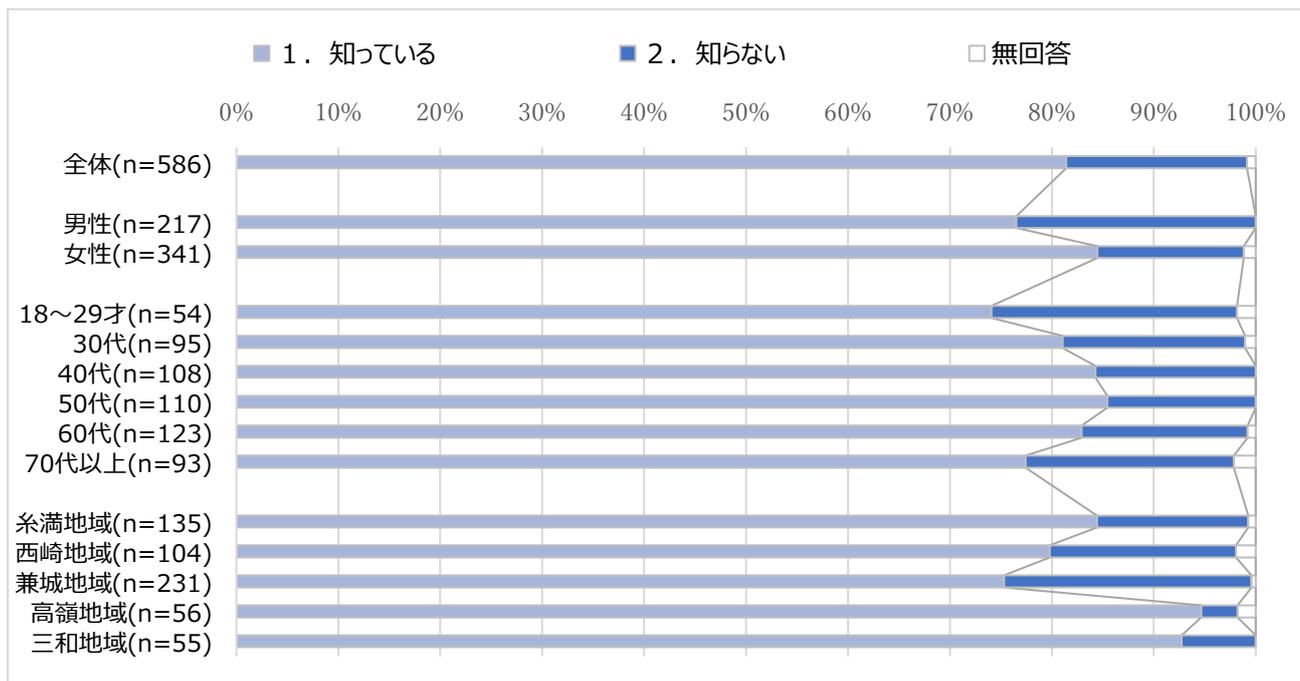
選択項目	回答数	比率
1. 知っている	477	81.4%
2. 知らない	104	17.7%
無回答	5	0.9%
	586	100%



男女別では、「1. 知っている」と答えた割合が男性76.5%、女性84.5%と女性が高くなっている。

年代別では、「1. 知っている」と答えた割合が18～29才で74.1%と最も低く、次いで70代以上で77.4%となっている。一方で、50代で85.5%と最も高くなっており、次いで40代で84.3%となっている。

地域別では、「1. 知っている」と答えた割合が高嶺地域で94.6%と最も高くなっており、次いで三和地域で92.7%となっている。一方で、兼城地域で75.3%と最も低くなっている。

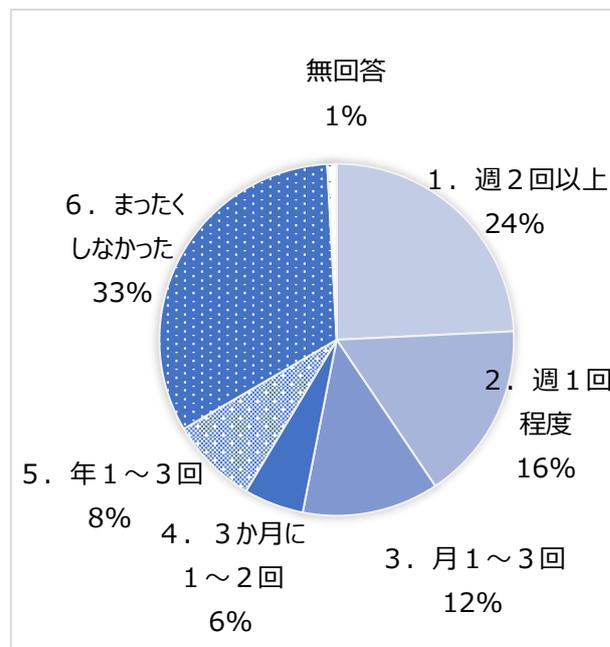


	1. 知っている	2. 知らない	無回答
全体(n=586)	81.4%	17.7%	0.9%
男性(n=217)	76.5%	23.5%	0.0%
女性(n=341)	84.5%	14.4%	1.2%
18～29才(n=54)	74.1%	24.1%	1.9%
30代(n=95)	81.1%	17.9%	1.1%
40代(n=108)	84.3%	15.7%	0.0%
50代(n=110)	85.5%	14.5%	0.0%
60代(n=123)	82.9%	16.3%	0.8%
70代以上(n=93)	77.4%	20.4%	2.2%
糸満地域(n=135)	84.4%	14.8%	0.7%
西崎地域(n=104)	79.8%	18.3%	1.9%
兼城地域(n=231)	75.3%	24.2%	0.4%
高嶺地域(n=56)	94.6%	3.6%	1.8%
三和地域(n=55)	92.7%	7.3%	0.0%

問22. あなたは、過去1年間にどのくらいの頻度で運動やスポーツをしていますか
(一つに○)。

「6. まったくしなかった」と答えた割合が32.6%と最も高く、次いで「1. 週2回以上」24.2%、「2. 週1回程度」16.4%となっている。

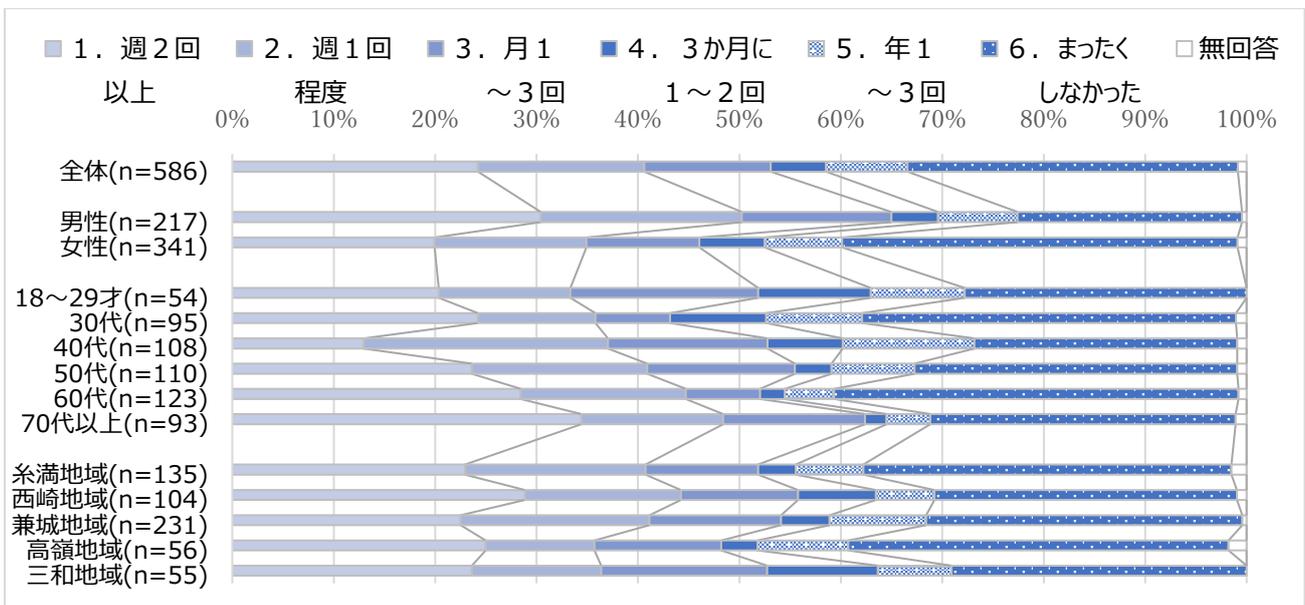
選択項目	回答数	比率
1. 週2回以上	142	24.2%
2. 週1回程度	96	16.4%
3. 月1～3回	73	12.5%
4. 3か月に1～2回	32	5.5%
5. 年1～3回	47	8.0%
6. まったくしなかった	191	32.6%
無回答	5	0.9%
	586	100%



男女別では、「6. まったくしなかった」と答えた割合が男性22.1%、女性39.0%と女性の方が高くなっている。一方で、「1. 週2回以上」と答えた割合は男性30.4%、女性19.9%と男性が高くなっている。

年代別では、60代では「6. まったくしなかった」と答えた割合が39.8%(全体32.6%)と他の年代よりも高くなっている一方で、「1. 週2回以上」と答えた割合は28.5%(全体24.2%)と70代以上34.4%に次いで高い比率となっている。また、40代は「6. まったくしなかった」と答えた割合が25.9%(全体32.6%)と他の年代よりも低くなっている他、「1. 週2回以上」と答えた割合が13.0%(全体24.2%)と他の年代よりも低い割合となっており、一方で「2. 週1回程度」と答えた割合が24.1%(全体16.4%)と他の年代よりも高くなっている。

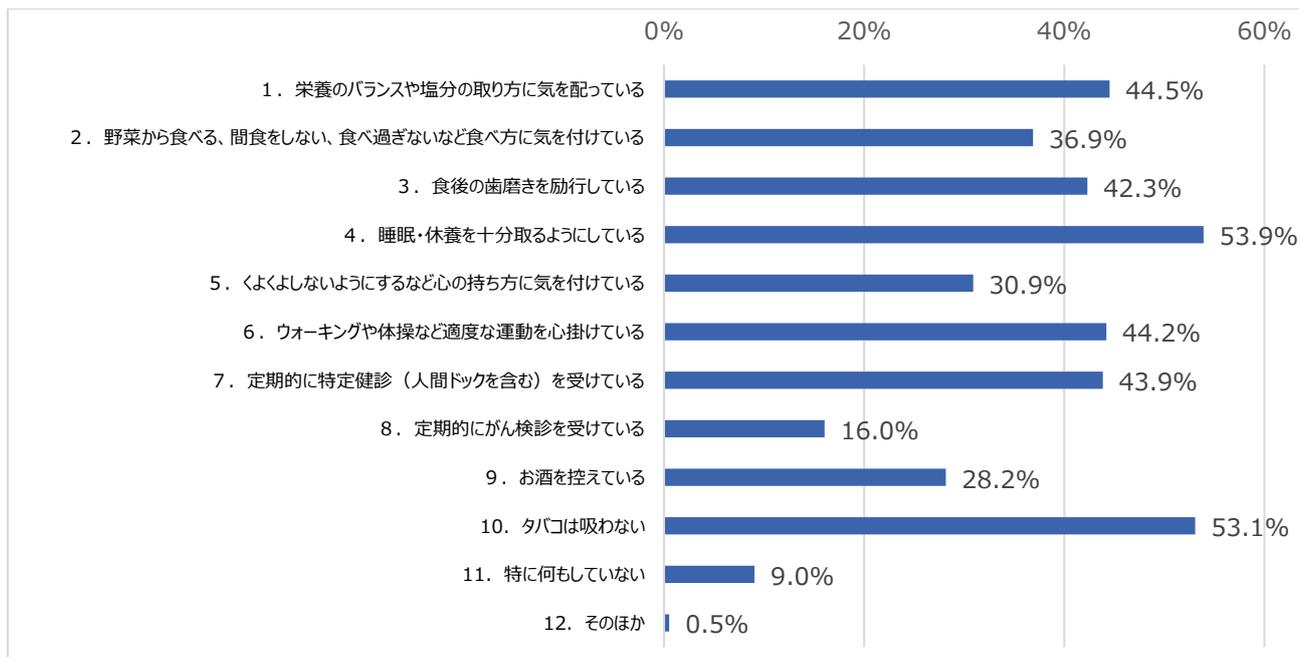
地域別では、「1. 週2回以上」と答えた割合が西崎地域で28.8%(全体24.2%)と他の地域よりも高くなっている。



	1. 週2回以上	2. 週1回程度	3. 月1~3回	4. 3か月に1~2回	5. 年1~3回	6. まったくしなかった	無回答
全体(n=586)	24.2%	16.4%	12.5%	5.5%	8.0%	32.6%	0.9%
男性(n=217)	30.4%	19.8%	14.7%	4.6%	7.8%	22.1%	0.5%
女性(n=341)	19.9%	15.0%	11.1%	6.5%	7.6%	39.0%	0.9%
18~29才(n=54)	20.4%	13.0%	18.5%	11.1%	9.3%	27.8%	0.0%
30代(n=95)	24.2%	11.6%	7.4%	9.5%	9.5%	36.8%	1.1%
40代(n=108)	13.0%	24.1%	15.7%	7.4%	13.0%	25.9%	0.9%
50代(n=110)	23.6%	17.3%	14.5%	3.6%	8.2%	31.8%	0.9%
60代(n=123)	28.5%	16.3%	7.3%	2.4%	4.9%	39.8%	0.8%
70代以上(n=93)	34.4%	14.0%	14.0%	2.2%	4.3%	30.1%	1.1%
糸満地域(n=135)	23.0%	17.8%	11.1%	3.7%	6.7%	36.3%	1.5%
西崎地域(n=104)	28.8%	15.4%	11.5%	7.7%	5.8%	29.8%	1.0%
兼城地域(n=231)	22.5%	18.6%	13.0%	4.8%	9.5%	31.2%	0.4%
高嶺地域(n=56)	25.0%	10.7%	12.5%	3.6%	8.9%	37.5%	1.8%
三和地域(n=55)	23.6%	12.7%	16.4%	10.9%	7.3%	29.1%	0.0%

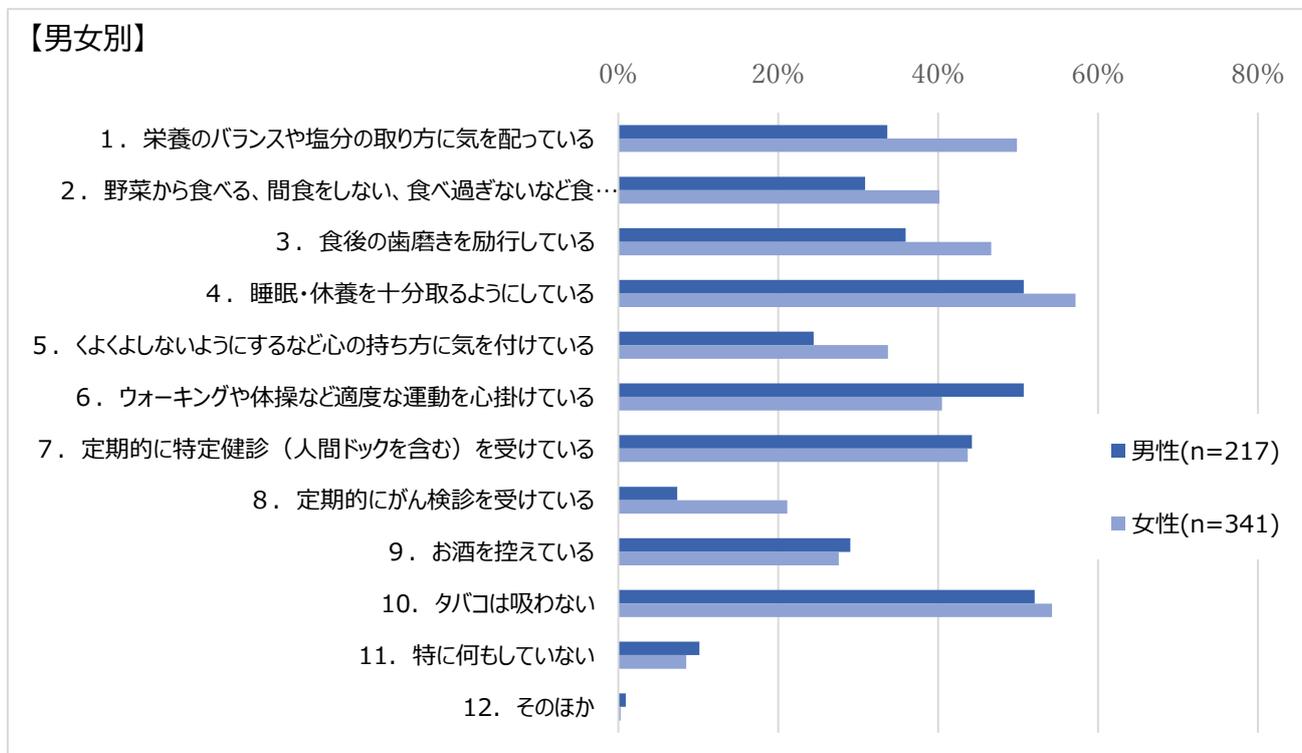
問23. あなたは、健康のために何か心掛けていることはありますか。
 (当てはまるものすべてに○)

「4. 睡眠・休養を十分取るようにしている」と答えた割合が53.9%と最も高く、次いで「10. タバコは吸わない」53.1%、「1. 栄養のバランスや塩分の取り方に気を配っている」44.5%、「6. ウォーキングや体操など適度な運動を心掛けている」44.2%、「7. 定期的に特定健診(人間ドックを含む)を受けている」43.9%、「3. 食後の歯磨きを励行している」42.3%となっている。また、「11. 特に何もしていない」と答えた割合は9.0%となっている。



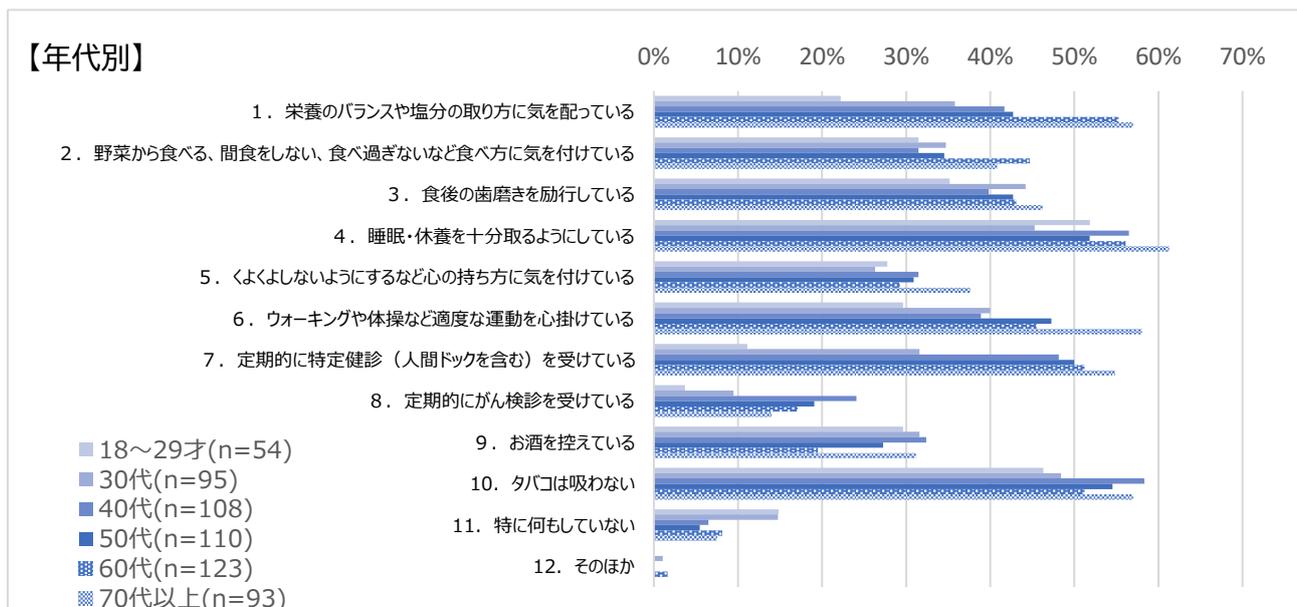
選択項目	回答数	比率 (n=586)
1. 栄養のバランスや塩分の取り方に気を配っている	261	44.5%
2. 野菜から食べる、間食をしない、食べ過ぎないなど食べ方に気を付けている	216	36.9%
3. 食後の歯磨きを励行している	248	42.3%
4. 睡眠・休養を十分取るようにしている	316	53.9%
5. くよくよしないようにするなど心の持ち方に気を付けている	181	30.9%
6. ウォーキングや体操など適度な運動を心掛けている	259	44.2%
7. 定期的に特定健診(人間ドックを含む)を受けている	257	43.9%
8. 定期的ながん検診を受けている	94	16.0%
9. お酒を控えている	165	28.2%
10. タバコは吸わない	311	53.1%
11. 特に何もしていない	53	9.0%
12. そのほか	3	0.5%
無回答	3	0.5%

男女別では、「6. ウォーキングや体操など適度な運動を心掛けている」と答えた割合が男性50.7%、女性40.5%と男性の方が高くなっている。一方で、「1. 栄養のバランスや塩分の取り方に気を配っている」と答えた割合は男性33.6%に対して女性49.9%、「8. 定期的ながん検診を受けている」と答えた割合は男性7.4%に対して女性21.1%、「3. 食後の歯磨きを励行している」と答えた割合は男性35.9%に対して女性46.6%と女性の方が高くなっている。



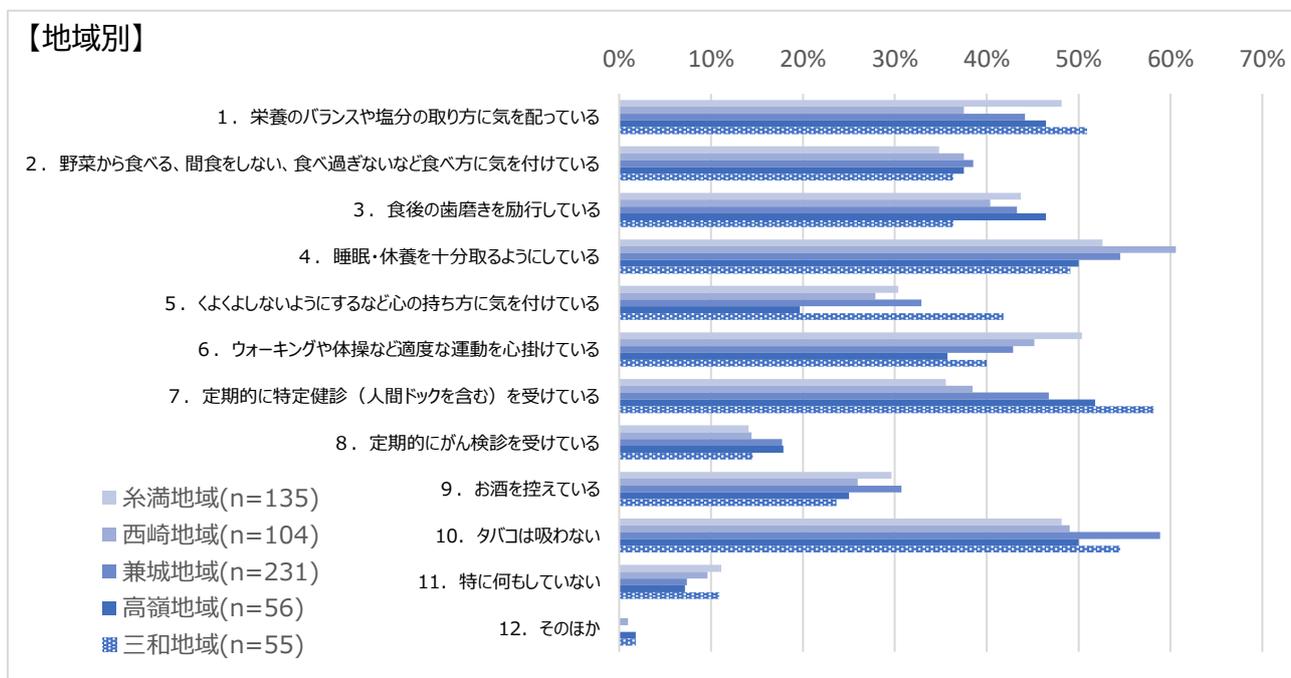
	男性 (n=217)	女性 (n=341)
1. 栄養のバランスや塩分の取り方に気を配っている	33.6%	49.9%
2. 野菜から食べる、間食をしない、食べ過ぎないなど食べ方に気を付けている	30.9%	40.2%
3. 食後の歯磨きを励行している	35.9%	46.6%
4. 睡眠・休養を十分取るようにしている	50.7%	57.2%
5. くよくよしないようにするなど心の持ち方に気を付けている	24.4%	33.7%
6. ウォーキングや体操など適度な運動を心掛けている	50.7%	40.5%
7. 定期的に特定健診(人間ドックを含む)を受けている	44.2%	43.7%
8. 定期的ながん検診を受けている	7.4%	21.1%
9. お酒を控えている	29.0%	27.6%
10. タバコは吸わない	52.1%	54.3%
11. 特に何もしていない	10.1%	8.5%
12. そのほか	0.9%	0.3%
無回答	0.5%	0.6%

年代別では、「7. 定期的に特定健診(人間ドックを含む)を受けている」と答えた割合が18～29才では11.1%、30代でも31.6%(全体43.9%)と、他の年代に比べて低くなっている。また、18～29才では「1. 栄養のバランスや塩分の取り方に気を配っている」と答えた割合が22.2%(全体44.5%)、「6. ウォーキングや体操など適度な運動を心掛けている」29.6%(全体44.2%)、「8. 定期的ながん検診を受けている」3.7%(全体16.0%)と他の年代に比べて低くなっている。一方で、70代以上では「1. 栄養のバランスや塩分の取り方に気を配っている」と答えた割合が57.0%(全体44.5%)、「6. ウォーキングや体操など適度な運動を心掛けている」58.1%(全体44.2%)、「7. 定期的に特定健診(人間ドックを含む)を受けている」54.8%(全体43.9%)と他の年代に比べて高くなっている。



	18～29才 (n=54)	30代 (n=95)	40代 (n=108)	50代 (n=110)	60代 (n=123)	70代以上 (n=93)
1. 栄養のバランスや塩分の取り方に気を配っている	22.2%	35.8%	41.7%	42.7%	55.3%	57.0%
2. 野菜から食べる、間食をしない、食べ過ぎないなど食べ方に気を付けている	31.5%	34.7%	31.5%	34.5%	44.7%	40.9%
3. 食後の歯磨きを励行している	35.2%	44.2%	39.8%	42.7%	43.1%	46.2%
4. 睡眠・休養を十分取るようにしている	51.9%	45.3%	56.5%	51.8%	56.1%	61.3%
5. くよくよしないようにするなど心の持ち方に気を付けている	27.8%	26.3%	31.5%	30.9%	29.3%	37.6%
6. ウォーキングや体操など適度な運動を心掛けている	29.6%	40.0%	38.9%	47.3%	45.5%	58.1%
7. 定期的に特定健診(人間ドックを含む)を受けている	11.1%	31.6%	48.1%	50.0%	51.2%	54.8%
8. 定期的ながん検診を受けている	3.7%	9.5%	24.1%	19.1%	17.1%	14.0%
9. お酒を控えている	29.6%	31.6%	32.4%	27.3%	19.5%	31.2%
10. タバコは吸わない	46.3%	48.4%	58.3%	54.5%	51.2%	57.0%
11. 特に何もしていない	14.8%	14.7%	6.5%	5.5%	8.1%	7.5%
12. そのほか	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%
無回答	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.8%	1.1%

地域別では、三和地域において「7. 定期的に特定健診(人間ドックを含む)を受けている」と答えた割合が58.2%(全体43.9%)、「5. くよくよしないようにするなど心の持ち方に気を付けている」と答えた割合も41.8%(全体30.9%)と、他の地域に比べて高くなっている。

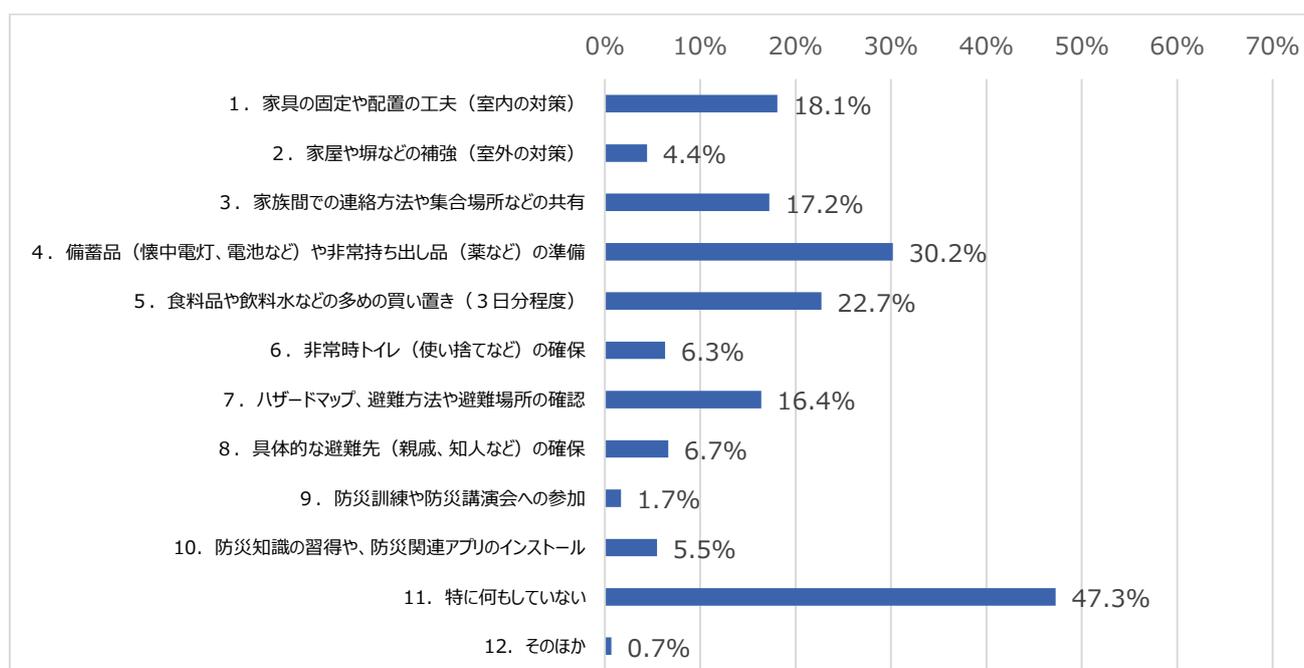


	糸満地域 (n=135)	西崎地域 (n=104)	兼城地域 (n=231)	高嶺地域 (n=56)	三和地域 (n=55)
1. 栄養のバランスや塩分の取り方に気を配っている	48.1%	37.5%	44.2%	46.4%	50.9%
2. 野菜から食べる、間食をしない、食べ過ぎないなど食べ方に気を付けている	34.8%	37.5%	38.5%	37.5%	36.4%
3. 食後の歯磨きを励行している	43.7%	40.4%	43.3%	46.4%	36.4%
4. 睡眠・休養を十分取るようにしている	52.6%	60.6%	54.5%	50.0%	49.1%
5. くよくよしないようにするなど心の持ち方に気を付けている	30.4%	27.9%	32.9%	19.6%	41.8%
6. ウォーキングや体操など適度な運動を心掛けている	50.4%	45.2%	42.9%	35.7%	40.0%
7. 定期的に特定健診(人間ドックを含む)を受けている	35.6%	38.5%	46.8%	51.8%	58.2%
8. 定期的ながん検診を受けている	14.1%	14.4%	17.7%	17.9%	14.5%
9. お酒を控えている	29.6%	26.0%	30.7%	25.0%	23.6%
10. タバコは吸わない	48.1%	49.0%	58.9%	50.0%	54.5%
11. 特に何もしていない	11.1%	9.6%	7.4%	7.1%	10.9%
12. そのほか	0.0%	1.0%	0.0%	1.8%	1.8%
無回答	0.0%	1.0%	0.0%	3.6%	0.0%

●災害への備えについて

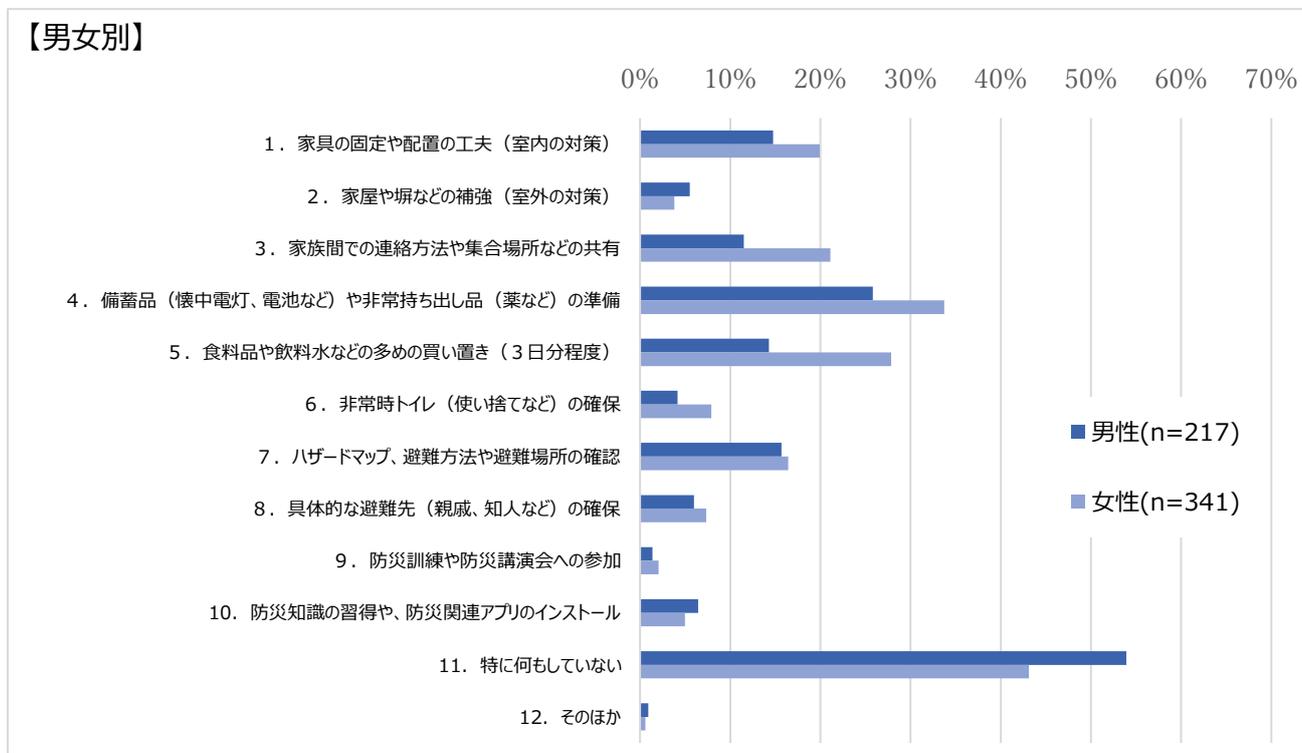
問24. あなたは、災害に備えてどのような対策をしていますか。(当てはまるものすべてに○)

「11.特に何もしていない」と答えた割合が47.3%と最も高く、次いで「4. 備蓄品(懐中電灯、電池など)や非常持ち出し品(薬など)の準備」30.2%、「5. 食料品や飲料水などの多めの買い置き(3日分程度)」22.7%となっている。



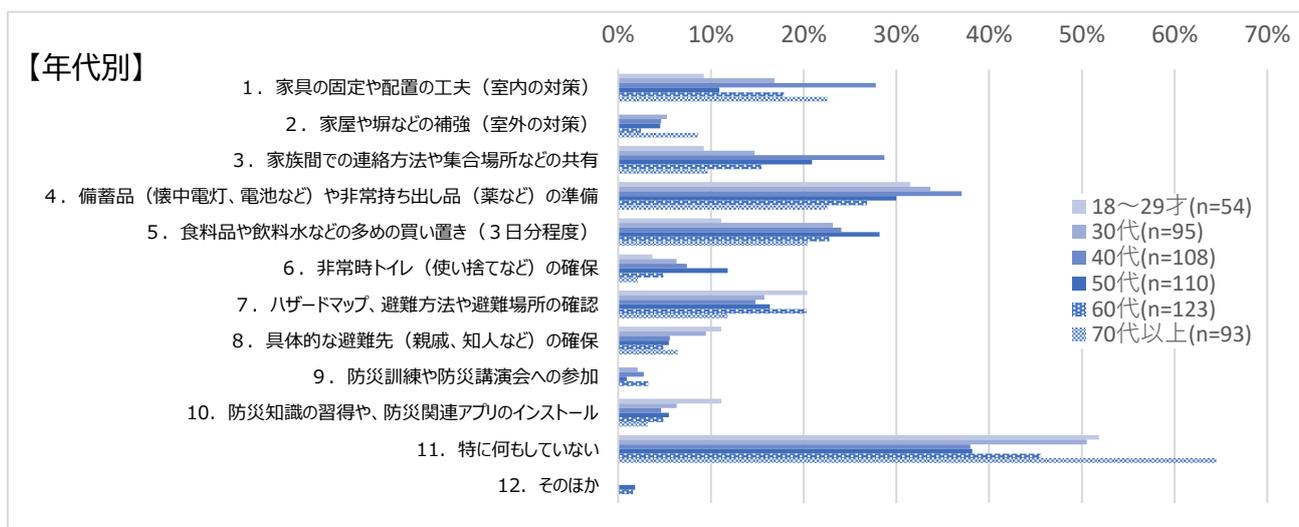
選択項目	回答数	比率 (n=586)
1. 家具の固定や配置の工夫(室内の対策)	106	18.1%
2. 家屋や塀などの補強(室外の対策)	26	4.4%
3. 家族間での連絡方法や集合場所などの共有	101	17.2%
4. 備蓄品(懐中電灯、電池など)や非常持ち出し品(薬など)の準備	177	30.2%
5. 食料品や飲料水などの多めの買い置き(3日分程度)	133	22.7%
6. 非常時トイレ(使い捨てなど)の確保	37	6.3%
7. ハザードマップ、避難方法や避難場所の確認	96	16.4%
8. 具体的な避難先(親戚、知人など)の確保	39	6.7%
9. 防災訓練や防災講演会への参加	10	1.7%
10. 防災知識の習得や、防災関連アプリのインストール	32	5.5%
11. 特に何もしていない	277	47.3%
12. そのほか	4	0.7%
無回答	7	1.2%

男女別では、「11.特に何もしていない」と答えた割合が男性53.9%、女性43.1%と男性が高くなっている。一方で、「5.食料品や飲料水などの多めの買い置き(3日分程度)」と答えた割合は男性14.3%、女性27.9%、「3.家族間での連絡方法や集合場所などの共有」と答えた割合は男性11.5%、女性21.1%と、女性が高くなっている。



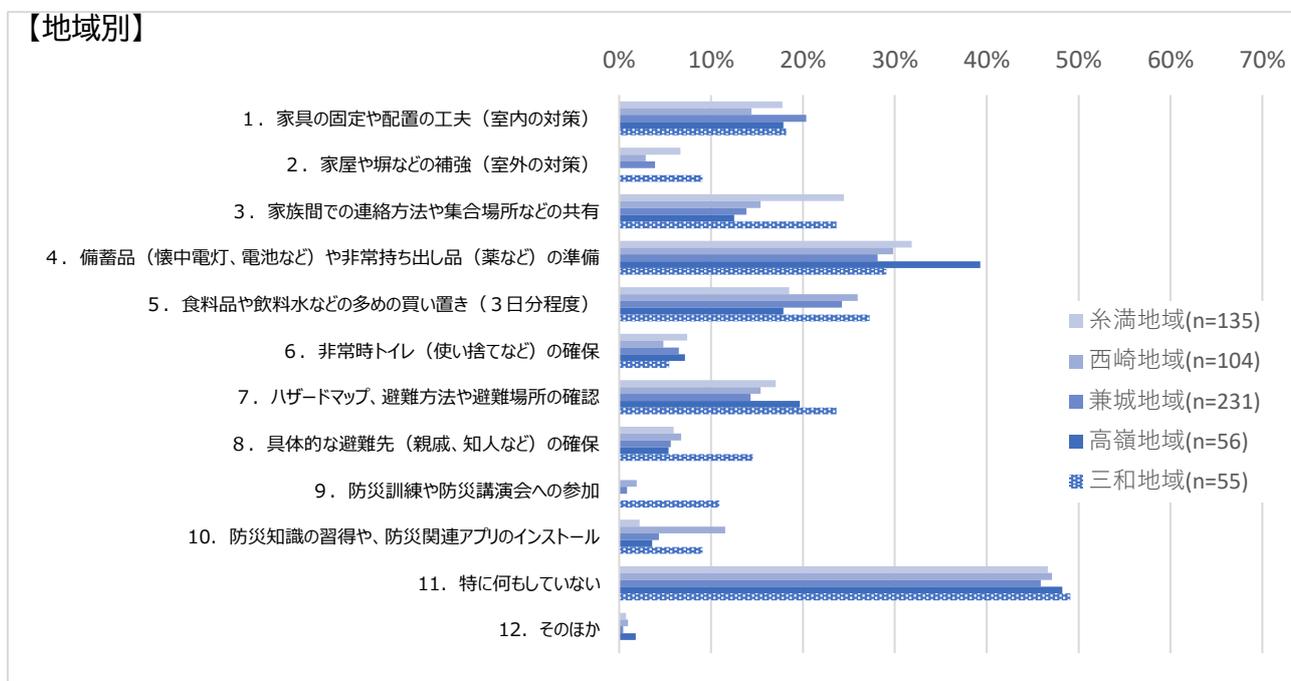
	男性 (n=217)	女性 (n=341)
1. 家具の固定や配置の工夫(室内の対策)	14.7%	19.9%
2. 家屋や塀などの補強(室外の対策)	5.5%	3.8%
3. 家族間での連絡方法や集合場所などの共有	11.5%	21.1%
4. 備蓄品(懐中電灯、電池など)や非常持ち出し品(薬など)の準備	25.8%	33.7%
5. 食料品や飲料水などの多めの買い置き(3日分程度)	14.3%	27.9%
6. 非常時トイレ(使い捨てなど)の確保	4.1%	7.9%
7. ハザードマップ、避難方法や避難場所の確認	15.7%	16.4%
8. 具体的な避難先(親戚、知人など)の確保	6.0%	7.3%
9. 防災訓練や防災講演会への参加	1.4%	2.1%
10. 防災知識の習得や、防災関連アプリのインストール	6.5%	5.0%
11. 特に何もしていない	53.9%	43.1%
12. そのほか	0.9%	0.6%
無回答	0.9%	1.5%

年代別では、70代以上において「11.特に何もしていない」と答えた割合が64.5%(全体47.3%)と他の年代よりも高くなっており、「4. 備蓄品(懐中電灯、電池など)や非常持ち出し品(薬など)の準備」と答えた割合が22.6%(全体30.2%)と他の年代よりも低くなっている。また、18~29才においては「5. 食料品や飲料水などの多めの買い置き(3日分程度)」と答えた割合が11.1%(全体22.7%)と他の年代よりも低くなっている。一方で、40代において「11.特に何もしていない」と答えた割合が38.0%(全体47.3%)と最も低く、「3. 家族間での連絡方法や集合場所などの共有」と答えた割合が28.7%(全体17.2%)、「1. 家具の固定や配置の工夫(室内の対策)」と答えた割合が27.8%(全体18.1%)と他の年代よりも高くなっている。また、50代も「11.特に何もしていない」と答えた割合が38.2%(全体47.3%)と40代同様に低く、「5. 食料品や飲料水などの多めの買い置き(3日分程度)」と答えた割合が28.2%(全体22.7%)、「6. 非常時トイレ(使い捨てなど)の確保」と答えた割合が11.8%(全体6.3%)と他の年代よりも高くなっている。



	18~29才 (n=54)	30代 (n=95)	40代 (n=108)	50代 (n=110)	60代 (n=123)	70代以上 (n=93)
1. 家具の固定や配置の工夫(室内の対策)	9.3%	16.8%	27.8%	10.9%	17.9%	22.6%
2. 家屋や塀などの補強(室外の対策)	0.0%	5.3%	4.6%	4.5%	2.4%	8.6%
3. 家族間での連絡方法や集合場所などの共有	9.3%	14.7%	28.7%	20.9%	15.4%	9.7%
4. 備蓄品(懐中電灯、電池など)や非常持ち出し品(薬など)の準備	31.5%	33.7%	37.0%	30.0%	26.8%	22.6%
5. 食料品や飲料水などの多めの買い置き(3日分程度)	11.1%	23.2%	24.1%	28.2%	22.8%	20.4%
6. 非常時トイレ(使い捨てなど)の確保	3.7%	6.3%	7.4%	11.8%	4.9%	2.2%
7. ハザードマップ、避難方法や避難場所の確認	20.4%	15.8%	14.8%	16.4%	20.3%	11.8%
8. 具体的な避難先(親戚、知人など)の確保	11.1%	9.5%	5.6%	5.5%	4.9%	6.5%
9. 防災訓練や防災講演会への参加	0.0%	2.1%	2.8%	0.9%	3.3%	0.0%
10. 防災知識の習得や、防災関連アプリのインストール	11.1%	6.3%	4.6%	5.5%	4.9%	3.2%
11. 特に何もしていない	51.9%	50.5%	38.0%	38.2%	45.5%	64.5%
12. そのほか	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	1.6%	0.0%
無回答	0.0%	1.1%	0.9%	1.8%	0.8%	2.2%

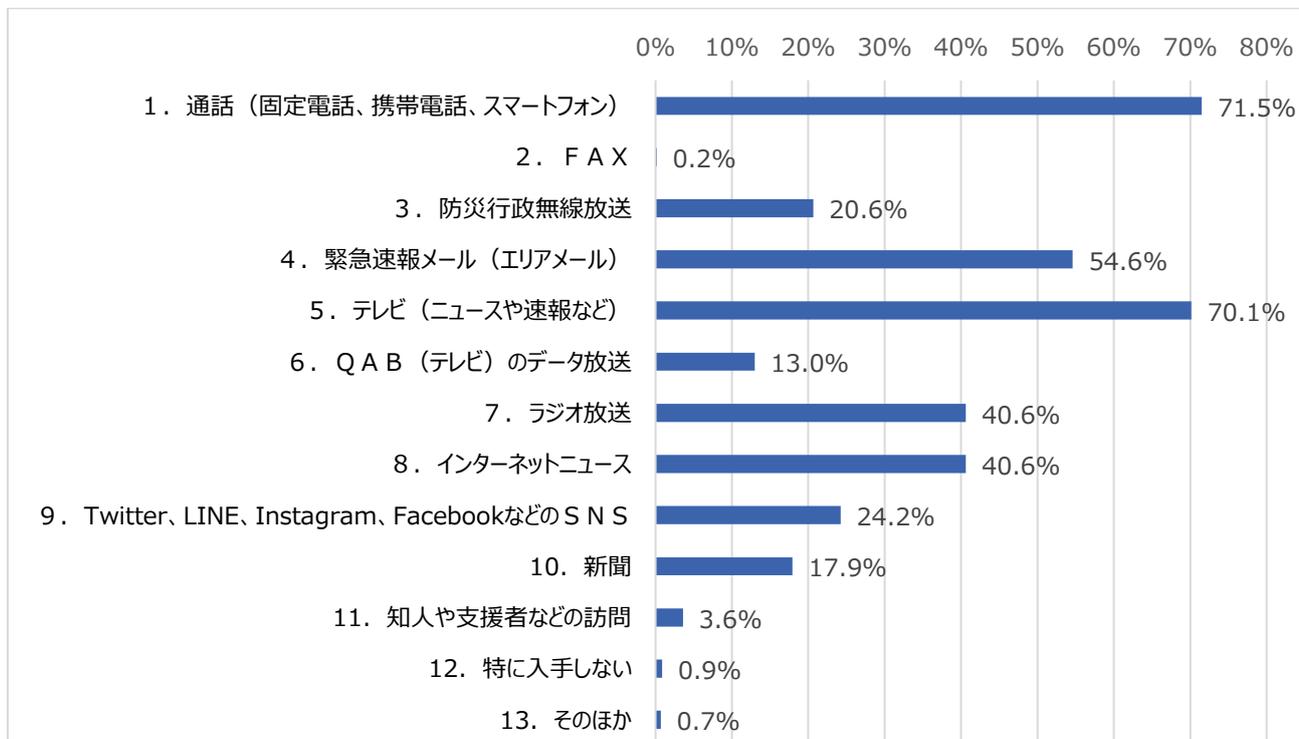
地域別では、高嶺地域において「4. 備蓄品(懐中電灯、電池など)や非常持ち出し品(薬など)の準備」と答えた割合が39.3%(全体30.2%)と他の地域よりも高くなっている。また、三和地域において「9. 防災訓練や防災講演会への参加」と答えた割合が10.9%(全体1.7%)、「8. 具体的な避難先(親戚、知人など)の確保」と答えた割合が14.5%(全体6.7%)と他の地域よりも高くなっている。



	糸満地域 (n=135)	西崎地域 (n=104)	兼城地域 (n=231)	高嶺地域 (n=56)	三和地域 (n=55)
1. 家具の固定や配置の工夫(室内の対策)	17.8%	14.4%	20.3%	17.9%	18.2%
2. 家屋や塀などの補強(室外の対策)	6.7%	2.9%	3.9%	0.0%	9.1%
3. 家族間での連絡方法や集合場所などの共有	24.4%	15.4%	13.9%	12.5%	23.6%
4. 備蓄品(懐中電灯、電池など)や非常持ち出し品(薬など)の準備	31.9%	29.8%	28.1%	39.3%	29.1%
5. 食料品や飲料水などの多めの買い置き(3日分程度)	18.5%	26.0%	24.2%	17.9%	27.3%
6. 非常時トイレ(使い捨てなど)の確保	7.4%	4.8%	6.5%	7.1%	5.5%
7. ハザードマップ、避難方法や避難場所の確認	17.0%	15.4%	14.3%	19.6%	23.6%
8. 具体的な避難先(親戚、知人など)の確保	5.9%	6.7%	5.6%	5.4%	14.5%
9. 防災訓練や防災講演会への参加	0.0%	1.9%	0.9%	0.0%	10.9%
10. 防災知識の習得や、防災関連アプリのインストール	2.2%	11.5%	4.3%	3.6%	9.1%
11. 特に何もしていない	46.7%	47.1%	45.9%	48.2%	49.1%
12. その他	0.7%	1.0%	0.4%	1.8%	0.0%
無回答	1.5%	1.0%	1.3%	1.8%	0.0%

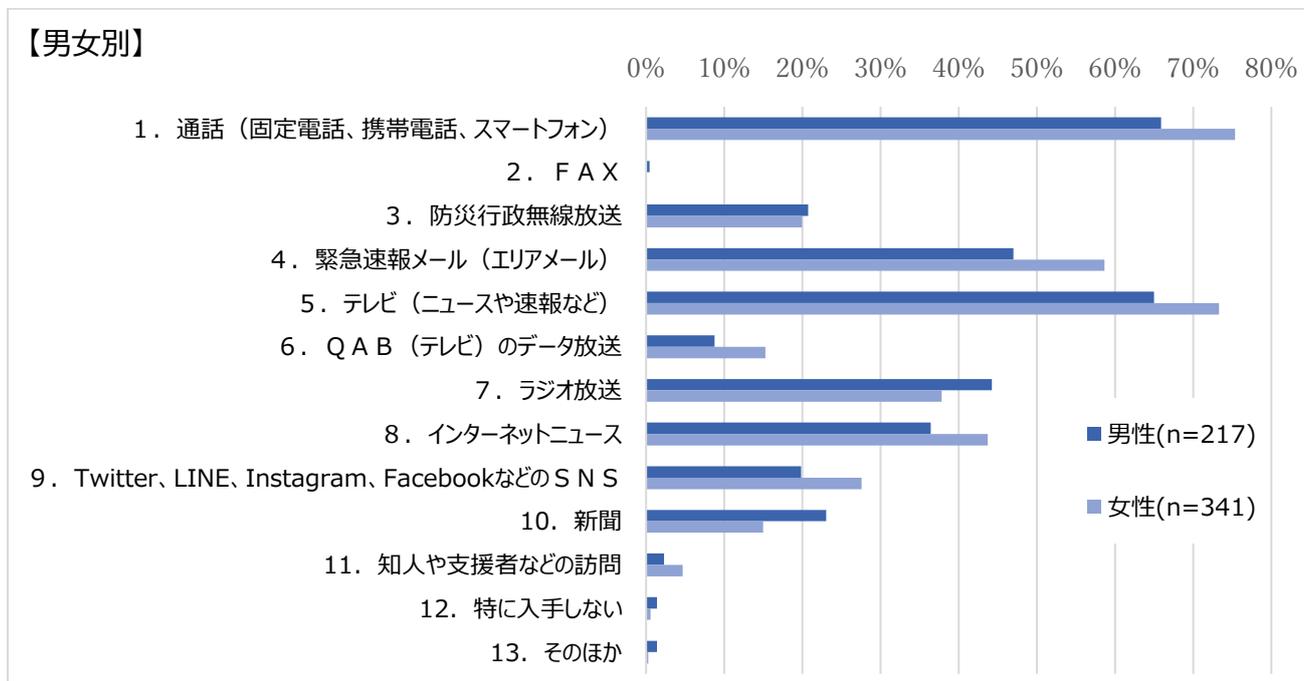
問25. あなたは、災害が発生または発生のある場合、どのような手段で災害情報入手しますか。(当てはまるものすべてに○)

「1. 通話(固定電話、携帯電話、スマートフォン)」と答えた割合が71.5%と最も高く、次いで「5. テレビ(ニュースや速報など)」70.1%、「4. 緊急速報メール(エリアメール)」54.6%となっている。



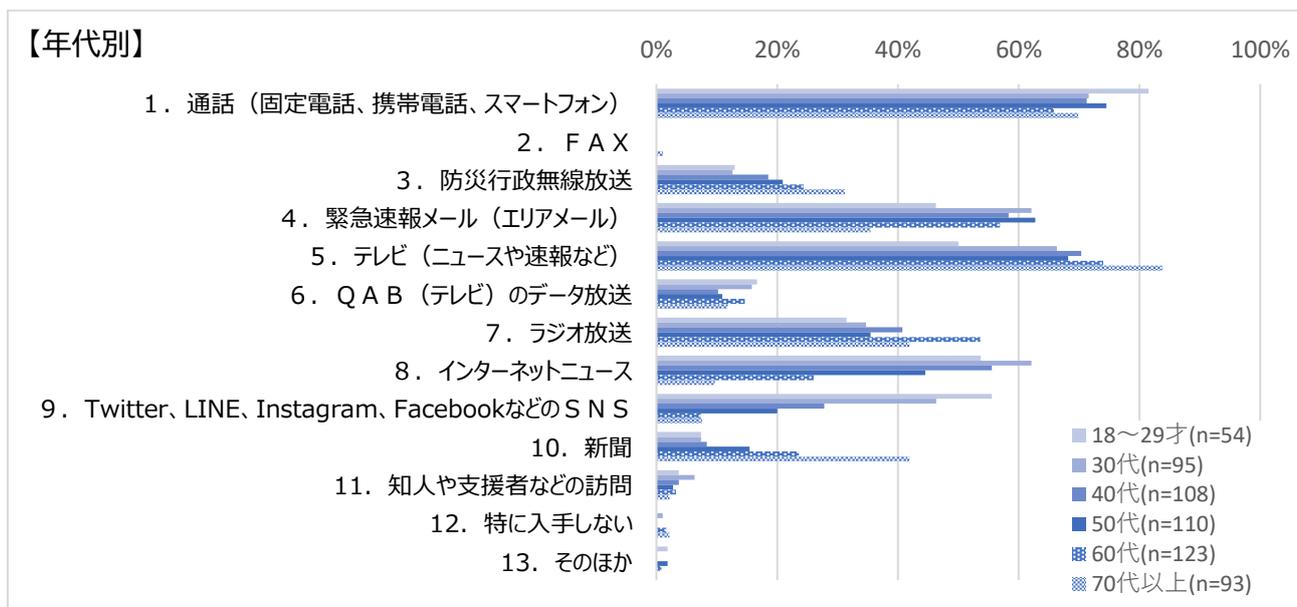
選択項目	回答数	比率 (n=586)
1. 通話(固定電話、携帯電話、スマートフォン)	419	71.5%
2. FAX	1	0.2%
3. 防災行政無線放送	121	20.6%
4. 緊急速報メール(エリアメール)	320	54.6%
5. テレビ(ニュースや速報など)	411	70.1%
6. QAB(テレビ)のデータ放送	76	13.0%
7. ラジオ放送	238	40.6%
8. インターネットニュース	238	40.6%
9. Twitter、LINE、Instagram、FacebookなどのSNS	142	24.2%
10. 新聞	105	17.9%
11. 知人や支援者などの訪問	21	3.6%
12. 特に入手しない	5	0.9%
13. そのほか	4	0.7%
無回答	3	0.5%

男女別では、「4. 緊急速報メール(エリアメール)」と答えた割合が男性47.0%、女性58.7%と女性が高くなっている。また、「1. 通話(固定電話、携帯電話、スマートフォン)」と答えた割合も男性65.9%、女性75.4%、「5. テレビ(ニュースや速報など)」と答えた割合も男性65.0%、女性73.3%と女性が高くなっている。一方で、「10. 新聞」と答えた割合は男性23.0%、女性15.0%と男性が高くなっている。



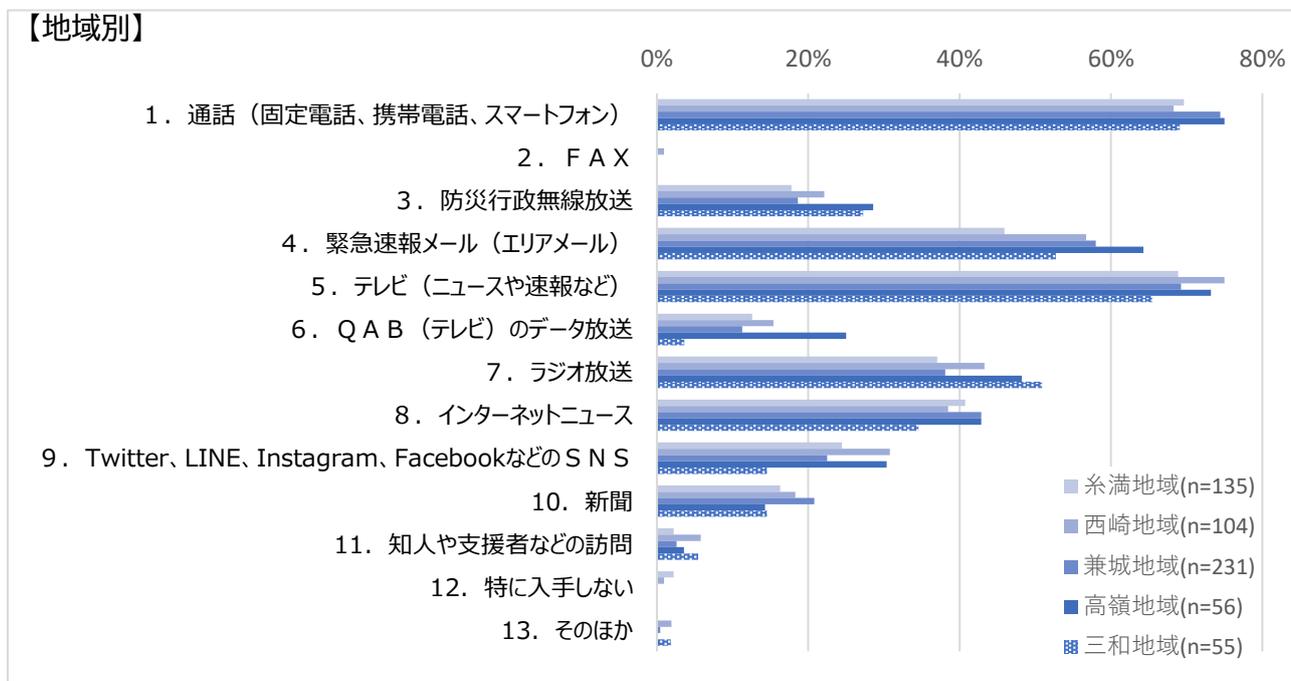
	男性 (n=217)	女性 (n=341)
1. 通話(固定電話、携帯電話、スマートフォン)	65.9%	75.4%
2. FAX	0.5%	0.0%
3. 防災行政無線放送	20.7%	19.9%
4. 緊急速報メール(エリアメール)	47.0%	58.7%
5. テレビ(ニュースや速報など)	65.0%	73.3%
6. QAB(テレビ)のデータ放送	8.8%	15.2%
7. ラジオ放送	44.2%	37.8%
8. インターネットニュース	36.4%	43.7%
9. Twitter、LINE、Instagram、FacebookなどのSNS	19.8%	27.6%
10. 新聞	23.0%	15.0%
11. 知人や支援者などの訪問	2.3%	4.7%
12. 特に入手しない	1.4%	0.6%
13. そのほか	1.4%	0.3%
無回答	0.5%	0.6%

年代別では、18～29才においては「5. テレビ(ニュースや速報など)」と答えた割合が50.0%(全体70.1%)と他の年代よりも低くなっている。また、「10. 新聞」と答えた割合が18～29才7.4%、30代7.4%、40代8.3%(全体17.9%)と若い年代で低く、70代以上で41.9%と最も高くなっている。一方で、「8. インターネットニュース」と答えた割合は、18～29才53.7%、30代62.1%、40代55.6%(全体40.6%)と若い年代で高く、70代以上で9.7%と最も低くなっている。また、「9. Twitter、LINE、Instagram、FacebookなどのSNS」と答えた割合も、18～29才55.6%、30代46.3%(全体24.2%)と若い年代で高くなっている。一方で、70代以上で7.5%と最も低く、次いで60代で7.3%となっている。



	18～29才 (n=54)	30代 (n=95)	40代 (n=108)	50代 (n=110)	60代 (n=123)	70代以上 (n=93)
1. 通話(固定電話、携帯電話、スマートフォン)	81.5%	71.6%	71.3%	74.5%	65.9%	69.9%
2. FAX	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%
3. 防災行政無線放送	13.0%	12.6%	18.5%	20.9%	24.4%	31.2%
4. 緊急速報メール(エリアメール)	46.3%	62.1%	58.3%	62.7%	56.9%	35.5%
5. テレビ(ニュースや速報など)	50.0%	66.3%	70.4%	68.2%	74.0%	83.9%
6. QAB(テレビ)のデータ放送	16.7%	15.8%	10.2%	10.9%	14.6%	11.8%
7. ラジオ放送	31.5%	34.7%	40.7%	35.5%	53.7%	41.9%
8. インターネットニュース	53.7%	62.1%	55.6%	44.5%	26.0%	9.7%
9. Twitter、LINE、Instagram、FacebookなどのSNS	55.6%	46.3%	27.8%	20.0%	7.3%	7.5%
10. 新聞	7.4%	7.4%	8.3%	15.5%	23.6%	41.9%
11. 知人や支援者などの訪問	3.7%	6.3%	3.7%	2.7%	3.3%	2.2%
12. 特に入手しない	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	1.6%	2.2%
13. そのほか	1.9%	0.0%	0.0%	1.8%	0.8%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	1.1%

地域別では、高嶺地域において「6. QAB(テレビ)のデータ放送」と答えた割合が25.0%(全体13.0%)、「4. 緊急速報メール(エリアメール)」と答えた割合が64.3%(全体54.6%)と他の地域より高くなっている。また、三和地域において「6. QAB(テレビ)のデータ放送」と答えた割合が3.6%(全体13.0%)、「9. Twitter、LINE、Instagram、FacebookなどのSNS」と答えた割合が14.5%(全体24.2%)と他の地域より低くなっている。



	糸満地域 (n=135)	西崎地域 (n=104)	兼城地域 (n=231)	高嶺地域 (n=56)	三和地域 (n=55)
1. 通話(固定電話、携帯電話、スマートフォン)	69.6%	68.3%	74.5%	75.0%	69.1%
2. FAX	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3. 防災行政無線放送	17.8%	22.1%	18.6%	28.6%	27.3%
4. 緊急速報メール(エリアメール)	45.9%	56.7%	58.0%	64.3%	52.7%
5. テレビ(ニュースや速報など)	68.9%	75.0%	69.3%	73.2%	65.5%
6. QAB(テレビ)のデータ放送	12.6%	15.4%	11.3%	25.0%	3.6%
7. ラジオ放送	37.0%	43.3%	38.1%	48.2%	50.9%
8. インターネットニュース	40.7%	38.5%	42.9%	42.9%	34.5%
9. Twitter、LINE、Instagram、FacebookなどのSNS	24.4%	30.8%	22.5%	30.4%	14.5%
10. 新聞	16.3%	18.3%	20.8%	14.3%	14.5%
11. 知人や支援者などの訪問	2.2%	5.8%	2.6%	3.6%	5.5%
12. 特に入手しない	2.2%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%
13. そのほか	0.0%	1.9%	0.4%	0.0%	1.8%
無回答	0.7%	1.0%	0.0%	0.0%	1.8%

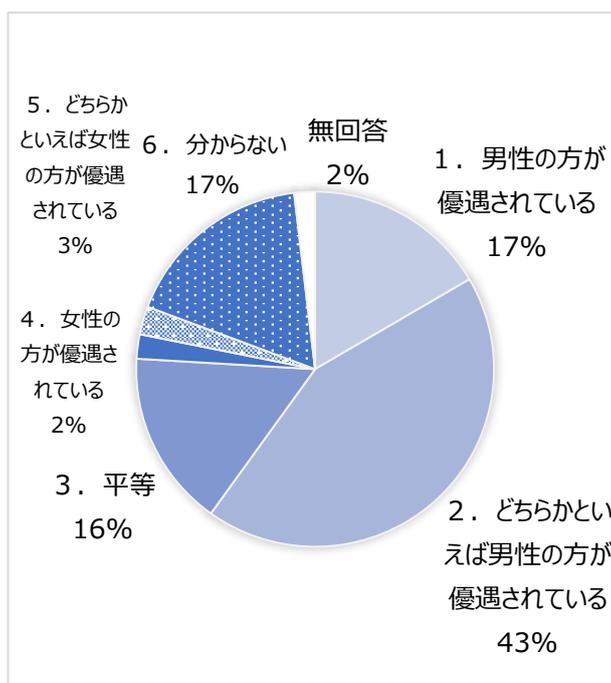
●男女共同参画について

問26. あなたは、家庭、職場、地域、社会通念・慣習など社会のあらゆる場面において、男女の地位は「平等」になっていると思いますか。(一つに○)

男性が優遇されている(「1. 男性の方が優遇されている」「2. どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計)と答えた割合が59.9%と半数以上となっており、「6. 分からない」17.4%、女性が優遇されている(「4. 女性の方が優遇されている」「5. どちらかといえば女性の方が優遇されている」の合計)と答えた割合は4.8%となっている。

選択項目	回答数	比率
男性優遇 (1. 男性の方が優遇されている+2. どちらか といえば男性が優遇されている)	351	59.9%
3. 平等	94	16.0%
女性優遇 (4. 女性の方が優遇されている+5. どちらか といえば女性の方が優遇されている)	28	4.8%
6. 分からない	102	17.4%
無回答	11	1.9%
	586	100%

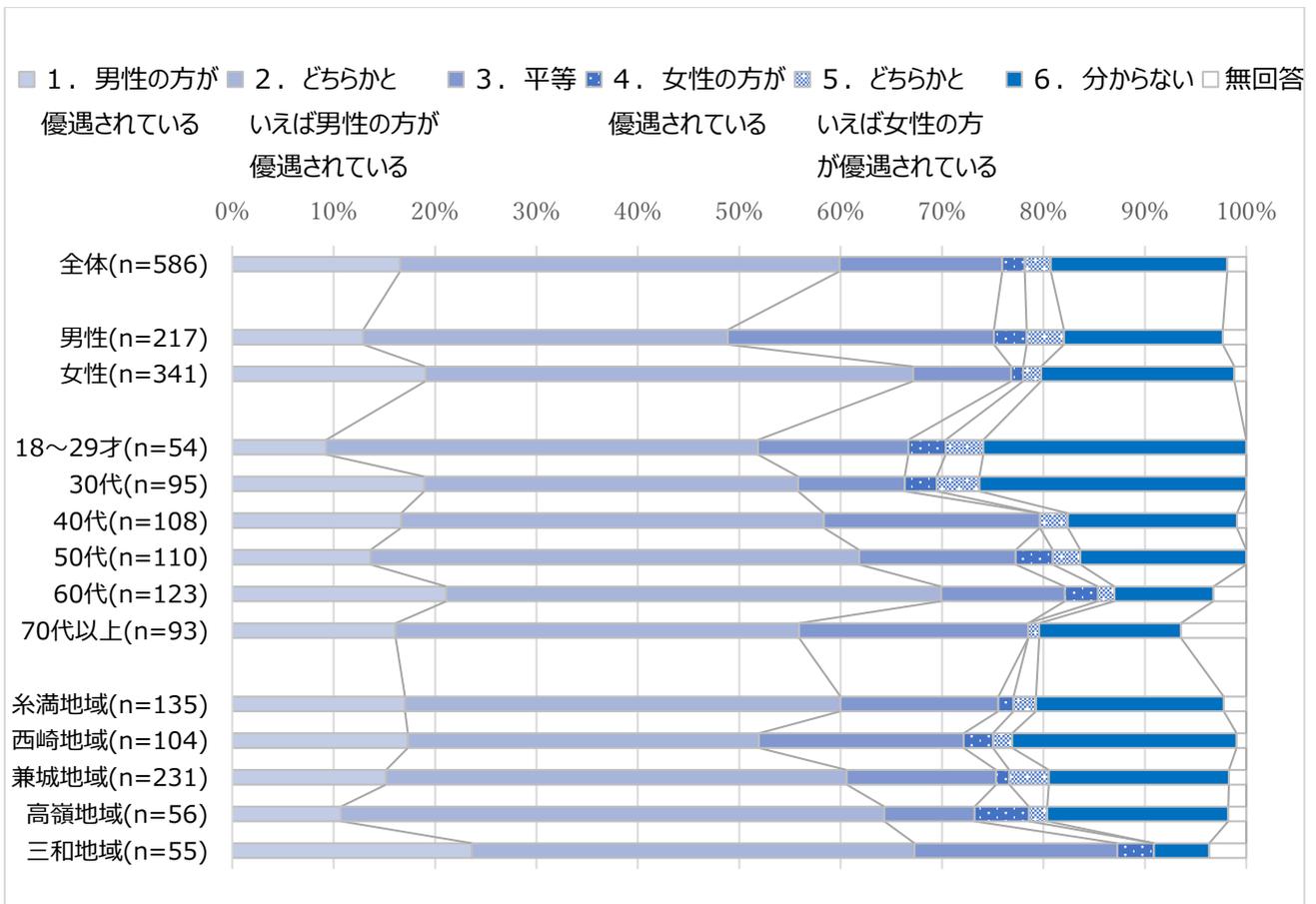
選択項目	回答数	比率
1. 男性の方が優遇されている	97	16.6%
2. どちらかといえば男性の方 が優遇されている	254	43.3%
3. 平等	94	16.0%
4. 女性の方が優遇されている	13	2.2%
5. どちらかといえば女性の方 が優遇されている	15	2.6%
6. 分からない	102	17.4%
無回答	11	1.9%
	586	100%



男女別では、「3. 平等」と答えた割合が男性26.3%、女性9.7%と男性が高くなっている。一方で、「2. どちらかといえば男性の方が優遇されている」と答えた割合は男性35.9%、女性48.1%と女性が高くなっている。

年代別では、「6. 分からない」と答えた割合が18～29才25.9%、30代26.3%(全体17.4%)と他の年代よりも高くなっている。また、「3. 平等」と答えた割合は全体は16.0%であるが、30代で10.5%と最も低く、一方で40代21.3%、70代以上22.6%と他の年代よりも高くなっている。また、男性が優遇されている(「1. 男性の方が優遇されている」「2. どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計)と答えた割合が60代で69.9%(全体59.9%)と他の年代よりも高くなっている。

地域別では、西崎地域において男性が優遇されている(「1. 男性の方が優遇されている」「2. どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計)と答えた割合が51.9%(全体59.9%)と他の地域よりも低くなっており、「3. 平等」と答えた割合が20.2%(全体16.0%)、「6. 分からない」と答えた割合が22.1%(全体17.4%)と他の地域よりも高くなっている。



	男性優遇 (1. 男性の方が優遇されている+2. どちらかといえば男性の方が優遇されている)	3. 平等	女性優遇 (4. 女性の方が優遇されている+5. どちらかといえば女性の方が優遇されている)	6. 分からない	無回答
全体(n=586)	59.9%	16.0%	4.8%	17.4%	1.9%
男性(n=217)	48.8%	26.3%	6.9%	15.7%	2.3%
女性(n=341)	67.2%	9.7%	2.9%	19.1%	1.2%
18~29才(n=54)	51.9%	14.8%	7.4%	25.9%	0.0%
30代(n=95)	55.8%	10.5%	7.4%	26.3%	0.0%
40代(n=108)	58.3%	21.3%	2.8%	16.7%	0.9%
50代(n=110)	61.8%	15.5%	6.4%	16.4%	0.0%
60代(n=123)	69.9%	12.2%	4.9%	9.8%	3.3%
70代以上(n=93)	55.9%	22.6%	1.1%	14.0%	6.5%
糸満地域(n=135)	60.0%	15.6%	3.7%	18.5%	2.2%
西崎地域(n=104)	51.9%	20.2%	4.8%	22.1%	1.0%
兼城地域(n=231)	60.6%	14.7%	5.2%	17.7%	1.7%
高嶺地域(n=56)	64.3%	8.9%	7.1%	17.9%	1.8%
三和地域(n=55)	67.3%	20.0%	3.6%	5.5%	3.6%

※上表の「1. 男性の方が優遇されている」、「2. どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計等において、小数点第1位のみの数値の合計では計算結果が異なる項目があることから、下表は小数点第2位の数値を記載しています。

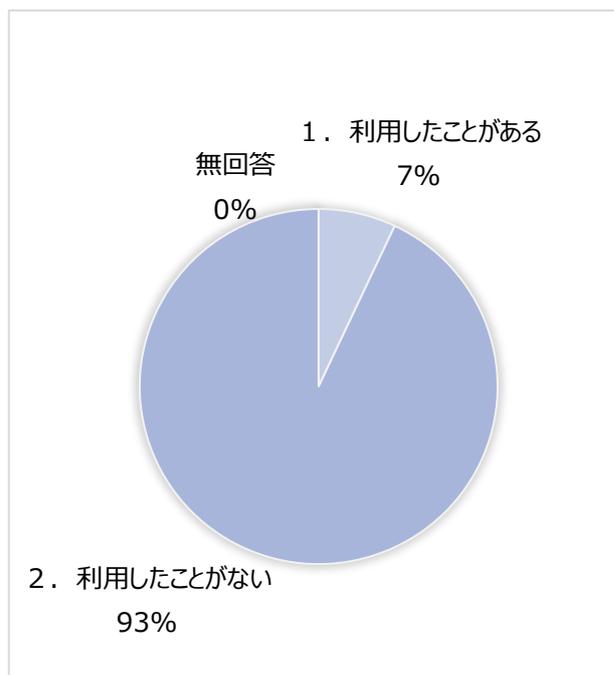
	1. 男性の方が優遇されている	2. どちらかといえば男性の方が優遇されている	3. 平等	4. 女性の方が優遇されている	5. どちらかといえば女性の方が優遇されている	6. 分からない	無回答
全体(n=586)	16.55%	43.34%	16.04%	2.22%	2.56%	17.41%	1.88%
男性(n=217)	12.90%	35.94%	26.27%	3.23%	3.69%	15.67%	2.30%
女性(n=341)	19.06%	48.09%	9.68%	1.17%	1.76%	19.06%	1.17%
18~29才(n=54)	9.26%	42.59%	14.81%	3.70%	3.70%	25.93%	0.00%
30代(n=95)	18.95%	36.84%	10.53%	3.16%	4.21%	26.32%	0.00%
40代(n=108)	16.67%	41.67%	21.30%	0.00%	2.78%	16.67%	0.93%
50代(n=110)	13.64%	48.18%	15.45%	3.64%	2.73%	16.36%	0.00%
60代(n=123)	21.14%	48.78%	12.20%	3.25%	1.63%	9.76%	3.25%
70代以上(n=93)	16.13%	39.78%	22.58%	0.00%	1.08%	13.98%	6.45%
糸満地域(n=135)	17.04%	42.96%	15.56%	1.48%	2.22%	18.52%	2.22%
西崎地域(n=104)	17.31%	34.62%	20.19%	2.88%	1.92%	22.12%	0.96%
兼城地域(n=231)	15.15%	45.45%	14.72%	1.30%	3.90%	17.75%	1.73%
高嶺地域(n=56)	10.71%	53.57%	8.93%	5.36%	1.79%	17.86%	1.79%
三和地域(n=55)	23.64%	43.64%	20.00%	3.64%	0.00%	5.45%	3.64%

●公共交通について

問27. 交通弱者の移動手段の確保・維持を目的として、令和3年10月に「いとちゃん mini」の本格運行が始まりました。あなたは、「いとちゃん mini」を利用したことがありますか。（一つに○）

「2. 利用したことがない」と答えた割合が93.0%と大半を占め、「1. 利用したことがある」と答えた割合は7.0%となっている。

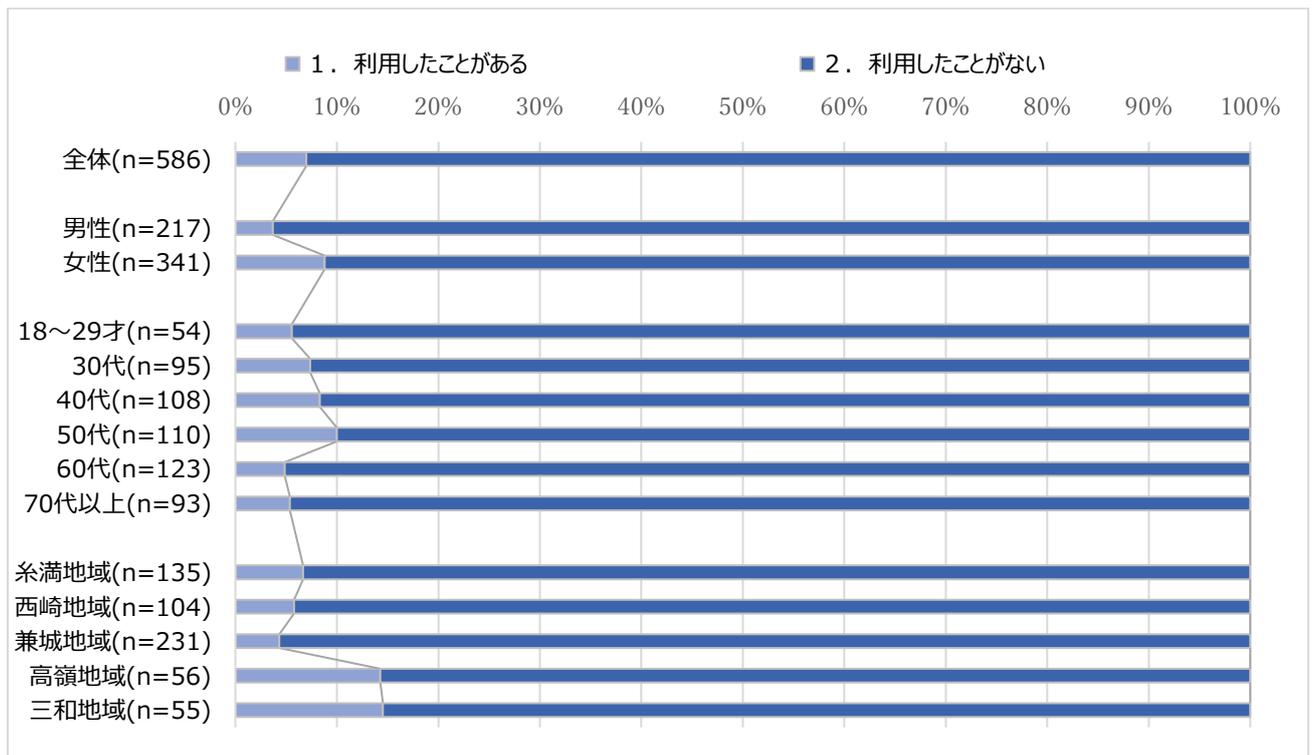
選択項目	回答数	比率
1. 利用したことがある	41	7.0%
2. 利用したことがない	545	93.0%
無回答	0	0.0%
	586	100%



男女別では、「1. 利用したことがある」と答えた割合が男性3.7%、女性8.8%と女性が高くなっている。

年代別では、「1. 利用したことがある」と答えた割合が60代で4.9%と最も低く、50代で10.0%と最も高くなっている。

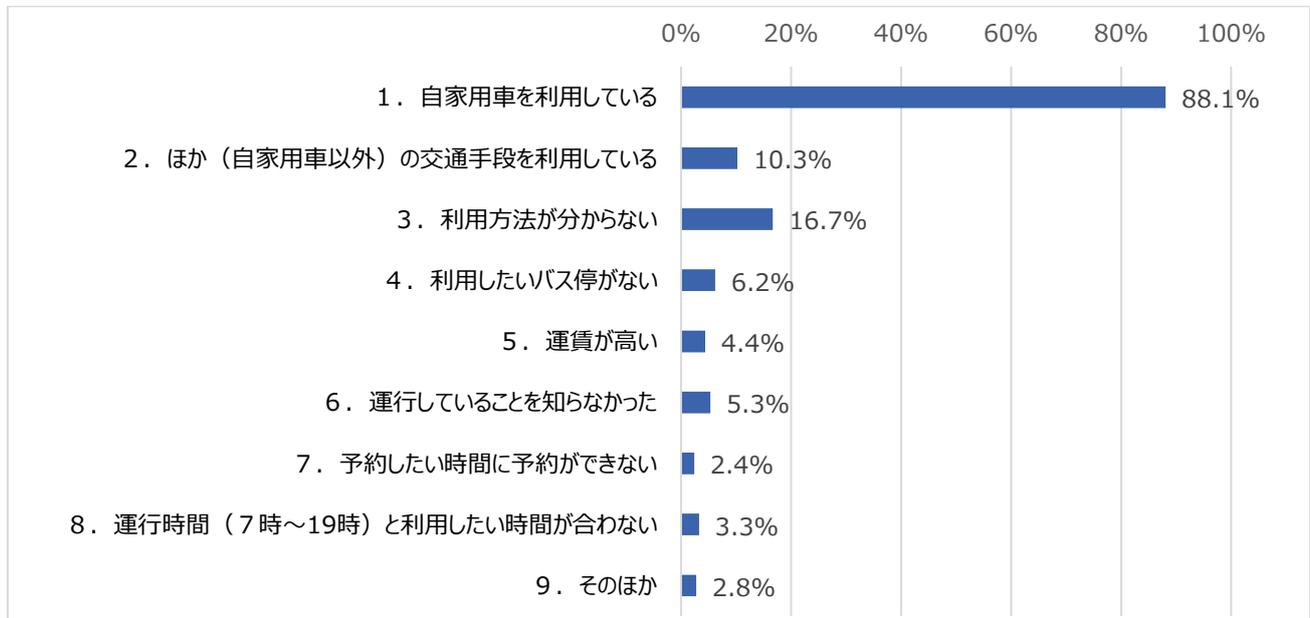
地域別では、「1. 利用したことがある」と答えた割合が兼城地域で4.3%と最も低くなっている。一方で、三和地域で14.5%と最も高く、次いで高嶺地域14.3%となっている。



	1. 利用したことがある	2. 利用したことがない	無回答
全体(n=586)	7.0%	93.0%	0.0%
男性(n=217)	3.7%	96.3%	0.0%
女性(n=341)	8.8%	91.2%	0.0%
18~29才(n=54)	5.6%	94.4%	0.0%
30代(n=95)	7.4%	92.6%	0.0%
40代(n=108)	8.3%	91.7%	0.0%
50代(n=110)	10.0%	90.0%	0.0%
60代(n=123)	4.9%	95.1%	0.0%
70代以上(n=93)	5.4%	94.6%	0.0%
糸満地域(n=135)	6.7%	93.3%	0.0%
西崎地域(n=104)	5.8%	94.2%	0.0%
兼城地域(n=231)	4.3%	95.7%	0.0%
高嶺地域(n=56)	14.3%	85.7%	0.0%
三和地域(n=55)	14.5%	85.5%	0.0%

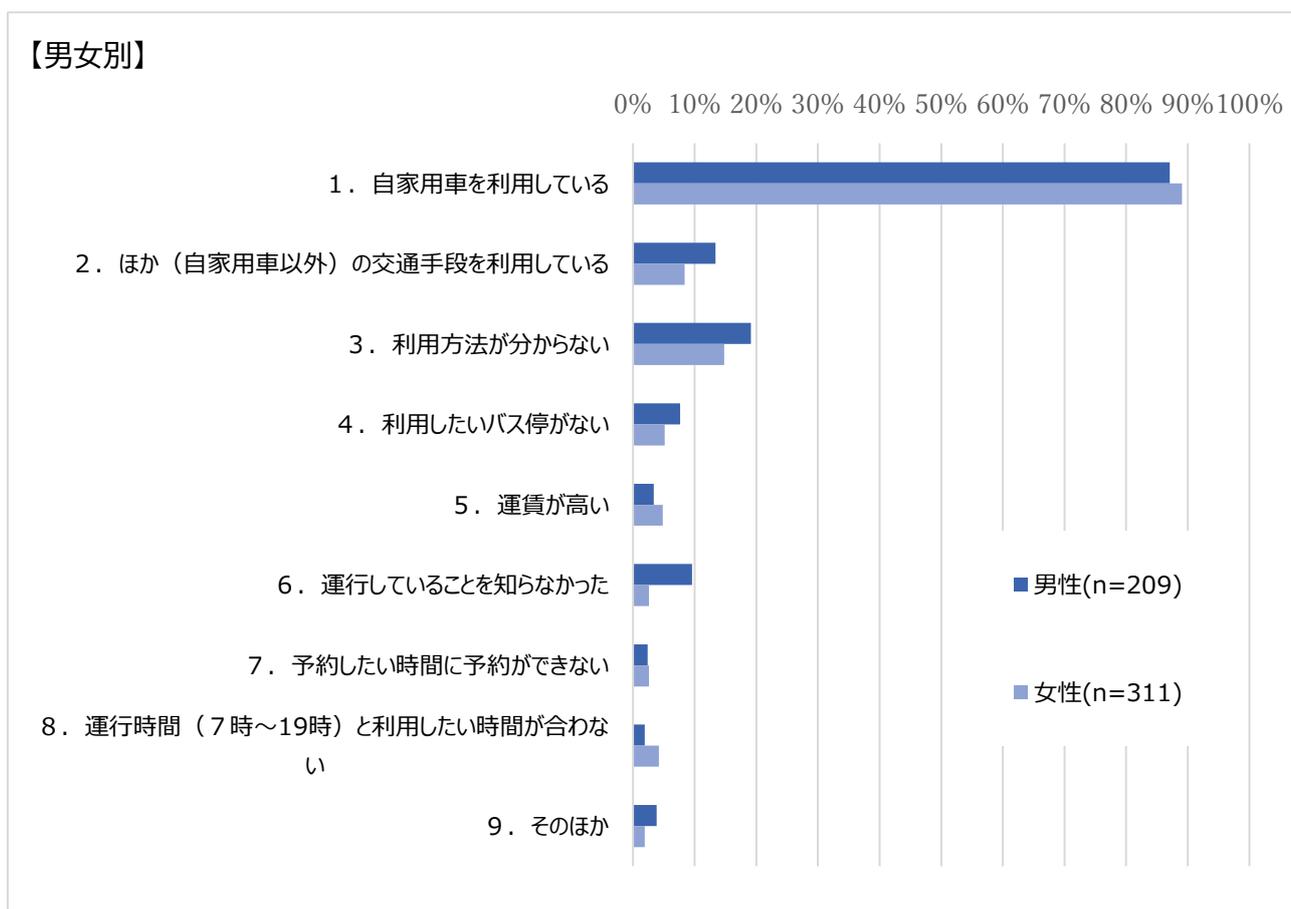
問28.「利用したことがない」を選択した方は、その理由を教えてください。(当てはまるものすべてに○)

「1. 自家用車を利用している」と答えた割合が88.1%と最も高く、次いで「3. 利用方法が分からない」16.7%、「2. ほか(自家用車以外)の交通手段を利用している」10.3%となっている。



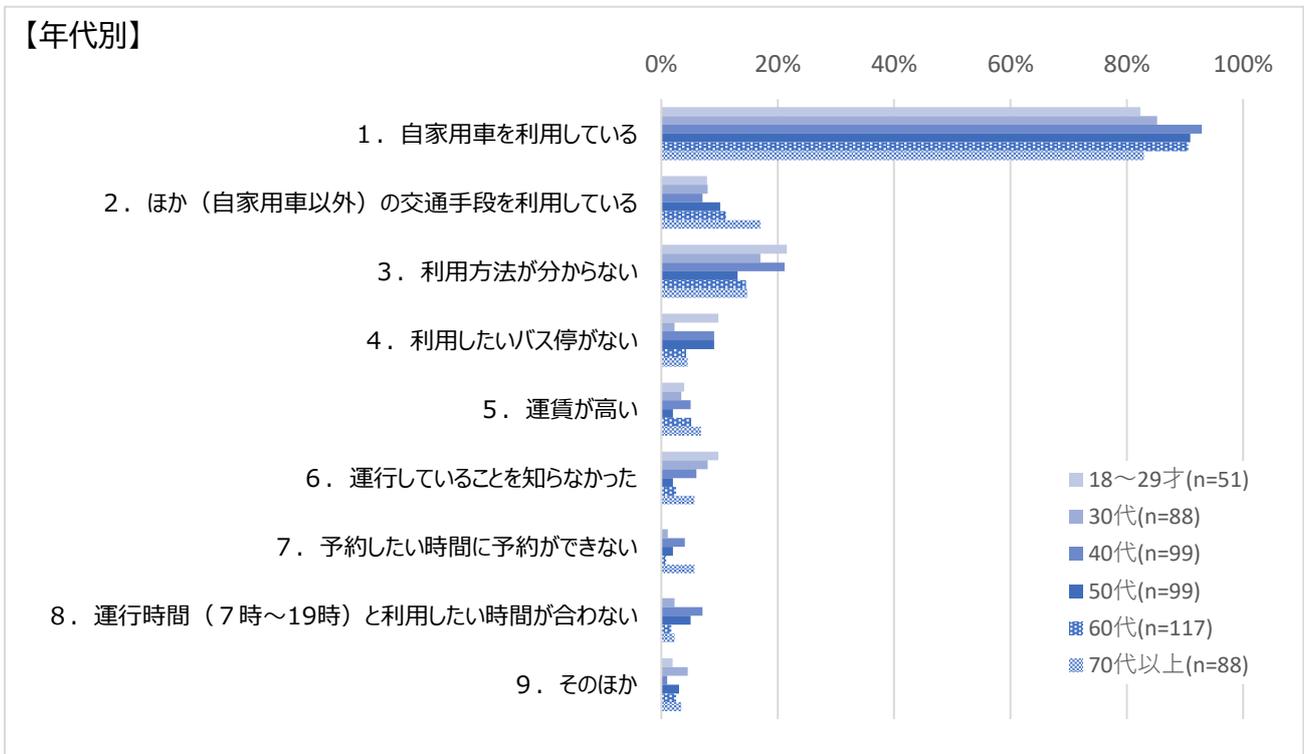
選択項目	回答数	比率 (n=545)
1. 自家用車を利用している	480	88.1%
2. ほか(自家用車以外)の交通手段を利用している	56	10.3%
3. 利用方法が分からない	91	16.7%
4. 利用したいバス停がない	34	6.2%
5. 運賃が高い	24	4.4%
6. 運行していることを知らなかった	29	5.3%
7. 予約したい時間に予約ができない	13	2.4%
8. 運行時間(7時~19時)と利用したい時間が合わない	18	3.3%
9. そのほか	15	2.8%
無回答	3	0.6%

男女別では、「6. 運行していることを知らなかった」と答えた割合が男性9.6%、女性2.6%と男性が高くなっている。



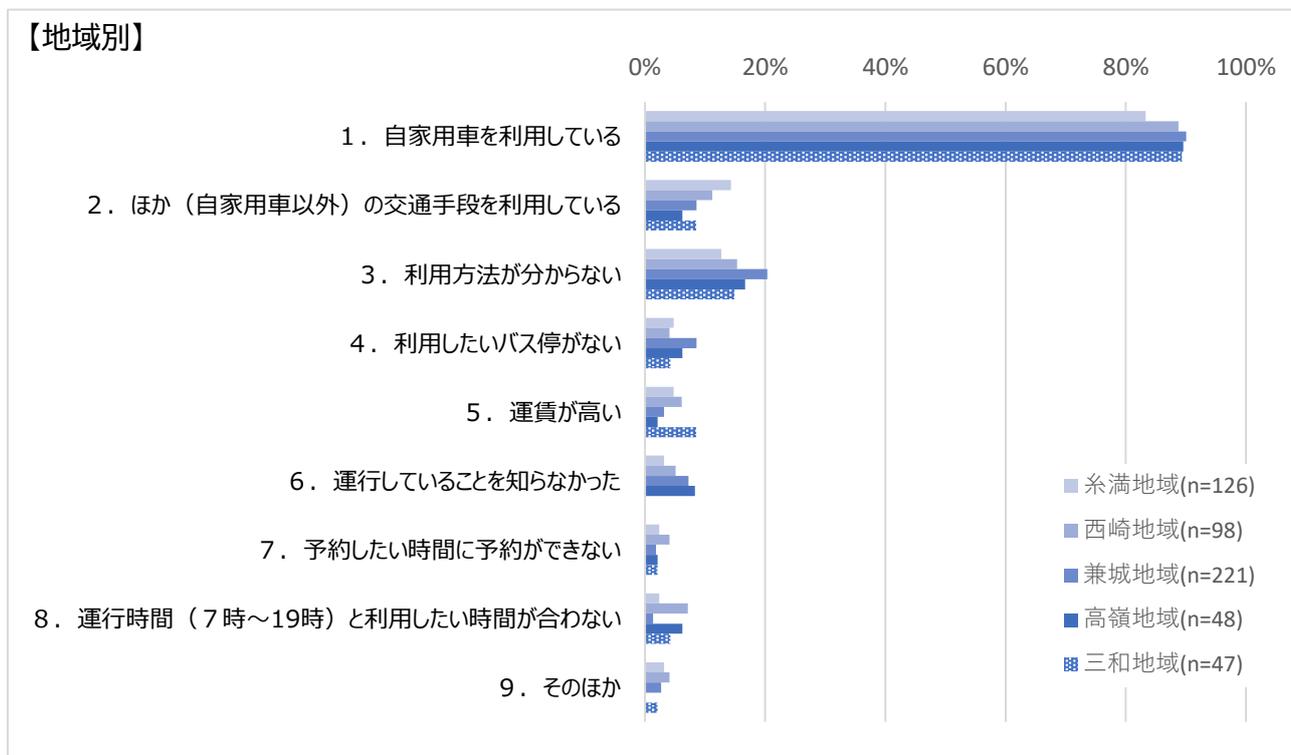
	男性 (n=209)	女性 (n=311)
1. 自家用車を利用している	87.1%	89.1%
2. ほか(自家用車以外)の交通手段を利用している	13.4%	8.4%
3. 利用方法が分からない	19.1%	14.8%
4. 利用したいバス停がない	7.7%	5.1%
5. 運賃が高い	3.3%	4.8%
6. 運行していることを知らなかった	9.6%	2.6%
7. 予約したい時間に予約ができない	2.4%	2.6%
8. 運行時間(7時~19時)と利用したい時間が合わない	1.9%	4.2%
9. そのほか	3.8%	1.9%
無回答	0.0%	0.6%

年代別では、「2. ほか(自家用車以外)の交通手段を利用している」と答えた割合が70代以上で17.0% (全体 10.3%)と他の年代よりも高くなっている。



	18~29才(n=51)	30代(n=88)	40代(n=99)	50代(n=99)	60代(n=117)	70代以上(n=88)
1. 自家用車を利用している	82.4%	85.2%	92.9%	90.9%	90.6%	83.0%
2. ほか(自家用車以外)の交通手段を利用している	7.8%	8.0%	7.1%	10.1%	11.1%	17.0%
3. 利用方法が分からない	21.6%	17.0%	21.2%	13.1%	14.5%	14.8%
4. 利用したいバス停がない	9.8%	2.3%	9.1%	9.1%	4.3%	4.5%
5. 運賃が高い	3.9%	3.4%	5.1%	2.0%	5.1%	6.8%
6. 運行していることを知らなかった	9.8%	8.0%	6.1%	2.0%	2.6%	5.7%
7. 予約したい時間に予約ができない	0.0%	1.1%	4.0%	2.0%	0.9%	5.7%
8. 運行時間(7時~19時)と利用したい時間が合わない	0.0%	2.3%	7.1%	5.1%	1.7%	2.3%
9. そのほか	2.0%	4.5%	1.0%	3.0%	2.6%	3.4%
無回答	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	1.1%

地域別では、それほど地域による違いは見られない。



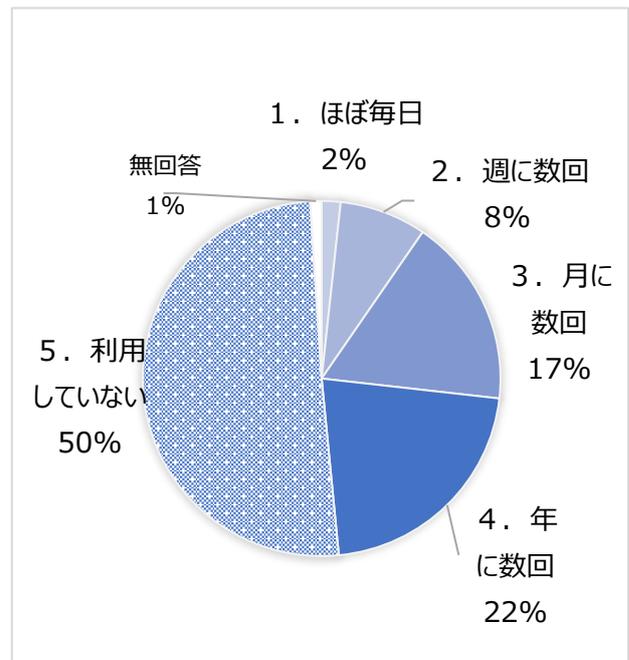
	糸満地域 (n=126)	西崎地域 (n=98)	兼城地域 (n=221)	高嶺地域 (n=48)	三和地域 (n=47)
1. 自家用車を利用している	83.3%	88.8%	90.0%	89.6%	89.4%
2. ほか（自家用車以外）の交通手段を利用している	14.3%	11.2%	8.6%	6.3%	8.5%
3. 利用方法が分からない	12.7%	15.3%	20.4%	16.7%	14.9%
4. 利用したいバス停がない	4.8%	4.1%	8.6%	6.3%	4.3%
5. 運賃が高い	4.8%	6.1%	3.2%	2.1%	8.5%
6. 運行していることを知らなかった	3.2%	5.1%	7.2%	8.3%	0.0%
7. 予約したい時間に予約ができない	2.4%	4.1%	1.8%	2.1%	2.1%
8. 運行時間（7時～19 時）と利用したい時間が合わない	2.4%	7.1%	1.4%	6.3%	4.3%
9. そのほか	3.2%	4.1%	2.7%	0.0%	2.1%
無回答	1.6%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%

●公園について

問29. あなたは、市内の公園をどのくらいの頻度で利用していますか。(一つに○)

「5. 利用していない」と答えた割合が50.5%と最も高く、次いで「4. 年に数回」21.7%、「3. 月に数回」17.2%となっている。

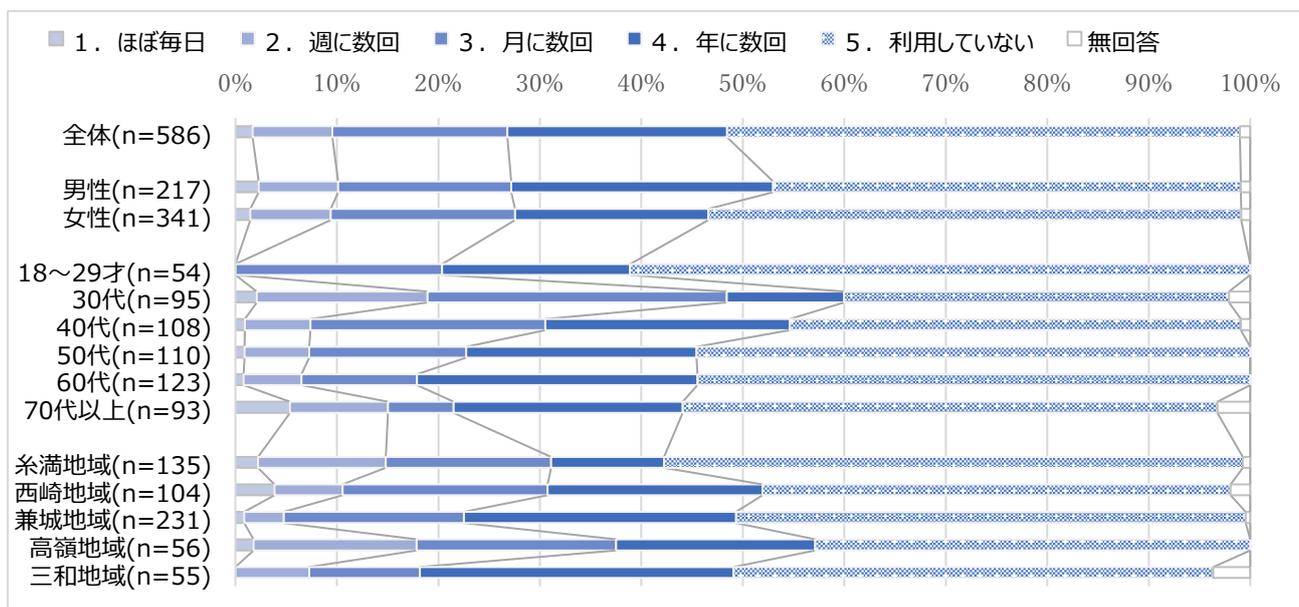
選択項目	回答数	比率
1. ほぼ毎日	10	1.7%
2. 週に数回	46	7.8%
3. 月に数回	101	17.2%
4. 年に数回	127	21.7%
5. 利用していない	296	50.5%
無回答	6	1.0%
	586	100%



男女別では、「5. 利用していない」と答えた割合が男性46.1%、女性52.5%と女性が高くなっている。一方で、「4. 年に数回」と答えた割合は男性25.8%、女性19.1%と男性が高くなっている。

年代別では、18～29才で「5. 利用していない」と答えた割合が61.1%(全体50.5%)と他の年代よりも高く、「1. ほぼ毎日」及び「2. 週に数回」と答えた割合はともに0%となっている。一方で、30代では「5. 利用していない」と答えた割合が37.9%(全体50.5%)と他の年代よりも低くなっており、「3. 月に数回」と答えた割合が29.5%(全体17.2%)と他の年代よりも高くなっている。

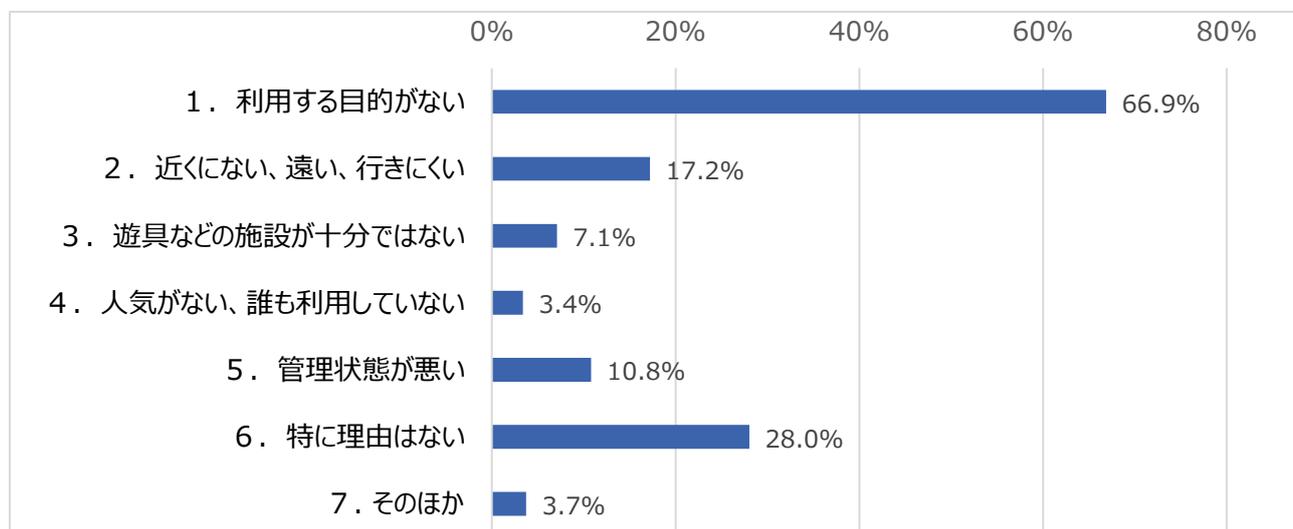
地域別では、糸満地域において「5. 利用していない」と答えた割合が57.0%(全体50.5%)と最も高く、「4. 年に数回」と答えた割合が11.1%(全体21.7%)と他の地域よりも低くなっている。また、高嶺地域においては、「5. 利用していない」と答えた割合が42.9%(全体50.5%)と最も低く、「2. 週に数回」と答えた割合が16.1%(全体7.8%)と他の地域よりも高くなっている。



	1. ほぼ毎日	2. 週に数回	3. 月に数回	4. 年に数回	5. 利用していない	無回答
全体(n=586)	1.7%	7.8%	17.2%	21.7%	50.5%	1.0%
男性(n=217)	2.3%	7.8%	17.1%	25.8%	46.1%	0.9%
女性(n=341)	1.5%	7.9%	18.2%	19.1%	52.5%	0.9%
18～29才(n=54)	0.0%	0.0%	20.4%	18.5%	61.1%	0.0%
30代(n=95)	2.1%	16.8%	29.5%	11.6%	37.9%	2.1%
40代(n=108)	0.9%	6.5%	23.1%	24.1%	44.4%	0.9%
50代(n=110)	0.9%	6.4%	15.5%	22.7%	54.5%	0.0%
60代(n=123)	0.8%	5.7%	11.4%	27.6%	54.5%	0.0%
70代以上(n=93)	5.4%	9.7%	6.5%	22.6%	52.7%	3.2%
糸満地域(n=135)	2.2%	12.6%	16.3%	11.1%	57.0%	0.7%
西崎地域(n=104)	3.8%	6.7%	20.2%	21.2%	46.2%	1.9%
兼城地域(n=231)	0.9%	3.9%	17.7%	26.8%	50.2%	0.4%
高嶺地域(n=56)	1.8%	16.1%	19.6%	19.6%	42.9%	0.0%
三和地域(n=55)	0.0%	7.3%	10.9%	30.9%	47.3%	3.6%

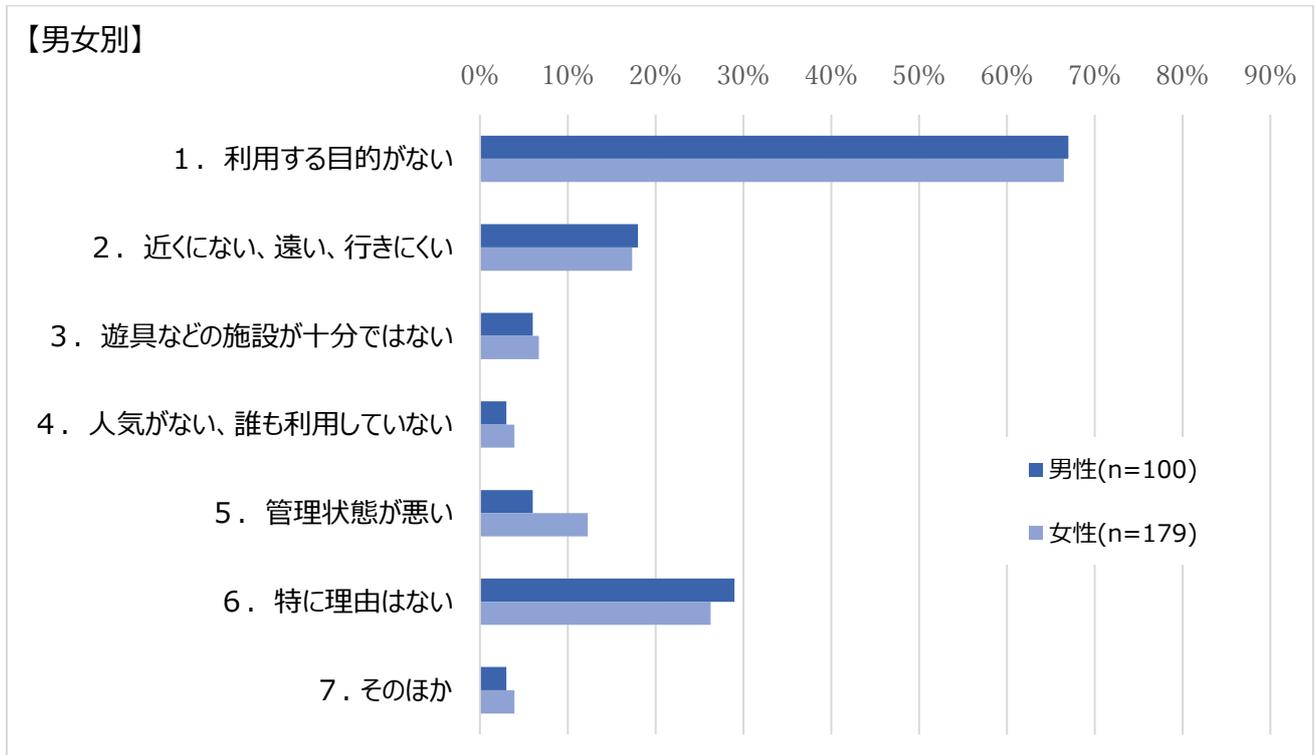
問30. 「利用していない」を選択した方は、その理由を教えてください。
 (当てはまるものすべてに○)

「1. 利用する目的がない」と答えた割合が66.9%と最も高く、次いで「6. 特に理由はない」28.0%、「2. 近くがない、遠い、行きにくい」17.2%となっている。



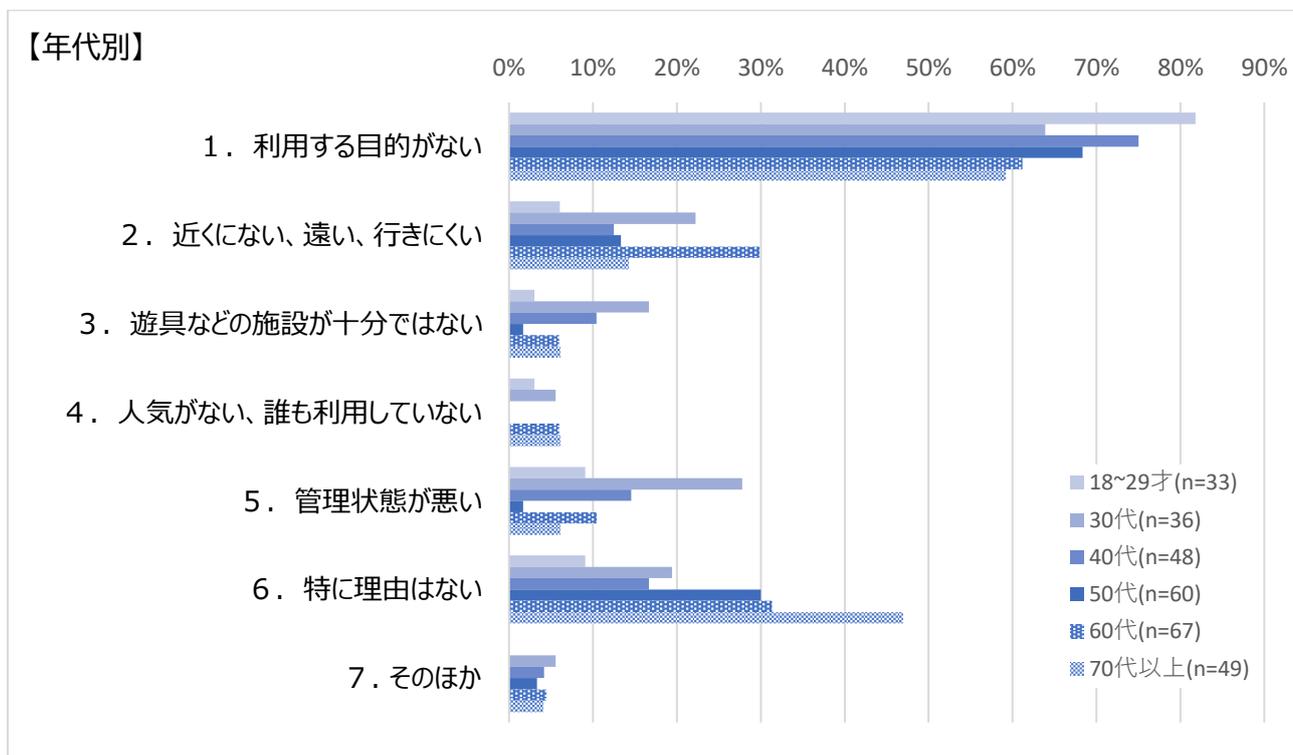
選択項目	回答数	比率 (n=296)
1. 利用する目的がない	198	66.9%
2. 近くがない、遠い、行きにくい	51	17.2%
3. 遊具などの施設が十分ではない	21	7.1%
4. 人気がない、誰も利用していない	10	3.4%
5. 管理状態が悪い	32	10.8%
6. 特に理由はない	83	28.0%
7. そのほか	11	3.7%
無回答	1	0.3%

男女別では、「5. 管理状態が悪い」と答えた割合が男性6.0%、女性12.3%と女性が高くなっている。



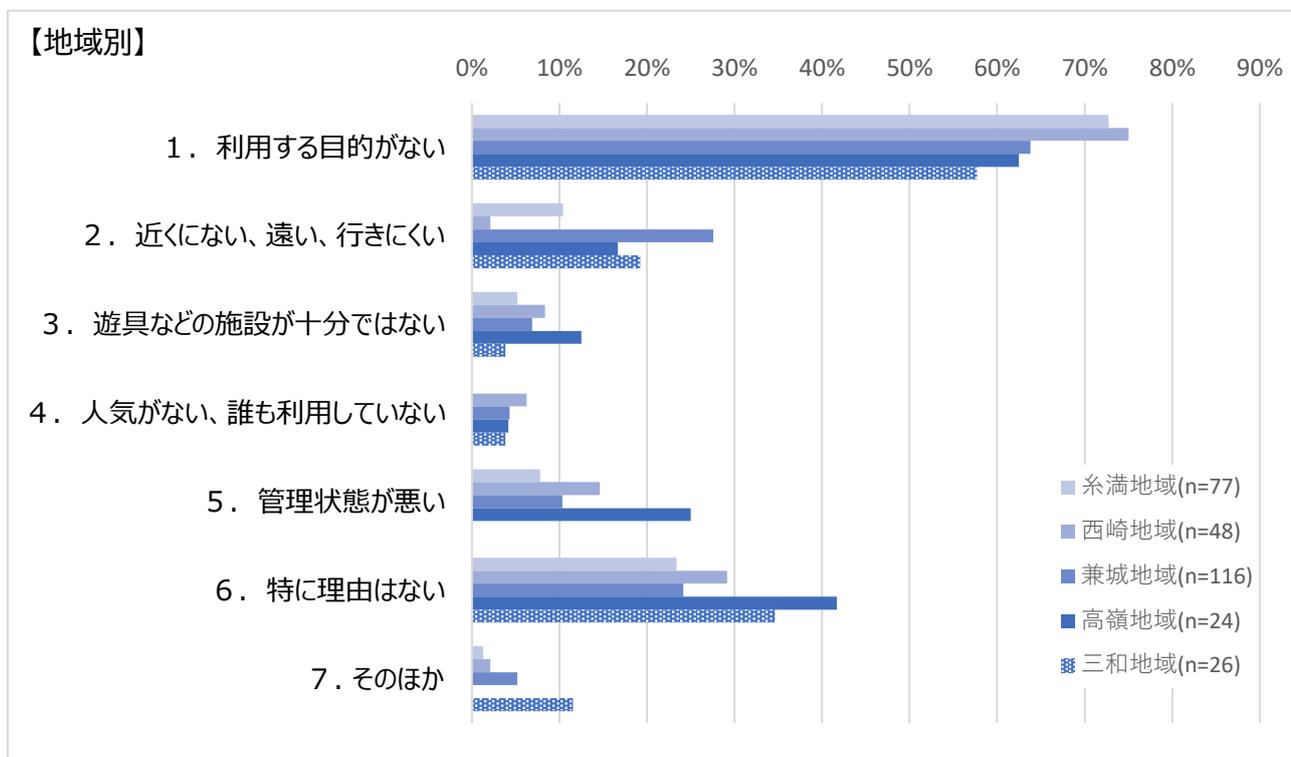
	男性 (n=100)	女性 (n=179)
1. 利用する目的がない	67.0%	66.5%
2. 近くにない、遠い、行きにくい	18.0%	17.3%
3. 遊具などの施設が十分ではない	6.0%	6.7%
4. 人気がない、誰も利用していない	3.0%	3.9%
5. 管理状態が悪い	6.0%	12.3%
6. 特に理由はない	29.0%	26.3%
7. そのほか	3.0%	3.9%
無回答	1.0%	0.0%

年代別では、18～29才で「6. 特に理由はない」と答えた割合が9.1%(全体28.0%)と他の年代よりも低く、「1. 利用する目的がない」と答えた割合が81.8%(全体66.9%)と他の年代よりも高くなっている。また、30代では「5. 管理状態が悪い」と答えた割合が27.8%(全体10.8%)と他の年代よりも高くなっている。また、60代では「2. 近くにない、遠い、行きにくい」と答えた割合が29.9%(全体17.2%)と他の年代よりも高くなっている。また、70代では「6. 特に理由はない」と答えた割合が46.9%(全体28.0%)と他の年代よりも高くなっている。



	18~29才 (n=33)	30代 (n=36)	40代 (n=48)	50代 (n=60)	60代 (n=67)	70代以上 (n=49)
1. 利用する目的がない	81.8%	63.9%	75.0%	68.3%	61.2%	59.2%
2. 近くにない、遠い、行きにくい	6.1%	22.2%	12.5%	13.3%	29.9%	14.3%
3. 遊具などの施設が十分ではない	3.0%	16.7%	10.4%	1.7%	6.0%	6.1%
4. 人気がない、誰も利用していない	3.0%	5.6%	0.0%	0.0%	6.0%	6.1%
5. 管理状態が悪い	9.1%	27.8%	14.6%	1.7%	10.4%	6.1%
6. 特に理由はない	9.1%	19.4%	16.7%	30.0%	31.3%	46.9%
7. そのほか	0.0%	5.6%	4.2%	3.3%	4.5%	4.1%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%

地域別では、「2. 近くにない、遠い、行きにくい」と答えた割合が西崎地域で2.1%と最も低く、兼城地域で27.6%と最も高くなっている。また、高嶺・三和の両地域ともサンプル数が30未満となっているが、「5. 管理状態が悪い」と答えた割合が高嶺地域で25.0%と最も高く、三和地域で0%と最も低くなっている。

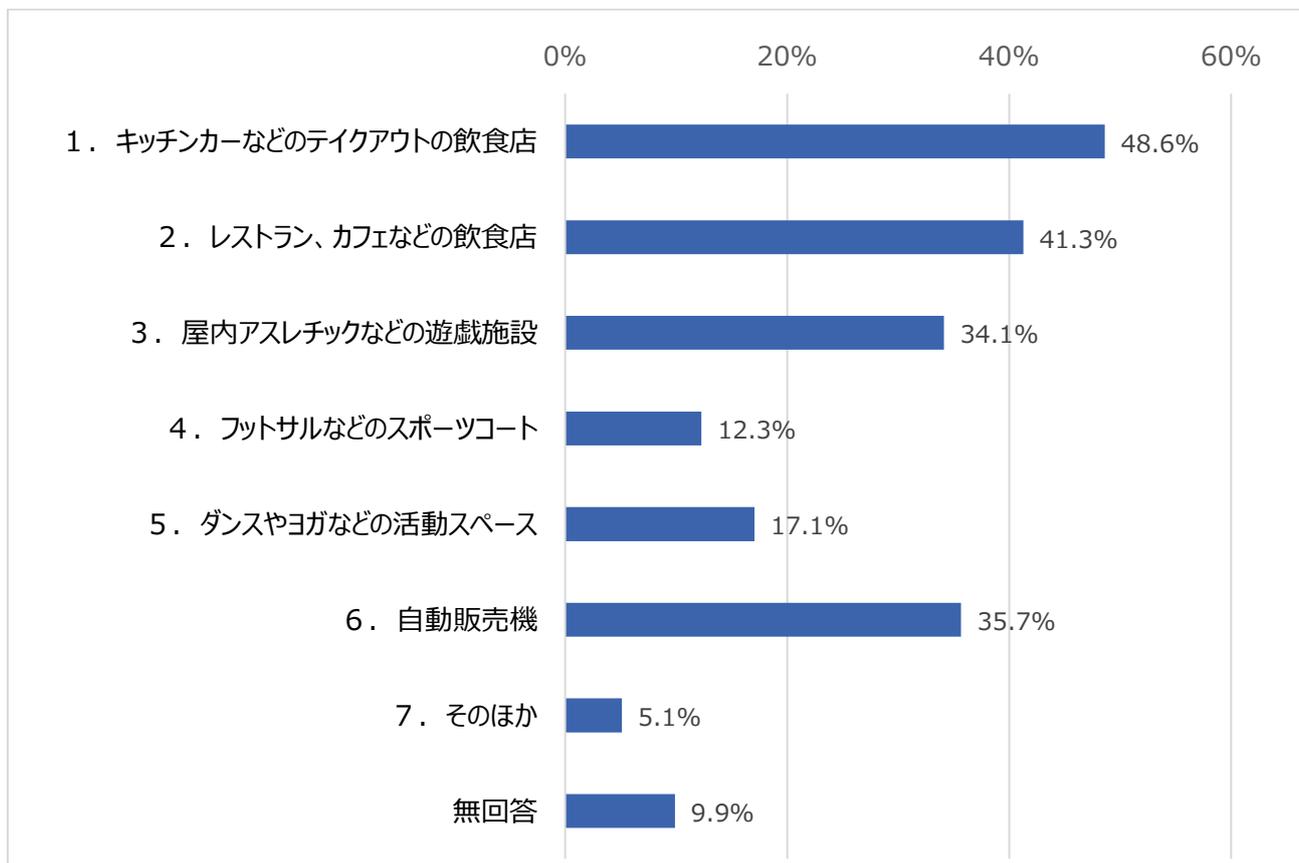


	糸満地域 (n=77)	西崎地域 (n=48)	兼城地域 (n=116)	高嶺地域 (n=24)	三和地域 (n=26)
1. 利用する目的がない	72.7%	75.0%	63.8%	62.5%	57.7%
2. 近くにない、遠い、行きにくい	10.4%	2.1%	27.6%	16.7%	19.2%
3. 遊具などの施設が十分ではない	5.2%	8.3%	6.9%	12.5%	3.8%
4. 人気がない、誰も利用していない	0.0%	6.3%	4.3%	4.2%	3.8%
5. 管理状態が悪い	7.8%	14.6%	10.3%	25.0%	0.0%
6. 特に理由はない	23.4%	29.2%	24.1%	41.7%	34.6%
7. そのほか	1.3%	2.1%	5.2%	0.0%	11.5%
無回答	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%

問31. 公園で有料でも利用してみたいと思う施設について教えてください。

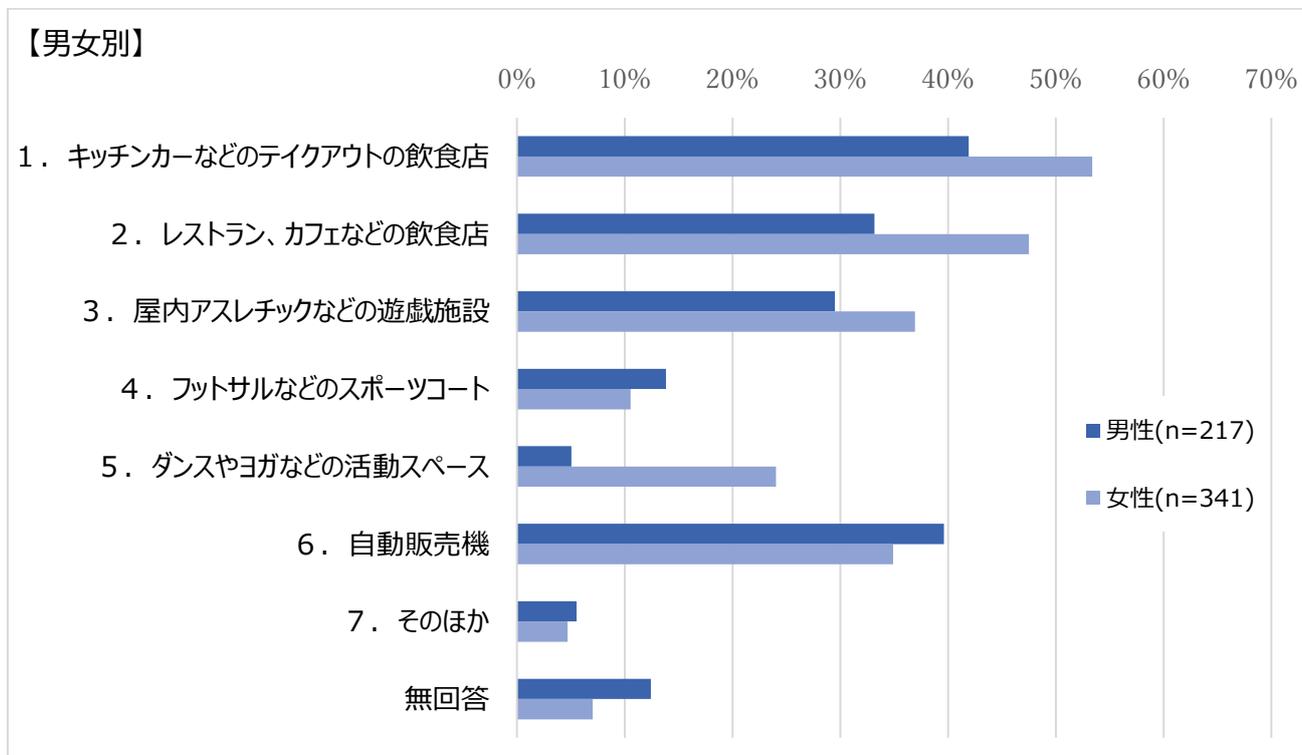
(当てはまるものすべてに○)

「1. キッチンカーなどのテイクアウトの飲食店」と答えた割合が 48.6%と最も高く、次いで「2. レストラン、カフェなどの飲食店」41.3%、「6.自動販売機」35.7%、「3. 屋内アスレチックなどの遊戯施設」34.1%となっている。なお、無回答が9.9%ある他、「7. その他」の回答において「特に無い」といった記述があることから、有料で利用してみたいと思う施設は無いという回答も一定程度存在すると考えられる。



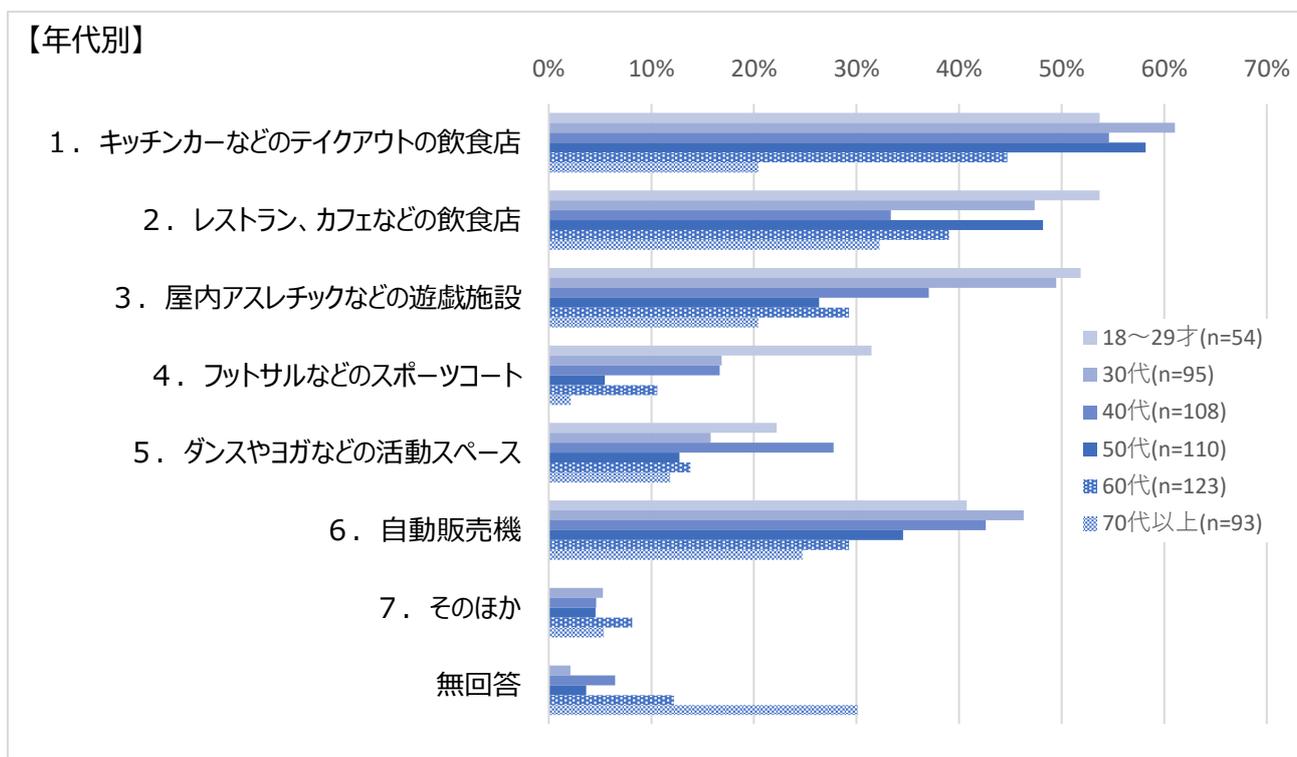
選択項目	回答数	比率 (n=586)
1. キッチンカーなどのテイクアウトの飲食店	285	48.6%
2. レストラン、カフェなどの飲食店	242	41.3%
3. 屋内アスレチックなどの遊戯施設	200	34.1%
4. フットサルなどのスポーツコート	72	12.3%
5. ダンスやヨガなどの活動スペース	100	17.1%
6. 自動販売機	209	35.7%
7. そのほか	30	5.1%
無回答	58	9.9%

男女別では、「5. ダンスやヨガなどの活動スペース」と答えた割合が男性5.1%、女性24.0%と女性が高く、「2. レストラン、カフェなどの飲食店」と答えた割合も男性33.2%、女性47.5%、「1. キッチンカーなどのテイクアウトの飲食店」と答えた割合も男性41.9%、女性53.4%と女性が高くなっている。



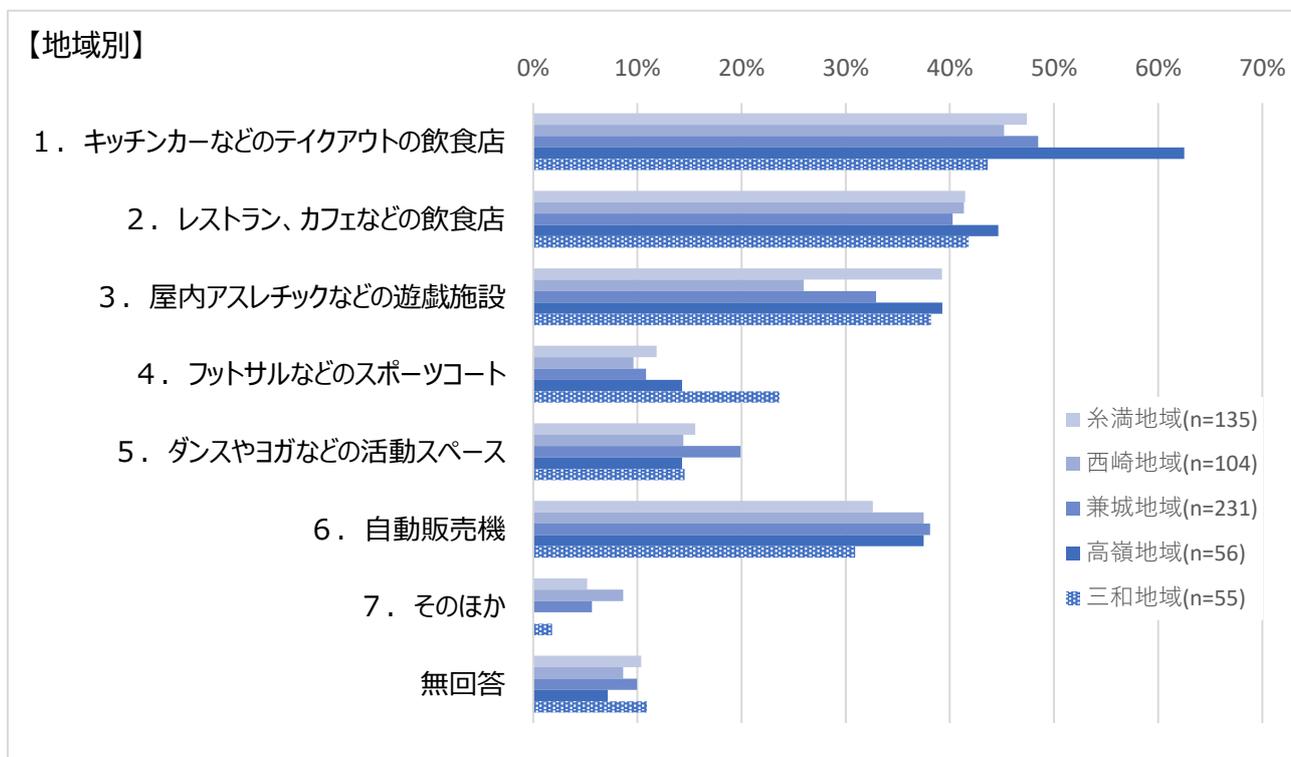
	男性 (n=217)	女性 (n=341)
1. キッチンカーなどのテイクアウトの飲食店	41.9%	53.4%
2. レストラン、カフェなどの飲食店	33.2%	47.5%
3. 屋内アスレチックなどの遊戯施設	29.5%	37.0%
4. フットサルなどのスポーツコート	13.8%	10.6%
5. ダンスやヨガなどの活動スペース	5.1%	24.0%
6. 自動販売機	39.6%	34.9%
7. そのほか	5.5%	4.7%
無回答	12.4%	7.0%

年代別では、18～29才では「2. レストラン、カフェなどの飲食店」と答えた割合が53.7%(全体41.3%)、「3. 屋内アスレチックなどの遊戯施設」と答えた割合が51.9%(全体34.1%)、「4. フットサルなどのスポーツコート」と答えた割合が31.5%(全体12.3%)と他の年代よりも高くなっている。また、30代では、「1. キッチンカーなどのテイクアウトの飲食店」と答えた割合が61.1%(全体48.6%)、「6. 自動販売機」と答えた割合が46.3%(全体35.7%)と他の年代よりも高くなっている。一方で、70代以上では無回答が30.1%と他の年代よりも高くなっており、多くの項目で他の年代よりも低くなっている。



	18～29才 (n=54)	30代 (n=95)	40代 (n=108)	50代 (n=110)	60代 (n=123)	70代以上 (n=93)
1. キッチンカーなどのテイクアウトの飲食店	53.7%	61.1%	54.6%	58.2%	44.7%	20.4%
2. レストラン、カフェなどの飲食店	53.7%	47.4%	33.3%	48.2%	39.0%	32.3%
3. 屋内アスレチックなどの遊戯施設	51.9%	49.5%	37.0%	26.4%	29.3%	20.4%
4. フットサルなどのスポーツコート	31.5%	16.8%	16.7%	5.5%	10.6%	2.2%
5. ダンスやヨガなどの活動スペース	22.2%	15.8%	27.8%	12.7%	13.8%	11.8%
6. 自動販売機	40.7%	46.3%	42.6%	34.5%	29.3%	24.7%
7. そのほか	0.0%	5.3%	4.6%	4.5%	8.1%	5.4%
無回答	0.0%	2.1%	6.5%	3.6%	12.2%	30.1%

地域別では、高嶺地域で「1. キッチンカーなどのテイクアウトの飲食店」と答えた割合が62.5%(全体48.6%)と他の地域よりも高くなっている。また、三和地域では「4. フットサルなどのスポーツコート」と答えた割合が23.6%(全体12.3%)と他の地域よりも高くなっている。



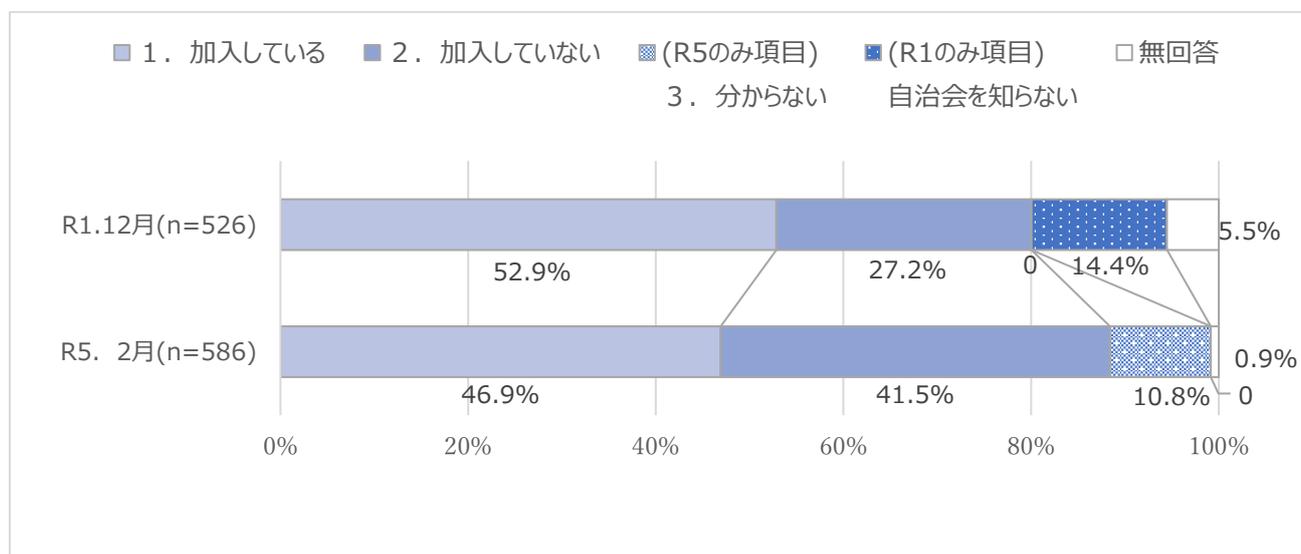
	糸満地域 (n=135)	西崎地域 (n=104)	兼城地域 (n=231)	高嶺地域 (n=56)	三和地域 (n=55)
1. キッチンカーなどのテイクアウトの飲食店	47.4%	45.2%	48.5%	62.5%	43.6%
2. レストラン、カフェなどの飲食店	41.5%	41.3%	40.3%	44.6%	41.8%
3. 屋内アスレチックなどの遊戯施設	39.3%	26.0%	32.9%	39.3%	38.2%
4. フットサルなどのスポーツコート	11.9%	9.6%	10.8%	14.3%	23.6%
5. ダンスやヨガなどの活動スペース	15.6%	14.4%	19.9%	14.3%	14.5%
6. 自動販売機	32.6%	37.5%	38.1%	37.5%	30.9%
7. そのほか	5.2%	8.7%	5.6%	0.0%	1.8%
無回答	10.4%	8.7%	10.0%	7.1%	10.9%

●自治会について

問32. あなたの世帯は、自治会に加入していますか。(一つに○)

「1. 加入している」と答えた割合が46.9%、「2. 加入していない」と答えた割合が41.5%、「3. 分からない」と答えた割合が10.8%となっている。

令和元年度(R1年12月)の調査と選択肢が一部異なる(令和元年度の選択肢は「加入している、加入していない、自治会を知らない」)ことから一概に比較はできないが、「1. 加入している」と答えた割合は52.9%から46.9%と6.0%減少している。また、「2. 加入していない」と答えた割合は27.2%から41.5%と14.3%増加している。

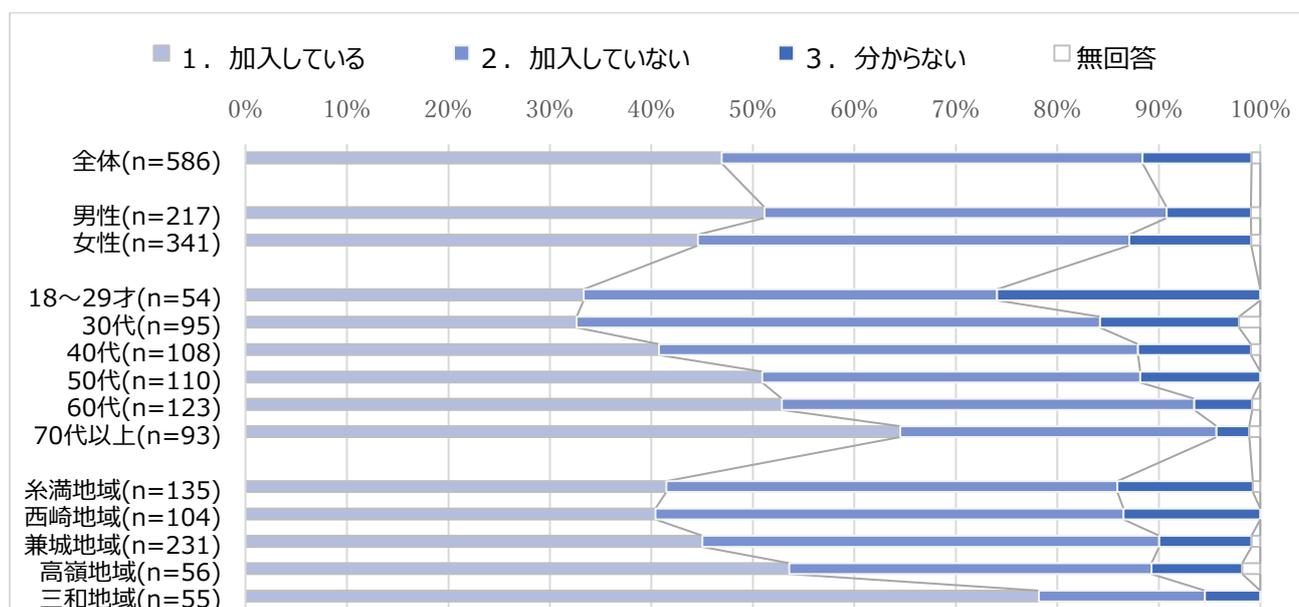


	R1.12月 (n=526)	R5.2月 (n=586)
1. 加入している	52.9%	46.9%
2. 加入していない	27.2%	41.5%
3. 分からない(R5のみ項目)	—	10.8%
自治会を知らない(R1のみ項目)	14.4%	—
無回答	5.5%	0.9%

男女別では、「1. 加入している」と答えた割合が男性51.2%、女性44.6%と男性が高くなっている。

年代別では、「1. 加入している」と答えた割合が18～29才で33.3%、30代で32.6%と最も低く、70代以上で64.5%と最も高く、年代が上がるにつれて比率も高くなっている。また、「2. 加入していない」と答えた割合は30代で51.6%、40代で47.2%(全体41.5%)と他の年代よりも高くなっており、逆に70代以上で31.2%と他の年代よりも低くなっている。また、「3. 分からない」と答えた割合は18～29才で25.9%(全体10.8%)と他の年代よりも高くなっている。

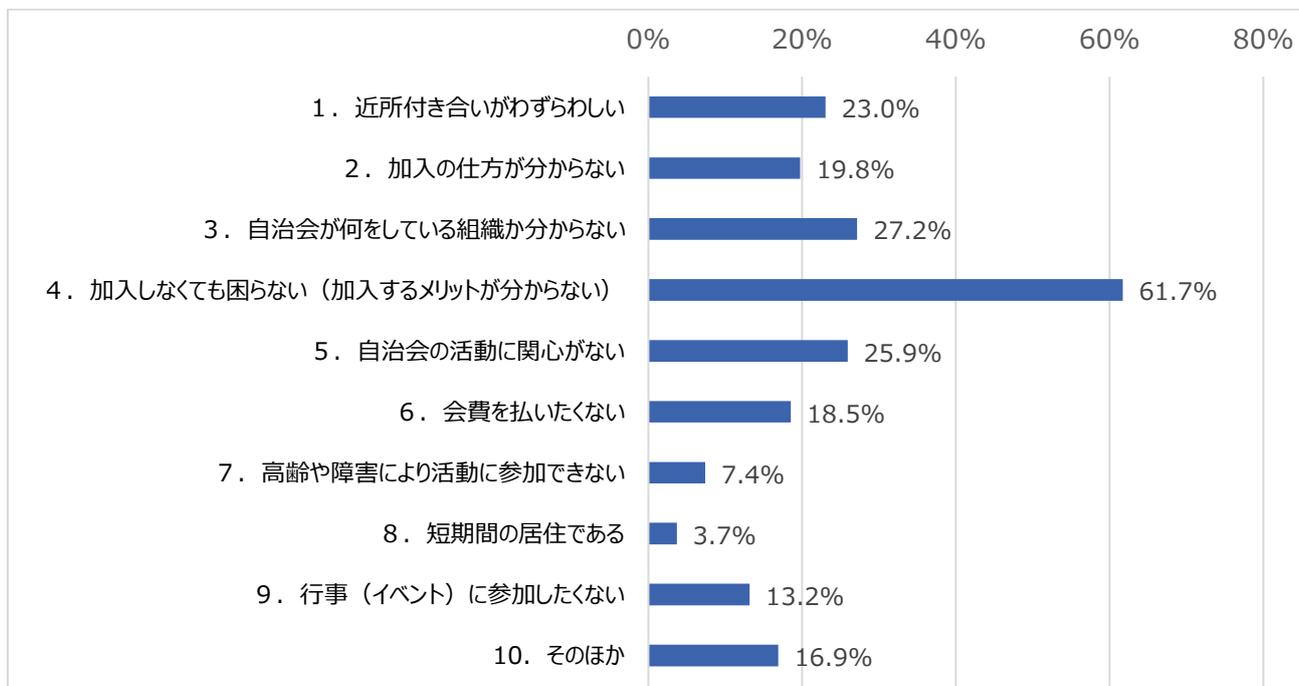
地域別では、三和地域で「1. 加入している」と答えた割合が78.2%(全体46.9%)と他の地域よりも高く、「2. 加入していない」と答えた割合が16.4%(全体41.5%)と他の地域よりも低くなっている。また、「1. 加入している」と答えた割合が西崎地域で40.4%、糸満地域で41.5%と他の地域よりも低くなっている。



	1. 加入している	2. 加入していない	3. 分からない	無回答
全体(n=586)	46.9%	41.5%	10.8%	0.9%
男性(n=217)	51.2%	39.6%	8.3%	0.9%
女性(n=341)	44.6%	42.5%	12.0%	0.9%
18～29才(n=54)	33.3%	40.7%	25.9%	0.0%
30代(n=95)	32.6%	51.6%	13.7%	2.1%
40代(n=108)	40.7%	47.2%	11.1%	0.9%
50代(n=110)	50.9%	37.3%	11.8%	0.0%
60代(n=123)	52.8%	40.7%	5.7%	0.8%
70代以上(n=93)	64.5%	31.2%	3.2%	1.1%
糸満地域(n=135)	41.5%	44.4%	13.3%	0.7%
西崎地域(n=104)	40.4%	46.2%	13.5%	0.0%
兼城地域(n=231)	45.0%	45.0%	9.1%	0.9%
高嶺地域(n=56)	53.6%	35.7%	8.9%	1.8%
三和地域(n=55)	78.2%	16.4%	5.5%	0.0%

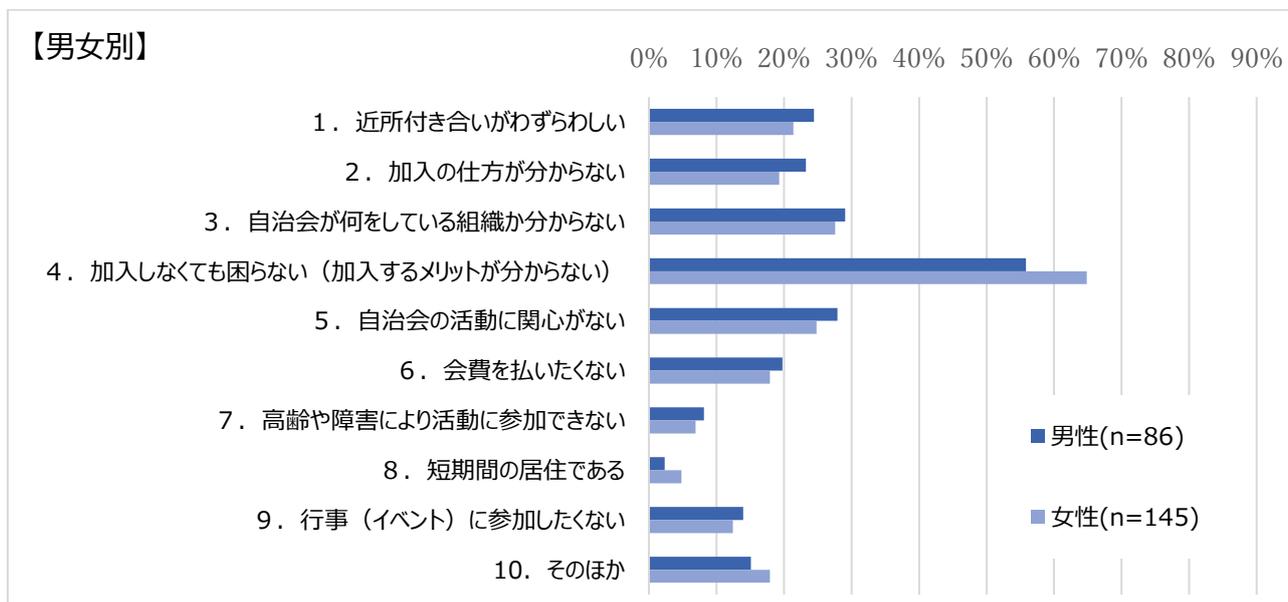
問33.「加入していない」を選択した方は、その理由を教えてください。
 (当てはまるものすべてに○)

「4. 加入しなくても困らない(加入するメリットが分からない)」と答えた割合が61.7%と最も高く、次いで「3. 自治会が何をしている組織か分からない」27.2%、「5. 自治会の活動に関心がない」25.9%、「1. 近所付き合いがわずらわしい」と23.0%となっている。



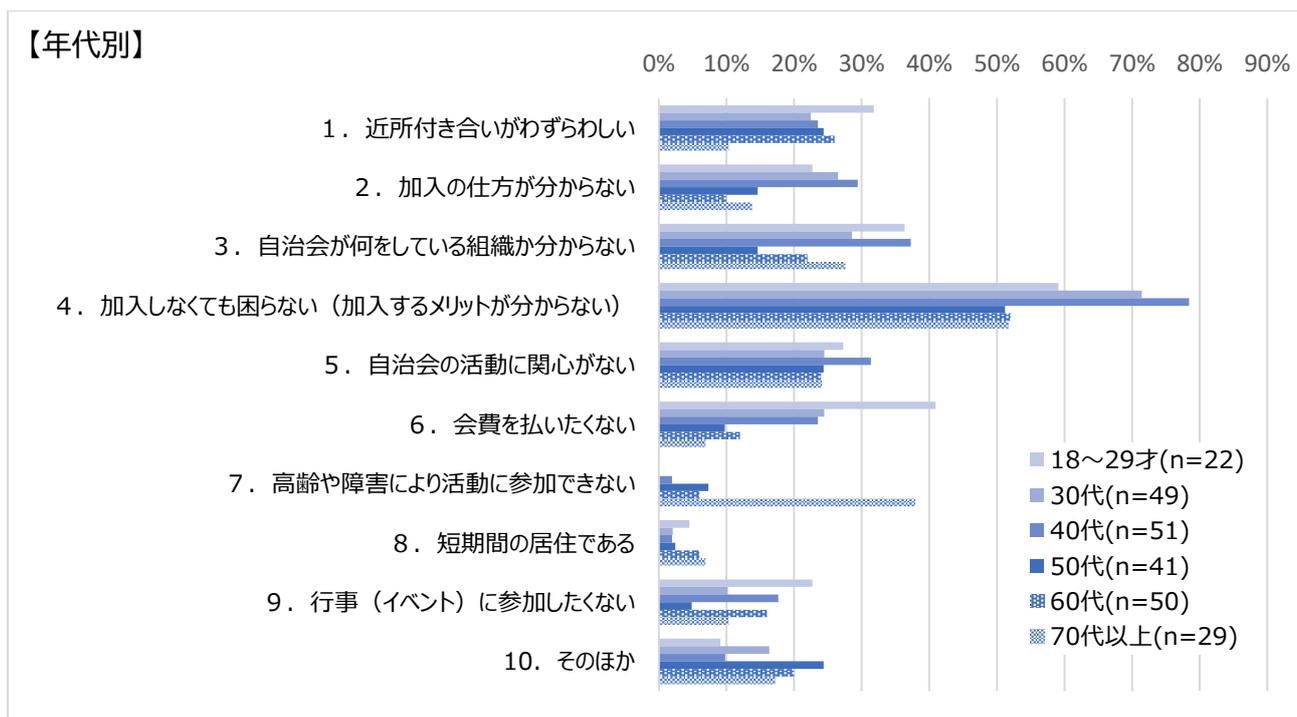
選択項目	回答数	比率 (n=243)
1. 近所付き合いがわずらわしい	56	23.0%
2. 加入の仕方が分からない	48	19.8%
3. 自治会が何をしている組織か分からない	66	27.2%
4. 加入しなくても困らない(加入するメリットが分からない)	150	61.7%
5. 自治会の活動に関心がない	63	25.9%
6. 会費を払いたくない	45	18.5%
7. 高齢や障害により活動に参加できない	18	7.4%
8. 短期間の居住である	9	3.7%
9. 行事(イベント)に参加したくない	32	13.2%
10. そのほか	41	16.9%
無回答	4	1.6%

男女別では、「4. 加入しなくても困らない(加入するメリットが分からない)」と答えた割合が男性55.8%、女性64.8%と女性が高くなっている。



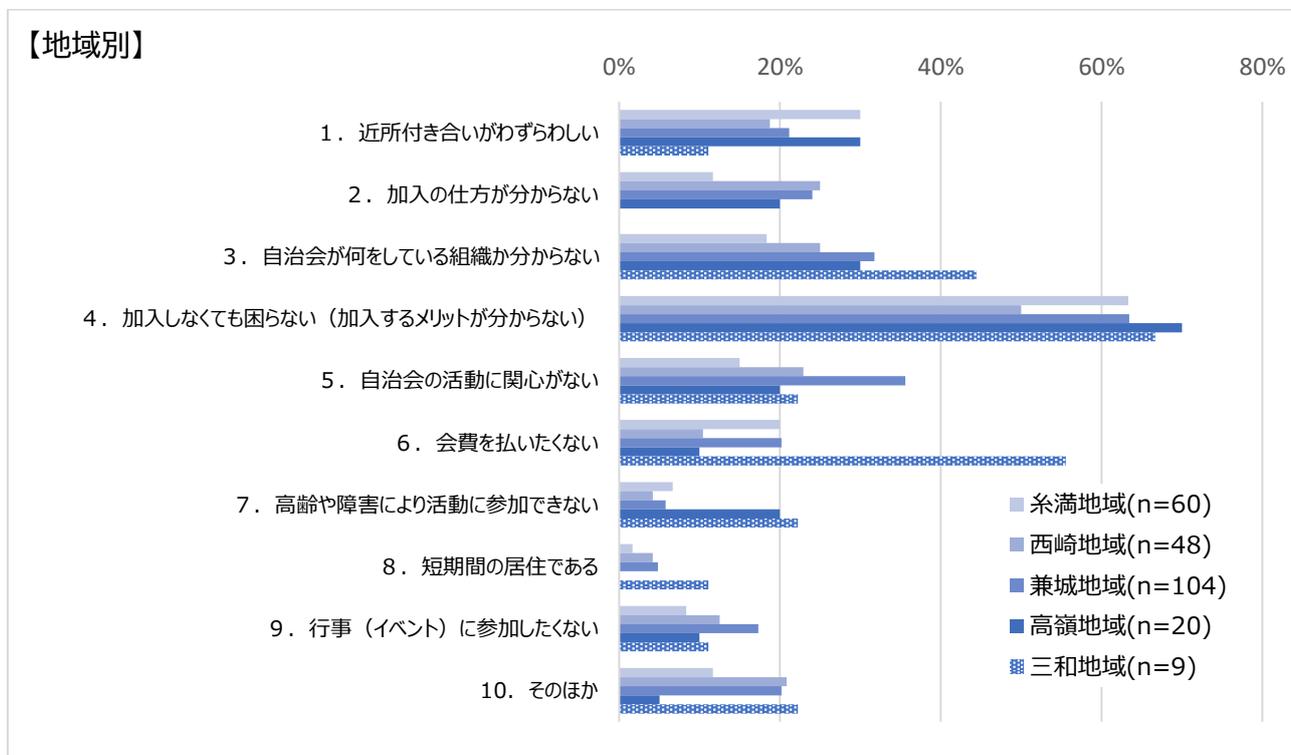
	男性 (n=86)	女性 (n=145)
1. 近所付き合いがわずらわしい	24.4%	21.4%
2. 加入の仕方が分からない	23.3%	19.3%
3. 自治会が何をしている組織か分からない	29.1%	27.6%
4. 加入しなくても困らない(加入するメリットが分からない)	55.8%	64.8%
5. 自治会の活動に関心がない	27.9%	24.8%
6. 会費を払いたくない	19.8%	17.9%
7. 高齢や障害により活動に参加できない	8.1%	6.9%
8. 短期間の居住である	2.3%	4.8%
9. 行事(イベント)に参加したくない	14.0%	12.4%
10. そのほか	15.1%	17.9%
無回答	0.0%	2.8%

年代別では、18～29歳においては「1. 近所付き合いがわずらわしい」と答えた割合が31.8%(全体23.0%)、「6. 会費を払いたくない」と答えた割合が40.9%(全体18.5%)、「9. 行事(イベント)に参加したくない」と答えた割合が22.7%(全体13.2%)と他の年代よりも高くなっている。30代、40代においては、「4. 加入しなくても困らない(加入するメリットが分からない)」と答えた割合が30代71.4%、40代78.4%(全体61.7%)と他の年代よりも高くなっている。また、40代においては「2. 加入の仕方が分からない」と答えた割合が29.4%(全体19.8%)、「3. 自治会が何をしている組織か分からない」と答えた割合が37.3%(全体27.2%)と他の年代よりも高くなっている。また、70代では「7. 高齢や障害により活動に参加できない」と答えた割合が37.9%(全体7.4%)と他の年代よりも高くなっている。



	18～29才 (n=22)	30代 (n=49)	40代 (n=51)	50代 (n=41)	60代 (n=50)	70代以上 (n=29)
1. 近所付き合いがわずらわしい	31.8%	22.4%	23.5%	24.4%	26.0%	10.3%
2. 加入の仕方が分からない	22.7%	26.5%	29.4%	14.6%	10.0%	13.8%
3. 自治会が何をしている組織か分からない	36.4%	28.6%	37.3%	14.6%	22.0%	27.6%
4. 加入しなくても困らない(加入するメリットが分からない)	59.1%	71.4%	78.4%	51.2%	52.0%	51.7%
5. 自治会の活動に関心がない	27.3%	24.5%	31.4%	24.4%	24.0%	24.1%
6. 会費を払いたくない	40.9%	24.5%	23.5%	9.8%	12.0%	6.9%
7. 高齢や障害により活動に参加できない	0.0%	0.0%	2.0%	7.3%	6.0%	37.9%
8. 短期間の居住である	4.5%	2.0%	2.0%	2.4%	6.0%	6.9%
9. 行事(イベント)に参加したくない	22.7%	10.2%	17.6%	4.9%	16.0%	10.3%
10. そのほか	9.1%	16.3%	9.8%	24.4%	20.0%	17.2%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	4.0%	3.4%

地域別では、高嶺・三和地域のサンプル数が各 20 以下であることに留意する必要があるが、「7. 高齢や障害により活動に参加できない」と答えた割合が高嶺地域20.0%、三和地域22.2%(全体7.4%)と他の地域よりも高くなっている。また、「1. 近所付き合いがわずらわしい」と答えた割合は糸満地域30.0%、高嶺地域30.0%(全体 23.0%)と他の地域よりも高くなっており、「5. 自治会の活動に関心がない」と答えた割合は兼城地域で35.6%(全体25.9%)と他の地域よりも高くなっている。

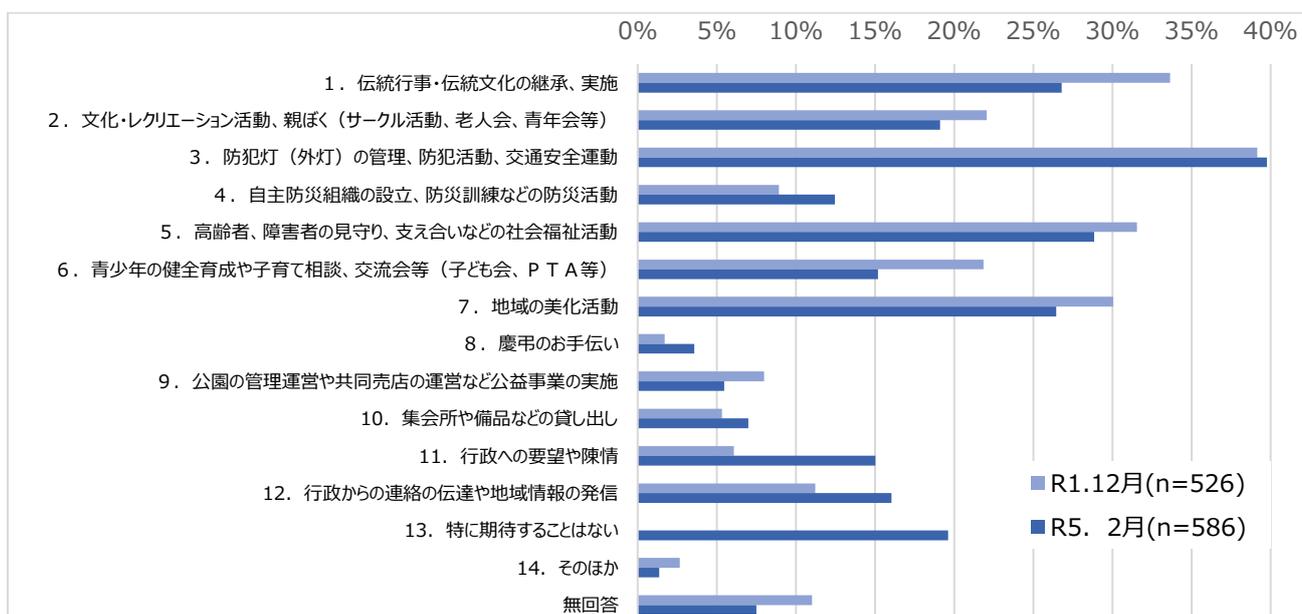


	糸満地域 (n=60)	西崎地域 (n=48)	兼城地域 (n=104)	高嶺地域 (n=20)	三和地域 (n=9)
1. 近所付き合いがわずらわしい	30.0%	18.8%	21.2%	30.0%	11.1%
2. 加入の仕方が分からない	11.7%	25.0%	24.0%	20.0%	0.0%
3. 自治会が何をしている組織か分からない	18.3%	25.0%	31.7%	30.0%	44.4%
4. 加入しなくても困らない(加入するメリットが分からない)	63.3%	50.0%	63.5%	70.0%	66.7%
5. 自治会の活動に関心がない	15.0%	22.9%	35.6%	20.0%	22.2%
6. 会費を払いたくない	20.0%	10.4%	20.2%	10.0%	55.6%
7. 高齢や障害により活動に参加できない	6.7%	4.2%	5.8%	20.0%	22.2%
8. 短期間の居住である	1.7%	4.2%	4.8%	0.0%	11.1%
9. 行事(イベント)に参加したくない	8.3%	12.5%	17.3%	10.0%	11.1%
10. そのほか	11.7%	20.8%	20.2%	5.0%	22.2%
無回答	3.3%	2.1%	0.0%	0.0%	11.1%

問34. 自治会活動に特に期待することについて教えてください。(〇は三つまで)

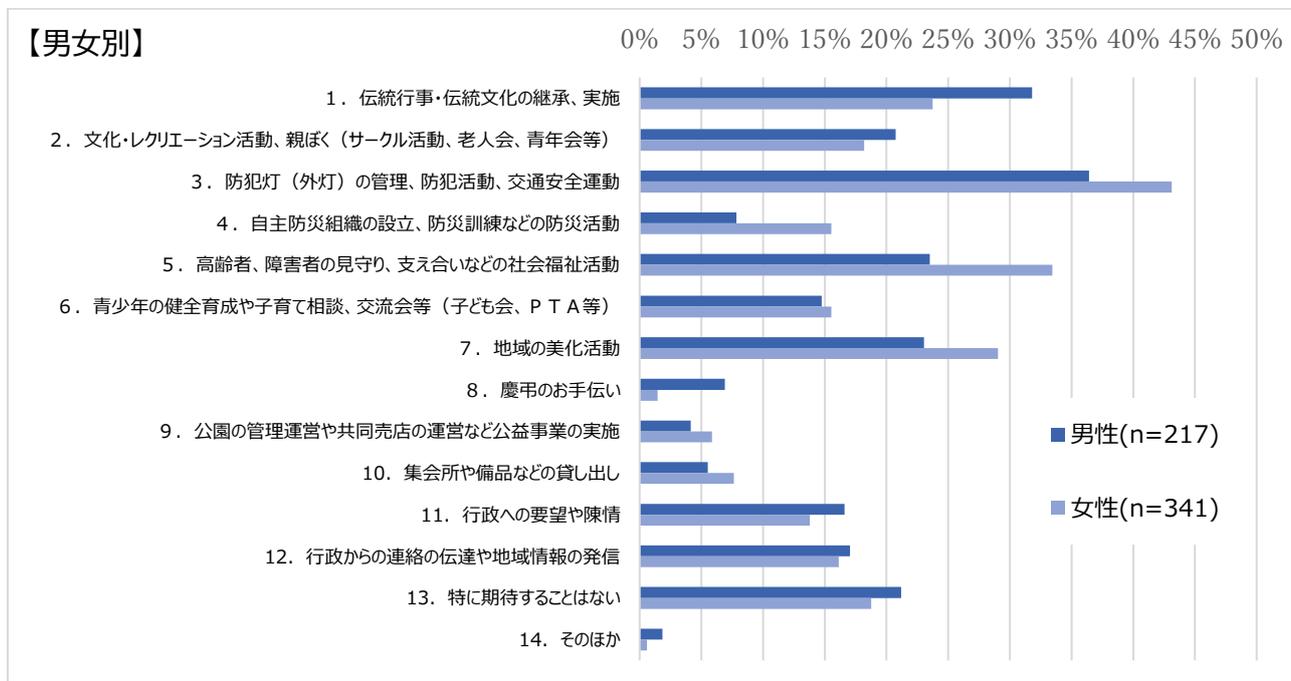
「3. 防犯灯(外灯)の管理、防犯活動、交通安全運動」と答えた割合が 39.8%と最も高く、次いで「5. 高齢者、障害者の見守り、支え合いなどの社会福祉活動」28.8%、「1. 伝統行事・伝統文化の継承、実施」26.8%、「7. 地域の美化活動」26.5%となっている。

令和元年度(R1年12月)の調査と比較すると、令和元年度(R1年12月)の調査では「13. 特に期待することはない」という選択肢を設けていないという違いはあるが、「11. 行政への要望や陳情」と答えた割合が 6.1%から 15.0%と8.9%増加している。一方で、「1. 伝統行事・伝統文化の継承、実施」と答えた割合は 33.7%から 26.8%と6.9%減少している他、「6. 青少年の健全育成や子育て相談、交流会等(子ども会、PTA等)」と答えた割合も 21.9%から 15.2%と6.7%減少している。



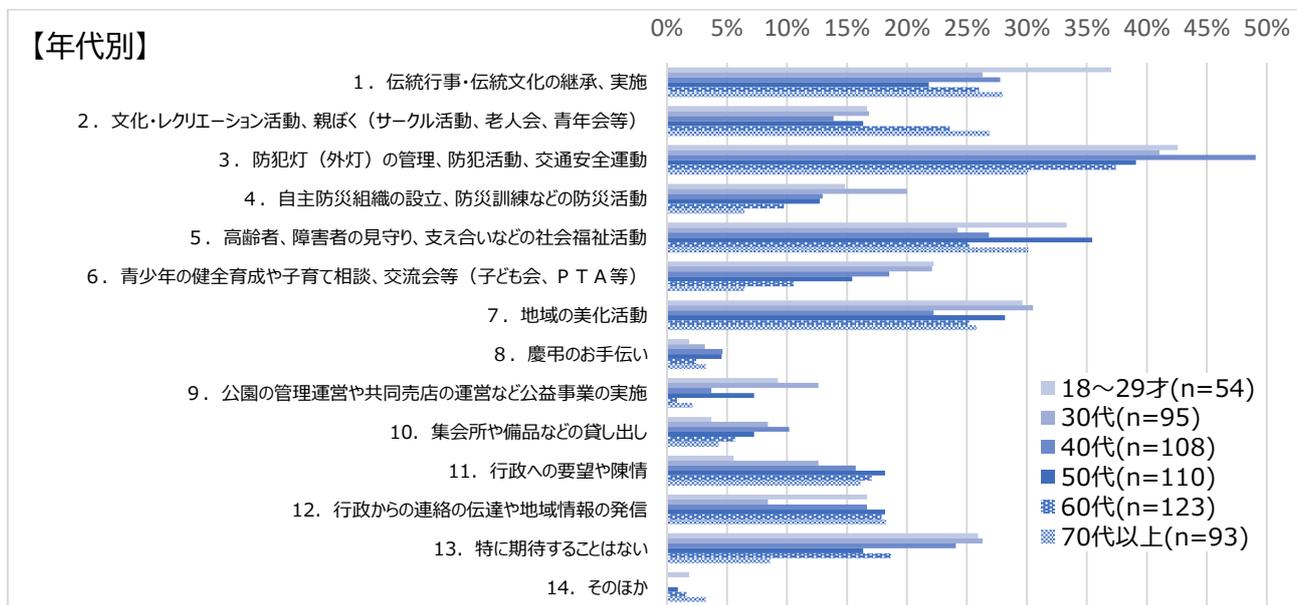
	R1.12月 (n=526)	R5. 2月 (n=586)
1. 伝統行事・伝統文化の継承、実施	33.7%	26.8%
2. 文化・レクリエーション活動、親ぼく(サークル活動、老人会、青年会など)	22.1%	19.1%
3. 防犯灯(外灯)の管理、防犯活動、交通安全運動	39.2%	39.8%
4. 自主防災組織の設立、防災訓練などの防災活動	8.9%	12.5%
5. 高齢者、障害者の見守り、支え合いなどの社会福祉活動	31.6%	28.8%
6. 青少年の健全育成や子育て相談、交流会など(子ども会、PTAなど)	21.9%	15.2%
7. 地域の美化活動	30.0%	26.5%
8. 慶弔のお手伝い	1.7%	3.6%
9. 公園の管理運営や共同売店の運営など公益事業の実施	8.0%	5.5%
10. 集会所や備品などの貸し出し	5.3%	7.0%
11. 行政への要望や陳情	6.1%	15.0%
12. 行政からの連絡の伝達や地域情報の発信	11.2%	16.0%
13. 特に期待することはない	—	19.6%
14. そのほか	2.7%	1.4%
無回答	11.0%	7.5%

男女別では、「5. 高齢者、障害者の見守り、支え合いなどの社会福祉活動」と答えた割合が男性23.5%、女性33.4%と女性が高く、「4. 自主防災組織の設立、防災訓練などの防災活動」と答えた割合も男性7.8%、女性15.5%と女性が高くなっている。一方で、「1. 伝統行事・伝統文化の継承、実施」と答えた割合は男性31.8%、女性23.8%と男性が高くなっている。



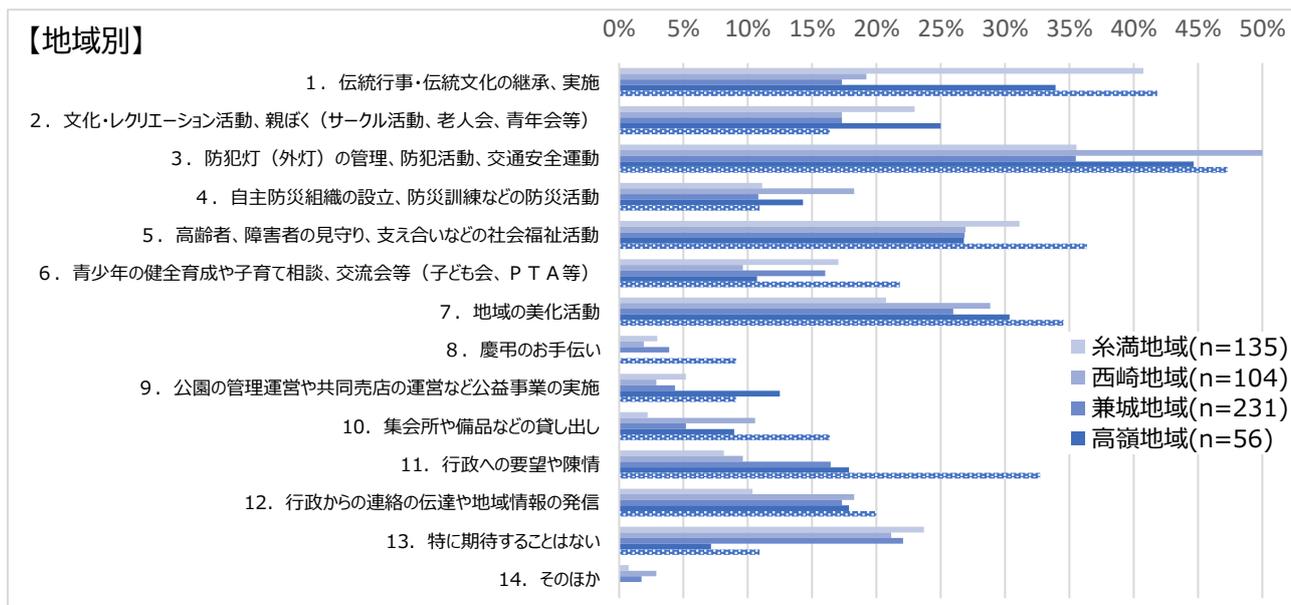
	男性 (n=217)	女性 (n=341)
1. 伝統行事・伝統文化の継承、実施	31.8%	23.8%
2. 文化・レクリエーション活動、親ぼく(サークル活動、老人会、青年会等)	20.7%	18.2%
3. 防犯灯(外灯)の管理、防犯活動、交通安全運動	36.4%	43.1%
4. 自主防災組織の設立、防災訓練などの防災活動	7.8%	15.5%
5. 高齢者、障害者の見守り、支え合いなどの社会福祉活動	23.5%	33.4%
6. 青少年の健全育成や子育て相談、交流会等(子ども会、PTA等)	14.7%	15.5%
7. 地域の美化活動	23.0%	29.0%
8. 慶弔のお手伝い	6.9%	1.5%
9. 公園の管理運営や共同売店の運営など公益事業の実施	4.1%	5.9%
10. 集会所や備品などの貸し出し	5.5%	7.6%
11. 行政への要望や陳情	16.6%	13.8%
12. 行政からの連絡の伝達や地域情報の発信	17.1%	16.1%
13. 特に期待することはない	21.2%	18.8%
14. そのほか	1.8%	0.6%
無回答	7.4%	6.7%

年代別では、18～29才において「1. 伝統行事・伝統文化の継承、実施」と答えた割合が37.0%(全体26.8%)と他の年代よりも高くなっている。また、40代では「3. 防犯灯(外灯)の管理、防犯活動、交通安全運動」と答えた割合が49.1%(全体39.8%)と他の年代よりも高くなっている。また、70代においては「13. 特に期待することはない」と答えた割合が8.6%(全体19.6%)と他の年代よりも低くなっている。



	18～29才 (n=54)	30代 (n=95)	40代 (n=108)	50代 (n=110)	60代 (n=123)	70代以上 (n=93)
1. 伝統行事・伝統文化の継承、実施	37.0%	26.3%	27.8%	21.8%	26.0%	28.0%
2. 文化・レクリエーション活動、親ぼく(サークル活動、老人会、青年会等)	16.7%	16.8%	13.9%	16.4%	23.6%	26.9%
3. 防犯灯(外灯)の管理、防犯活動、交通安全運動	42.6%	41.1%	49.1%	39.1%	37.4%	30.1%
4. 自主防災組織の設立、防災訓練などの防災活動	14.8%	20.0%	13.0%	12.7%	9.8%	6.5%
5. 高齢者、障害者の見守り、支え合いなどの社会福祉活動	33.3%	24.2%	26.9%	35.5%	25.2%	30.1%
6. 青少年の健全育成や子育て相談、交流会等(子ども会、PTA等)	22.2%	22.1%	18.5%	15.5%	10.6%	6.5%
7. 地域の美化活動	29.6%	30.5%	22.2%	28.2%	25.2%	25.8%
8. 慶弔のお手伝い	1.9%	3.2%	4.6%	4.5%	2.4%	3.2%
9. 公園の管理運営や共同売店の運営など公益事業の実施	9.3%	12.6%	3.7%	7.3%	0.8%	2.2%
10. 集会所や備品などの貸し出し	3.7%	8.4%	10.2%	7.3%	5.7%	4.3%
11. 行政への要望や陳情	5.6%	12.6%	15.7%	18.2%	17.1%	16.1%
12. 行政からの連絡の伝達や地域情報の発信	16.7%	8.4%	16.7%	18.2%	17.9%	18.3%
13. 特に期待することはない	25.9%	26.3%	24.1%	16.4%	18.7%	8.6%
14. そのほか	1.9%	0.0%	0.0%	0.9%	1.6%	3.2%
無回答	3.7%	4.2%	3.7%	10.0%	8.9%	12.9%

地域別では、三和地域において「11. 行政への要望や陳情」と答えた割合が32.7%(全体15.0%)と他の地域よりも高くなっており、他にも「1. 伝統行事・伝統文化の継承、実施」41.8%(全体26.8%)、「3. 防犯灯(外灯)の管理、防犯活動、交通安全運動」47.3%(全体39.8%)、「5. 高齢者、障害者の見守り、支え合いなどの社会福祉活動」36.4%(全体28.8%)といった項目で他の地域よりも高くなっている。また、糸満地域においては「1. 伝統行事・伝統文化の継承、実施」と答えた割合が40.7%(全体26.8%)と三和地域同様に他の地域よりも高くなっている。また、西崎地域では「3. 防犯灯(外灯)の管理、防犯活動、交通安全運動」と答えた割合が50.0%(全体39.8%)と三和地域同様に高くなっている。また、高嶺地域においては「13. 特に期待することはない」と答えた割合が7.1%(全体19.6%)と他の地域よりも低くなっている。

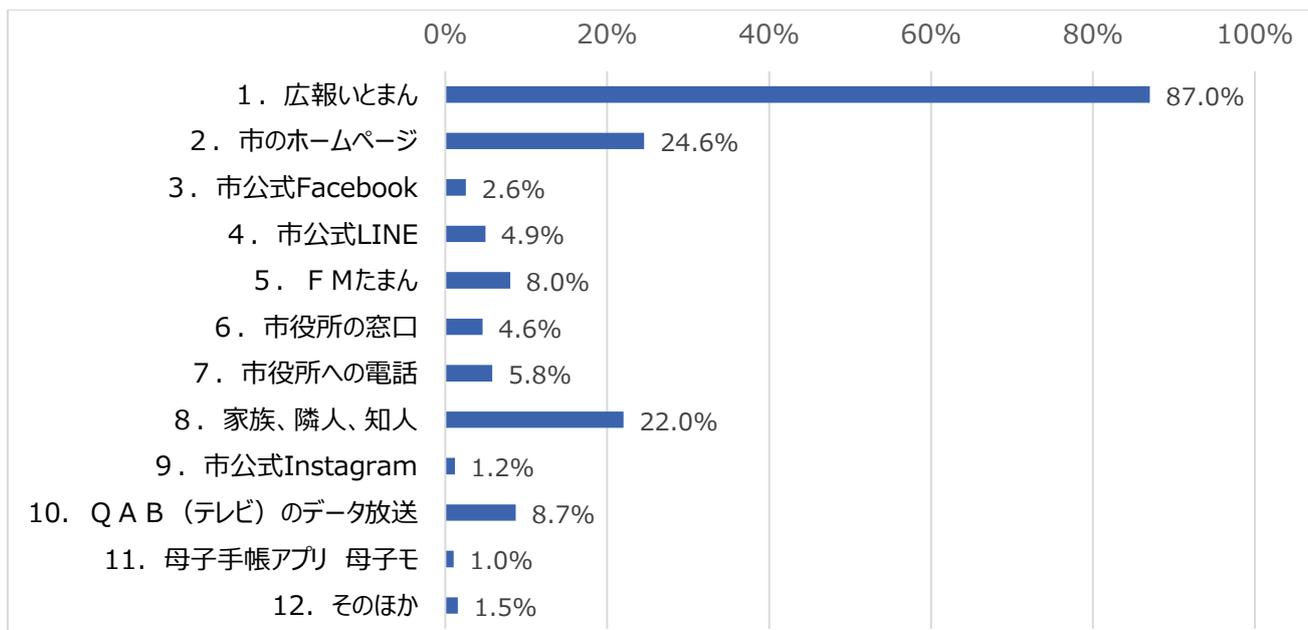


	糸満地域 (n=135)	西崎地域 (n=104)	兼城地域 (n=231)	高嶺地域 (n=56)	三和地域 (n=55)
1. 伝統行事・伝統文化の継承、実施	40.7%	19.2%	17.3%	33.9%	41.8%
2. 文化・レクリエーション活動、親ぼく(サークル活動、老人会、青年会等)	23.0%	17.3%	17.3%	25.0%	16.4%
3. 防犯灯(外灯)の管理、防犯活動、交通安全運動	35.6%	50.0%	35.5%	44.6%	47.3%
4. 自主防災組織の設立、防災訓練などの防災活動	11.1%	18.3%	10.8%	14.3%	10.9%
5. 高齢者、障害者の見守り、支え合いなどの社会福祉活動	31.1%	26.9%	26.8%	26.8%	36.4%
6. 青少年の健全育成や子育て相談、交流会等(子ども会、PTA等)	17.0%	9.6%	16.0%	10.7%	21.8%
7. 地域の美化活動	20.7%	28.8%	26.0%	30.4%	34.5%
8. 慶弔のお手伝い	3.0%	1.9%	3.9%	0.0%	9.1%
9. 公園の管理運営や共同売店の運営など公益事業の実施	5.2%	2.9%	4.3%	12.5%	9.1%
10. 集会所や備品などの貸し出し	2.2%	10.6%	5.2%	8.9%	16.4%
11. 行政への要望や陳情	8.1%	9.6%	16.5%	17.9%	32.7%
12. 行政からの連絡の伝達や地域情報の発信	10.4%	18.3%	17.3%	17.9%	20.0%
13. 特に期待することはない	23.7%	21.2%	22.1%	7.1%	10.9%
14. そのほか	0.7%	2.9%	1.7%	0.0%	0.0%
無回答	4.4%	5.8%	7.8%	14.3%	7.3%

◆5. 市政についてお伺いします。

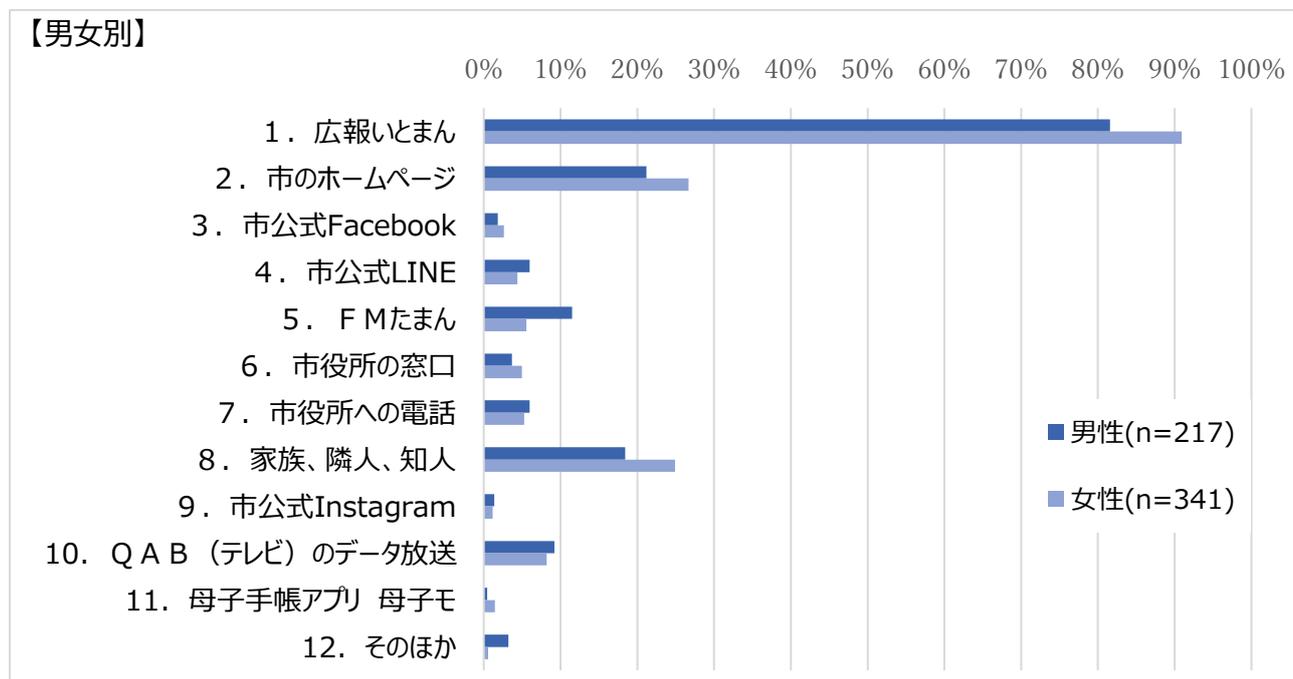
問35. 市の情報をどのような方法で入手していますか。(当てはまるものすべてに○)

「1. 広報いとまん」と答えた割合が87.0%と最も高く、次いで「2. 市のホームページ」24.6%、「8. 家族、隣人、知人」22.0%となっている。



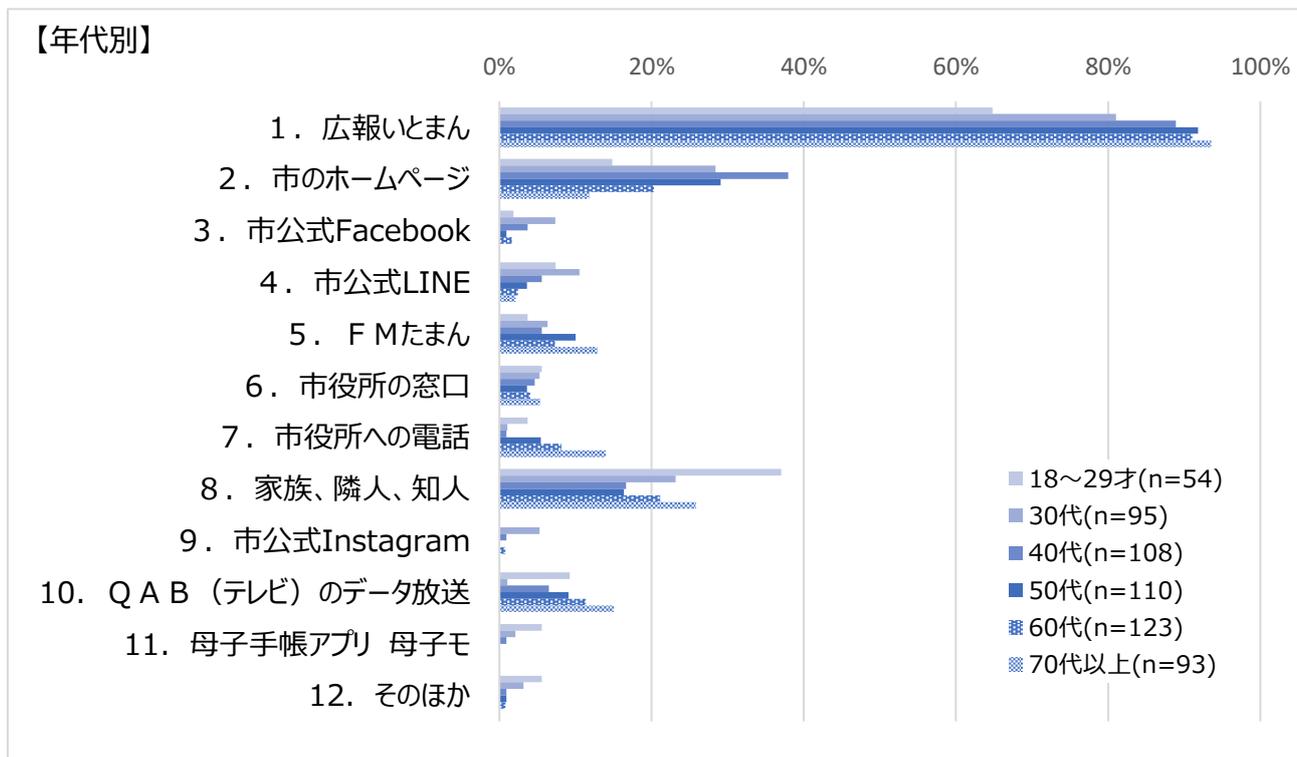
選択項目	回答数	比率 (n=586)
1. 広報いとまん	510	87.0%
2. 市のホームページ	144	24.6%
3. 市公式 Facebook	15	2.6%
4. 市公式 LINE	29	4.9%
5. FMたまん	47	8.0%
6. 市役所の窓口	27	4.6%
7. 市役所への電話	34	5.8%
8. 家族、隣人、知人	129	22.0%
9. 市公式 Instagram	7	1.2%
10. QAB(テレビ)のデータ放送	51	8.7%
11. 母子手帳アプリ 母子モ	6	1.0%
12. そのほか	9	1.5%
無回答	9	1.5%

男女別では、「1. 広報いとまん」と答えた割合が男性81.6%、女性90.9%と女性が高くなっており、また、「8. 家族、隣人、知人」と答えた割合も男性18.4%、女性24.9%と女性が高くなっている



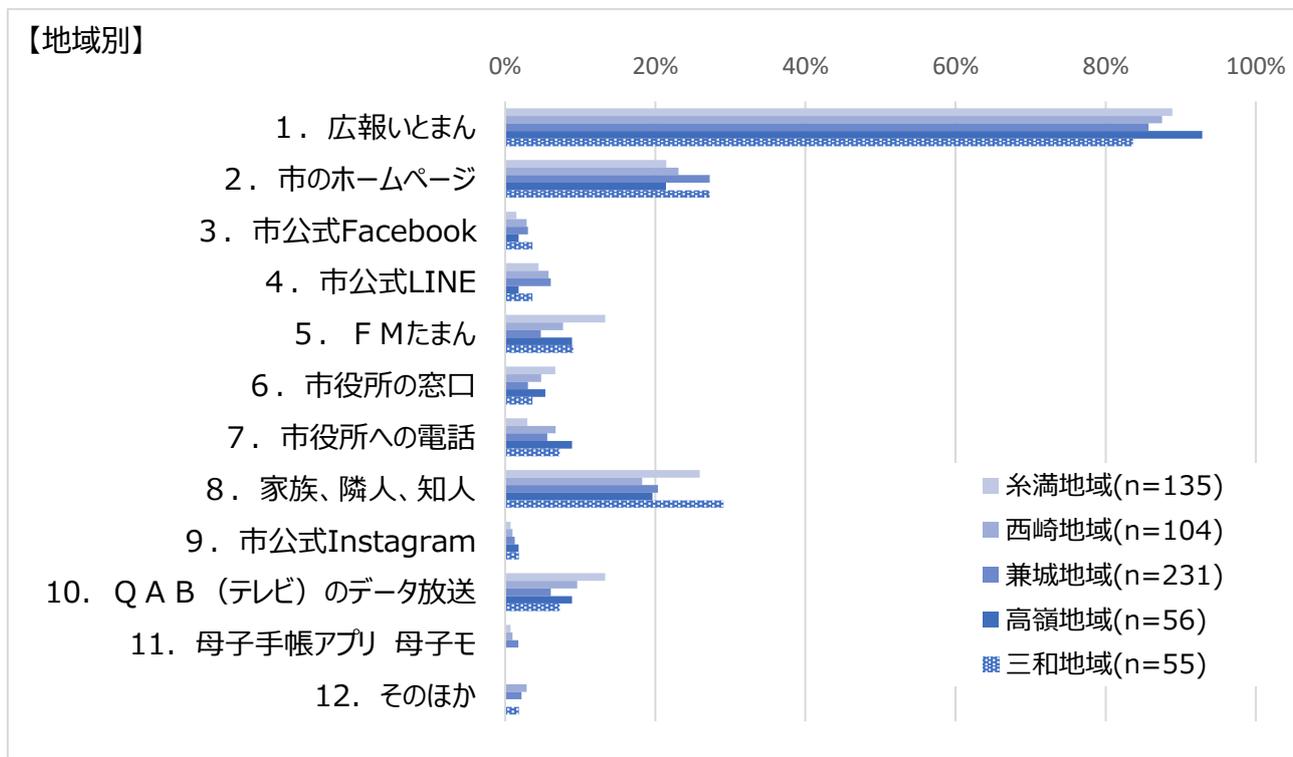
	男性 (n=217)	女性 (n=341)
1. 広報いとまん	81.6%	90.9%
2. 市のホームページ	21.2%	26.7%
3. 市公式 Facebook	1.8%	2.6%
4. 市公式 LINE	6.0%	4.4%
5. FMたまん	11.5%	5.6%
6. 市役所の窓口	3.7%	5.0%
7. 市役所への電話	6.0%	5.3%
8. 家族、隣人、知人	18.4%	24.9%
9. 市公式 Instagram	1.4%	1.2%
10. QAB(テレビ)のデータ放送	9.2%	8.2%
11. 母子手帳アプリ 母子モ	0.5%	1.5%
12. そのほか	3.2%	0.6%
無回答	2.3%	0.9%

年代別では、18～29才において「1. 広報いとまん」と答えた割合が64.8%(全体87.0%)と他の年代よりも低くなっている一方で、「8. 家族、隣人、知人」と答えた割合は37.0%(全体22.0%)と他の年代よりも高くなっている。また、40代では「2. 市のホームページ」と答えた割合が38.0%(全体24.6%)と他の年代よりも高くなっている。また、70代以上では「7. 市役所への電話」と答えた割合が14.0%(全体5.8%)、「1. 広報いとまん」と答えた割合が93.5%(全体87.0%)と他の年代よりも高くなっているが、「2. 市のホームページ」と答えた割合は11.8%(全体24.6%)と他の年代よりも低くなっている。



	18~29才 (n=54)	30代 (n=95)	40代 (n=108)	50代 (n=110)	60代 (n=123)	70代以上 (n=93)
1. 広報いとまん	64.8%	81.1%	88.9%	91.8%	91.1%	93.5%
2. 市のホームページ	14.8%	28.4%	38.0%	29.1%	20.3%	11.8%
3. 市公式 Facebook	1.9%	7.4%	3.7%	0.9%	1.6%	0.0%
4. 市公式 LINE	7.4%	10.5%	5.6%	3.6%	2.4%	2.2%
5. FMたまん	3.7%	6.3%	5.6%	10.0%	7.3%	12.9%
6. 市役所の窓口	5.6%	5.3%	4.6%	3.6%	4.1%	5.4%
7. 市役所への電話	3.7%	1.1%	0.9%	5.5%	8.1%	14.0%
8. 家族、隣人、知人	37.0%	23.2%	16.7%	16.4%	21.1%	25.8%
9. 市公式 Instagram	0.0%	5.3%	0.9%	0.0%	0.8%	0.0%
10. QAB(テレビ)のデータ放送	9.3%	1.1%	6.5%	9.1%	11.4%	15.1%
11. 母子手帳アプリ 母子モ	5.6%	2.1%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%
12. そのほか	5.6%	3.2%	0.9%	0.9%	0.8%	0.0%
無回答	0.0%	1.1%	2.8%	0.0%	2.4%	2.2%

地域別では、地域による差はそれほど見られない。



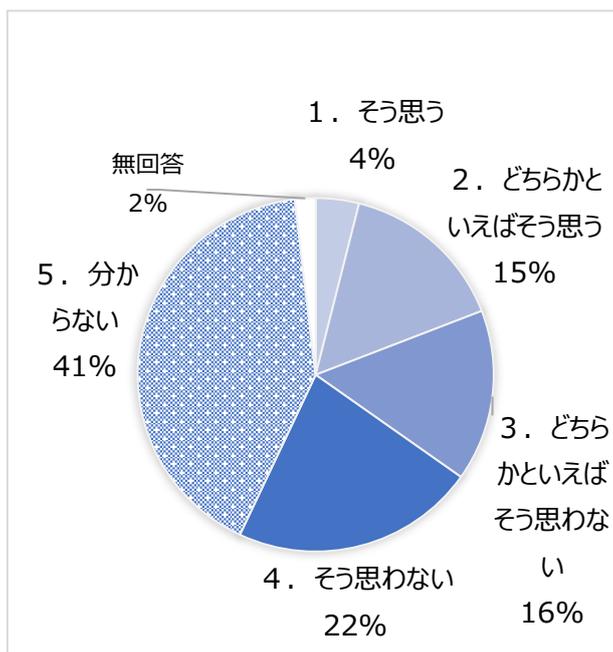
	糸満地域 (n=135)	西崎地域 (n=104)	兼城地域 (n=231)	高嶺地域 (n=56)	三和地域 (n=55)
1. 広報いとまん	88.9%	87.5%	85.7%	92.9%	83.6%
2. 市のホームページ	21.5%	23.1%	27.3%	21.4%	27.3%
3. 市公式 Facebook	1.5%	2.9%	3.0%	1.8%	3.6%
4. 市公式 LINE	4.4%	5.8%	6.1%	1.8%	3.6%
5. FMたまん	13.3%	7.7%	4.8%	8.9%	9.1%
6. 市役所の窓口	6.7%	4.8%	3.0%	5.4%	3.6%
7. 市役所への電話	3.0%	6.7%	5.6%	8.9%	7.3%
8. 家族、隣人、知人	25.9%	18.3%	20.3%	19.6%	29.1%
9. 市公式 Instagram	0.7%	1.0%	1.3%	1.8%	1.8%
10. QAB(テレビ)のデータ放送	13.3%	9.6%	6.1%	8.9%	7.3%
11. 母子手帳アプリ 母子モ	0.7%	1.0%	1.7%	0.0%	0.0%
12. そのほか	0.0%	2.9%	2.2%	0.0%	1.8%
無回答	1.5%	0.0%	1.7%	1.8%	3.6%

問36. 市民が市政に対して、意見や要望を言える機会が設けられていると思いますか。
(一つに○)

「5. 分からない」と答えた割合が41.1%と最も多く、思わないと答えた割合(「3. どちらかといえばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた割合の合計)は37.9%、思うと答えた割合(「1. そう思う」「2. どちらかといえばそう思う」と答えた割合の合計)は19.1%となっている。

選択項目	回答数	比率
思う (1. そう思う+2. どちらかとい えばそう思う)	112	19.1%
思わない (3. どちらかといえばそう思 わない+4. そう思わない)	222	37.9%
5. 分からない	241	41.1%
無回答	11	1.9%
	586	100%

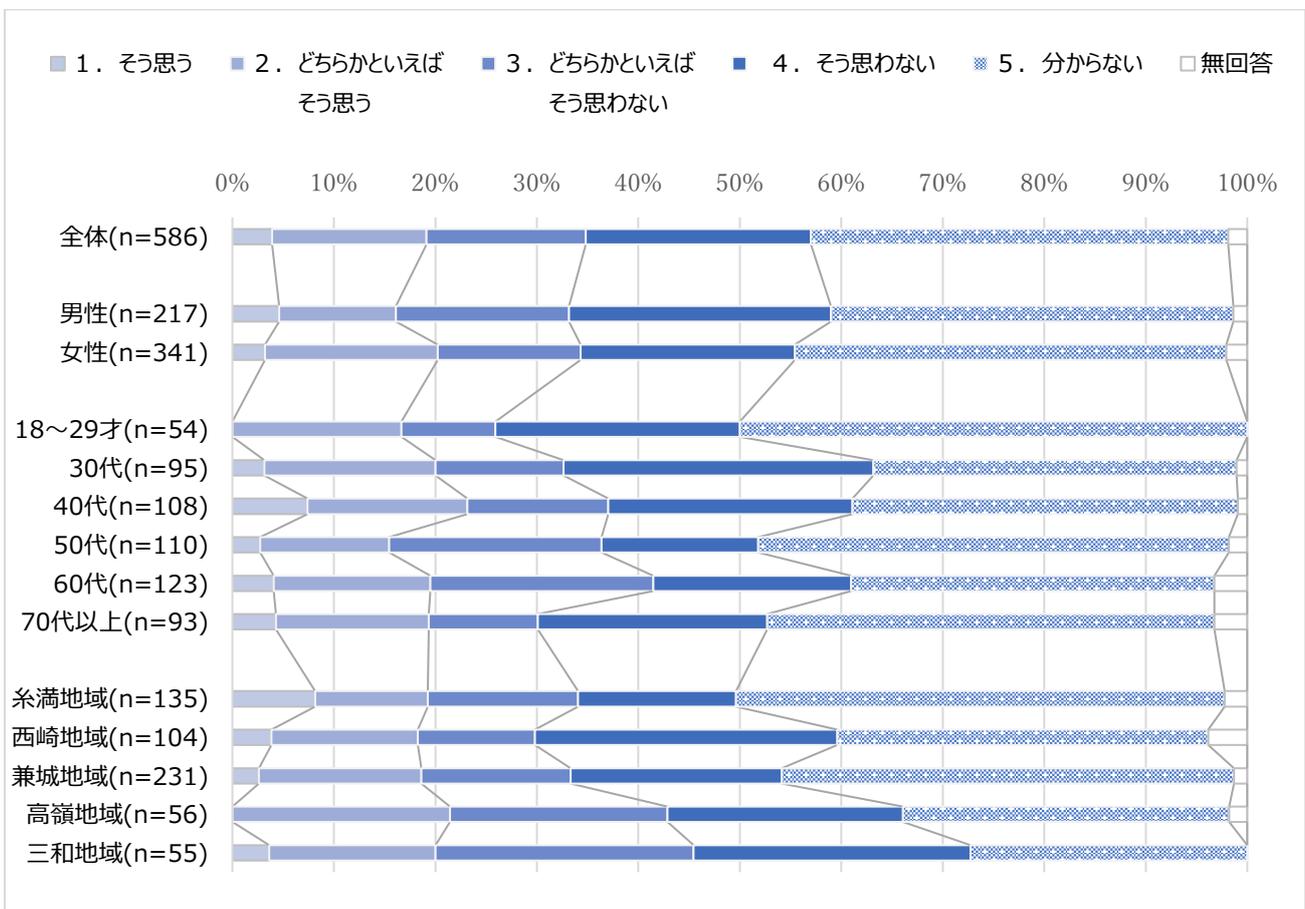
選択項目	回答数	比率
1. そう思う	23	3.9%
2. どちらかとい えばそう思う	89	15.2%
3. どちらかとい えばそう思わ ない	92	15.7%
4. そう思わ ない	130	22.2%
5. 分からない	241	41.1%
無回答	11	1.9%
	586	100%



男女別では、「2. どちらかといえばそう思う」と答えた割合が男性11.5%、女性17.0%と女性が高くなっている。

年代別では、18～29才では「5. 分からない」と答えた割合が50.0%(全体41.1%)と他の年代よりも高くなっている。30代では、「4. そう思わない」と答えた割合が30.5%(全体22.2%)と他の年代よりも高くなっている。

地域別では、三和地域で思わないと答えた割合(「3. どちらかといえばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた割合の合計)が52.7%(全体37.9%)と他の地域よりも高くなっており、「5. 分からない」と答えた割合が27.3%(全体41.1%)と他の地域よりも低くなっている。また、糸満地域では思わないと答えた割合(「3. どちらかといえばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた割合の合計)が30.4%(全体37.9%)と他の地域よりも低くなっており、「5. 分からない」と答えた割合が48.1%(全体41.1%)と他の地域よりも高くなっている。



	思う (1. そう思う+2. どちらかとい えばそう思う)	思わない (3. どちらかといえばそう思わな い+4. そう思わない)	5. 分から ない	無回答
全体(n=586)	19.1%	37.9%	41.1%	1.9%
男性(n=217)	16.1%	42.9%	39.6%	1.4%
女性(n=341)	20.2%	35.2%	42.5%	2.1%
18~29才(n=54)	16.7%	33.3%	50.0%	0.0%
30代(n=95)	20.0%	43.2%	35.8%	1.1%
40代(n=108)	23.1%	38.0%	38.0%	0.9%
50代(n=110)	15.5%	36.4%	46.4%	1.8%
60代(n=123)	19.5%	41.5%	35.8%	3.3%
70代以上(n=93)	19.4%	33.3%	44.1%	3.2%
糸満地域(n=135)	19.3%	30.4%	48.1%	2.2%
西崎地域(n=104)	18.3%	41.3%	36.5%	3.8%
兼城地域(n=231)	18.6%	35.5%	44.6%	1.3%
高嶺地域(n=56)	21.4%	44.6%	32.1%	1.8%
三和地域(n=55)	20.0%	52.7%	27.3%	0.0%

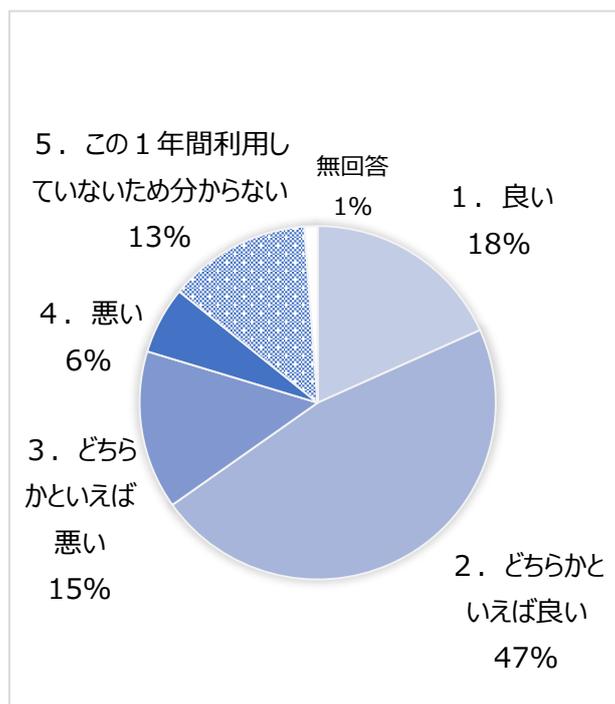
	1. そう思う	2. どちら かといえ ばそう 思う	3. どちらか といえ ばそう 思わな い	4. そう思 わな い	5. 分から ない	無回答
全体(n=586)	3.9%	15.2%	15.7%	22.2%	41.1%	1.9%
男性(n=217)	4.6%	11.5%	17.1%	25.8%	39.6%	1.4%
女性(n=341)	3.2%	17.0%	14.1%	21.1%	42.5%	2.1%
18~29才(n=54)	0.0%	16.7%	9.3%	24.1%	50.0%	0.0%
30代(n=95)	3.2%	16.8%	12.6%	30.5%	35.8%	1.1%
40代(n=108)	7.4%	15.7%	13.9%	24.1%	38.0%	0.9%
50代(n=110)	2.7%	12.7%	20.9%	15.5%	46.4%	1.8%
60代(n=123)	4.1%	15.4%	22.0%	19.5%	35.8%	3.3%
70代以上(n=93)	4.3%	15.1%	10.8%	22.6%	44.1%	3.2%
糸満地域(n=135)	8.1%	11.1%	14.8%	15.6%	48.1%	2.2%
西崎地域(n=104)	3.8%	14.4%	11.5%	29.8%	36.5%	3.8%
兼城地域(n=231)	2.6%	16.0%	14.7%	20.8%	44.6%	1.3%
高嶺地域(n=56)	0.0%	21.4%	21.4%	23.2%	32.1%	1.8%
三和地域(n=55)	3.6%	16.4%	25.5%	27.3%	27.3%	0.0%

問37. この1年間で、市役所職員の窓口や電話での対応(服装、あいさつ、応対など)は、どのように感じていますか。(一つに○)

良いと答えた割合(「1. 良い」「2. どちらかといえば良い」と答えた割合の合計)が65.2%と、悪いと答えた割合(「3. どちらかといえば悪い」「4. 悪い」と答えた割合の合計)20.6%を上回っている。

選択項目	回答数	比率
良い (1. 良い+2. どちらかといえば良い)	382	65.2%
悪い (3. どちらかといえば悪い+4. 悪い)	121	20.6%
5. この1年間利用していないため分からない	76	13.0%
無回答	7	1.2%
	586	100%

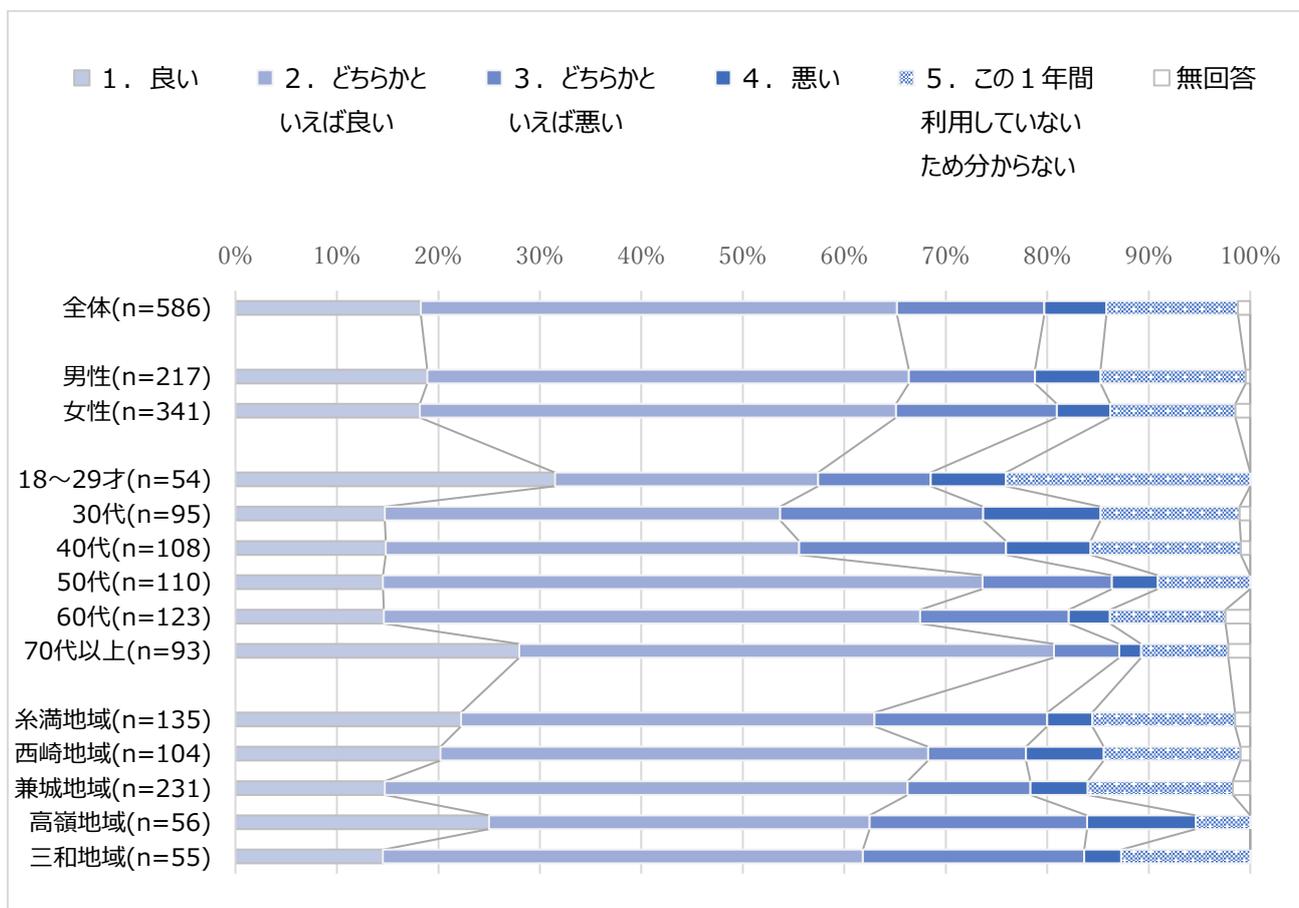
選択項目	回答数	比率
1. 良い	107	18.3%
2. どちらかといえば良い	275	46.9%
3. どちらかといえば悪い	85	14.5%
4. 悪い	36	6.1%
5. この1年間利用していないため分からない	76	13.0%
無回答	7	1.2%
	586	100%



男女別では、それほど大きな差は見られない。

年代別では、18～29才では「5. この1年間利用していないため分からない」と答えた割合が24.1%(全体13.0%)と他の年代よりも高くなっており、また、「1. 良い」と答えた割合が31.5%(全体18.3%)と他の年代よりも高くなっている。また、悪いと答えた割合(「3. どちらかといえば悪い」「4. 悪い」と答えた割合の合計)は、30代31.6%、40代28.7%(全体20.6%)と他の年代よりも高くなっている。また、良いと答えた割合(「1. 良い」「2. どちらかといえば良い」と答えた割合の合計)は50代で73.6%、70代以上では80.6%(全体65.2%)と他の年代よりも高くなっている。

地域別では、高嶺地域で悪いと答えた割合(「3. どちらかといえば悪い」「4. 悪い」と答えた割合の合計)が32.1%(全体20.6%)と他の地域よりも高く、「5. この1年間利用していないため分からない」と答えた割合が5.4%(全体13.0%)と他の地域よりも低くなっている。



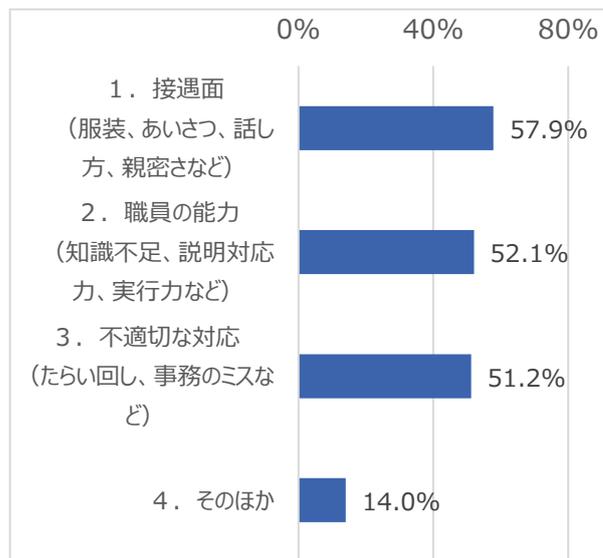
	良い (1. 良い+2. どちらかとい えば良い)	悪い (3. どちらかといえば悪い +4. 悪い)	5. この1年間利 用していないた め分からない	無回答
全体(n=586)	65.2%	20.6%	13.0%	1.2%
男性(n=217)	66.4%	18.9%	14.3%	0.5%
女性(n=341)	65.1%	21.1%	12.3%	1.5%
18~29才(n=54)	57.4%	18.5%	24.1%	0.0%
30代(n=95)	53.7%	31.6%	13.7%	1.1%
40代(n=108)	55.6%	28.7%	14.8%	0.9%
50代(n=110)	73.6%	17.3%	9.1%	0.0%
60代(n=123)	67.5%	18.7%	11.4%	2.4%
70代以上(n=93)	80.6%	8.6%	8.6%	2.2%
糸満地域(n=135)	63.0%	21.5%	14.1%	1.5%
西崎地域(n=104)	68.3%	17.3%	13.5%	1.0%
兼城地域(n=231)	66.2%	17.7%	14.3%	1.7%
高嶺地域(n=56)	62.5%	32.1%	5.4%	0.0%
三和地域(n=55)	61.8%	25.5%	12.7%	0.0%

	1. 良い	2. どちら らかとい えば良い	3. どちら らかとい えば悪い	4. 悪い	5. この1年間利 用していないた め分からない	無回答
全体(n=586)	18.3%	46.9%	14.5%	6.1%	13.0%	1.2%
男性(n=217)	18.9%	47.5%	12.4%	6.5%	14.3%	0.5%
女性(n=341)	18.2%	46.9%	15.8%	5.3%	12.3%	1.5%
18~29才(n=54)	31.5%	25.9%	11.1%	7.4%	24.1%	0.0%
30代(n=95)	14.7%	38.9%	20.0%	11.6%	13.7%	1.1%
40代(n=108)	14.8%	40.7%	20.4%	8.3%	14.8%	0.9%
50代(n=110)	14.5%	59.1%	12.7%	4.5%	9.1%	0.0%
60代(n=123)	14.6%	52.8%	14.6%	4.1%	11.4%	2.4%
70代以上(n=93)	28.0%	52.7%	6.5%	2.2%	8.6%	2.2%
糸満地域(n=135)	22.2%	40.7%	17.0%	4.4%	14.1%	1.5%
西崎地域(n=104)	20.2%	48.1%	9.6%	7.7%	13.5%	1.0%
兼城地域(n=231)	14.7%	51.5%	12.1%	5.6%	14.3%	1.7%
高嶺地域(n=56)	25.0%	37.5%	21.4%	10.7%	5.4%	0.0%
三和地域(n=55)	14.5%	47.3%	21.8%	3.6%	12.7%	0.0%

問38.「どちらかと言えば悪い」、「悪い」を選択した方は、その理由を教えてください。
(当てはまるものすべてに○)

「1. 接遇面」と答えた割合が57.9%、「2. 職員の能力」と答えた割合が52.1%、「3. 不適切な対応」と答えた割合が51.2%と、概ね全ての項目が5割～6割の回答となっている。また、「4. そのほか」と答えた内容においても概ね接遇・職員の能力・不適切な対応に関する内容が記されており、これに加えてお昼・土日対応依頼に関する内容が記されている。

選択項目	回答数	比率 (n=121)
1. 接遇面 (服装、あいさつ、話し方、親密さなど)	70	57.9%
2. 職員の能力 (知識不足、説明対応力、実行力など)	63	52.1%
3. 不適切な対応 (たらい回し、事務のミスなど)	62	51.2%
4. そのほか	17	14.0%
無回答	0	0.0%



【そのほか記述内容】

(接遇面)

- 金髪やヒゲをのびしている職員がいる。
- 順番待ちをして、いざ自分の番と思ったが、声を掛けてもらえず、自分から声を掛けて対応したこと。明らかにこちらを見ているにも関わらず、改善をお願いしたい。
- 笑顔なし。元気なし。AI。
- 疲れているのか暗い。
- 窓口の担当の方が不愛想。すみませんと声を掛けてもなかなか対応してくれない、無視された。
- 電話で証明書の料金について意見を言ったら、「その様なクレームは・・・」と言われた？ 腹が立った。

(職員の能力)

- 質問への対応がわかりづらい。
- レベルの低さ、未熟さ。市民目線ではなく、市長や議員寄りのため、ごく一部の人しか恩恵を得ていない。
- 介護保険に関する対応で行うべき説明責任を果たしていないように感じる。
- 待ち時間が長い、言われたことしかしない(プラスαがない、御用聞きにしか思えない)。
- 人材育成が不十分。

(不適切な対応)

- 情報の小出し(講座申込の際)。電話のタライまわし。職務中新聞読んでいる。

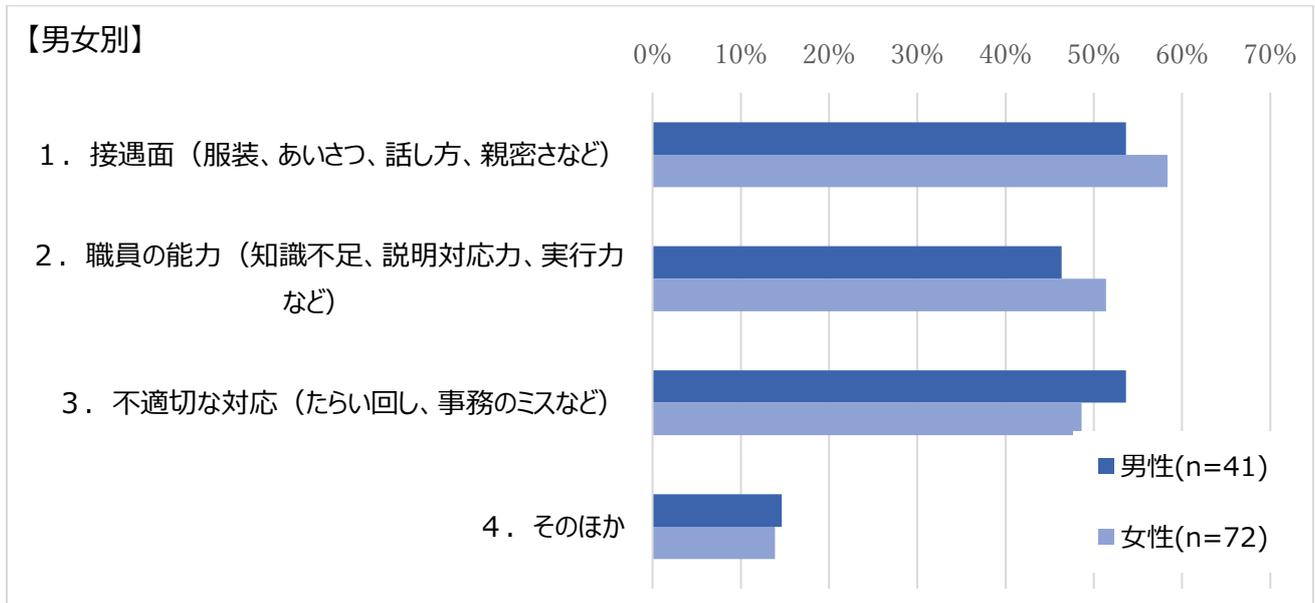
(お昼、土日対応依頼)

- お昼時間の窓口対応、電話対応をして欲しい。
- 働いている人は平日利用難しい。せめて9～17時はいつでも利用できるようにして下さい。

(その他)

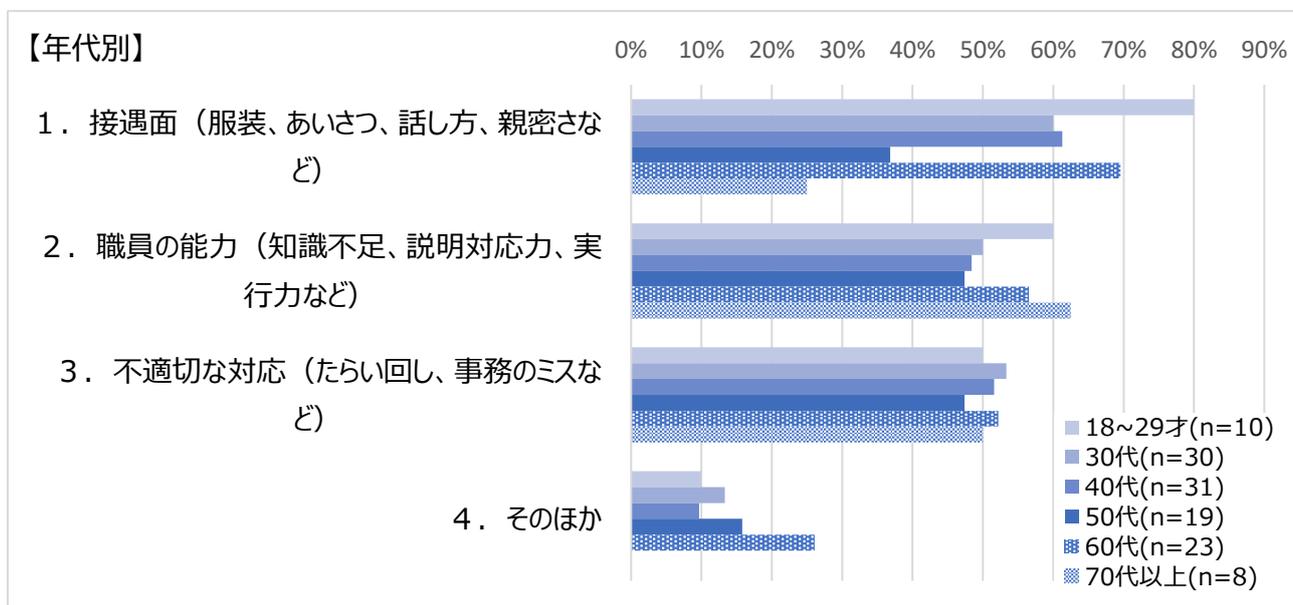
- 職員に余裕が無い、楽しくしている感じがみえない。楽しく仕事ができる環境であれば、更に市民サービスが充実すると思う。

男女別では、それほど大きな差は見られない。



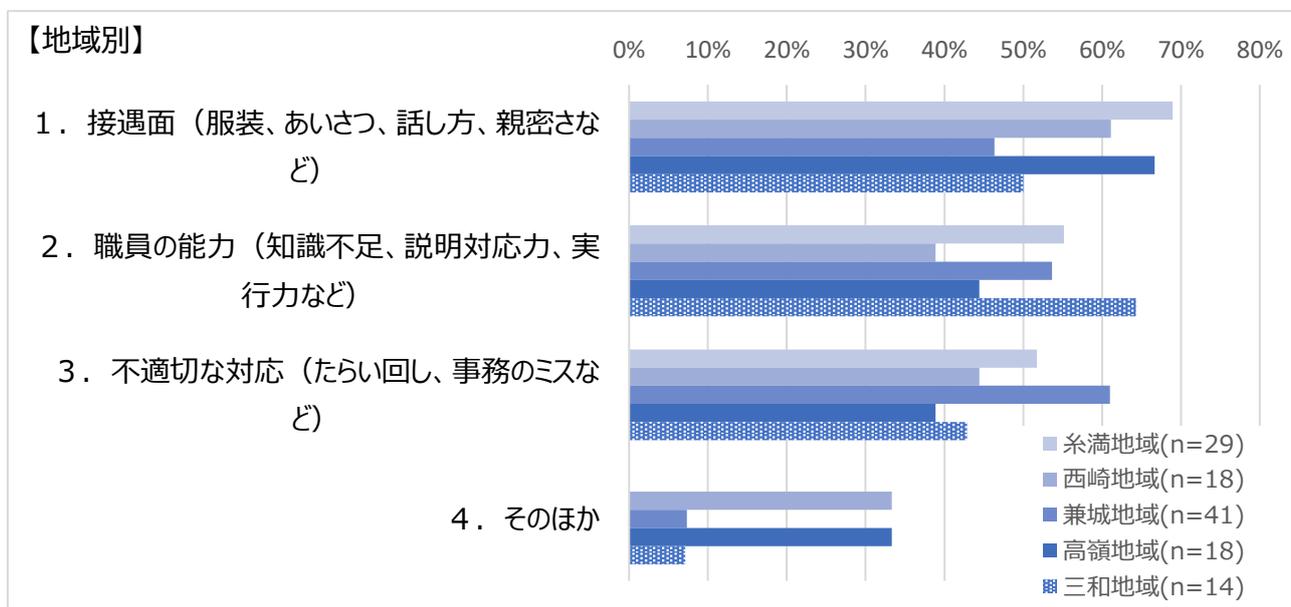
	男性 (n=41)	女性 (n=72)
1. 接遇面(服装、あいさつ、話し方、親密さなど)	53.7%	58.3%
2. 職員の能力(知識不足、説明対応力、実行力など)	46.3%	51.4%
3. 不適切な対応(たらい回し、事務のミスなど)	53.7%	48.6%
4. そのほか	14.6%	13.9%
無回答	0.0%	0.0%

年代別では、各年代のサンプル数がほぼ30以下となっていることに留意する必要があるが、「1. 接遇面」と答えた割合が18～29才で80.0%、60代で69.6%(全体57.9%)と高く、70代以上で25.0%と低い。また、「2. 職員の能力」と答えた割合が70代以上で62.5%、18～29才で60.0%(全体52.1%)と高くなっている。



	18~29才(n=10)	30代(n=30)	40代(n=31)	50代(n=19)	60代(n=23)	70代以上(n=8)
1. 接遇面(服装、あいさつ、話し方、親密さなど)	80.0%	60.0%	61.3%	36.8%	69.6%	25.0%
2. 職員の能力(知識不足、説明対応力、実行力など)	60.0%	50.0%	48.4%	47.4%	56.5%	62.5%
3. 不適切な対応(たらい回し、事務のミスなど)	50.0%	53.3%	51.6%	47.4%	52.2%	50.0%
4. そのほか	10.0%	13.3%	9.7%	15.8%	26.1%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

地域別では、兼城地域を除く各地域のサンプル数が30以下であることに留意する必要があるが、「1. 接遇面」と答えた割合が糸満地域で69.0%と最も高く、兼城地域で46.3%と最も低い。また、「2. 職員の能力」と答えた割合が三和地域で64.3%と最も高く、西崎地域で38.9%と最も低い。「3. 不適切な対応」と答えた割合は、兼城地域で61.0%と最も高く、高嶺地域で38.9%と最も低い。



	糸満地域 (n=29)	西崎地域 (n=18)	兼城地域 (n=41)	高嶺地域 (n=18)	三和地域 (n=14)
1. 接遇面(服装、あいさつ、話し方、親密さなど)	69.0%	61.1%	46.3%	66.7%	50.0%
2. 職員の能力(知識不足、説明対応力、実行力など)	55.2%	38.9%	53.7%	44.4%	64.3%
3. 不適切な対応(たらい回し、事務のミスなど)	51.7%	44.4%	61.0%	38.9%	42.9%
4. そのほか	0.0%	33.3%	7.3%	33.3%	7.1%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

◆6. これまでの設問にかかわらず、ご意見などがありましたらご記入ください。

- (1)市民の皆さまの意見等は、できる限り掲載しました。しかしながら、特定の個人が識別され得る意見や、事実を確認することが困難な意見等につきましては、掲載していません。
- (2)意見等は、ほぼ原文のまま掲載しています。
- (3)自由記述に142件の記載がありましたが、「特になし」との記載13件を除く129件に意見等の記載がありました。また、1件の調査票に複数の意見等が記載されることもあることから、意見等の合計は129件になりません。
- (4)意見等はおおむね、総合計画(基本計画)の関連する政策ごとに分類しています。

○全体

(感想)

- 糸満市大好きです。子育ての環境としてもすばらしいと思います。
- なるべく引越し等はしたくないので、糸満市が、より住み良い街になる事を願っています。
- 最高です。
- 糸満市の良いところ:素朴でのんびりした地域だと思います。都会に比べたら落ち着いて暮らせる所です。
- 明日の糸満市へ。

(提案)

- 自然が多く残り、風情のある地域だと思っています。若い人が少ないのは娯楽施設だけではなく学びの場がない、少ないことも要因だと思います。農業が自然環境を守り、より豊かにする取組やSDGSへの取組みをアピールすることで若い人に魅力を感じてもらえるといいなと思いました。
- 糸満市出身のスポーツ、俳優さん、アナウンサー等、どんどん糸満市をPRして”チャレンジするまち”を実行しても良いと思います。まずは教育・福祉・博愛の心を育て合って高めあえて助け合いの精神でみんながゆいまーるの考えで調和のとれるまちを目指せたらいいなと思います。

(不満)

- 糸満市の市政、市民、市長、市議会議員すべてが未熟。住んでみて何がよかったのかと問われても答えることができない。自慢のできる、思えるようなものもない。他人にすすめるような物、人、環境すべてが低いレベルである。これらは数字で判断できるようなものでもなく、いくら市役所が良い数字を並べても本意によるものではない。糸満のために市民のために働きたいと思う前向きな人はどこにいるのだろう。一時的に盛り上げ頑張っている人も見受けられるが、単発でとにかく瞬間的に向上しているように感じることもあるが、所詮絵に描いた餅のごとく継続性が求められるだろう。糸満から遠ざかりたい、その一心である。

(施設要望)

- もう少しショッピングモールや遊ぶ施設等を増やしてほしいです。行くところがあまりないため。糸満市で20代~30代くらいの方々が働ける職場がほしいです。あまり若い方が働く場がないためです。
- ラウンドワン等、総合的なスポーツレジャーを糸満市内に作ってほしい。
- 糸満市にコストコを建ててほしい。できなければ、ジャスコみたいなデパートを建ててほしい。
- 糸満市は人口が多くなっていくことでしょう。日曜日のような休日には、どこもかしこも人が多すぎて、つい外出をためらってしまいます。遊戯施設も少ないことも一つではとったりします。
- 糸満市内に映画館がほしいです。

- 糸満市ならではの魅力をみせる娯楽施設が少ない。例：映画館、釣り堀、路面電車、桜並木、食事する所が少ない。レストランがない。駄菓子屋商店など。
- ウェルネス施設として、医療や福祉、介護、子育て、健康増進機能を実現して欲しい。
- 三和地区に、家が増えている。三和地区にスーパーができるといい。それだけでだいぶ住みやすくなる。近くにないと年をとった時の買い物に不安。
- 賀数のまわりにもっとスーパーやドラッグストア、イオンやサンエーなどを増やして利便性を高くして欲しい。

○政策1-1 みんなで子どもを育む社会をつくる

(全般)

- 子や孫世代の人たちが生活しやすいように保育サービスや子育て施設や支援の充実をお願いしたいです。
- これからも糸満市に住みたいと考えています。子育てしやすい環境、子供を地域で見守れるよう自治会や住民のつながりができるようになる事を期待します。
- 働く親がもっと安価もしくは無料で利用できる子育て支援や学童、子ども達の送迎のサービスなどあったら助かります。頑張っても、税金もしっかり収めても、働いているがゆえに子どもにしてあげられない、子供に対する代行サービスにお給料からお金が流れている。子育て低所得者だけ色々なサービスな補助、支援金があり、働いている私たちには無いとかは、正規雇用で働く意欲が低下してくると感じます。働くことができる人が働いた方が断然いいと感じ、そして家計にとっても負担なく子育てができて、しっかり税金を収められる方がいいと思っています。
- 私は出産と結婚を機に糸満市へ転入しましたが、出産で病院に通っておりましたが母子手帳だけのチケットだけでは足りず、費用を自費で出して通院することもありました。ですので、母子手帳のチケットが無くなった際の妊婦健診費用を市で補助できないのかなと思っています。また、出産して仕事に復帰したくても保育園の空きが無く、育休を延長せざるをえませんでした。家計にもひびきますし、女性の社会的地位も失うと思います。もっと保育園と連携を取って市民への情報の伝達、入れない方へのサポートや無認可への共有や紹介等を手厚くして欲しいです。他の市町村に比べての保育料(税金)も高いと感じます。子育てしにくいです。理由があるなら教えて欲しいです。国も今後少子化対策に力を入れるとテレビで見ますが、糸満市も国に沿って子育てしやすい環境を作って頂きたいです。他の都道府県では地域によって出産祝金等出してサポートしているところもあるみたいで、一時預かりサポートにも力を入れたりしているところもあるそうです。私も子育て真っ最中なので少しでも多くの支援があると住み続けたいと感じると思います。

(保育園)

- 保育園などの仕組みなど初めての子供とかだと分からないことが多かったりと、そういった面でも寄り添いながら説明と聞いたりしてくれると有難いです。(私がなかなか分からず知人から聞いたり職員の方に聞きづらかったです・・・)いつも市民のために大変だとは思いますが、お疲れ様です。そして、有難うございます。
- 糸満市に移住し子育て中です。保育園が1年間待機状態で、仕事が復帰できません。保育士、保育園の確保を優先して欲しいです。子育て世代が働けない地域は栄えません。認可外に預ける場合も補助を増やす等してほしいです。
- 嘉数宿舎ですが、(在住)転勤してきて自分の仕事先を探す際に(官舎の人はこちらに親族がいない方がほとんどですが)幼い子が保育園に入れない状態で行くのにとても困りました。これだけに限らず、引っ越ししてきてすぐに慣れない地での情報収集は大変なので転入された方へのサポートをできるシステムを作って欲しいなと思いました。数年前、宮古島の官舎であったような事件も周囲のサポートがあったら防げたのではと思いますが、自衛隊側だけでなく、行政側でも必要かと思っています。私は6年前に転入してきたので既にサポート体制があったらすみません。もしそういった体制があるならば今一つ周知されていないようにも感じます。よろしくをお願いします。

(学童)

- 保育園の整備は素晴らしいが、学童が少なすぎる。子供は成長するんですよ？保育園に通ってた子は学童を利用するのに入れたい。学童を増やすか、小1～小3の子が放課後居れる場所を作ってください。仕事やめなさいいけませんか？

(子育て支援施設、子育て情報提供)

- 3年前に県外から糸満に引っ越してきました。引っ越しと同時に新型コロナが蔓延して、自宅待機の日々に加え、子どももまだ小さくて知り合いが1人もいない心細い環境でした。そんな中で子育て支援施設を知り、そこに通い始めてたくさんの人たちと交流をするようになり、時には子育てのアドバイスをもらったり、グチを聞いてもらったりと、とても励まされました。現在は子どもが少し成長して施設に通う機会は減りましたが、今でも育児で挫けそうな時の私の心の支えです。そんなこともあり、子育て支援に携わる方々には感謝の念が絶えません。
- 20代～30代の子育て真っ最中のお母さん達が色々な心配事を話せる場所や機会。子育て広場など利用しているお母さん達は良いけれど、それをも利用できない親もいます。糸満子育て応援アプリ「母子も」は、今の親には利用し易いと思う。現在、スマホを使い色々な情報を取り入れているので良いことだと思います。

(子どもの居場所づくり)

- 中高生が無料で利用できる場所があるとうれしいです。小中高の子供でも勉強が苦手な子供が行きやすい活動できる場を作りたいです。
- 子供が遊べる場所を増やしてほしい
- 市内の公園に深夜までたむろしている少年、少女が多い。警察と連携してそういう子ども達が健全に過ごせる居場所や育成に努めてほしい。

(サービス要望)

- 糸満市独自の不妊治療助成金を作りたい。
- 塾などの費用サポート(私立中学無償化など)。
- 母子(父子)家庭が多くなってきました。その対策がまだまだ遅れています。安心、安全性などを今一度検討、実行してほしいです。
- ”母子家庭ばかり母子手当など色々な支援金を給付しているようですが、政府や国は少子化対策問題を取り組んで、国は子供を産め産めと言う割に、母子家庭や父子家庭ばかり手厚い支援をして、お国の為にとまでは言わないですが、一般家庭も子供が4人以上いる多子世帯も国に貢献していると思いますし、子供が多ければ、それなりに食費や学費など色々なお金がかかる訳であり、周りの子供達と変わらないように親としては精一杯の事をしてあげたいと思い、身を粉にして働いているのだから、母子家庭ばかりではなく多子世帯にも手厚い支援を考えてほしいです。支援が無いから、母子家庭にすると母子手当を貰えるからと、偽装離婚をして手当を受けて生計を立てている人も実際にいます。そんな不正受給をする考えを持つ人間を作り出してしまっているのも、こうした多子世帯に対する支援が何も無いからでは無いでしょうか。何も支援が無いから、将来を不安視して子供は産みたくないと考え、少子化に繋がっているんだと言うこと、母子家庭の手当を不正受給する人間を出してしまう現実を、もっと早く気付くべきだと思います。子供を産めと言うなら、不安にならないような支援金を、もっと母子家庭ばかりではなく多子世帯にも拡充するべきだと思います。”

(提言、情報提供)

- 将来引きこもりを出さないためには、子育て期間中特に0才～1才までの親と子の愛着形成が大切だと思います。なるべく1才までは育児休業を取得できる(しやすい)環境を国・市政から発信してほしいです。
- 意見提言をさせていただきます。ヒントにしてください。
 - ・ 高年在住の笠間美穂さんの「おたがいさま」を世界に広めるイベント主催、子育て世代のキャリア形成をサポートする団体戦代表を務める。
 - ・ 「フードドライブ」家庭で余った食品を集めて支援の必要な人に届ける取組みで食品ロスを減らす一助にもなる。

- ・ 「みらいチケット」タコライスラバーズ山川さん、みらいチケットの協賛店を増やし貧困の子どもをなくす活動を行っている。食堂等で食事を提供して万引きなどの犯罪抑止や人に優しい地域づくりに貢献。
- ・ 女性の貧困化問題”漂流妊娠”オルナ・ドーナト著「母親になって後悔している」を一読を！
- ・ 樋口耕太郎著「沖縄から貧困が無くならない本当の理由」の一読を勧めます。

○政策 1-2 学校の魅力をさらに高める

- 学校への予算が少ないのか運動場の遊具や机等子供が利用するもの不十分。
- 小学校からのタブレット学習の強化。
- 学校が遠すぎる。

○政策 1-3 誰でもいつでも学べる環境をつくる

(図書館)

- 市の図書館で廃棄される図書や雑誌をもらえるのであれば頂きたい。もしくは安く購入したいと考えているが、HP から情報を得られなかったので、市の図書館の HP か市の HP に分かりやすく情報を載せて欲しい。

○政策 1-4 歴史・文化・芸術に親しむ環境をつくる

(くくる糸満)

- シャボン玉石齧くくる糸満でイベントを開催してくれてとても楽しませて頂いています。
- くくるの活用に期待している。土日だけでなく平日夜から音楽鑑賞などの場が増え、糸満が芸術の街として栄えてほしい。
- くくる糸満での各年代のサークル活動が増えるといいと思います(老人向け、若い世代向け、こども向け)。
- 「くくる糸満」が市民にとって使用しやすい料金設定や情操教育に寄与する行事を増やして欲しい。公演日程や使用率なども知られていない。
- くくる糸満の施設がもったいない感じがする。(子供向けの遊び・体験等も開催時間が短く利用し辛い)利用している人がいない、少ない。くくる糸満をもっと活用して欲しい(市民会館としての活用はできないか？コンサート、講演会)。

(地域行事)

- 地域行事の復活を望みます。

○政策 1-5 スポーツに親しむ環境をつくる

(スポーツツーリズム)

- プロ野球ロッテのキャンプ楽しみにしてます(有難うございます)。
- ロッテ球団を一次キャンプから誘致できるように課題解決頑張ってください。

(環境整備)

- スポーツのできる施設(大きい室内用)例野球観戦とかその他
- 浦添市のように子供のスポーツ(サッカー、テニス、卓球等)の教室の開催できる場所(施設)が欲しい。

(西崎運動公園)

- 西崎総合運動公園内の雑草、トイレ汚れの改善 ※地域スポーツ(少年・少女)団体との連携
- 西崎ランニングコースの環境の整備。ホテルスポーツロッジ糸満サウナの再開。
- 西崎運動公園などをもう少し使いやすくして欲しい。街灯が少なく、夜に運動がしにくい。女性が運動できるようにして欲しい。
- 西崎運動公園の外周の植込み、いつも雑草が伸び放題。ウォーキングやジョギングを楽しんでいる人が多数いますが、植込みの雑草が歩行スペースまで伸びて歩行スペースを狭めている。清掃、草刈をもっとして欲しい。

○政策 2-1 健康で健全に暮らす環境をつくる

- 健康は高齢者の高齢者サロン、ゲートボール、健康に配慮した料理が食べられる飲食店があると良い。減塩料理が良い。弁当事業者でも減塩にして欲しい。(血圧の高い人も多いので)

○政策 2-2 支え合い、後押しする福祉環境をつくる

(物価高騰支援)

- 物価値上がりもあるなか固定費が高くサポートして欲しい

(障がい者対応)

- 高齢施設は多いけど障害者施設が少ないので困ります。市役所には、車椅子が在るのですが小さい、幅広い車椅子を置いて欲しいです。

(生活保護制度)

- 生活保護世帯の生活状況のチェックが甘いのでは？(家族旅行に行っている)
- 生活保護世帯の受給資格者のルールを県内全ての市町村で同じものにして欲しい。

○政策 2-3 高齢者の保健福祉を充実させる

- 高齢の方々が気軽に行ける健康体操教室とか(無料)ぜひお願いしたいです。
- シルバー人材センターの評判が悪く、改善して欲しい。
- 子育ても必要だと感じていますが、年寄の一人暮らしの見守りの在り方を各世代が集まって企業を含めた中長期的な取組を行政だけでなく地域内のネットワーク作りが必要だと考えています。若い年代だけでなく各年齢層が笑って暮らせるのがいい！！大切なのは行政に頼らないネットワークを市民一人一人が考える時期にきていると思います。
- 年齢と共に歩行が不安、不自由になったり障害者になったりした時に必要な用具・杖等を市の方で助言したりして生活の向上を図れるよう、また身体の回復に向かっていけるようになると良いかな。

○政策 3-1 日常的な安全をつくる

(防犯)

- 警察に(パトカー)パトロール回数を増やして地域の安心安全に役立てて欲しいです。
- 糸満に住んで感じたことは他の市町村に比べて街灯が少ない。
- 街灯が少なく暗いので安全面で心配。
- 冬は特に暗くなるのが早く子供が1人で歩くのに怖いので、街灯も必要などがある。街灯を増やしてほしい。

- 潮崎町の街灯が少なく夜歩くと暗い。

(交通安全)

- 路上駐車はさせない方向で、公園周辺・学校周辺の標識・案内などを増やしてほしい。
- 家の前の道路が再舗装されたが、車のスピードが速くなり危険を感じる。(再舗装して欲しくなかった)
- 道路の中央線(白線)などが細く、雨等の時は全く見えません(他県に比べて)
- 横断歩道の白ライン(森の音楽館前)が完全に消えているところがある(子どもが立っていて危ない)。横断歩道であるなら白ラインをしっかり引いて欲しい。横断歩道でないなら歩道と車道ラインを引いて欲しい。
- 学校周辺の横断歩道の白ラインをしっかり引いて欲しい。(4月から新一年生もいるし)

○政策 3-2 緊急事態に備える

- 潮崎町は台風時停電が多すぎます。他県ではまったくなかったのでよろしくお願いします。
- 有事の際の避難場所(施設)が無く造ろうとする気配もない。市民の命を守ろうとしているのか疑問。
- 防災無線放送は何を言っているのか聞き取りにくい。サイレン等の方がわかりやすい(緊急の場合は特に)

○政策 3-3 支え合う地域で安心を生む

- 台湾有事からの沖縄有事に備えを急いで欲しい。有事の際の避難訓練、食糧の備蓄などについて市民に告知して欲しい。防災は自然災害だけではない事を示してはどうかと思う。

○政策 3-4 平和を希求し未来へ発信する

- 以前宜野湾市に住んでいたことがあるので感じるのですが、糸満市は基地問題に対して意識が低いように思います。沖縄はどこに住んでいても米軍基地から発生する問題にさらされています。平和活動を並行してこのことにも積極的に取り組んでほしいです。

○政策 3-5 多様性を認め合う社会をつくる

- LGBTQ については同性婚やパートナーシップなど議論にもなっていないように感じます。市議会でもほとんど取り上げられていません。議員も含め市民全体の意識向上のための施策をお願いします。

○政策 4-1 循環型社会をつくる

(ゴミ収集)

- ゴミの収集もゴミ置き場が決まっていないのか、道路沿いにずら~っと並んでるのを見て最初は驚きました。収集に時間かからないですか？ネットをかぶせなくてもいいとか、猫やカラスの被害がないのが不思議です。台風前の風が強い時はペット類が飛ばされているのをよく見かけます。

(再生可能エネルギー)

- 「P2G システム」再生可能エネルギーを利用して CO2 を出さず水素を生み出す。糸満市が再生可能エネルギーや太陽光・風力発電に力を入れていることは知っています。

○政策 4-2 生活環境をよりよく保つ

(美化)

- ゴミやたばこのポイ捨てが多い気がする。
- 道路が汚いと思います。清掃を充実させて県内では一番きれいな市といわれるまちづくりをしてほしい。
- 舗道の草を常にキレイにして欲しい、ウォーキングしたくても歩きにくくて困っている
- 移住してきた当時から道路や公園等ゴミの投げ捨てが多くて子供、大人への一般常識教育が無い。至る所にゴミが投げ捨てられていて汚い。子供の時から教育されていない。道路脇、公園等美化が必要。犬の散歩でも始末しない人がいる。基本的常識が欠如している。
- 摩文仁に在住してます。平和祈念公園の敷地はきれいにされてるが八重瀬町の町並みも街路樹、花壇も綺麗に管理されてる。仲座交差点からひめゆりの塔はいつも雑草、松、黒木の剪定もされず観光地として全国、世界から訪れる人々に恥ずかしい思いです。実際いろんな世界の観光地訪れましたが、ものすごく整備されてます。少しでも世界平和を祈念する地は美しくありたいです。祈念公園内でフリーマーケットや地元の野菜、特産品、マルシェ等定期的に開催したら地域のコミュニティ、豊かさを享受できると思います。

(野良猫対策)

- たくさんの野良猫がいるのに、市は何もしていない。他の市町村ではいろんな補助がありますよ！

○政策 4-3 地域のインフラを整える

(道路管理)

- 街路樹(西崎運動公園前、居酒屋前)が立ち枯れして今にも倒れそう(しいたけも生えている)なので、対応して欲しい(危険除去)。
- 街路樹ではなく道路周辺に野菜や果物を植えているところがあるけど、それでいいのかな??
- 管理ができない木や花を植えないで欲しい。歩道を広くして欲しい。
- 武富に住んでいますが、北波平のちゅら島観光を過ぎて7号に出る5差路の信号が短すぎて不便です。5差路から西崎方面に抜ける道路の信号は長いのでどうにか調整してほしいです。
- 凸凹の道、狭い道を減らして欲しいです。交差点の見通しをよく。

(下水道整備)

- 上之平区に10年程前に家を建てました。その建てる時に下水道が無かったので水道課に要請に行きました。そして要望書も提出しました。それなのに10年以上たってもまだ下水道が通っていません。下水道の普及といいながらもまだ通ってないのはどうしてでしょうか?そのことからしても市職員の対応の市の対応の悪さをつくづく感じています。早く対処して下さい。よろしくお願いします。
- 下水道の整備を早く実施して欲しい。

(いとちゃん mini)

- 以前住んでいた所ではマイカーを運転することがほとんどなく(公共交通機関の完備)ペーパードライバーになっているので、いとちゃん mini があると助かります。
- いとちゃんミニのおかげで病院やスーパーの買い物など大変助かっています。今後ともずっと利用したいと思っています。
- コミュニティバスの台数を増やし、もっと交通の便を良くしてもらいたい。

(バス、モノレール)

- 交通の便を良くして欲しい。例えばゆいレールの延長で観光客誘致。
- 糸満市までモノレールを延伸することを強く要望する。子供的那覇市内への通学及び出勤等、非常に有意義であり、朝の渋滞緩和に寄与。

- 鉄道・路面電車・モノレールの延長等交通手段を広めて欲しい。現在 71 才ですが、近く免許証返納を考えており、その際自家用車がなく自宅での閉じこもりが多くなるのではないかと不安である。
- バスなどの便数が無い。糸満市内全てを通る便が無い。糸満から那覇は行けるが、那覇から賀数あたりまでのバスが無い。不便。どこから乗っても帰れるようにバスの便や本数を増やしてほしい。物なさをさげる。医者や転々としがち。市の人もテキトーな人もいる。栄えている所はバスがあるが正直使えない。
- 意見：車が使えない人のためにも公共バスの路線を拡大してほしいです。大きなスーパー、ホームセンターまで行くのに荷物抱えてバス乗り継ぎするのは大変です。過去には、やってみようかなと思ったりリゾートホテルのアルバイトも、交通が不便のために諦めました。改善されますように。
- バスがあまりにも少なくても買い物が非常に不便。南山病院付近から豊見城のイーアスまで行けるバスや、南風原方面(イオン南風原、徳洲会、津嘉山)に行けるバスがほしい。
- バスが糸満市役所までで潮崎町の外周も運行してほしい。

(通信環境)

- 2～3年前からずっとお願いをしていますが、大度のインターネット環境を整えて欲しい！！今年1月に家を建てたのに置き型しかネットが使えず不便。これから先子供達がネットで勉強などする事も増えると思うと置き型で対応ができない事もNTTと何とかしてほしいと(強く)思います。田舎暮らしを夢見て家を建てたのに残念です。

○政策 4-4 快適に暮らせるまちをつくる

(公園整備)

- 糸満市にスターバックス誘致。※岡山県鞆屋市図書館参考
- 親水公園(元 NBC から西海岸)を市民、近隣市町村、観光の方が行きたくなくなる楽しめるスポットを※タラートロットファイラチャダー(タイの屋台)
- 桜並木(花見ができる)を是非検討してほしい。
- また、西崎の公園で遊ぶ子供たちも多い所はあれど、人がいるのかいないのか分からない公園も見受けられます。屋外アスレチックやスポーツコートなどに使えるのでは・・・。

(公園管理(遊具等))

- 公園の遊具を整備して欲しい。
- 沖縄に来てまず公園の遊具の破損が多くてびっくりしました。公園に行ってもほとんど使用禁止…。あと、ゴミも公園にたくさん捨てられていて片付けしているボランティアさんが大変そう…。
- 糸満市は生活する上で那覇にも近く住みやすいです。子育てもしやすいですが、公園の遊具が老朽化していて遊べないのが残念です。撤去されないままロープで囲われているのも危険です。0才の子供でもハイハイして遊べる屋根のついた広場があるとコロナ禍で人混みを避けたいママ達は助かると思います。(屋内は入りにくいと感じる事があるので、外で屋根付きだと助かります)
- 東京より移住してきました。たまたま糸満市に住むことになりましたが、とても住みよく美しい土地柄と感じています。できれば各公園に鉄棒などの体力増強設備・遊具の増設やロンドン公園のように長く閉鎖・使用禁止としている遊具の回復をご検討頂ければ幸いです。

(公園維持管理)

- 公園の管理に注文。草刈の人員の増員と刈る回数を多くする。草ばーばーの公園ほど気分の悪いものはない。
- 親水公園の池の水が以前のように人が入れるようにきれいになればいいなと思います。(運動)公園周りは草刈りもされてて、キレイになっています。歩きやすいです。ありがとうございます。
- 市内の公園をよく利用させていただいていますがペット、野良猫のフンやゴミの多さが他の市に比べても多い印象です。施設料(虹公園のように駐車料金など)を取ってでも、管理して下さると安心して利用出来るので、ご検討いただけないでしょうか。宜しくお願いします。
- 孫とラウンドアバウトの近くの新しいトイレを使おうとしたら汚くて、孫も嫌がっていて困りました。点検等こまめにしてもらえたらと思います。

○政策 4-5 まちの賑わいや調和をつくる

(南部病院跡地活用)

- 南部病院跡地を何かしら活用できると良いと思います。
- 南部病院跡地に火葬場(豊見城市は遠い。車の渋滞ストレスを感じる。観光に頼らない事業。)や集合墓地や直葬ができる場所はどうですか。南部病院からの眺めはとても素敵で心が癒される。その眺めが故人を亡くした人の束の間の癒しになると思う。(ペット葬も可)病院の跡なのでそのような事業の方が合っていると思う。葬儀関連企業の誘致。花や棺など葬儀関連商品の製造などで雇用促進。糸満市は戦没慰霊碑などがあり、命の尊さを考える雰囲気合っている。火葬を待っている間に飲食ができる(喪服を着ていても気兼ねなく食べられるところ)食事処の誘致でさらに消費促進。大規模災害時にも稼働(東日本大震災で火葬が遅れる過酷だった)。廃熱で発電と蓄電につなげる。

○政策 5-1 産業人材を育成する

- 2 世代、若い方の起業支援、サポート ※福岡市の取組み
- 糸満デジタル女子プロジェクトは素晴らしい。これからも継続して頂きたいです。
- 介護福祉施設の介護士の雇用。

○政策 5-2 農業・水産業を活性化させる

(漁業振興)

- 漁業の町らしく漁港周辺を活発にしてほしい。
- 糸満市は、海に面しているので投げ釣りをよく見ます。孫を連れて行ったことがあります。釣り場が制限されていて安心して投げ釣りが楽しめなかったです。小さい孫にも魚釣り(自然の中で)ができる場所もあればいいなと思います。
- 釣り場所が増えると良いです。海が糸満市の資源だと思うのできれいにする取組みが必要だと思います。

(農業振興)

- 農業従事者ですが、糸満市が本当に農業や生産品を支え、発展させていこうとするような姿勢が見られない。

○政策 5-3 商工業・観光業を活性化させる

(イベント、商業・観光振興)

- ふるさと祭りの開催のお知らせが不十分だと思った。
- B 級グルメイベントなど開催してほしい。
- 美々ビーチへの集客(イベントなど)
- すでに存在しているかもしれませんが、手軽にマリンスポーツが楽しめる環境が必要だと思います。(カヤックのレンタル等)
- 市外から来る人をもっと増やして糸満市を活性化してほしい。観光はもちろんだが企業を増やして働く場を増やし、市外からの働きに来る人も増やせるともっと良いと思う！

(企業誘致)

- 企業誘致専門官を採用し本気で企業誘致をしなければ若者は他市町村に働きに行くしかないのでは。

(プレミアム商品券)

- 今回 2 次募集のプレミアム券を買いました。令和 5 年 1 月 31 日までの使用期間であることを理解しておらず、2 月 1 日に使用しようとしたら使えないとのこと。私たちは 4 千円を失い、糸満市民のどこかのお店が得られるべき 8 千円が無駄になったと思い非常に残念な思いをしました。友人が豊見城市に住んでおりますが、豊見城市はプレミアム券が自宅に配送され手出しは無いとのこと。そして、有効期限が一月くらい過ぎても普通に使用できたとのこと。なぜこんなに対応が違うのか？もう少し糸満市も臨機応変に対応してほしいです。
- 私は今年 72 才を迎える一老人です。今年の市長の挨拶の中で地域活性化を進めるための一事業としてプレミアム商品券の販売がありました。一回目は市民に平等に販売されたと思いますが、二回目の発売には残念で仕方がありません、とても不公平です。市民一人一人に寄り添う感がありません。残った予算を来期末までに処理しようとしているのではありませんか？追伸:となりの豊見城市では各家庭に平等に送られたそうです。
- 糸満市民に地域クーポンなどを配ってほしい。トミシロは配ってた。

○政策 6-1 みんなで元気な地域をつくる

(地域づくり、協働)

- いつも、市民のためにありがとうございます。市民、役所の職員が一緒になって地域づくりができるよういち市民として考えていきたいです。
- 政治不信を防ぐ”くじ引き民主主義”

(自治会)

- 潮崎町には集会所も自治会もないので作って欲しい。
- 問 32~34 で自治会についての設問がありますが、西崎地域は多くの世帯・市民が住んでいるにも関わらず地域拠点である集会所がない自治会もあります。拠点が無いのに十分な活動ができるわけがありません。農村部は小さな集落でも設置されていますが、行政は自治会に対して無関心としか思えません。
- 自治会費 1 万超/年は高く感じる。集金方式だけでなく選択が増えて欲しい。もしくは市の住民税なり市⇒振り分けるなり方法が変わることを期待します。
- 問 34(自治会)自治会費が高すぎる。集金している家、していない家の差が大きい。アパートは参加していない人が多く、公平性がない。
- 自治会についての質問がありましたが、照屋自治会は自治会費が他の自治会に比べて高いと思います。自治会に参加したい気持ちがあっても金額が高すぎてびっくりしました。一戸建ての住人がアパート住まいの住人の分も払うって言う事なのでしょうか…。一戸建てだけが支払ってアパート住まいの住人に集金に行かないというのも納得いきません。
- 自治会は地域の中で入ってる人入っていない人がいて、変な制度だと思います。会費の使われ方の中には街灯光熱費みたいなものがあるのに、入ってる人だけが負担していたり、会費も世帯ではなく世帯の働く人数で決まったり、必要な所はやってくれない感が…自治会とか必要なのかと…もっと在り方を考えてほしいです。糸満市に転入した時点で自治会に加入させる方がいいのかと思います

○政策 6-2 市政運営を強化する

(本アンケート)

- 毎年、やっているのでしょうか？ 意識調査を、今後の市政にしっかりと反映して欲しい。
- アンケート結果は内部資料にせず、何かの形で公表してほしい(広報・ホームページなど)
- 本件調査の結果についてどのような形でディスクロズするのですか！！このような調査は広報誌で開示されれば有難いですね！！頑張ってください。
- このアンケートに対しての直接の意見ではないのですが、先日も市からのアンケートがありましたが、両方も無作為で選びましたとのことですが、本当にそうでしょうか？私はアンケート調査によく当たり

ます。無作為とはどういう方法なのか知りたいと思います。できましたら、私の質問に対する答えを「広報いとまん」にのせてもらえませんか。よろしくお願ひします。最後にこのアンケートの結果を市民(私)に報告して頂くと幸いです。

- アンケートの設問から何が知りたいのか分からない。「チャレンジする」となってるが何にチャレンジしようとしているのかが見えない。他市町村の発展に比べ糸満市役職員は何をしているのか？
- 若い人にアンケートして下さい。

(広報誌)

- 広報のいとまんの字の書体がきれいと感じが良かったです。
- 広報配布日が遅い。

(広聴)

- 最近チリ袋の件で市民主婦の意見を取り上げて改善してくれているので良いです。もっと実感できることが多くあると良い。

(財政運営)

- 公共施設の老朽化の報道がありました。内容は維持管理費の支出が厳しく道や橋を廃止するものでした。自治体の財政を維持するために同様の取組をする必要性を理解しますが、その際はしっかりと説明責任をはたし、合意形成をお願いします。

(税金、公共料金等)

- もっと市民税を安くしれ。8000円はたかい。
- 糸満市の税金高い？
- 年金生活者にとって国保・介護の保険料が重い負担。加えて固定資産税、消費税等税負担が重すぎる。水道代を下げた欲しい。

(土日開庁)

- いつになったら市役所は日曜日でも開けてくれますか。なぜ、休憩時間が設けられ、手続き等ができなくなるんですか。市民のための市役所であれば、市民のニーズに合わせ、やり方などを変えてください。
- 年に数回でもいいので土曜日か日曜日に市役所を開けて欲しい。

(職員への評価)

- 市役所職員の方も仕事は大変だと思うが、市民の為に笑顔で頑張ってください。
- 糸満市役所の方々にはとても感謝しております。皆さん糸満市のために一生懸命働いている姿をこの目で見たのでお仕事頑張ってください。
- 昨年主人を亡くし、市役所にはお世話になりました。皆さんわかりやすく対応していただき、感謝です。
- 特にありません。何年前かに役所で横暴な態度をとる市民がいて、対応していた職員を見かけました。頭が下がります。お疲れ様でした。

(職員への苦情)

- 健康保険料が7割免除から5割免除になっていたのに説明受けに行ったけど(収入が少し増えて課税対象になっていたと解決しましたが)、それは良かったのですが、逆に納める保険料がなんでこんなに安いと不信感を持たれ再び計算しなおし、合っはいたのですが少し首をかしげていました。とても嫌な気分でした。
- 用があつて市役所を尋ねた時、初めに対応する方がいつも臨時職員なのかあまり業務を把握していないのか要件を言うと、上の方に確認を繰り返したりしてタイムロスが多いです。離婚の手続の時は課税同士の連携が悪く日をまたぎました。豊見城市役所はチーム連携がスムーズで処理が早いです！臨時職員を増やすより専門の方に委託して欲しいです。多くの方が同じことを言っています。
- 市役所に民間のコンサルを入れたらどうか。接客からきちんと行う為に…。接客業ではないと思いますが、市民が心地いい場所(沖縄県 No1 の市役所)と思っていただく為何が出来るかを考えてみられる

といいと思います。待たせる＝相手の時間を取っているという意識を持つ。糸満が好きだからこその意見です。

- マイナンバーカードの申請、補助金の申請、お年寄りの申請にはもう少し行政が関わってほしかった。
- 介護長寿課の対応がかなり悪いと思う。窓口に来て誰も対応しない、問い合わせても対応できません。の一点張り。最悪だと思います。
- 去年、選挙の立会いしましたが支払われるお金が遅すぎる。確定申告書類期限終わってから届いても遅い。
- どこの課を見ても散らかっていて、トイレの中まで散らかっている。
- バランスボールに座って執務していたり、丈の短いズボンやズボンの裾を捲り上げた服装で執務している者がおり、締まりがない。
- いくつかの課で気づいた点をまとめます。改善を求めます。
 - (保育こども園課)
 - ・ 電話対応が悪い。保留にする前に「少々お待ち下さい」の一言もない。保留時間が長い。その割にはきちんと取り継がれることはない。電話を掛けて来て、名を名乗らない。
 - ・ 電話対応でも窓口対応でも物の言い方を知らない。丁寧さのかけらもない話し方で、かつ、対応のマナーもなってない。話が全然伝わらず、たらい回しにされ、結局、同じ話を何度もしなくてはならない。散々時間をかけて、ようやく担当者と話をしてもその内容が書類等に反映されない。
 - ・ メール文書が稚拙で、脅迫まがいの内容の時もある。
 - ・ メールの送り忘れ、書類の渡し忘れ、送付先の誤り等のミスや不備が多く、仕事が雑である。
 - ・ 一切、課内での情報共有が感じられない。それぞれの職員で言っていることが異なる。課内で確認すればすぐにわかることでも、何度も同じ説明を各々の職員から求められる。
 - ・ メールアドレス、FAX 番号の変更があり申し出ても、課内で共有していないようで、大事な連絡が来ない場合がある。
 - ・ 平気で不正を行う。
 - ・ 苦情に怯えすぎである。保護者の言い分だけを全面的に肯定し、園の主張には聞く耳を持たず、対応が不公平である。
 - ・ どの案件でも説明責任を果たすことなく、全ての責任を園に押し付けて終わるだけである。
 - ・ 保護者の負担軽減のために行っていたはずの保育料減免も対応に時間がかかりすぎていて、忘れた頃に通知書等が届き、訳が分からない。
 - ・ 質問をしても「自分も分からない」と言って担当者が自身の業務なのに説明できない。「自分の担当ではない」と言うだけで、話を聞かないこともある。
 - ・ 職員の異動、入退職が多すぎて落ち着かない。どの業務も引継ぎが不十分である。職員を採用しても指導や教育が行き届いていないようで、職員がよく混乱している。
 - ・ 園に対して、非常に高圧的な口調、態度である。
 - ・ 労働基準法で妊婦の就業が禁止されている深夜の時間帯に妊婦である職員が仕事をしているのはなぜなのか。
 - ・ 休日に出勤して仕事をし、平日に振替で休暇を取っているのか、平日、不在の職員があまりにも多い。特に、書類の締切日等に担当者が休暇を取っているため、直接書類を渡せず、紛失されることもある。不在にしているため、質問等に担当者から直接答えてもらえない。なので、不明な点が解決されないままになっている案件が多々ある。そんなに仕事から逃げたいのか。なぜ、このような仕事の仕方を認めているのか。この件については、早急に確実な改善を求める。
 - ・ 園から意見書がいくつか出ているはずであるが、改善されている様子は見受けられない。市長は把握しているのか、そもそも改善する気がないのか不明である。
 - (子ども未来課)
 - ・ 虐待の恐れがあるから相談に行っているのに、実際に起こっていないので、対応の必要がない、これぐらい大丈夫と追い返される。窓口担当者が出てこない。相談にすら応じてもらえないのか。何をもって大丈夫と言っているのか分からない。
 - (国民健康保険課)
 - ・ 相談に来た来庁者に対し、滞納しているのだから払って下さい、払って下さい、と窓口で、職員が来庁者の話も聞かず、一方的に納付するよう言い張っていた。その来庁者は、社会保険の保険証を手持っていたので、話を聞く限り、就職に伴って国保脱退の手続きをしていなかっただけのように

見受けられたが、職員は来庁者の話も聞かず、また十分な説明もせず、ただ払えと言っただけであった。対応があまりにも辛辣すぎる。

- (市民課)
 - ・ 障害のある職員が窓口対応することがあるが、その職員が対応に苦慮していても周りの職員は見ても見ぬふりをして、フォローしないことがある。また、急いでいる来庁者等の場合は、別の職員が代わる等、柔軟に窓口対応する方が待っている者も不快にならない。
- (市民生活環境課)
 - ・ 近隣公園近くの川に生えているマングローブの処理を依頼した者がいたが、その川が属する地区に在住する者の依頼ではないという理由で断られていた。他の地区のことまで目が行き届いて依頼できる市民がいるのはありがたいことなのではないのか。

○その他

(政策提案)

- 国は労働力を増やそうと主婦・女性とくに子育て中の方たちを働かせようとしています、ニート・引きこもりの方たちへの働きかけ・対策も必要ではないでしょうか。
- ファストドクター(移動医師):コールセンターに利用者が電話をし、Dr が訪問診療を行い緊急性のある時は救急車を依頼する(夜間、休日)

(コロナ対応)

- 要望:発熱時に診察が受けられるように医療整備をしてほしい。診察できないなら相談窓口を各クリニック、医院に表示して欲しい。子どもの発熱(39.0℃)があったため、あるクリニックを受診したくて8時前に行ったら発熱のある方は8:30~電話受付で対応すると表示があった。8時半になるのを待ってTELしたが全くつながらず(約40分かかけつづけた)、このクリニック受診は諦め、すぐに次のクリニックに行ったら本日の診察予約は終了したとの貼り付けがあった。翌日受診予約したくて元のクリニックへ電話するもつながらず、39.5℃以上に発熱したがどこに相談していいのかわからず。また別のクリニックで来院していることと高熱なので診察は受けた(結果インフルエンザ陽性)が、受診できない状態・医療崩壊がおこっていると思った(小児は急変しやすい)。発熱時のTEL受付(WEB予約)は電話が殺到するため制限をかけていると医療スタッフが話していたのも問題だと思う。各小児科、クリニック等へTELがつながらない時の相談窓口の案内も表示してもらいたい。
- 今現在はどうかわかりませんが…。市役所入口での検温やマスク指導(アレルギー有)はやめて頂きたいです。監視社会みたいで恐かったです。

(議員、議会)

- 党派を超えて、市長を支えながら、糸満市の発展平和のために尽くす議会運営を行なってほしい。
- 市政チェックではなく、市長・教育長の批判に終始する議員の取組に憤りを感じます。
- 市議員が多すぎる。減らした方が良い。

(市長)

- 市長の発信があまりない。糸満を発展させる為の運動を議員と一緒に頑張ってもらいたい。

Ⅲ. 調査票

令和4年度 糸満市市民意識調査



「皆さまの声をお聞かせください」

糸満市では、令和3年度から、「つながりを深めチャレンジするまち糸満市」を将来像として掲げた「第5次糸満市総合計画」、「第2期糸満市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく取り組みを進めています。

この調査は、総合計画などの取り組みについて、市民の皆さまが感じていることや関心のあることを把握し、今後の計画推進に役立てるために実施しています。調査の実施に当たり、市内にお住いの18歳以上の方から2,000人を無作為に選び、調査票を送らせていただきました。お忙しいところお手数をお掛けしますが、ご協力をお願いします。

回答方法 「インターネット」・「紙」 どちらかを選択

インターネット回答 (スマートフォン・パソコン)

QRコードかURLから回答してください。



<https://logoform.jp/form/mn7P/212835>

※インターネット回答の場合は、調査票の提出は不要です。

紙回答

- ① 調査票に直接記入してください。
- ② 同封の返信用封筒でご返送ください。(※切手を貼る必要はありません。)
- ③ 回答は、指定のない限り該当する番号を○で囲んでください。

お願い

- 回答はすべて統計的に処理しますので、個人情報特定されることはありません。
- ご本人(郵便の宛名人)の回答が難しい場合は、ご家族のどなたかがご回答ください。
- 調査票は、**令和5年2月24日(金)**までに郵便ポストへ投函してください。

この調査のお問い合わせ先 : 糸満市 企画部 行政経営課 098-840-8193

◆1. あなた（回答者）のことについてお伺いします。

下表の設問について、当てはまるもの一つに○をつけてください。

設問	選択肢
【問1】性別	1. 男性 2. 女性 3. そのほか ※ご回答は任意です。必須ではありません。
【問2】年齢	1. 18・19歳 2. 20～24歳 3. 25～29歳 4. 30～34歳 5. 35～39歳 6. 40～44歳 7. 45～49歳 8. 50～54歳 9. 55～59歳 10. 60～64歳 11. 65～69歳 12. 70～74歳 13. 75歳以上
【問3】お住まいの地域	1. 糸満地域（南区、前端区、新川区、新島区、新屋敷区、上之平区、西区、西川町、町端区、潮崎町） 2. 西崎地域 3. 兼城地域（照屋、兼城、座波、賀数、北波平、武富、阿波根、潮平） 4. 高嶺地域（豊原、与座、大里、国吉、真栄里） 5. 三和地域（真壁、宇江城、真栄平、新垣、伊敷、名城、小波蔵、糸洲、南波平、喜屋武、束里、福地、山城、伊原、米須、大度、摩文仁）
【問4】糸満市での居住年数	1. 2年未満 2. 2～5年 3. 6～10年 4. 11～20年 5. 21～30年 6. 31年以上
【問5】家族構成	1. 自分1人 2. 夫婦のみの世帯 3. 親と子（二世帯）世帯 4. 親と子と孫（三世帯世帯） 5. そのほか（ ）
【問6】同居家族	1. 18歳未満がいる 2. 18歳未満はいない
【問7】職業など	1. 正規の職員 2. 派遣・嘱託・契約社員 3. パート・アルバイトなど 4. 自営業・家族従業者 5. 家事専業 6. 学生 7. 今は働いていない
【問8】勤務先・通学先	1. 自宅 2. 糸満市内 3. 糸満市以外（ 市町村） 4. 通勤・通学していない

◆2. 結婚や子育て、仕事についてお伺いします。

問9. あなたは、結婚（事実婚を含む）していますか。（一つに○）

1. 結婚している ⇒問12へ
2. 結婚していたことはあるが、離別・死別した ⇒問10へ
3. 結婚していない ⇒問10へ

問10. 今後、結婚したいと思いますか。（一つに○）

1. 結婚したい ⇒問12へ
2. 結婚したいとは思わない ⇒問11へ

問11. 「結婚したいとは思わない」を選択した方は、その理由を教えてください。（当てはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. まだ若いから | 2. 必要性を感じないから |
| 3. 仕事に集中したいから | 4. 趣味に集中したいから |
| 5. 独身生活の方が気楽で自由だから | 6. 人付き合いが苦手だから |
| 7. 結婚したい相手に巡り合わないから | 8. 結婚資金がないから |
| 9. 周囲の同意が得られないと思うから | 10. 自分や相手の収入が不安定だから |
| 11. 結婚後の子育てが不安だから | 12. 自分や相手の親の介護が不安だから |
| 13. 前回の結婚でもう十分だから | |
| 14. そのほか（ | ） |

問12. 糸満市は、子育てがしやすいまちだと思いますか。（一つに○）

1. 思う ⇒問14へ
2. どちらかといえば思う ⇒問14へ
3. どちらかといえば思わない ⇒問13へ
4. 思わない ⇒問13へ
5. 分からない ⇒問14へ

問 13. 「どちらかといえば思わない」、「思わない」を選択した方は、その理由を教えてください。
(当てはまるものすべてに○)

1. 出産前に子育てに関する知識を習得する機会が充実していないから
2. 出産後の母子への心身ケアが充実していないから
3. 妊産婦や乳幼児への健康管理の機会が充実していないから
4. 多様な保育サービスが充実していないから
5. ひとり親家庭への支援サービスが充実していないから
6. 子どもや親同士の交流できる場が少ないから
7. 子育てに配慮している施設が充実していないから
8. 地域での子育て支援がないから
9. 子育ての情報提供や相談体制が充実していないから
10. そのほか ()

問 14. 今後、就職または転職するとした場合、どこで就業したいと思いますか。(一つに○)

1. 糸満市内 ⇒問 16 へ
2. 糸満市以外の県内 () 市町村) ⇒問 15 へ
3. 県外・海外 ⇒問 15 へ
4. 新たに就職・転職するつもりはない ⇒問 16 へ
(現在、無職で将来にわたって就業希望がない方を含む。)

問 15. 糸満市以外で働きたいと選択した方は、その理由を教えてください。(当てはまるものすべてに○)

1. より高い賃金を得るため
2. 専門性・技能を活かせる仕事に就くため
3. 正職員として働ける仕事に就くため
4. 福利厚生が充実した仕事に就くため
5. 開業後の顧客・販路が期待できるため
6. キャリアアップができる仕事に就くため
7. 時間の融通が利く仕事に就くため
8. 子育てや介護に理解がある職場に就くため
9. 買い物などが便利な場所にある職場に就くため
10. 自分の出身地で就職したいため
11. 特に理由はない
12. そのほか ()

問 16. 糸満市で働く人が増えるためには、どのような取り組みが効果的だと思いますか。(当てはまるものすべてに○)

1. 市内企業の賃金を上げる取り組みに力を入れる
2. 市内企業の正職員での雇用を増やす
3. 市内企業の合同就職説明会、職場見学会、就業体験などの機会を増やす
4. 糸満市への企業誘致に力を入れる
5. 魅力的な商品・サービスを持つ企業を育てる
6. 事業相談やコワーキングスペース運営など企業支援を行う
7. 専門的な知識や能力を高める人材育成支援を行う
8. 長時間労働の削減、ハラスメントの防止など法令順守の取り組みに力を入れる
9. 子育てや介護などへの理解促進の取り組みに力を入れる
10. 外国人や障害者、高齢者など幅広い人々が働ける環境づくりに力を入れる
11. そのほか ()

◆3. 住みやすさや今後も住み続けたいかについてお伺いします。

問 17. あなたにとって糸満市は住みよいですか。(一つに○)

- | | | |
|----------|--------------|------------|
| 1. 住みよい | 2. まあまあ住みよい | 3. やや住みにくい |
| 4. 住みにくい | 5. どちらともいえない | |

問 18. あなたが「糸満市は住みにくい」と思うところがあれば教えてください。(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 自然環境に恵まれていない | 2. 交通の便が悪い |
| 3. 道路・公園・下水道などの整備が遅れている | 4. 日用品の買い物が不便 |
| 5. 病院や介護福祉施設が少ない | 6. 娯楽・文化施設が少ない |
| 7. 働く場が少ない | 8. 税金や公共料金が高い |
| 9. 防災・防犯面で不安がある | 10. 子育て、教育環境が悪い |
| 11. 地域行事や近所付き合いがわずらわしい | 12. 特に住みにくいとは思わない |
| 13. そのほか () | |

問 19. あなたは、今後も糸満市に住み続けたいと思いますか。(一つに○)

- | |
|--------------------------------|
| 1. そう思う ⇒問 21 へ |
| 2. おおむね5年以内には市外へ転居する予定 ⇒問 20 へ |
| 3. 将来的には市外へ転居したい ⇒問 20 へ |
| 4. 分からない ⇒問 21 へ |

問 20. 「おおむね5年以内には市外へ転居する予定」、「将来的には市外へ転居したい」を選択した方は、その理由を教えてください。(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 就職のため | 2. 進学のため |
| 3. 結婚のため | 4. 地元・実家に戻るため |
| 5. 市外に家・土地を取得するから | 6. 市外に住む家族と同居するため |
| 7. 通勤・通学を便利にしたいから | 8. 買い物などの日常生活を便利にしたいから |
| 9. より安心・安全に暮らしたいから | 10. 子育て・教育環境をよくしたいから |
| 11. 医療・介護福祉環境をよくしたいから | 12. 地域になじめないから |
| 13. そのほか () | |

◆4. 日ごろの暮らしについてお伺いします。

●文化・スポーツ・健康について

問 21. 観光客の誘客や地域文化の発展を目的として、糸満市観光文化交流拠点施設「シャボン玉石けん くくる糸満」が2022年4月にオープンしました。「シャボン玉石けん くくる糸満」のことを知っていますか。(一つに○)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 22. あなたは、過去1年間にどのくらいの頻度で運動やスポーツをしていますか(一つに○)。

- | | | |
|-------------|----------|--------------|
| 1. 週2回以上 | 2. 週1回程度 | 3. 月1～3回 |
| 4. 3か月に1～2回 | 5. 年1～3回 | 6. まったくしなかった |

問 23. あなたは、健康のために何か心掛けていることはありますか。(当てはまるものすべてに○)

1. 栄養のバランスや塩分の取り方に気を配っている
2. 野菜から食べる、間食をしない、食べ過ぎないなど食べ方に気を付けている
3. 食後の歯磨きを励行している
4. 睡眠・休養を十分取るようにしている
5. くよくよしないようにするなど心の持ち方に気を付けている
6. ウォーキングや体操など適度な運動を心掛けている
7. 定期的に特定健診（人間ドックを含む）を受けている
8. 定期的ながん検診を受けている
9. お酒を控えている
10. タバコは吸わない
11. 特に何もしていない
12. そのほか（)

●災害への備えについて

問 24. あなたは、災害に備えてどのような対策をしていますか。(当てはまるものすべてに○)

1. 家具の固定や配置の工夫（室内の対策）
2. 家屋や塀などの補強（室外の対策）
3. 家族間での連絡方法や集合場所などの共有
4. 備蓄品（懐中電灯、電池など）や非常持ち出し品（薬など）の準備
5. 食料品や飲料水などの多めの買い置き（3日分程度）
6. 非常時トイレ（使い捨てなど）の確保
7. ハザードマップ、避難方法や避難場所の確認
8. 具体的な避難先（親戚、知人など）の確保
9. 防災訓練や防災講演会への参加
10. 防災知識の習得や、防災関連アプリのインストール
11. 特に何もしていない
12. そのほか（)

問 25. あなたは、災害が発生または発生の恐れがある場合、どのような手段で災害情報を入手しますか。(当てはまるものすべてに○)

1. 通話（固定電話、携帯電話、スマートフォン）
2. F A X
3. 防災行政無線放送
4. 緊急速報メール（エリアメール）
5. テレビ（ニュースや速報など）
6. Q A B（テレビ）のデータ放送
7. ラジオ放送
8. インターネットニュース
9. Twitter、LINE、Instagram、Facebook などの S N S
10. 新聞
11. 知人や支援者などの訪問
12. 特に入手しない（理由： _____）
13. そのほか（ _____）

●男女共同参画について

問 26. あなたは、家庭、職場、地域、社会通念・慣習など社会のあらゆる場面において、男女の地位は「平等」になっていると思いますか。(一つに○)

1. 男性の方が優遇されている
2. どちらかといえば男性の方が優遇されている
3. 平等
4. 女性の方が優遇されている
5. どちらかといえば女性の方が優遇されている
6. 分からない

●公共交通について

問 27. 交通弱者の移動手段の確保・維持を目的として、令和3年10月に「いとちゃん mini」の本格運行が始まりました。あなたは、「いとちゃん mini」を利用したことがありますか。(一つに○)

1. 利用したことがある ⇒問 29 へ
2. 利用したことがない ⇒問 28 へ

問 28. 「利用したことがない」を選択した方は、その理由を教えてください。(当てはまるものすべてに○)

1. 自家用車を利用している
2. ほか（自家用車以外）の交通手段を利用している
3. 利用方法が分からない
4. 利用したいバス停がない
5. 運賃が高い
6. 運行していることを知らなかった
7. 予約したい時間に予約ができない
8. 運行時間（7時～19時）と利用したい時間が合わない
9. そのほか（)

●公園について

問 29. あなたは、市内の公園をどのくらいの頻度で利用していますか。(一つに○)

- | | | |
|-----------------|--------------------|-----------------|
| 1. ほぼ毎日 ⇒問 31 へ | 2. 週に数回 ⇒問 31 へ | 3. 月に数回 ⇒問 31 へ |
| 4. 年に数回 ⇒問 31 へ | 5. 利用していない ⇒問 30 へ | |

問 30. 「利用していない」を選択した方は、その理由を教えてください。(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 利用する目的がない | 2. 近くにない、遠い、行きにくい |
| 3. 遊具などの施設が十分ではない | 4. 人気がない、誰も利用していない |
| 5. 管理状態が悪い | 6. 特に理由はない |
| 7. そのほか（) | |

問 31. 公園で有料でも利用してみたいと思う施設について教えてください。(当てはまるものすべてに○)

1. キッチンカーなどのテイクアウトの飲食店
2. レストラン、カフェなどの飲食店
3. 屋内アスレチックなどの遊戯施設
4. フットサルなどのスポーツコート
5. ダンスやヨガなどの活動スペース
6. 自動販売機
7. そのほか（)

●自治会について

問 32. あなたの世帯は、自治会に加入していますか。(一つに○)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 加入している ⇒問 34 へ | 2. 加入していない ⇒問 33 へ |
| 3. 分からない ⇒問 34 へ | |

問 33. 「加入していない」を選択した方は、その理由を教えてください。(当てはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 近所付き合いがわずらわしい |
| 2. 加入の仕方が分からない |
| 3. 自治会が何をしている組織か分からない |
| 4. 加入しなくても困らない(加入するメリットが分からない) |
| 5. 自治会の活動に関心がない |
| 6. 会費を払いたくない |
| 7. 高齢や障害により活動に参加できない |
| 8. 短期間の居住である |
| 9. 行事(イベント)に参加したくない |
| 10. そのほか () |

問 34. 自治会活動に特に期待することについて教えてください。(○は三つまで)

- | |
|--|
| 1. 伝統行事・伝統文化の継承、実施 |
| 2. 文化・レクリエーション活動、親ぼく(サークル活動、老人会、青年会など) |
| 3. 防犯灯(外灯)の管理、防犯活動、交通安全運動 |
| 4. 自主防災組織の設立、防災訓練などの防災活動 |
| 5. 高齢者、障害者の見守り、支え合いなどの社会福祉活動 |
| 6. 青少年の健全育成や子育て相談、交流会など(子ども会、PTAなど) |
| 7. 地域の美化活動 |
| 8. 慶弔のお手伝い |
| 9. 公園の管理運営や共同売店の運営など公益事業の実施 |
| 10. 集会所や備品などの貸し出し |
| 11. 行政への要望や陳情 |
| 12. 行政からの連絡の伝達や地域情報の発信 |
| 13. 特に期待することはない |
| 14. そのほか () |

◆5. 市政についてお伺いします。

問 35. 市の情報をどのような方法で入手していますか。(当てはまるものすべてに○)

- | | | |
|----------------------|-------------|------------------|
| 1. 広報いとまん | 2. 市のホームページ | 3. 市公式 Facebook |
| 4. 市公式 LINE | 5. FMたまん | 6. 市役所の窓口 |
| 7. 市役所への電話 | 8. 家族、隣人、知人 | 9. 市公式 Instagram |
| 10. QAB (テレビ) のデータ放送 | | |
| 11. 母子手帳アプリ 母子モ | | |
| 12. そのほか (| |) |

問 36. 市民が市政に対して、意見や要望を言える機会が設けられていると思いますか。(一つに○)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない |
| 5. 分からない | |

問 37. この1年間で、市役所職員の窓口や電話での対応(服装、あいさつ、対応など)は、どのよう
に感じていますか。(一つに○)

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1. 良い | 2. どちらかといえば良い |
| 3. どちらかといえば悪い ⇒問 38 へ | 4. 悪い ⇒問 38 へ |
| 5. この1年間利用していないため分からない | |

問 38. 「どちらかと言えば悪い」、「悪い」を選択した方は、その理由を教えてください。(当てはまる
ものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|---|
| 1. 接遇面(服装、あいさつ、話し方、親密さなど) | |
| 2. 職員の能力(知識不足、説明対応力、実行力など) | |
| 3. 不適切な対応(たらい回し、事務のミスなど) | |
| 4. そのほか (|) |

◆6. これまでの設問にかかわらず、ご意見などがありましたら
ご記入ください。

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

記入されました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、無記名のまま切手を貼らずに **2月24**
日（金）までに郵便ポストへ投函してください。